
潮来市
地域福祉に関するアンケート
結果報告書

～ 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に向けて ～

平成29年10月
潮来市

(裏白)

目 次

序章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査対象者と回収結果	1
3 報告書を見る際の注意	1
4 基本属性	2
5 調査結果の特徴	8

第1章 一般市民アンケート

第1節 地域とのつながりについて	13
1-1-1 イメージする地域の範囲	13
1-1-2 ご近所付き合い	15
1-1-3 ご近所による支え合いの必要性	17
1-1-4 気になる地域の課題	20
1-1-5 地域の助け合う気風	22
1-1-6 自治会（区）の加入	22
1-1-7 自治会の加入率減少について	26
第2節 地域活動やボランティア活動について	28
1-2-1 地域活動やボランティア活動への参加	28
1-2-2 自分ができそうな手助け	33
1-2-3 地域活動やボランティア活動の情報の入手先	34
1-2-4 地域活動やボランティア活動への参加条件	35
第3節 地域福祉活動の推進について	36
1-3-1 『民生委員・児童委員』の認知度	36
1-3-2 『民生委員・児童委員』活動への理解	38
1-3-3 『社会福祉協議会』の認知度	39
1-3-4 『社会福祉協議会』活動への理解	41
1-3-5 『社会福祉協議会』への期待	41
第4節 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて	43
1-4-1 地域の治安	43
1-4-2 災害時の行動	45
1-4-3 『福祉』の考え方	46
1-4-4 『福祉』の担い手	48
1-4-5 障がいのある人への差別や偏見	49
1-4-6 障害者差別解消法の周知度	49
1-4-7 助け合い活動を活発にするための取り組み	51
1-4-8 地域福祉の重点施策	53

第2章 民生委員アンケート

第1節	民生委員活動について	55
2-1-1	民生委員活動のやりがい	55
2-1-2	民生委員活動の負担感	57
2-1-3	『福祉』の担い手	59
2-1-4	気になる世帯等の情報交換や連絡	60
第2節	地域福祉に対する考え方について	61
2-2-1	障がいのある人への差別や偏見	61
2-2-2	気になる地域の課題	61
2-2-3	地域の助け合う気風	63
2-2-4	助け合い活動を活発にするための取り組み	63
2-2-5	地域福祉の重点施策	64
第3章	区長アンケート	
第1節	自治会（区長）活動について	67
3-1-1	自治会（区長）活動のやりがい	67
3-1-2	自治会（区長）活動の負担感	69
3-1-3	『福祉』の担い手	71
3-1-4	気になる世帯等の情報交換や連絡	72
第2節	地域福祉に対する考え方について	73
3-2-1	障がいのある人への差別や偏見	73
3-2-2	気になる地域の課題	74
3-2-3	地域の助け合う気風	75
3-2-4	助け合い活動を活発にするための取り組み	76
3-2-5	地域福祉の重点施策	77
第4章	ボランティア団体アンケート	
第1節	ボランティア活動について	79
4-1-1	ボランティア活動のやりがい	79
4-1-2	ボランティア活動の課題や問題点	79
4-1-3	活動内容を広げたいこと	80
第2節	地域福祉に対する考え方について	82
4-2-1	障がいのある人への差別や偏見	82
4-2-2	気になる地域の課題	82
4-2-3	地域の助け合う気風	84
4-2-4	助け合い活動を活発にするための取り組み	84
4-2-5	地域福祉の重点施策	86

第5章 中学校・高校生アンケート

第1節	地域のつながりやボランティア活動について	87
5-1-1	潮来市への愛着	87
5-1-2	お祭りやイベントの参加	89
5-1-3	住みよさ意識	89
5-1-4	「福祉」への関心	92
5-1-5	学校以外のボランティア活動への参加	93
5-1-6	今後、やってみたいボランティア活動	94
第2節	地域福祉活動の推進について	95
5-2-1	「潮来市社会福祉協議会（社協）」の認知度	95
5-2-2	「民生委員・児童委員」の認知度	96
5-2-3	福祉関係への就労希望	97
第3節	地域の支え合い、助け合いについて	98
5-3-1	近所の人へのあいさつ	98
5-3-2	困っている人への手助け	98
5-3-3	困った時に助けてくれる友だち	100
5-3-4	自分からの声かけ	101
5-3-5	ご近所による支え合い、助け合い	102
第4節	地域福祉に対する考え方について	103
5-4-1	障がいのある人への差別や偏見	103
5-4-2	ボランティア活動を活発にするための取り組み	104
5-4-3	福祉のまちづくりの重点施策	105
資料編		
1	集計表	107
(1)	一般市民アンケート	107
(2)	民生委員アンケート	126
(3)	区長アンケート	133
(4)	ボランティア団体アンケート	140
(5)-①	中学生アンケート	146
(5)-②	高校生アンケート	154

(裏白)

序章 調査の概要

(裏白)

1 調査の目的

この調査は、『潮来市地域福祉計画・地域福祉活動計画』を策定することを目的として、地域のつながりやボランティア活動への参加意向、地域福祉活動に対する理解等を把握し、だれもが住み慣れた地域で安心・安全に住み続けられる福祉のまちづくりを推進するための基礎資料とするものである。

2 調査対象者と回収結果

本調査は、以下の調査を実施した。

種類	調査対象者	調査方法	有効回答数
① 一般市民アンケート	18歳以上の市民 2,000人 を無作為抽出	郵送配布・回収	898人 (44.9%)
② 民生委員アンケート	民生委員・児童委員 70人	郵送配布・回収	65人 (92.9%)
③ 区長アンケート	区長 66人	郵送配布・回収	59人 (89.4%)
④ ボランティア団体 アンケート	ボランティア協議会 32団体	郵送配布・回収	27団体 (84.4%)
⑤ 中学生・高校生 アンケート	市内中学2年生全員	各学校を通じて 配布・回収	226人
	潮来高校1～3年生 全員	各学校を通じて 配布・回収	435人

【調査期間】一般市民アンケート：平成29年8月2日（水）から8月17日（木）まで（締切日にお礼状兼督促を発送）。その他の調査は、8月下旬から9月上旬にかけて実施。

3 報告書を見る際の注意

- ① 各設問の集計は、すべて単純集計、属性別（フェースシート）クロス集計を行った。
- ② 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって、合計が100%を上下する場合もある。
- ③ 複数回答の設問は、1回答者が2つ以上の回答ができる質問である。このときの回答の計は回答者数（100%）を超える。
- ④ 図表および文章中で、選択肢を一部省略、並び替えをしている。

4 基本属性

① 一般市民アンケート

《性別》

○「女性」の割合が51.4%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
男性	426	(47.4)
女性	462	(51.4)
無回答	10	(1.1)
合計	898	(100.0)

《年齢別》

○「60～69歳」の割合が26.5%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
18～29歳	63	(7.0)
30～39歳	75	(8.4)
40～49歳	126	(14.0)
50～59歳	151	(16.8)
60～69歳	238	(26.5)
70～79歳	178	(19.8)
80歳以上	59	(6.6)
無回答	8	(0.9)
合計	898	(100.0)

《地区別》

○「延方地区」が21.5%、「日の出地区」が20.8%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来地区	172	(19.2)
津知地区	120	(13.4)
延方地区	193	(21.5)
大生原地区	48	(5.3)
日の出地区	187	(20.8)
大洲区、十番区	22	(2.4)
かすみ地区	71	(7.9)
八代地区	71	(7.9)
無回答	14	(1.6)
合計	898	(100.0)

《居住年数別》

○「転入してきて10年以上」が48.2%、「生まれたときから住んでいる」が42.1%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
転入してきて 5年未満	40	(4.5)
転入してきて 5～10年	31	(3.5)
転入してきて 10年以上	433	(48.2)
生まれたとき から住んでいる	378	(42.1)
無回答	16	(1.8)
合計	898	(100.0)

《家族構成別》

- 「二世帯世帯」が41.6%、「一世帯世帯」が30.3%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
ひとり暮らし	62	(6.9)
一世帯世帯	272	(30.3)
二世帯世帯	374	(41.6)
三世帯世帯	154	(17.1)
その他	25	(2.8)
無回答	11	(1.2)
合計	898	(100.0)

《居住形態別》

- 「一戸建て（自己・家族所有）」が89.2%で大半を占める。

	実数 (人)	構成比 (%)
一戸建て (自己・家族所有)	801	(89.2)
一戸建て(賃貸)	26	(2.9)
集合住宅 (自己・家族所有)	11	(1.2)
集合住宅(賃貸)	42	(4.7)
その他	10	(1.1)
無回答	8	(0.9)
合計	898	(100.0)

《職業別》

- 「勤め人」が29.8%で高く、「その他（無職）」が19.6%、「専業主婦・主夫」が18.6%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
農業	36	(4.0)
自営業	86	(9.6)
勤め人	268	(29.8)
公務員	27	(3.0)
自由業	4	(0.4)
パート・アルバイト	117	(13.0)
専業主婦・主夫	167	(18.6)
その他（無職）	176	(19.6)
無回答	17	(1.9)
合計	898	(100.0)

② 民生委員アンケート

《担当地区別》

- 「潮来第一中学校区」が 32.3%、「潮来第二中学校区」が 29.2%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来第一中学校区	21	(32.3)
潮来第二中学校区	19	(29.2)
日の出中学校区	10	(15.4)
牛堀中学校区	12	(18.5)
無回答	3	(4.6)
合計	65	(100.0)

《経験年数別》

- 「3年未満」の割合が 46.2%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
3年未満	30	(46.2)
3～6年	14	(21.5)
6～9年	10	(15.4)
9～12年	8	(12.3)
12年以上	2	(3.1)
無回答	1	(1.5)
合計	65	(100.0)

③ 区長アンケート

《担当地区別》

- 「潮来地区（十番区、十四番区含む）」の割合が27.1%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来地区(十番区、十四番区含む)	16	(27.1)
津知地区	6	(10.2)
延方地区	12	(20.3)
大生原地区	5	(8.5)
日の出地区 (大洲区含む)	6	(10.2)
かすみ地区	7	(11.9)
八代地区	7	(11.9)
無回答	0	(0.0)
合計	59	(100.0)

《職業別》

- 「無職」の割合が37.3%で高い。次いで、「会社員」が35.6%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
会社員	21	(35.6)
公務員	2	(3.4)
自営業	8	(13.6)
無職	22	(37.3)
その他	6	(10.2)
無回答	0	(0.0)
合計	59	(100.0)

《一か月の活動日数別》

- 「5～9日」の活動の割合が52.5%で高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
1～4日	11	(18.6)
5～9日	31	(52.5)
10～14日	16	(27.1)
15～19日	1	(1.7)
20日以上	0	(0.0)
無回答	0	(0.0)
合計	59	(100.0)

④ ボランティア団体アンケート

《活動対象別》

- 「高齢者等」の活動の割合が70.4%で高い。

	実数 (団体)	構成比 (%)
高齢者等	19	(70.4)
障がい者(児)	3	(11.1)
児童	4	(14.8)
その他	1	(3.7)
無回答	0	(0.0)
合計	27	(100.0)

⑤-1 中学生アンケート

《学校別》

- 「日の出中学校」の割合が31.0%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来第一中学校	56	(24.8)
潮来第二中学校	54	(23.9)
日の出中学校	70	(31.0)
牛堀中学校	46	(20.4)
無回答	0	(0.0)
合計	226	(100.0)

《性別》

- 「男性」の割合が52.2%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
男性	118	(52.2)
女性	108	(47.8)
無回答	0	(0.0)
合計	226	(100.0)

⑤-2 高校生アンケート

《学年別》

- 「高校3年生」の割合が36.1%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
高校1年生	132	(30.3)
高校2年生	146	(33.6)
高校3年生	157	(36.1)
無回答	0	(0.0)
合計	435	(100.0)

《性別》

- 「女性」の割合が52.6%でやや高い。

	実数 (人)	構成比 (%)
男性	206	(47.4)
女性	229	(52.6)
無回答	0	(0.0)
合計	435	(100.0)

《居住地別》

- 「潮来市内」の割合が37.5%である。

	実数 (人)	構成比 (%)
潮来市内	163	(37.5)
潮来市外	272	(62.5)
無回答	0	(0.0)
合計	435	(100.0)

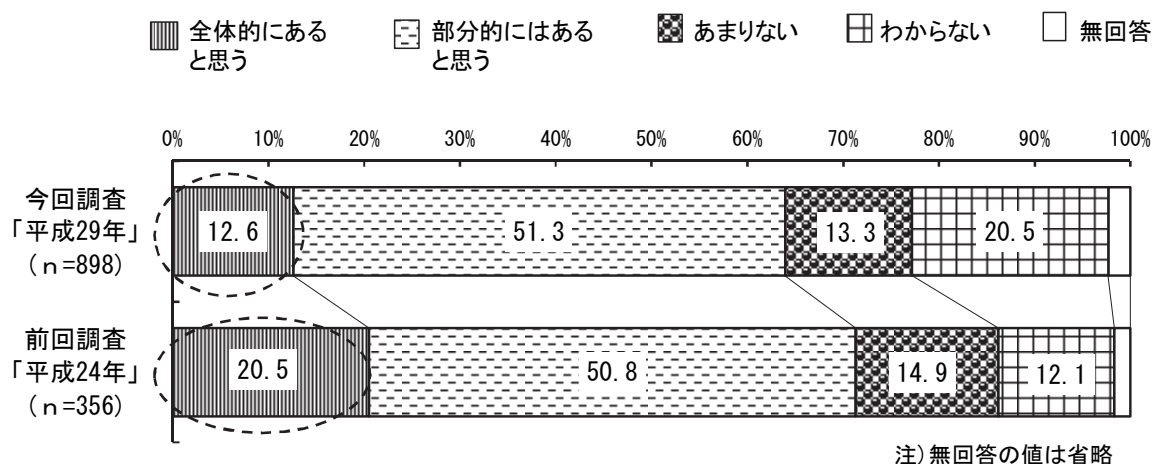
5 調査結果の特徴

(1) 地域とのつながりについて

【主な特徴】

- 身近に感じる地域は、「ご近所の範囲」が4割で高い。特に、年齢が上がるほど身近な「ご近所の範囲」をイメージしている。
- ご近所による支え合いは、ある程度必要という人を合わせると約9割である。また、必要と思わない人は、「とくに困ることがない」や「近所付き合いがわずわらしい」との割合が高い。
- 気になる地域の課題は、「住民同士のつながりが減少」や「地域の役員のなり手不足」が高く、“日の出中学校区”は他の地区と比べて高い割合である。
- 今回のアンケートでは、自治会（区）に「加入している」人は、“日の出中学校”が約5割で、それ以外の地区は約8割である。自治会の加入率の減少について、「課題であるが時代の流れで仕方ない」と考えている人が5割で高い。しかし、「課題であり対策を強化すべき」と考えている人が加入者の中で3割いる。その一方で、未加入者は加入率の減少が課題と考えている人は1割に満たない。
- 地域の助け合う気風は、「部分的にはあると思う」が約5割で前回調査と同様で高く、「全体的にあると思う」との回答が今回は12.6%で前回調査よりも7.9ポイント減少した。

◆地域の助け合う気風（問12）

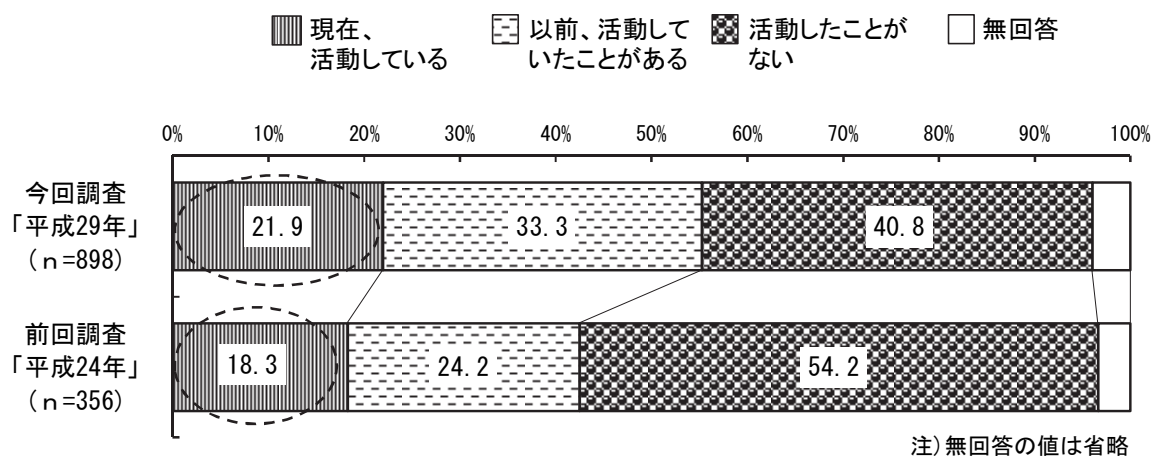


(2) 地域活動やボランティア活動について

【主な特徴】

- これまでに地域活動やボランティア活動に「参加したことがない」人が4割で高い。しかし、前回調査と比べるとその割合は減少し、「現在、活動している」や「以前、活動していたことがある」人が高くなった。特に、“日の出中学校区”と“牛堀中学校区”が高い結果である。
- 活動に参加している内容は、「環境整備（清掃・美化活動）」や「地域（自治会・子供会）の活動」が高い。活動のきっかけは、「持ち回りの当番」が最も高いが、次に「地域を住みやすいものにしたい」との回答が続く。また、活動に参加していない人は「仕事や家事で忙しい」が最も高い。
- 自分が出来そうな手助けは、「安否確認の声かけ」や「話し相手」、「ごみ出しの手伝い」といったちょっとした手助けの回答が続く。
- 地域活動やボランティア活動を推進するには、「自分にあった時間や活動内容であること」や「参加の仕方が分かりやすいこと」といった回答が高く、自由記述でも“気軽に参加できるきっかけが欲しい”といった意見が多く見られた。

◆地域活動やボランティア活動への参加（問15）

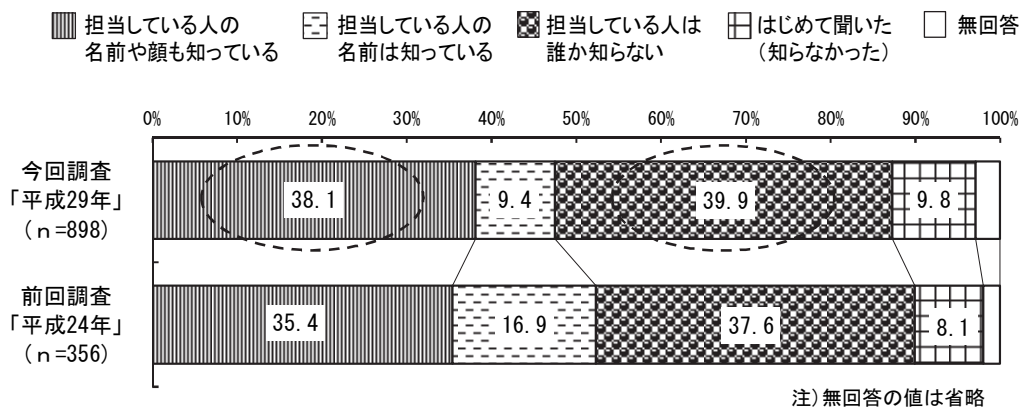


(3) 地域福祉活動の推進について

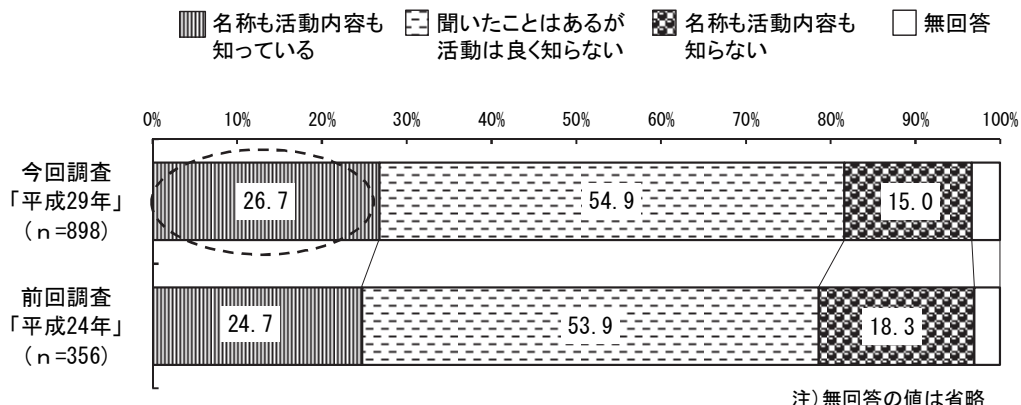
【主な特徴】

- 担当地区の『民生委員・児童委員』の認知度は、「担当している人の名前や顔も知っている」と「担当している人は誰か知らない」がともに4割ずつを占める。特に、年齢が上がるにつれて認知度も高くなるが、60歳以上の方でも“知らない”人が2～4割いた。
- また、『民生委員・児童委員』の活動として、非常勤の公務員であることや、児童委員を兼ねていることを“知らなかった”という人が多い。
- 『社会福祉協議会』の認知度は、「聞いたことがあるが活動は良く知らない」が5割以上で高い。特に“40～49歳”以下で認知度が低い。
- また、『社会福祉協議会』の活動として、市と連携・協力し活動していることを6割の人が理解しており、地域福祉活動の中心的組織であることや、様々な相談事業に応じていることは“知っている”割合が比較的高い。しかし、市民の会費等で運営されていることや、権利擁護事業を実施していることは“知らなかった”という人が多い。今後の期待として、「介護保険や障害福祉サービスの公的サービス」や、次に「身近な生活支援サービスの充実」があげられている。

◆『民生委員・児童委員』の認知度



◆『社会福祉協議会』の認知度



(4) 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

【主な特徴】

- 地域の治安は、「あまり変わらないと思う」人が約7割で高いが、“日の出地区”は「以前と比べて良くなった」との回答が他地区よりも若干高い。
- 災害時は、「まず自分の安全を確保し助け合う」と「いざとなったら助け合えると思う」が特に高い。
- 『福祉』の考え方は、「行政と市民が協力し地域で支え合う」が7割で最も高く、年齢別でも大きな違いはない。自治会加入別で見ると、「行政と市民が協力し地域で支え合う」との回答は、自治会加入者の方が高い。その一方で、「行政（国や自治体）の責任で行うべき」は、自治会未加入者が3割で高い。
- 『福祉』の担い手は、「行政機関」が最も高く、次に「社会福祉協議会（社協）」と「地域住民（隣近所）」が続く。
- 障がいのある人への差別や偏見は、“あると思う”人が61.0%である。また、障害者差別解消法の周知度については、「知らなかった」が45.9%である。
- ボランティアなどの支え合い、助け合い活動を活発にしていくために大切なことは、「参加しやすいきっかけづくりを行う」が52.2%で最も高く、次に「活動の大切さを学校で子どもに教える」が続く。
- 潮来市における地域福祉の重点施策は、「保健や福祉の情報提供」や「身近な場所で相談できる窓口を増やす」が高い。年齢別では“50～60歳代”は「保健や福祉の情報提供」が高く、年齢によって若干のばらつきが見られた。

◆助け合い活動を活発にするための取り組み【複数回答】



(裏白)

第1章 一般市民アンケート

(裏白)

第1節 地域とのつながりについて

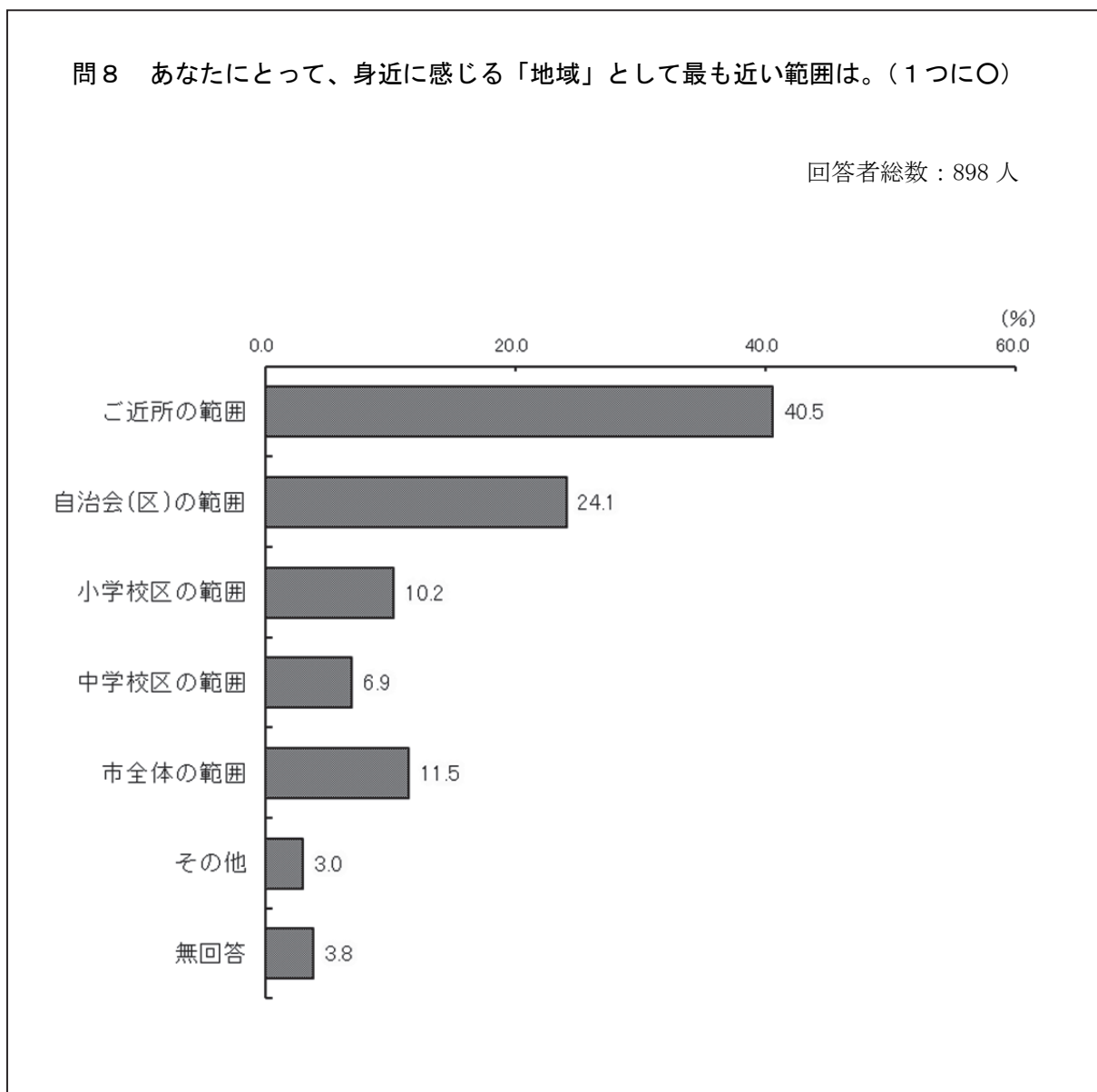
1-1-1 イメージする地域の範囲

「ご近所の範囲」をイメージする人が4割。

身近に感じる「地域」としての範囲をたずねたところ、「ご近所の範囲」が40.5%で最も高い。次に、「自治会（区）の範囲」が24.1%で続く。

また、「市全体の範囲」との回答は、11.5%である。

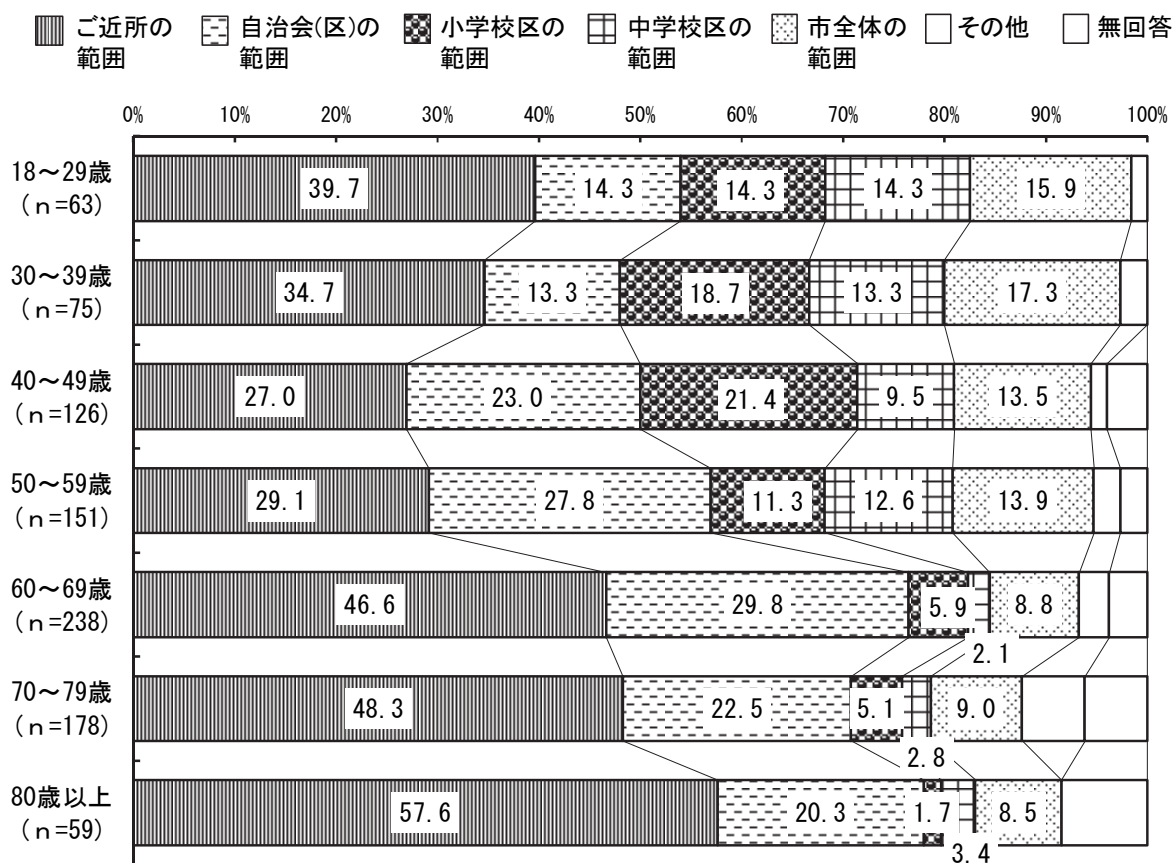
図 イメージする地域の範囲



【年齢別】

身近に感じる地域の範囲を年齢別にみると、“40～49歳”や“50～59歳”は「ご近所の範囲」とする割合が低い。

また、“18～29歳”や“30～39歳”は「市全体の範囲」とする割合が他の年代と比べてやや高い。



注) その他、無回答の値は省略

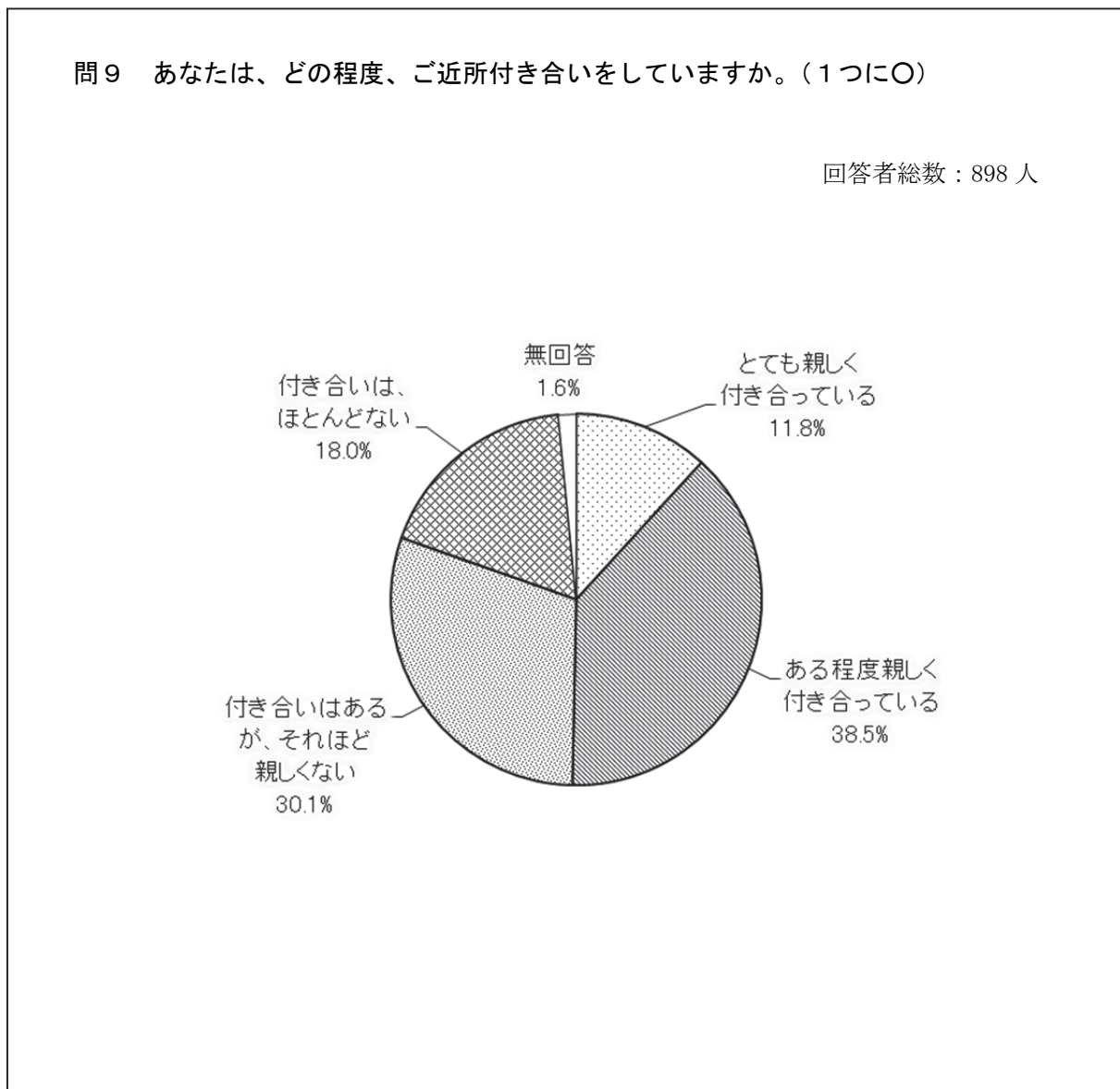
1-1-2 ご近所付き合い

「ある程度親しく付き合っている」が約4割。

現在のご近所とのお付き合いは、「ある程度親しく付き合っている」が38.5%で高く、次に「付き合いはあるが、それほど親しくない」が30.1%である。また、「とても親しく付き合っている」が11.8%である。

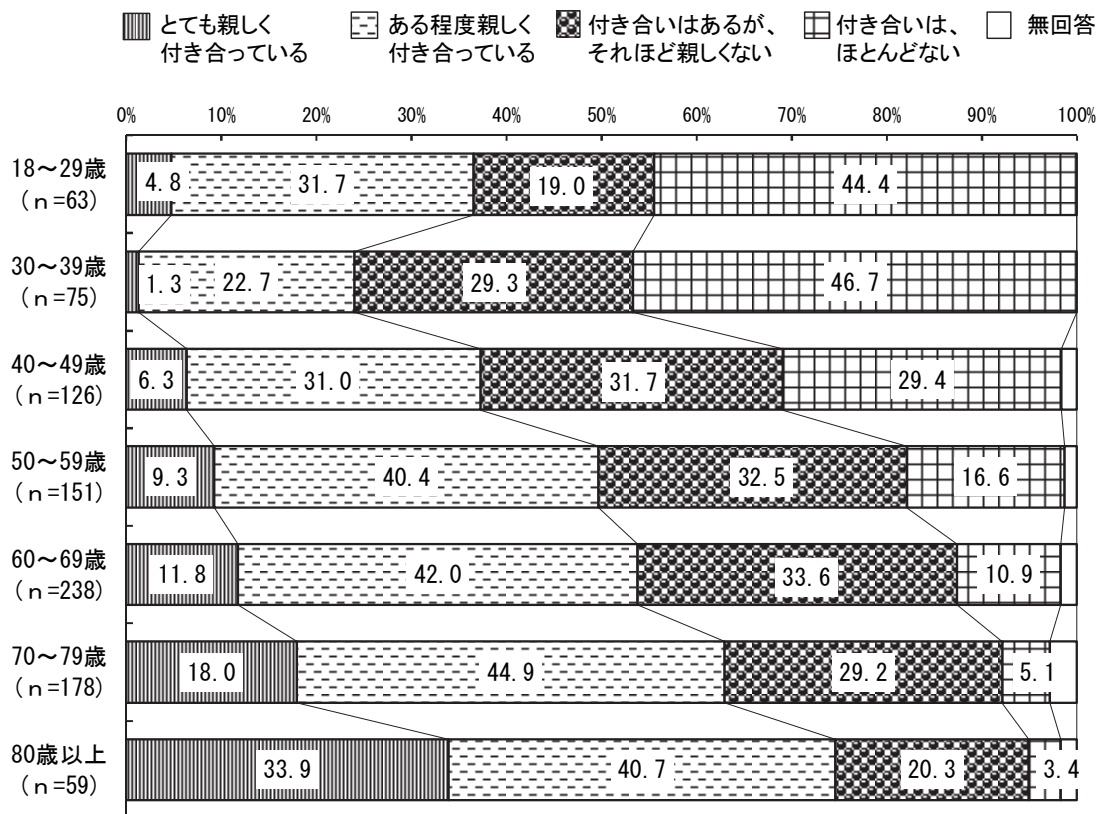
その一方で、「付き合いはほとんどない」という人が18.0%いる。

図 ご近所付き合い



【年齢別】

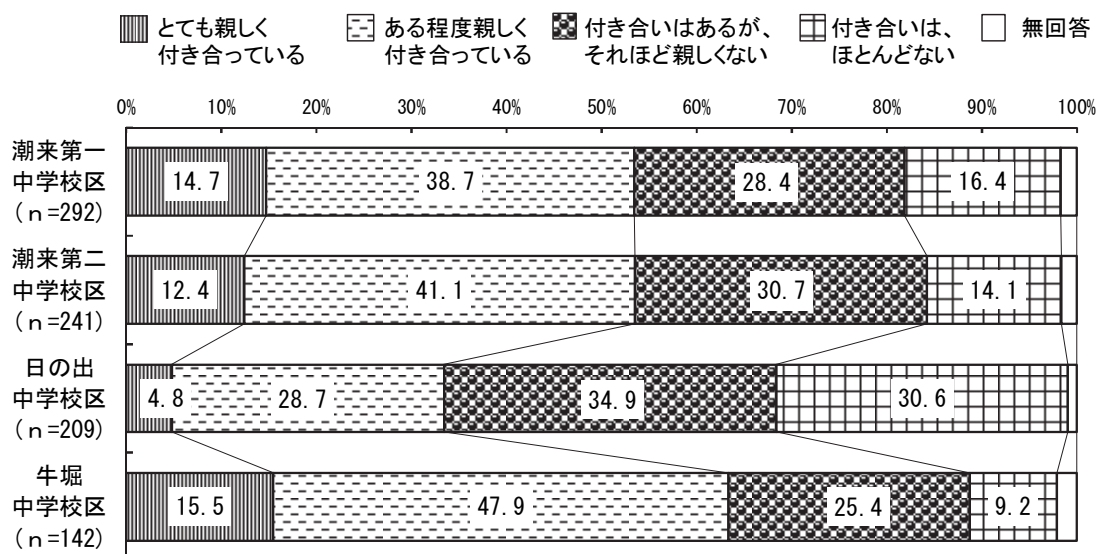
現在の近所付き合いを年齢別にみると、「とても親しく付き合っている」は、30歳以降、年齢が上がるにつれて高くなる。また、“30～39歳”は「付き合いはほとんどない」が46.7%で特に高い。



注) 無回答の値は省略

【地区別】

地区別にみると、“日の出中学校区”は「付き合いは、ほとんどない」が30.6%で高い。



注) 無回答の値は省略

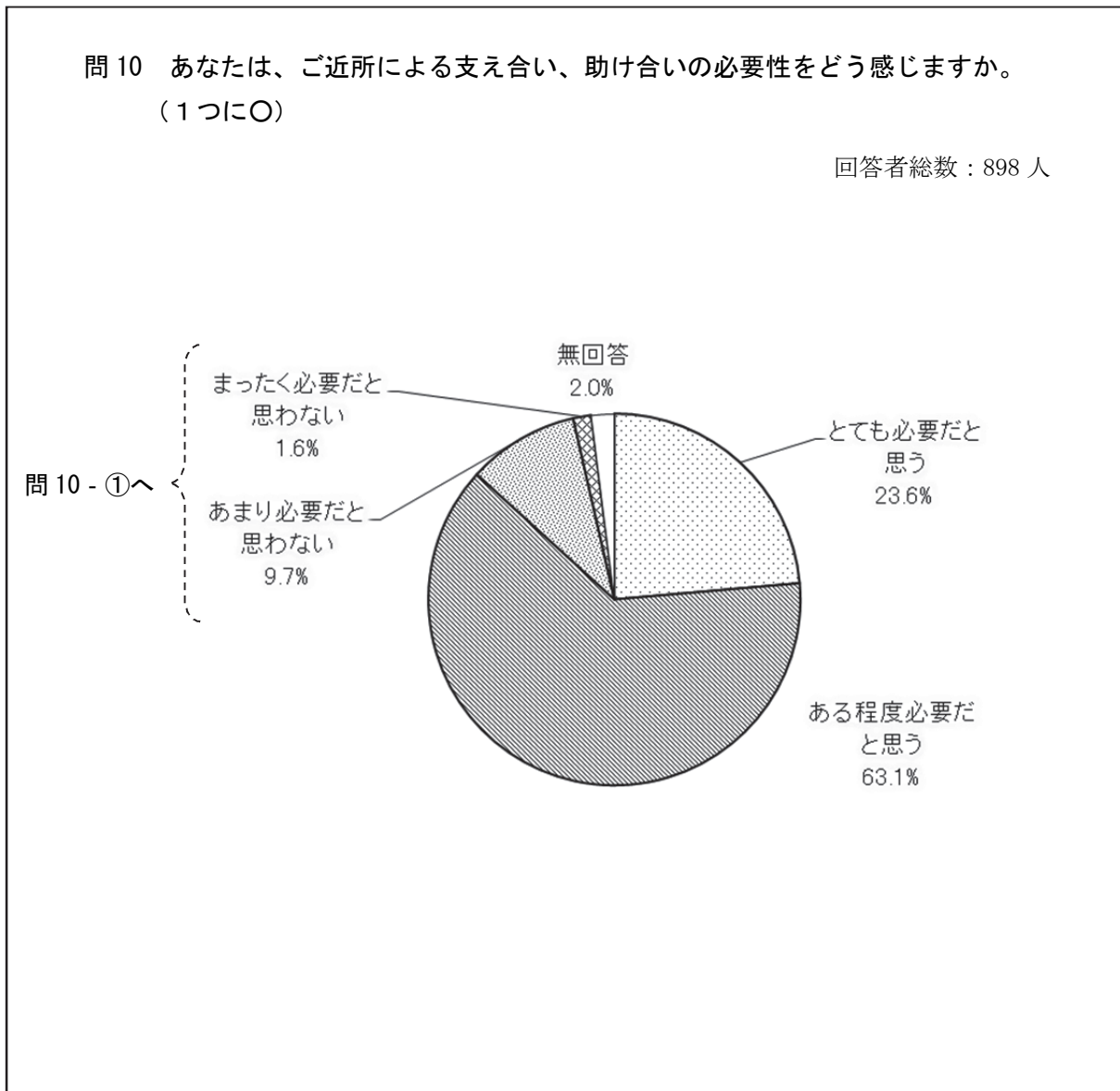
1-1-3 ご近所による支え合いの必要性

「とても必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」を合わせると約9割。

ご近所による支え合い、助け合いの必要性は、「とても必要だと思う」が23.6%、「ある程度必要だと思う」が63.1%で、合わせると“必要と思う”が86.7%で大半を占める。

その一方、ご近所による支え合いは「あまり必要だと思わない」が9.7%、「まったく必要だと思わない」が1.6%である。

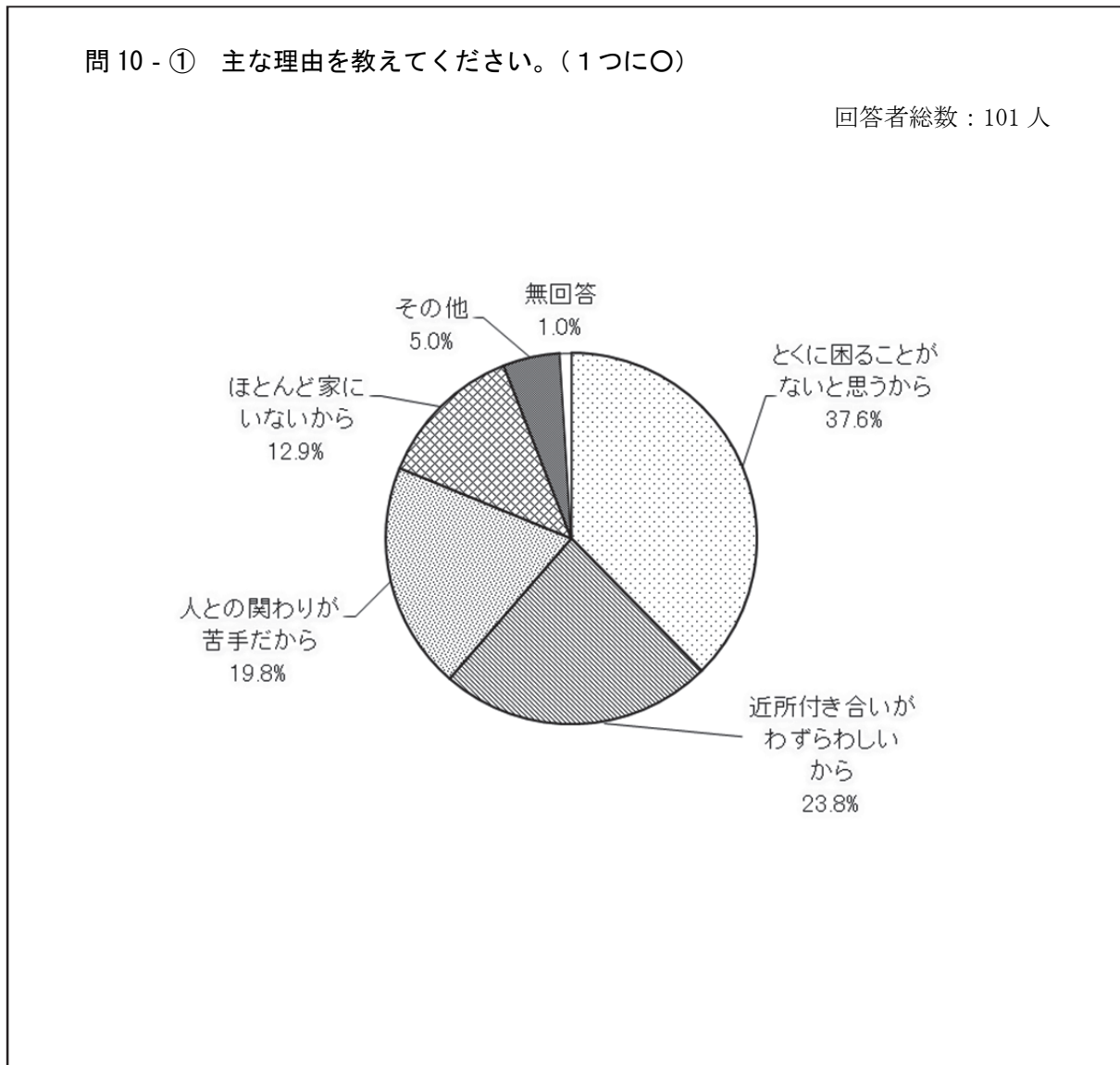
図 ご近所による支え合いの必要性



◆主な理由

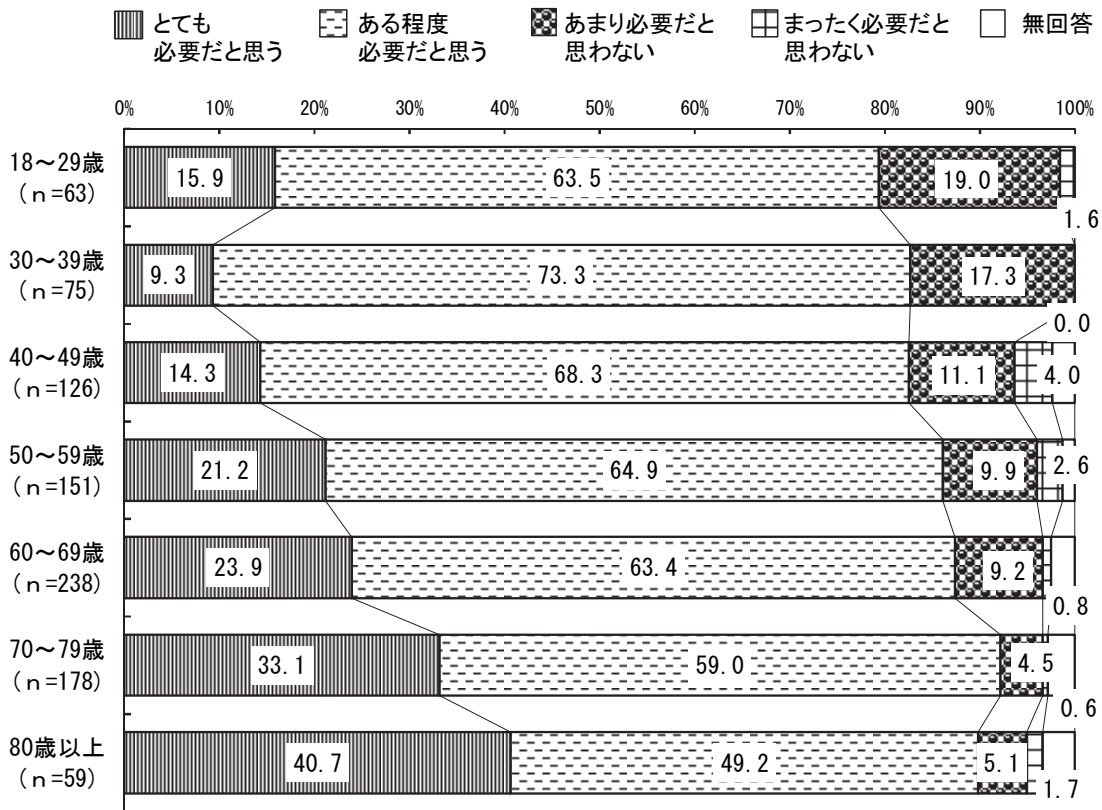
ご近所による支え合い、助け合いは必要だと思わないと回答した人に、主な理由をたずねたところ、「とくに困ることがないと思うから」が 37.6%で最も高く、次に「近所付き合いがわずらわしいから」が 23.8%で続く。

図 近所による支え合いが必要だと思わない主な理由



【年齢別】

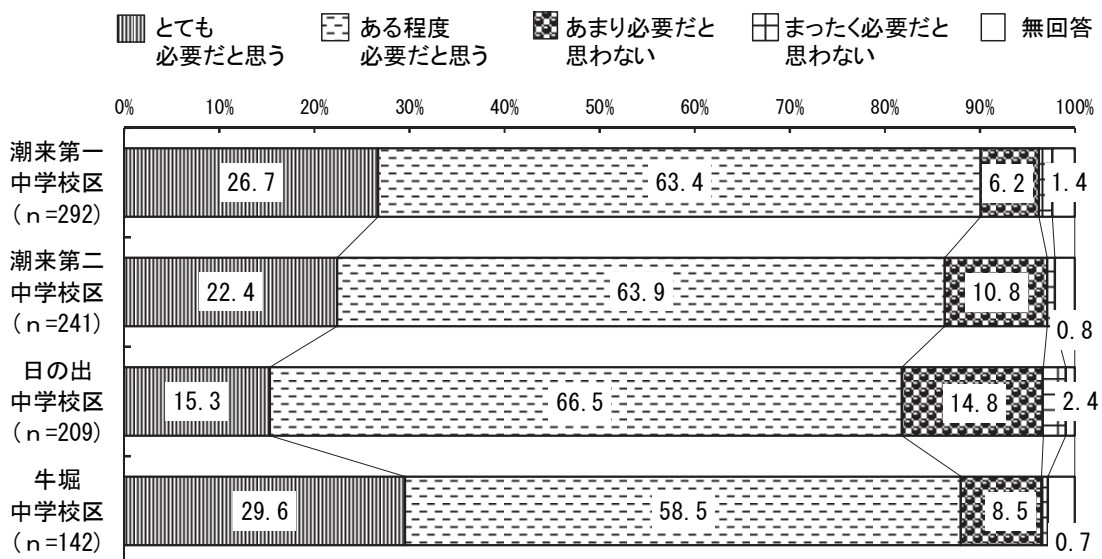
ご近所による支え合いの必要性を年齢別にみると、「とても必要だと思う」は、30歳代から年齢が上がるにつれて高い割合になる。また、「18～29歳」は「あまり必要だと思わない」が19.0%で高い。



注)無回答の値は省略

【地区別】

地区別にみると、「牛堀中学校区」は「とても必要だと思う」が29.6%で高い。また、「日の出中学校区」は「あまり必要だと思わない」が14.8%で他地区よりも高い。



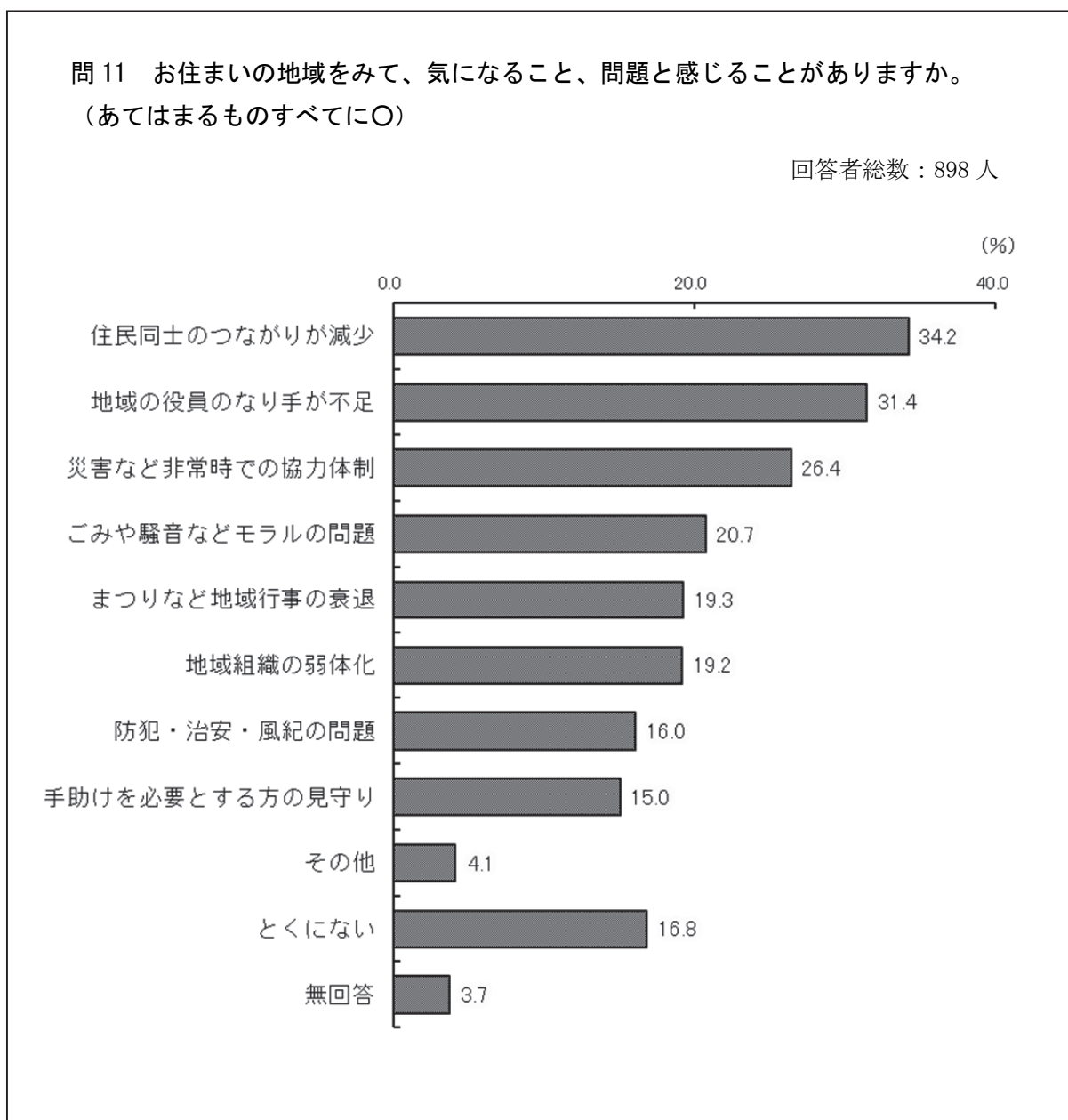
注)無回答の値は省略

1-1-4 気になる地域の課題

「住民同士のつながりが減少」が高く、次に「地域の役員のなり手が不足」が続く。

お住いの地域をみて、気になること、問題と感ずることは、「住民同士のつながりが減少」が34.2%で最も高い。次に、「地域の役員のなり手が不足」が31.4%、「災害など非常時での協力体制」が26.4%で続く。

図 気になる地域の課題



【地区別】

お住いの地域をみて、気になること、問題と感ずることを、地区別にみると、“日の出中学校区”は、「住民同士のつながりが減少」が36.4%、「地域の役員のなり手が不足」が37.8%など、他地区と比べてやや高い割合である。

表 気になる地域の課題

	回答者総数	地区別			
		潮来第一 中学校区	潮来第二 中学校区	日の出 中学校区	牛堀 中学校区
回答者総数	898 (100.0)	292 (100.0)	241 (100.0)	209 (100.0)	142 (100.0)
住民同士のつながりが減少	307 (34.2)	97 (33.2)	78 (32.4)	76 (36.4)	51 (35.9)
地域の役員のなり手が不足	282 (31.4)	72 (24.7)	73 (30.3)	79 (37.8)	50 (35.2)
災害など非常時での協力体制	237 (26.4)	73 (25.0)	56 (23.2)	70 (33.5)	35 (24.6)
ごみや騒音などモラルの問題	186 (20.7)	56 (19.2)	56 (23.2)	46 (22.0)	25 (17.6)
まつりなど地域行事の衰退	173 (19.3)	56 (19.2)	34 (14.1)	44 (21.1)	34 (23.9)
地域組織の弱体化	172 (19.2)	46 (15.8)	39 (16.2)	53 (25.4)	32 (22.5)
防犯・治安・風紀の問題	144 (16.0)	54 (18.5)	33 (13.7)	40 (19.1)	17 (12.0)
手助けを必要とする方の見守り	135 (15.0)	44 (15.1)	34 (14.1)	28 (13.4)	28 (19.7)
その他	37 (4.1)	14 (4.8)	9 (3.7)	9 (4.3)	4 (2.8)
とくにない	151 (16.8)	57 (19.5)	42 (17.4)	31 (14.8)	20 (14.1)
無回答	33 (3.7)	16 (5.5)	8 (3.3)	4 (1.9)	4 (2.8)

※地区「無回答」の14名を除く。

1-1-5 地域の助け合う気風

「部分的にはあると思う」が約5割。その一方で「あまりない」が約1割。

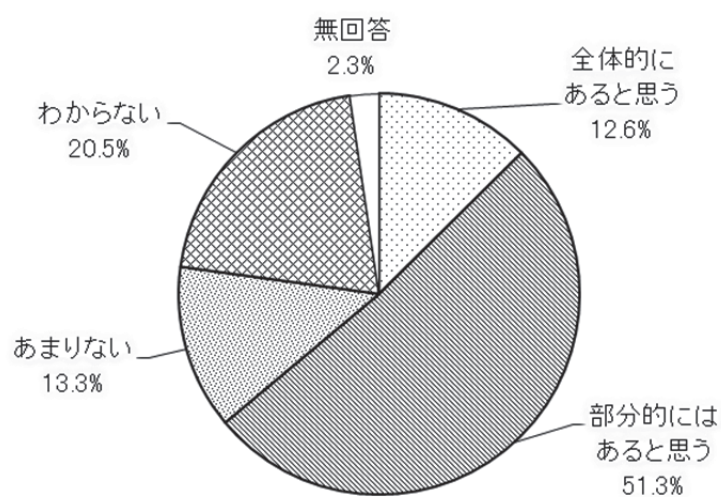
お住いの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風があると思うかたずねたところ、「全体的にあると思う」が12.6%、「部分的にはあると思う」が51.3%である。

その一方で、「あまりない」が13.3%である。

図 地域の助け合う気風

問12 お住いの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。
(1つに○)

回答者総数：898人

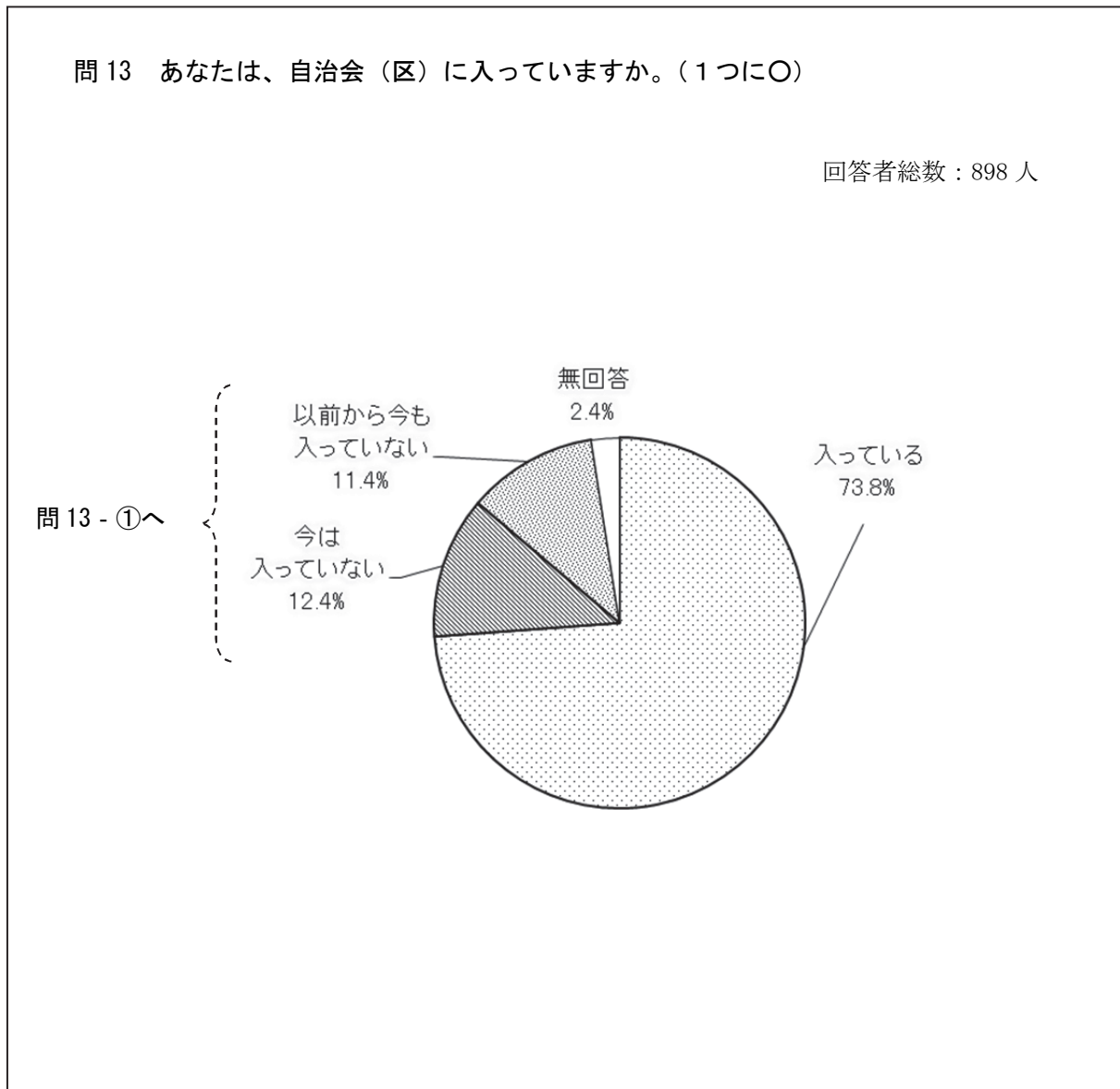


1-1-6 自治会（区）の加入

「入っている」が約7割で高い。「以前から今も入っていない」が約1割。

自治会（区）への加入については、「入っている」が73.8%で最も高い。
また、「今は入っていない」が12.4%、「以前から今も入っていない」が11.4%である。

図 自治会（区）の加入

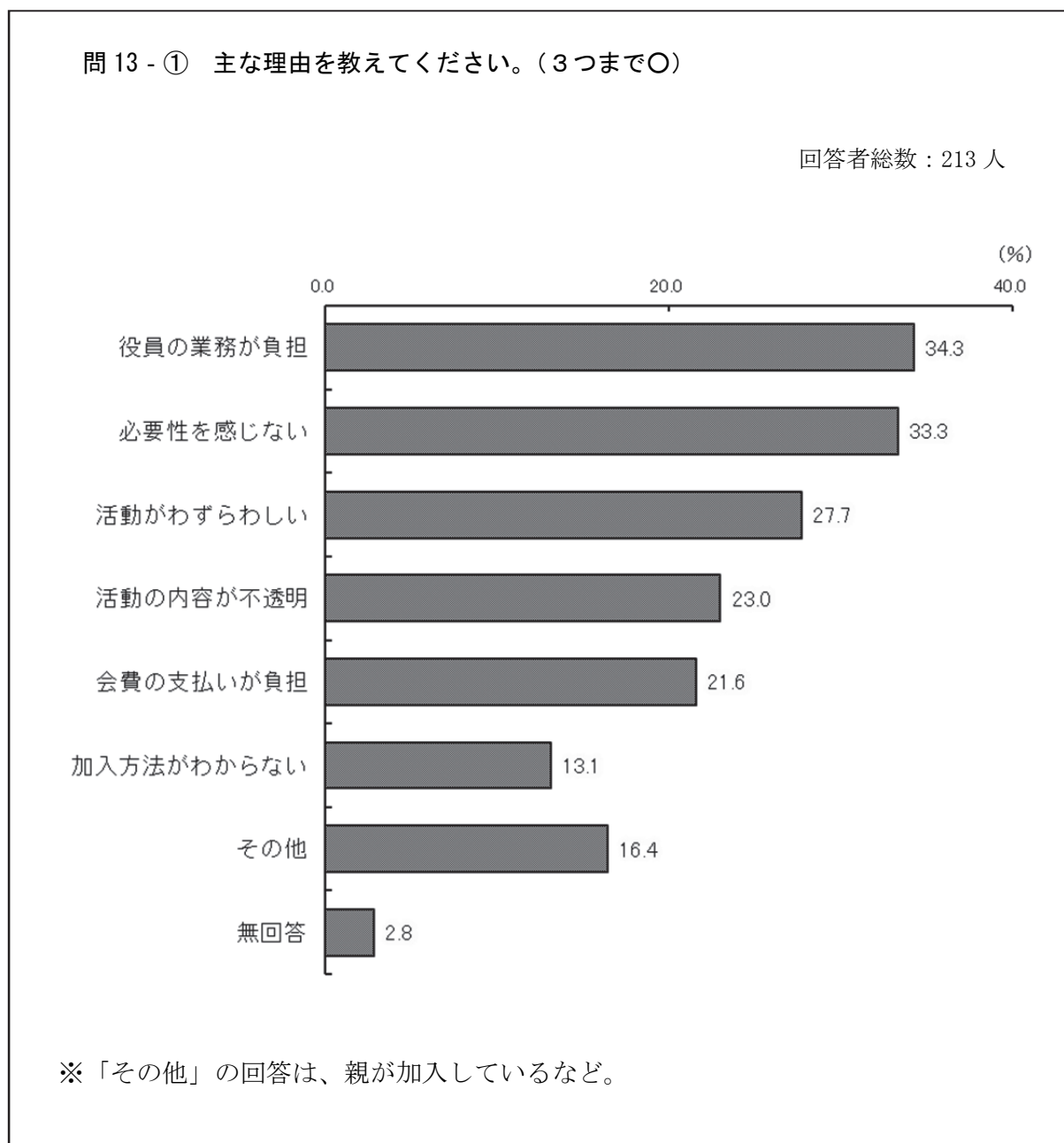


◆主な理由

現在、自治会に加入していないと回答した人に、主な理由をたずねたところ、「役員の業務が負担」が34.3%で最も高く、次に「必要性を感じない」が33.3%で続く。

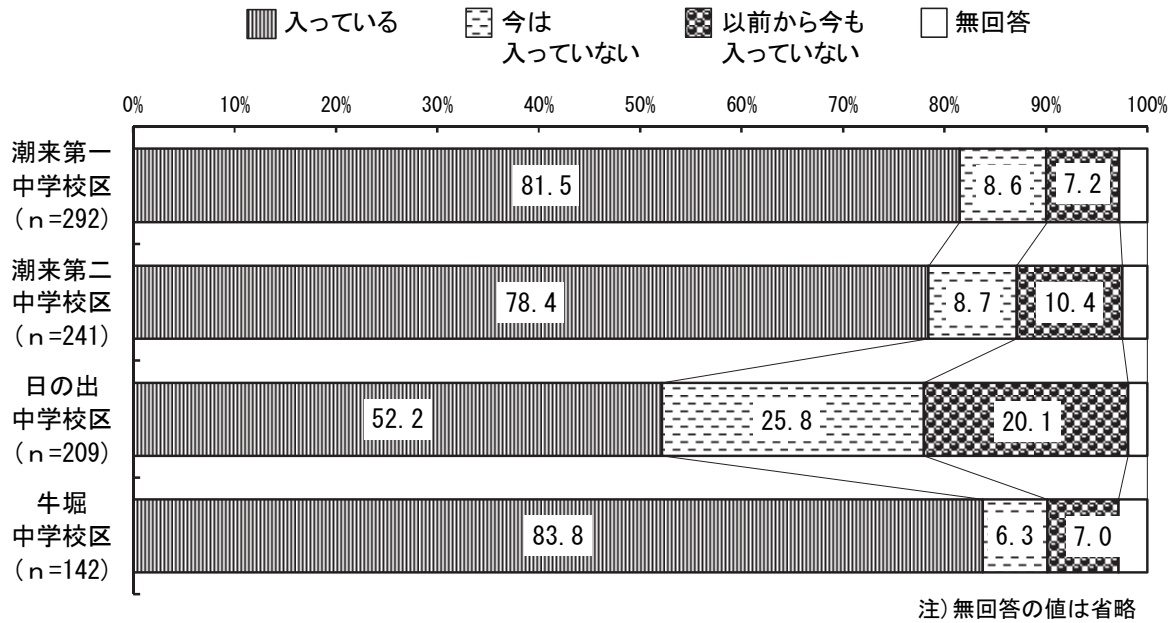
また、「加入方法がわからない」という回答も13.1%ある。

図 自治会に加入していない人の主な理由



【地区別】

自治会（区）への加入について地区別にみると、“日の出中学校区”以外は「入っている」が約8割を占める。その一方で、“日の出中学校区”は「今は入っていない」が25.8%、「以前から今も入っていない」が20.1%で高い。



1-1-7 自治会の加入率減少について

「課題であるが時代の流れで仕方ない」が51.9%で高い。また、「課題であり対策を強化すべき」との回答が25.2%。

地域のコミュニティ活動を担う自治会（区）の加入率が減少するなど停滞についての考えは、「課題であるが時代の流れで仕方ない」が51.9%で最も高い。

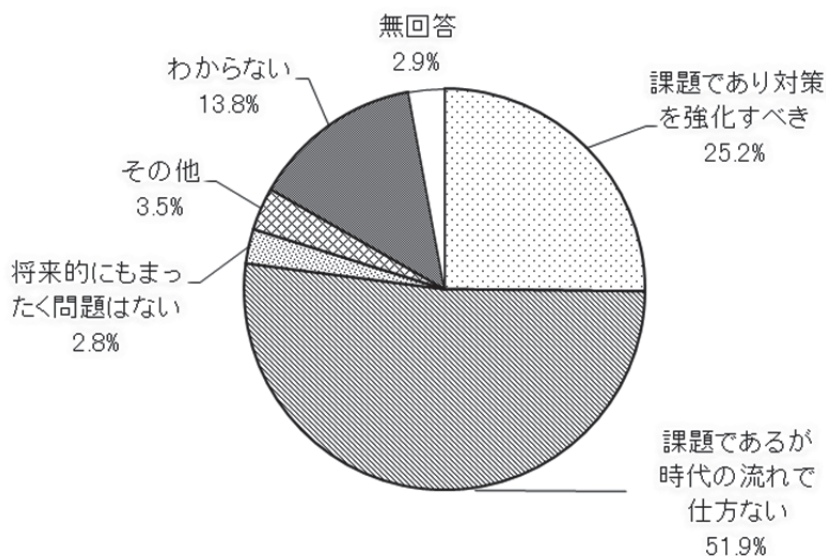
その一方で、「課題であり対策を強化すべき」が25.2%を占める。

図 自治会の加入率減少について

問 14 潮来市では、地域のコミュニティ活動を担う自治会（区）の加入率が減少するなど停滞が見られます。あなたはこのことについてどのように思いますか。

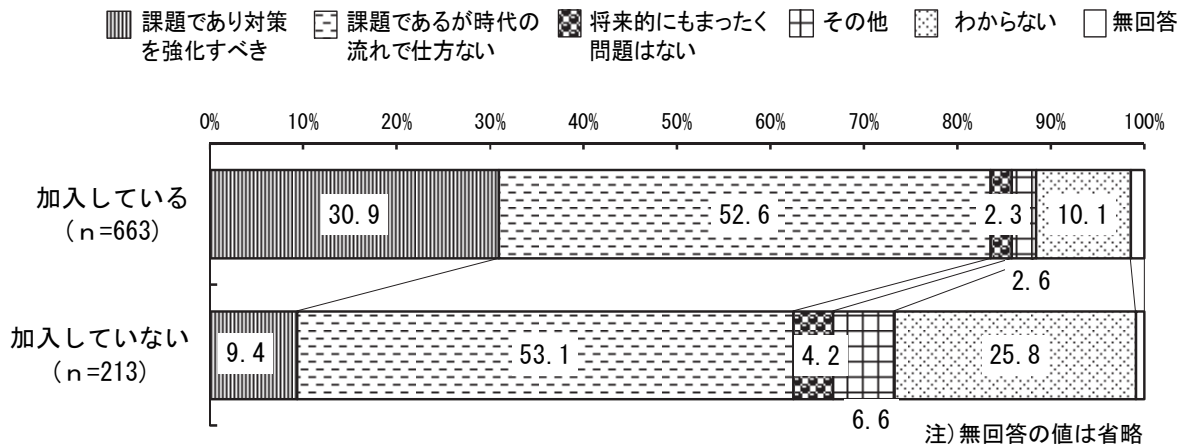
(1つに○)

回答者総数：898人



【自治会加入者別】

地域のコミュニティ活動を担う自治会（区）の加入率が減少するなど停滞について、自治体加入者別に見たところ、「課題であり対策を強化すべき」は、“加入している”人が30.9%に対して、“加入していない”人は9.4%で大きな違いが見られる。



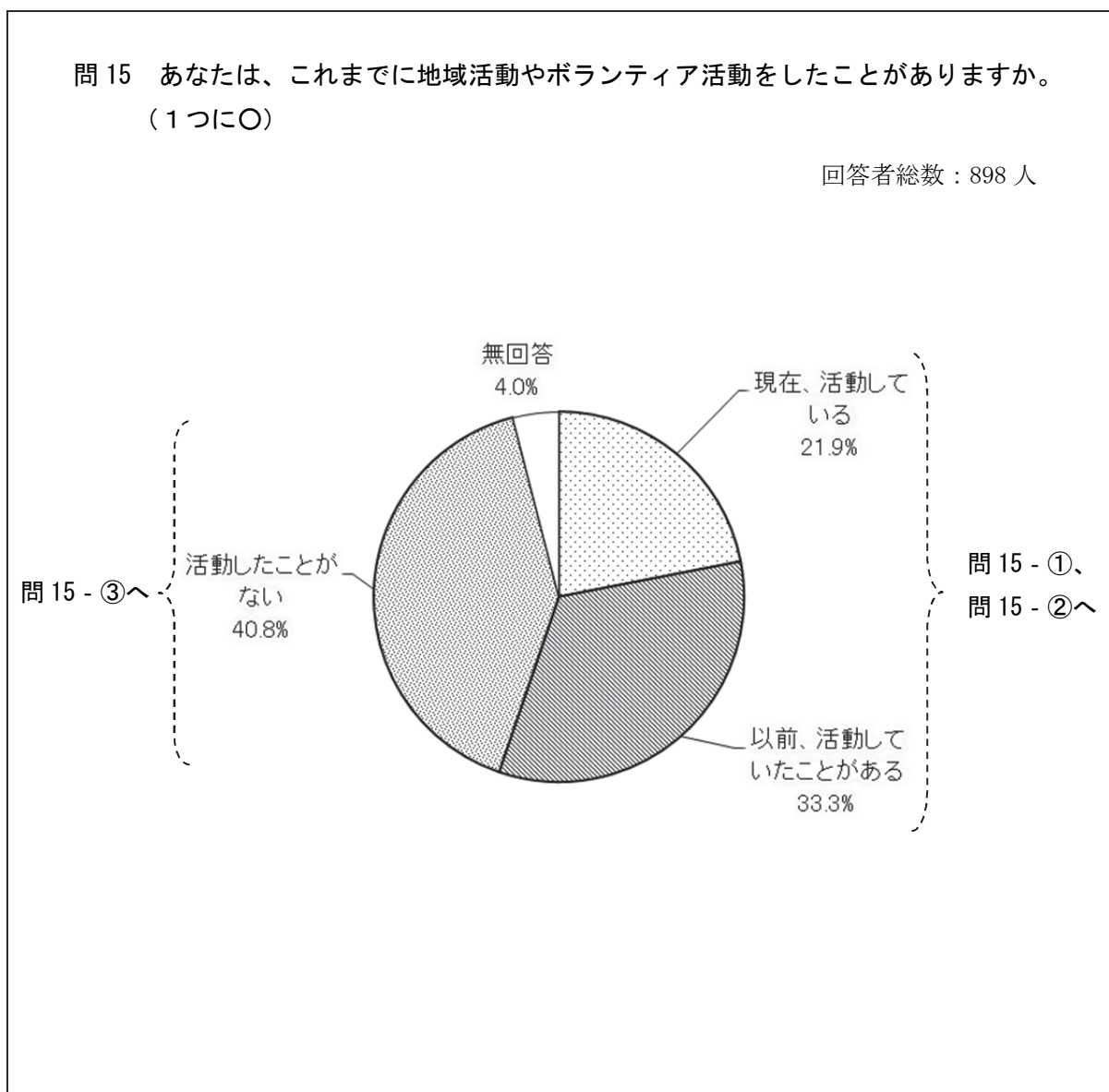
第2節 地域活動やボランティア活動について

1-2-1 地域活動やボランティア活動への参加

「活動したことがない」が40.8%で最も高い。

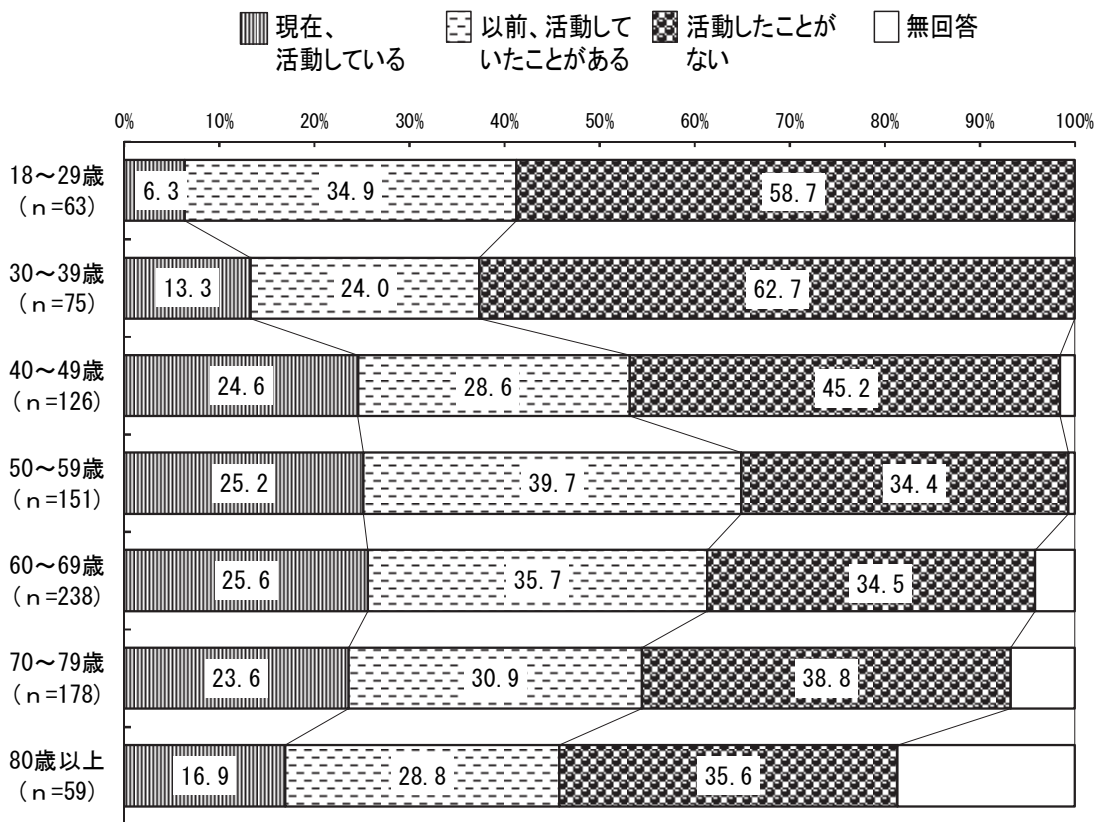
これまでに地域活動やボランティア活動をしたことがあるかは、「活動したことがない」が40.8%で最も高い。また、「現在、活動している」が21.9%、「以前、活動していたことがある」が33.3%である。

図 地域活動やボランティア活動への参加



【年齢別】

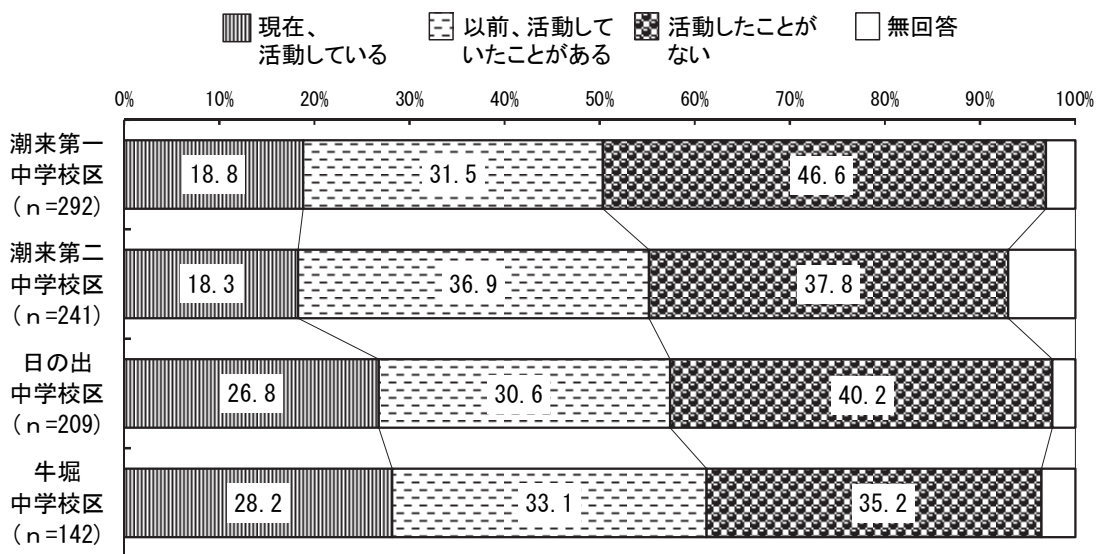
これまでに地域活動やボランティア活動をしたことがあるかを年齢別にみると、“30～39歳”は「活動したことがない」が62.7%で特に高い。



注)無回答の値は省略

【地区別】

地区別にみると、「現在、活動している」は、“日の出中学校区”や“牛堀中学校区”がやや高い。その一方で、「活動したことがない」は、“潮来第一中学校区”が46.6%で高い。

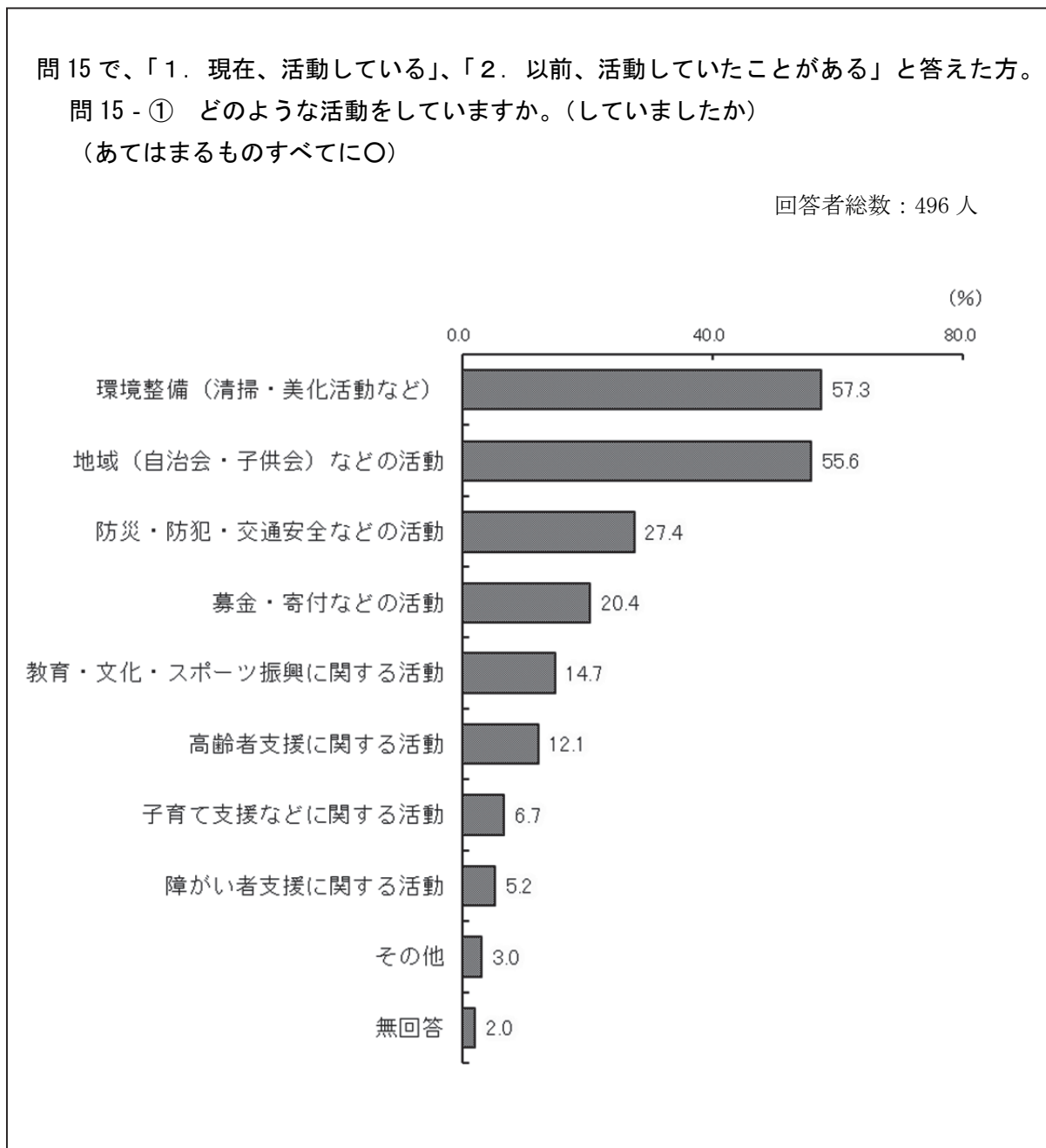


注)無回答の値は省略

◆参加している活動

現在、参加している、又は、以前、活動していたことがあると回答した人に、どのような活動をしているか(していたか)たずねたところ、「環境整備(清掃・美化活動など)」が57.3%で高く、次に「地域(自治会・子供会)などの活動」が55.6%で続く。

図 参加しているボランティア活動

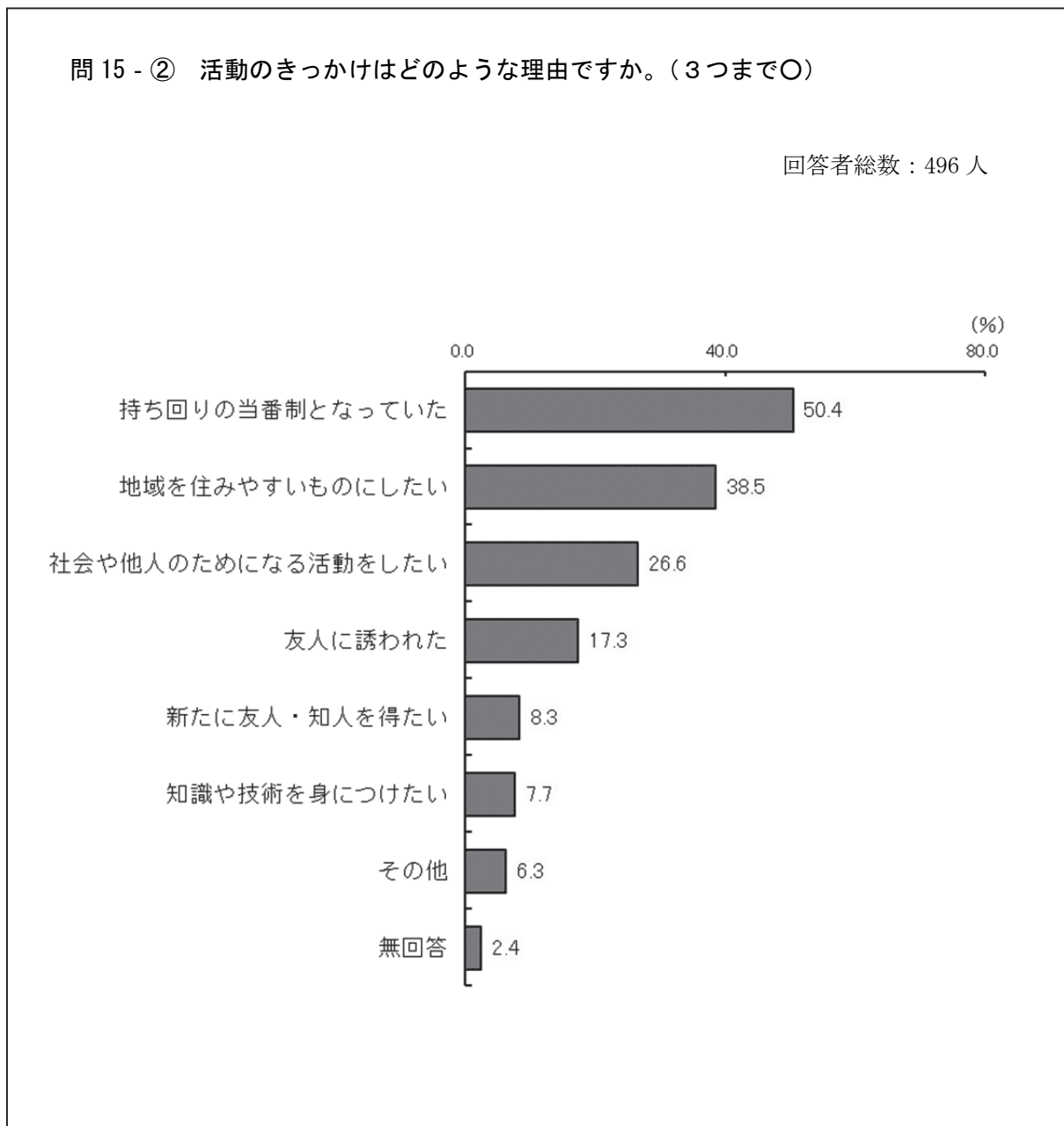


◆活動のきっかけ

現在、参加している、又は、以前、活動していたことがあると回答した人に、活動のきっかけをたずねたところ、「持ち回りの当番制となっていた」が50.4%で最も高い。

次に「地域を住みやすいものにしたい」が38.5%、「社会や他人のためになる活動をしたい」が26.6%で続く。

図 活動のきっかけ

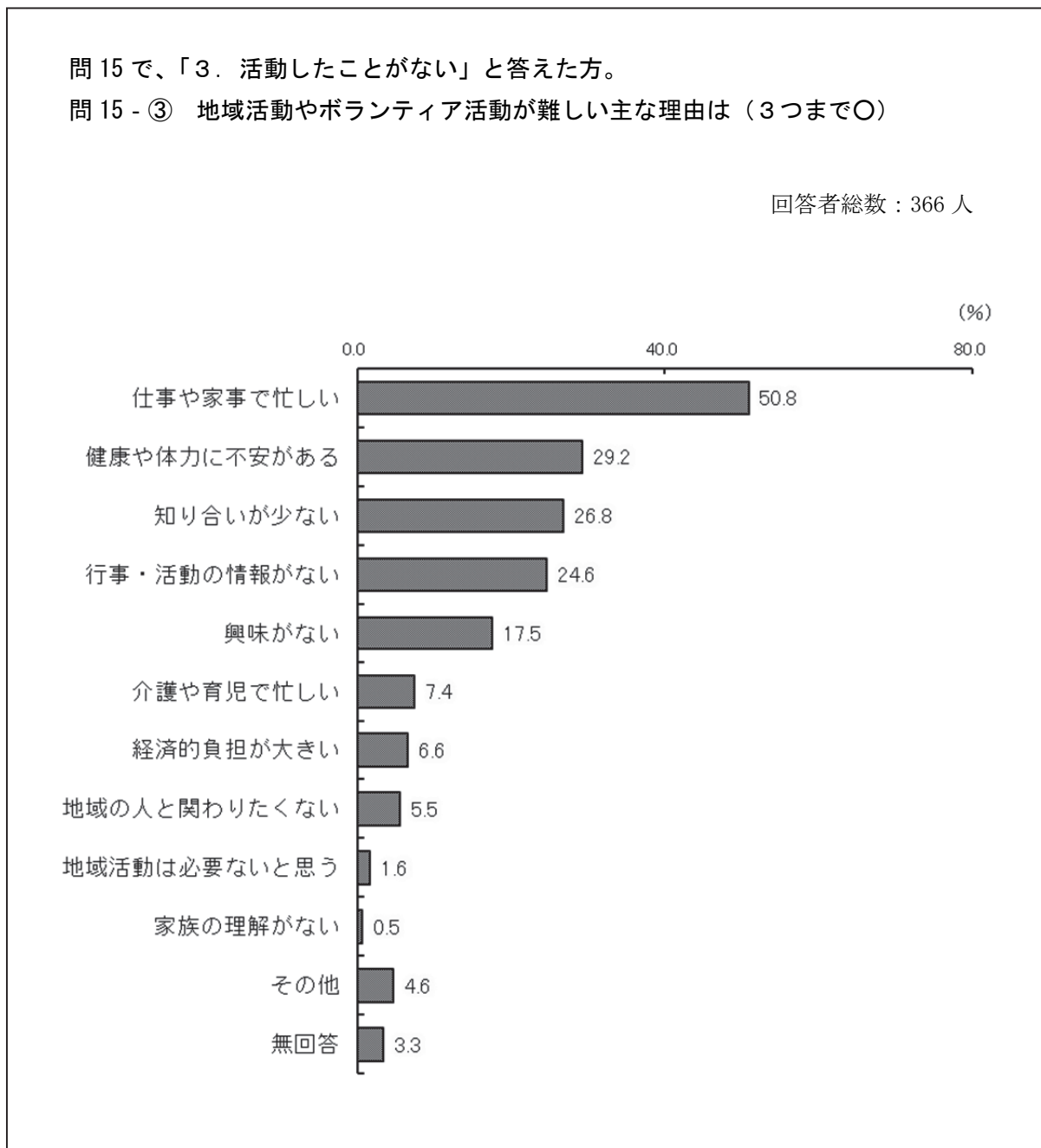


◆活動が難しい理由

活動をしたことがないと回答した人に、地域活動やボランティア活動が難しい主な理由をたずねたところ、「仕事や家事で忙しい」が50.8%で最も高い。

次に「健康や体力に不安がある」が29.2%、「知り合いが少ない」が26.8%で続く。

図 地域活動やボランティア活動が難しい理由



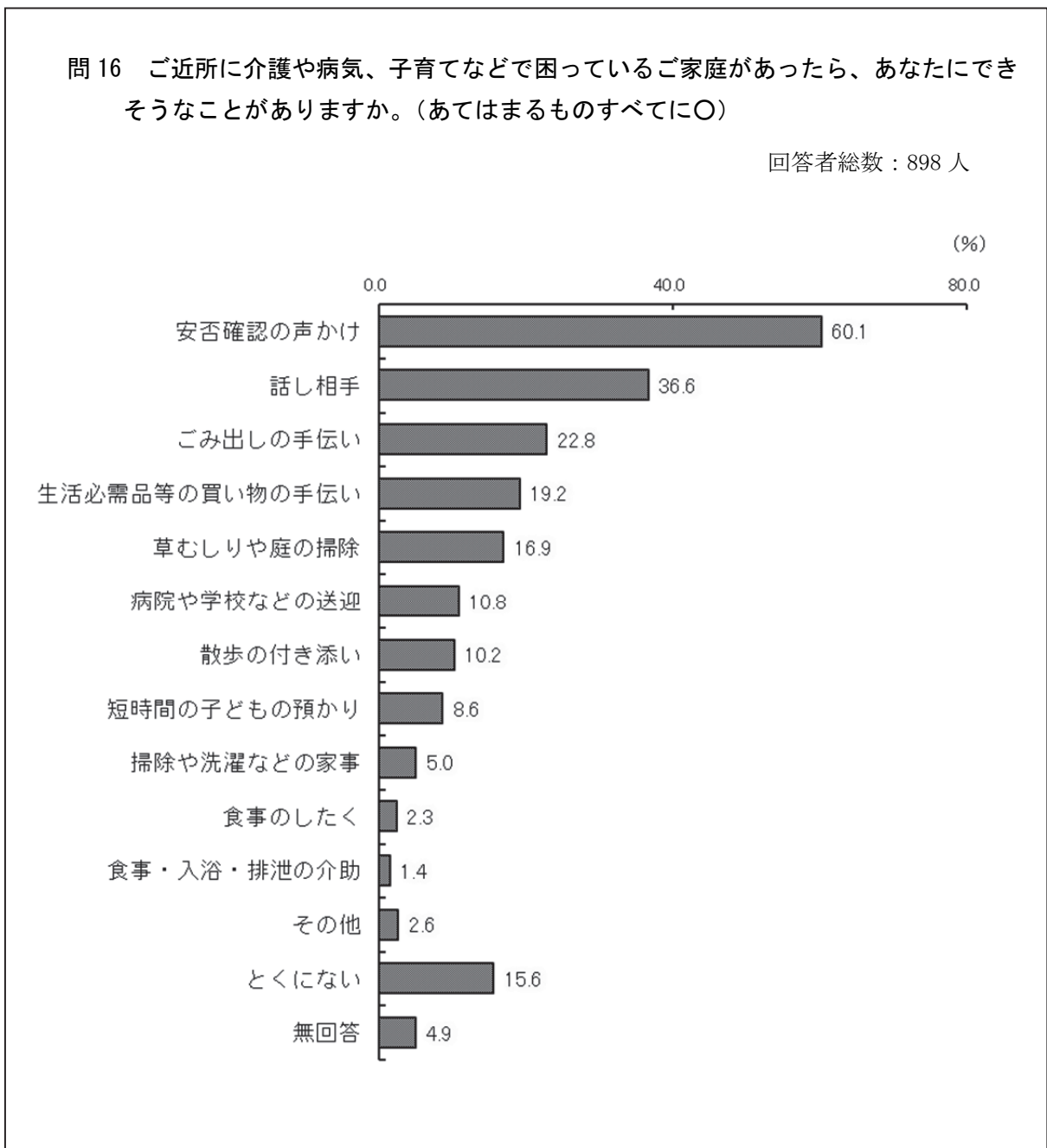
1-2-2 自分ができそうな手助け

「安否確認の声かけ」が高く、次に「話し相手」や「ごみ出しの手伝い」が続く。

ご近所に介護や病気、子育てなどで困っているご家庭があった場合、できそうなことについてたずねた。

その結果、「安否確認の声かけ」が60.1%で最も高く、次に「話し相手」が36.6%、「ごみ出しの手伝い」が22.8%が続く。

図 自分ができそうな手助け

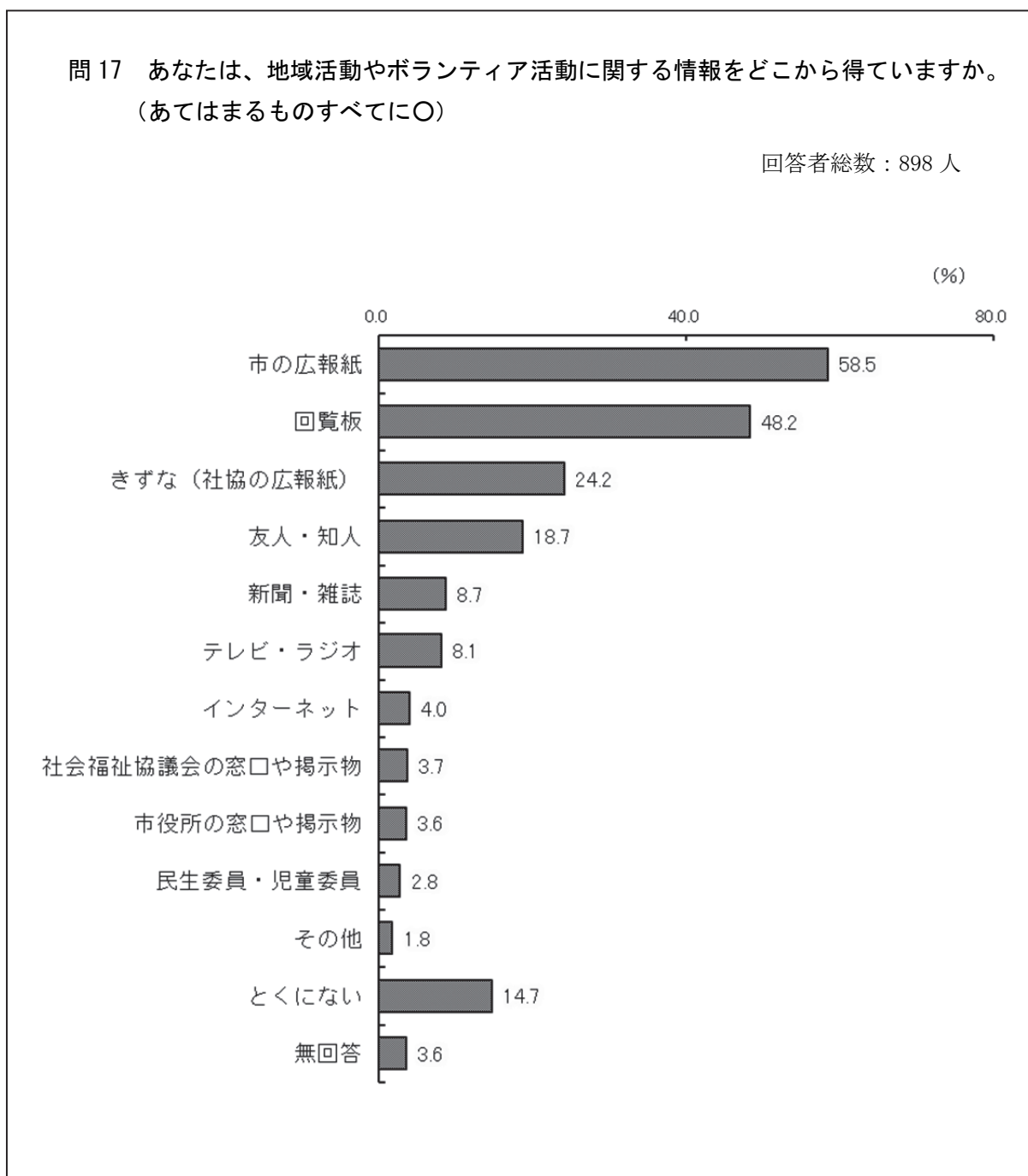


1-2-3 地域活動やボランティア活動の情報の入手先

「市の広報紙」が約6割で高く、次に「回覧板」や「きずな（社協の広報紙）」が続く。

地域活動やボランティア活動に関する情報をどこから得ているかについては、「市の広報紙」が58.5%で最も高く、次に「回覧板」が48.2%、「きずな（社協の広報紙）」が24.2%で続く。

図 地域活動やボランティア活動の情報の入手先



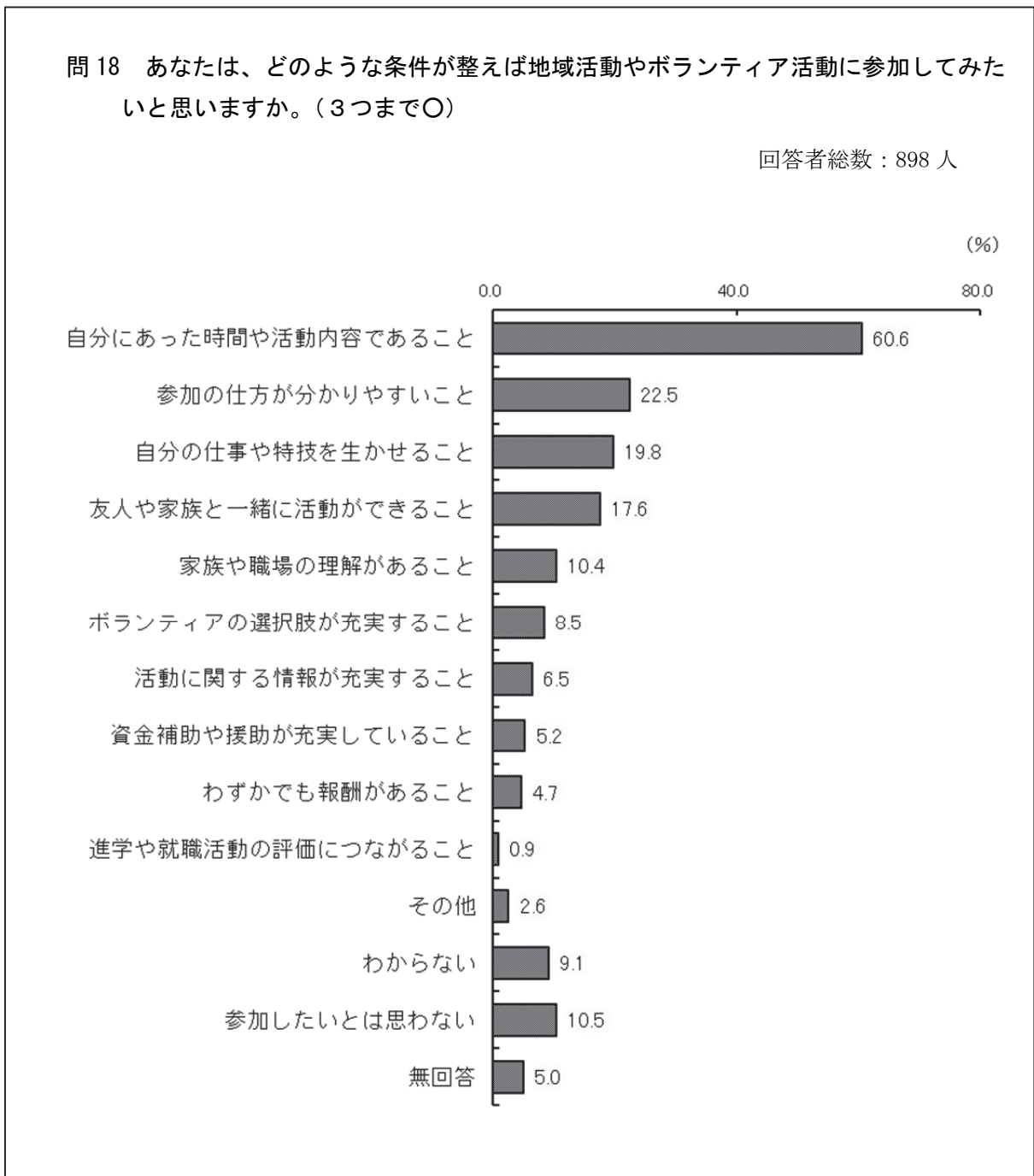
1-2-4 地域活動やボランティア活動への参加条件

「自分にあった時間や活動内容であること」が6割で高い。

どのような条件が整えば地域活動やボランティア活動に参加してみたいと思うかたずねたところ、「自分にあった時間や活動内容であること」が60.6%で最も高い。

次に「参加の仕方が分かりやすいこと」が22.5%、「自分の仕事や特技を生かせること」が19.8%で続く。

図 地域活動やボランティア活動への参加条件



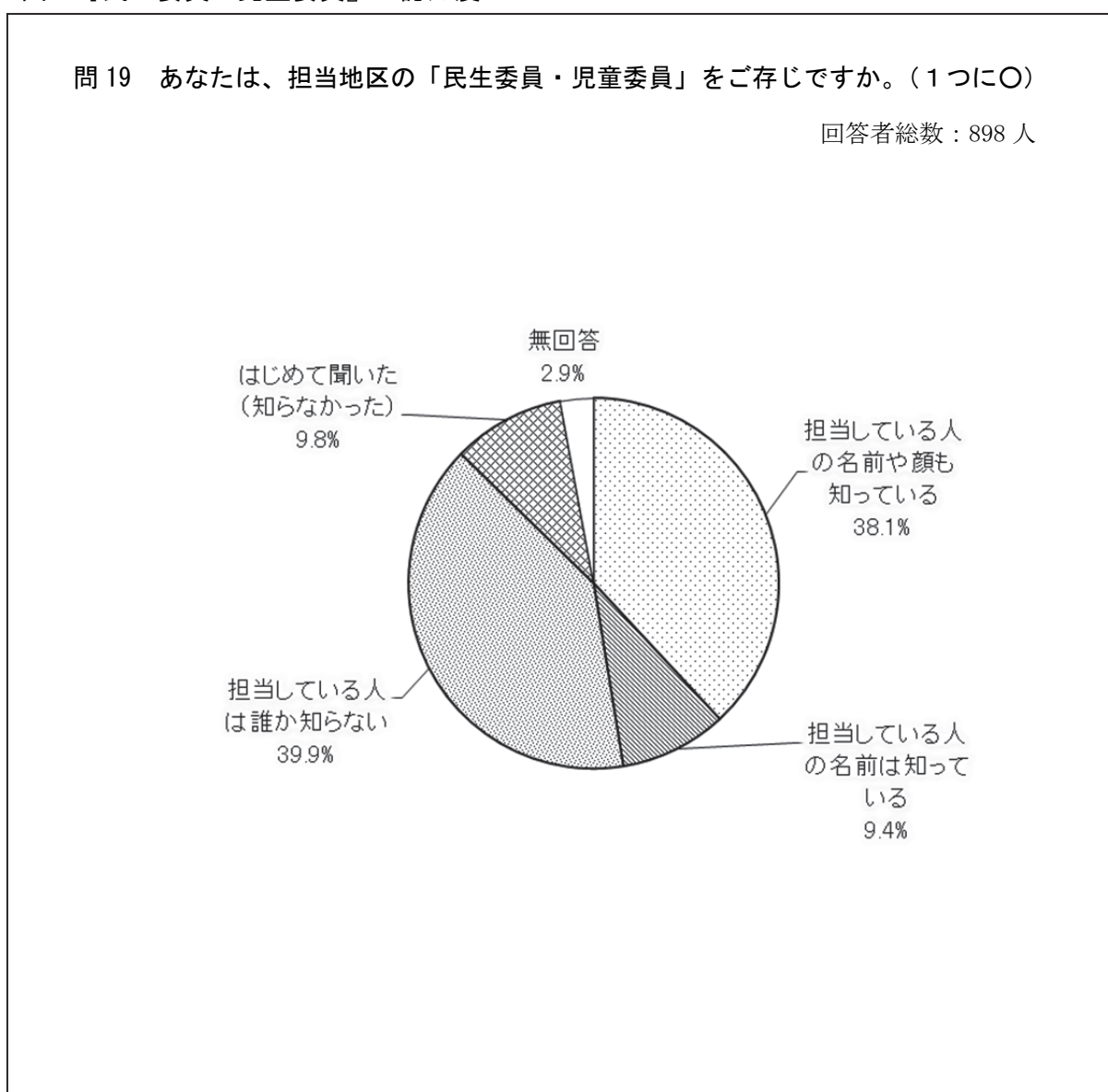
第3節 地域福祉活動の推進について

1-3-1 『民生委員・児童委員』の認知度

「担当している人は誰か知らない」が4割で高い。

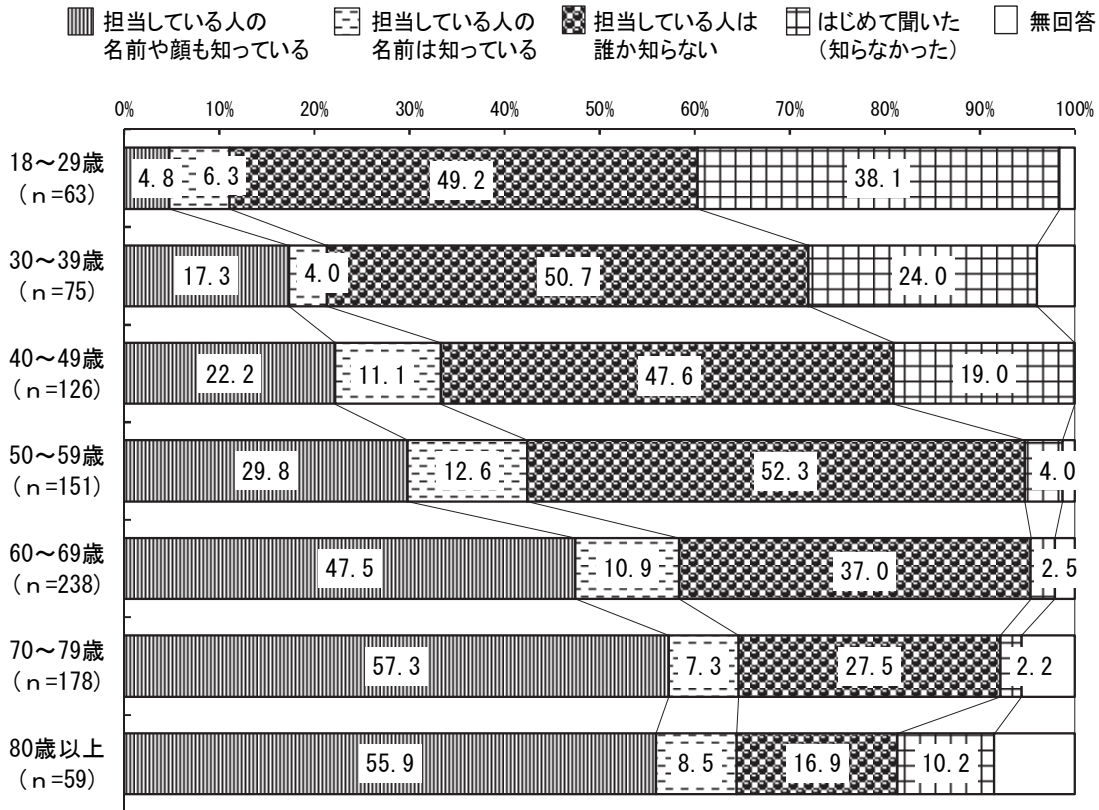
担当地区の『民生委員・児童委員』を知っているかは、「担当している人は誰か知らない」が39.9%で高い。また、「担当している人の名前や顔も知っている」が38.1%、「担当している人の名前は知っている」が9.4%である。

図 『民生委員・児童委員』の認知度



【年齢別】

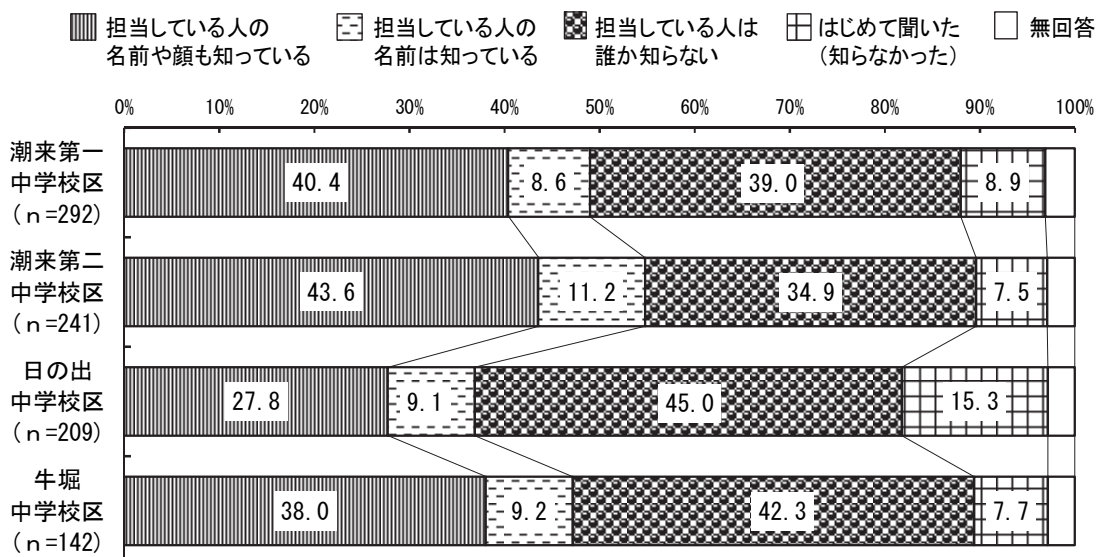
『民生委員・児童委員』の認知度を年齢別にみると、年齢層によって傾向が大きく異なる。「担当している人の名前や顔も知っている」は、“40～49歳”以下では1～2割程度だが、“70～79歳”は57.3%、“80歳以上”も55.9%を占める。



注)無回答の値は省略

【地区別】

地区別にみると、“日の出中学校区”は民生委員の認知度が、他の地区と比べて低い。



注)無回答の値は省略

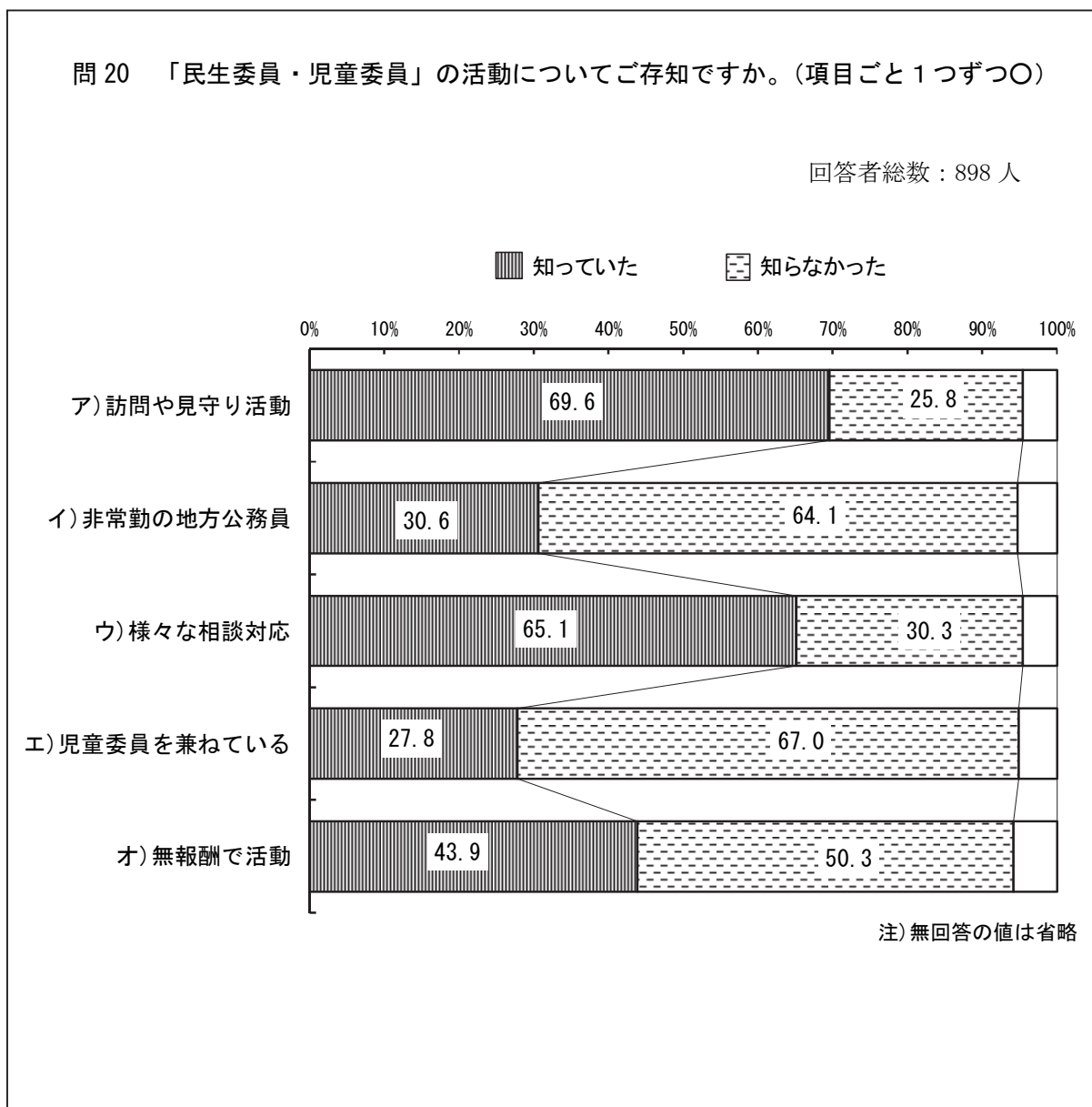
1-3-2 『民生委員・児童委員』活動への理解

『訪問や見守り活動』を行っているという理解は、約7割。

『民生委員・児童委員』活動の内容を知っているかたずねたところ、「知っていた」との回答は『ア) 訪問や見守り活動』は69.6%、『ウ) 様々な相談対応』は65.1%で比較的高い。

その一方で、『イ) 非常勤の地方公務員』のことを「知っていた」は30.6%、『エ) 児童委員を兼ねている』ことは27.8%で低い。

図 『民生委員・児童委員』活動への理解

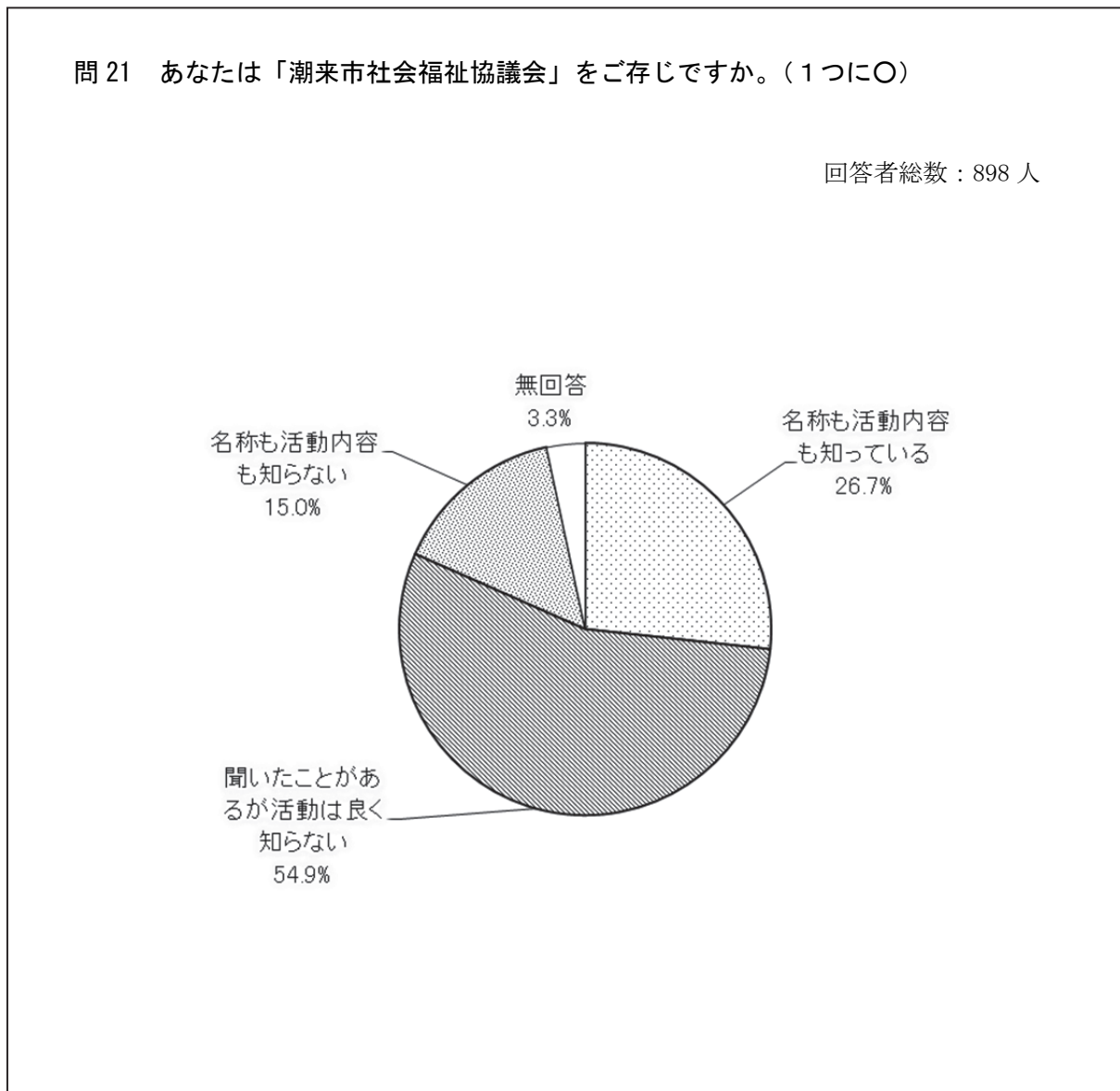


1-3-3 『社会福祉協議会』の認知度

『潮来市社会福祉協議会』を「聞いたことがあるが活動は良く知らない」が54.9%。

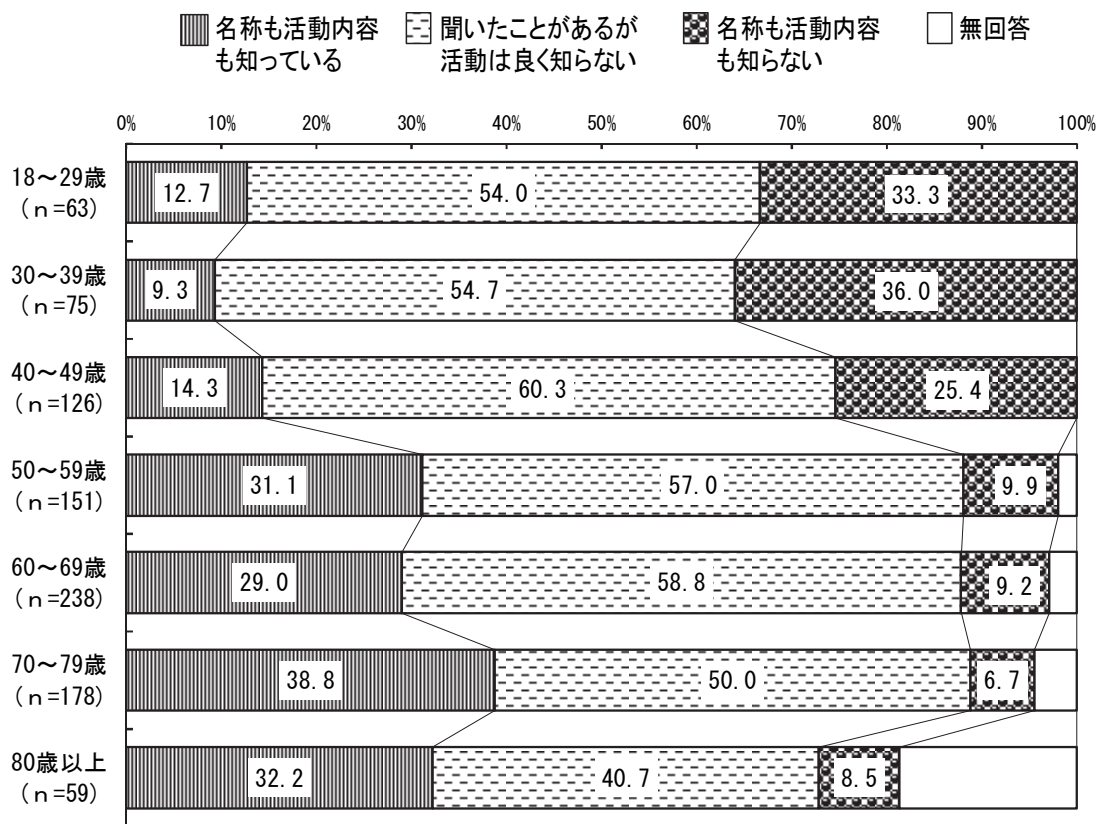
『潮来市社会福祉協議会』の認知度については、「聞いたことがあるが活動は良く知らない」が54.9%で最も高い。また、「名称も活動内容も知っている」との回答は26.7%である。その一方で、「名前も活動内容も知らない」との回答が15.0%を占める。

図 『社会福祉協議会』の認知度



【年齢別】（社協の認知度）

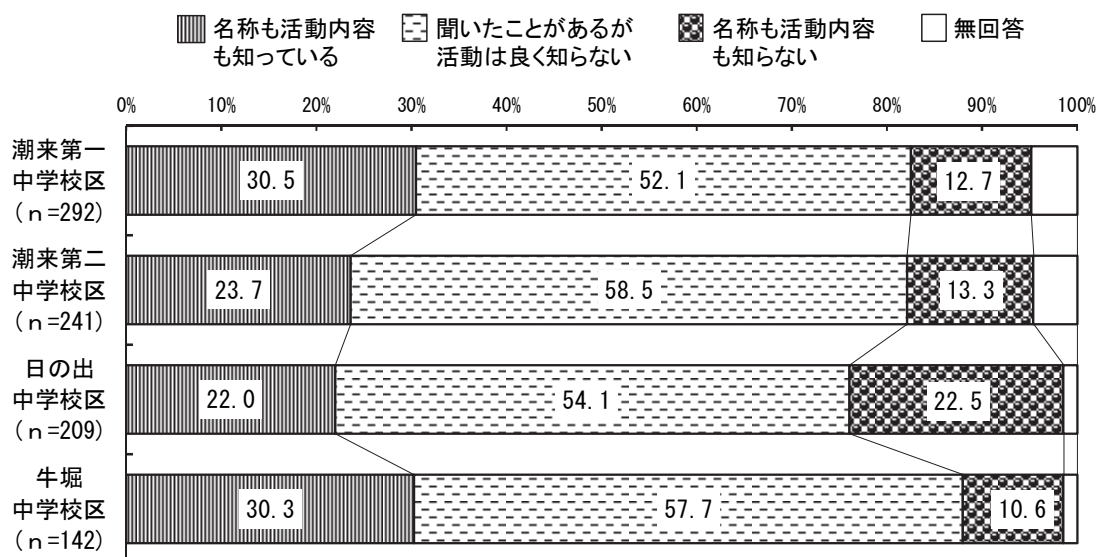
『潮来市社会福祉協議会』の認知度を年齢別にみると、“40～49歳”以下では、認知度が低い。なお、“70～79歳”は「名称も活動内容も知っている」が38.8%で比較的高い。



注)無回答の値は省略

【地区別】（社協の認知度）

地区別にみると「聞いたことがあるが活動は良く知らない」を含めると“牛堀中学校区”の認知度がやや高い。



注)無回答の値は省略

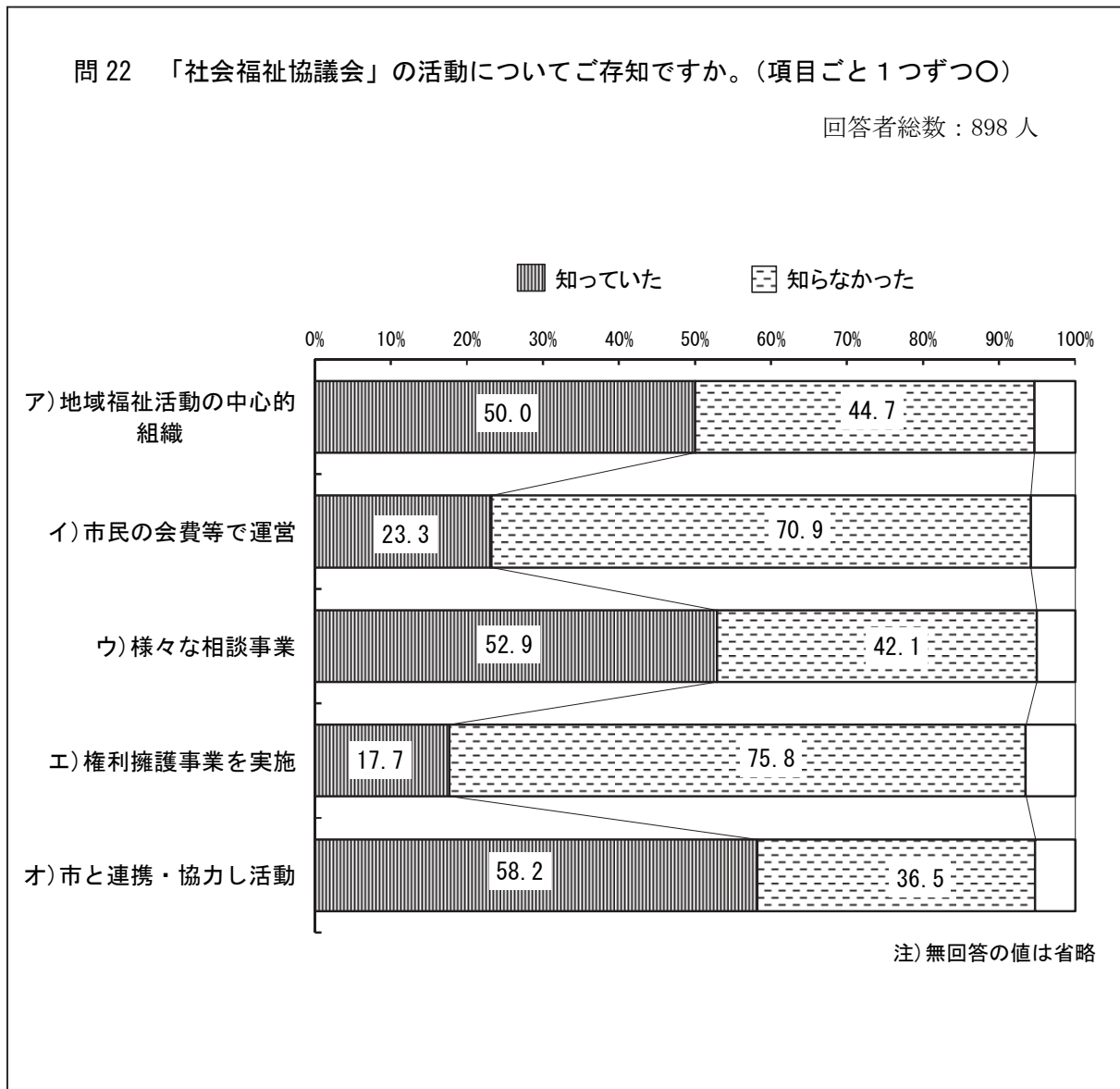
1-3-4 『社会福祉協議会』活動への理解

『オ)市と連携・協力し活動』が約6割。また、『イ)市民の会費等で運営』を「知っていた」人は約2割。

『社会福祉協議会』活動の内容を知っているかたずねたところ、「知っていた」との回答は『ア)地域福祉活動の中心的組織』が50.0%、『ウ)様々な相談事業』が52.9%、『オ)市と連携・協力し活動』が58.2%である。

その一方で、『イ)市民の会費等で運営』を「知っていた」は23.3%、『エ)権利擁護事業を実施』は17.7%である。

図 『社会福祉協議会』活動への理解

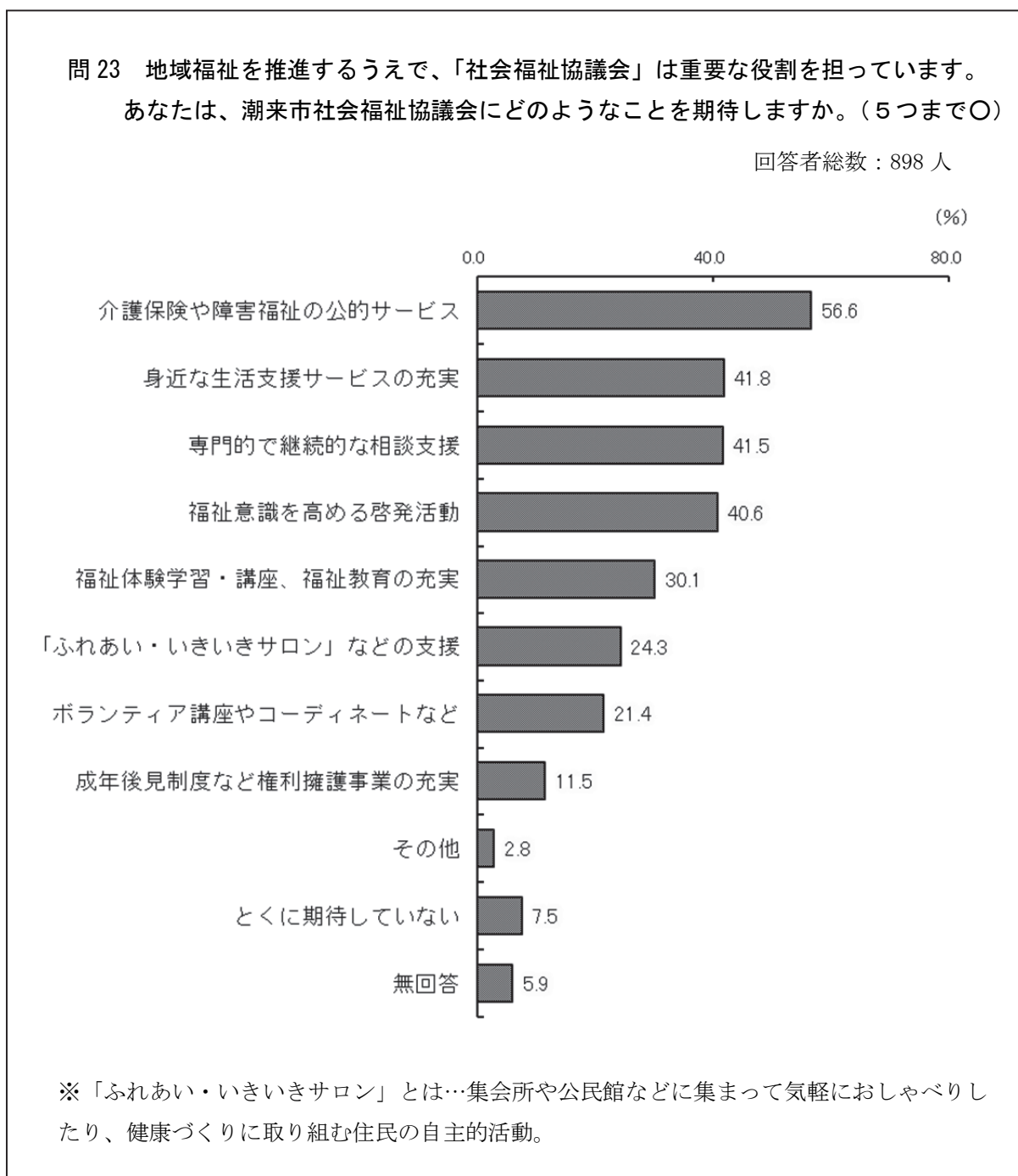


1-3-5 『社会福祉協議会』への期待

「介護保険や障害福祉の公的サービス」、次に「身近な生活支援サービスの充実」。

『潮来市社会福祉協議会』への期待をたずねたところ、「介護保険や障害福祉の公的サービス」が 56.6%で最も高い。次に「身近な生活支援サービスの充実」が 41.8%、「専門的で継続的な相談支援」が 41.5%、「福祉意識を高める啓発活動」が 40.6%で続く。

図 『社会福祉協議会』への期待



第4節 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

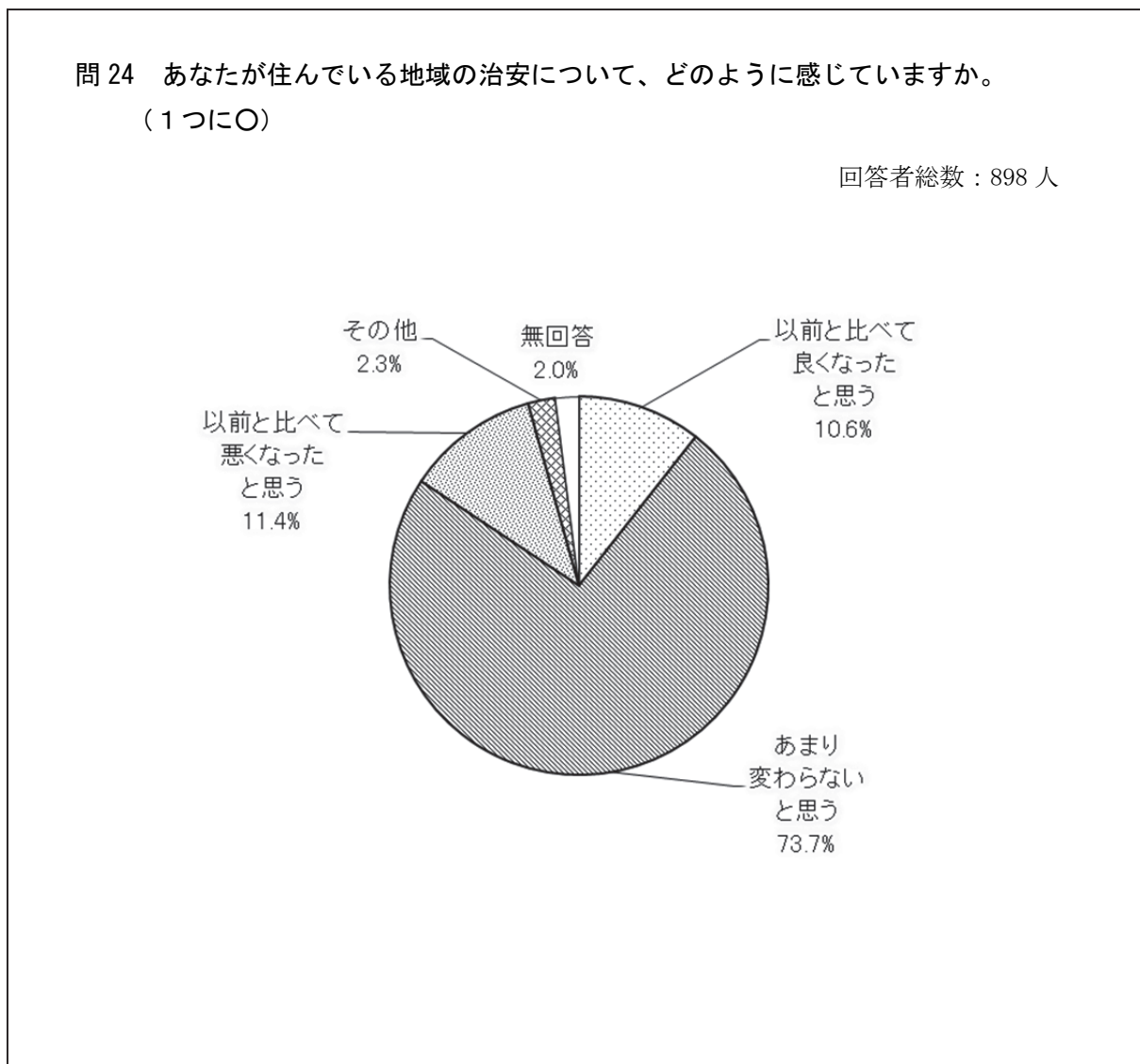
1-4-1 地域の治安

「あまり変わらないと思う」が約7割で最も高い。

住んでいる地域の治安については、「あまり変わらないと思う」が73.7%で高い。また、「以前と比べて良くなったと思う」が10.6%である。

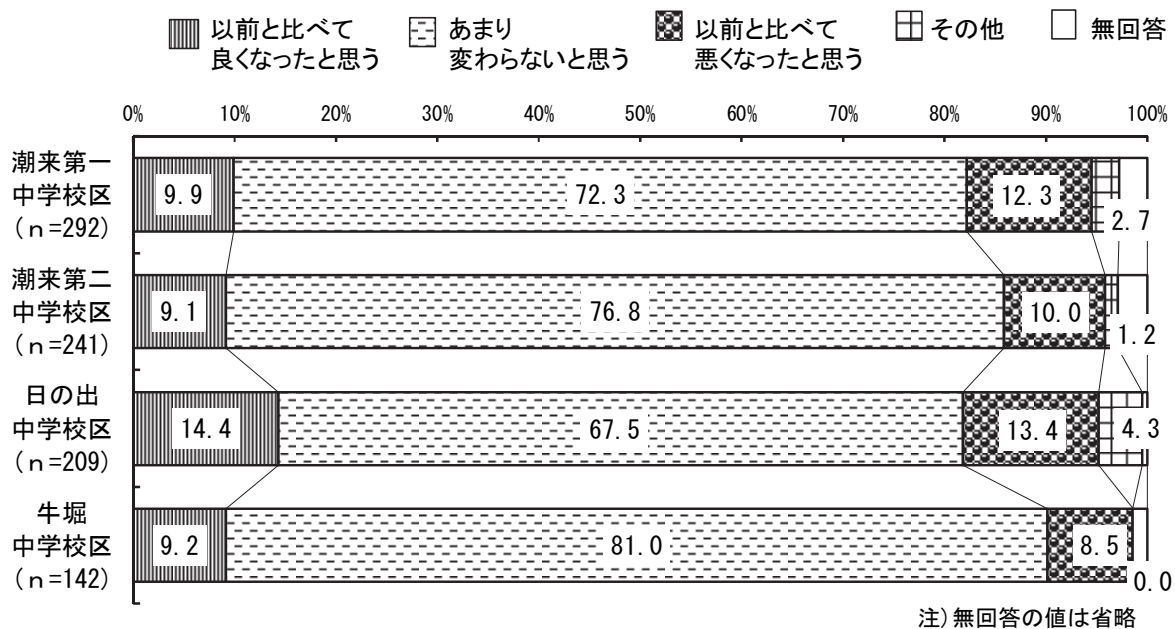
その一方で、「以前と比べて悪くなったと思う」が11.4%である。

図 地域の治安



【地区別】

住んでいる地域の治安について地区別にみると、“日の出中学校区”は「以前と比べて良くなったと思う」が14.4%で他地区よりも高い。



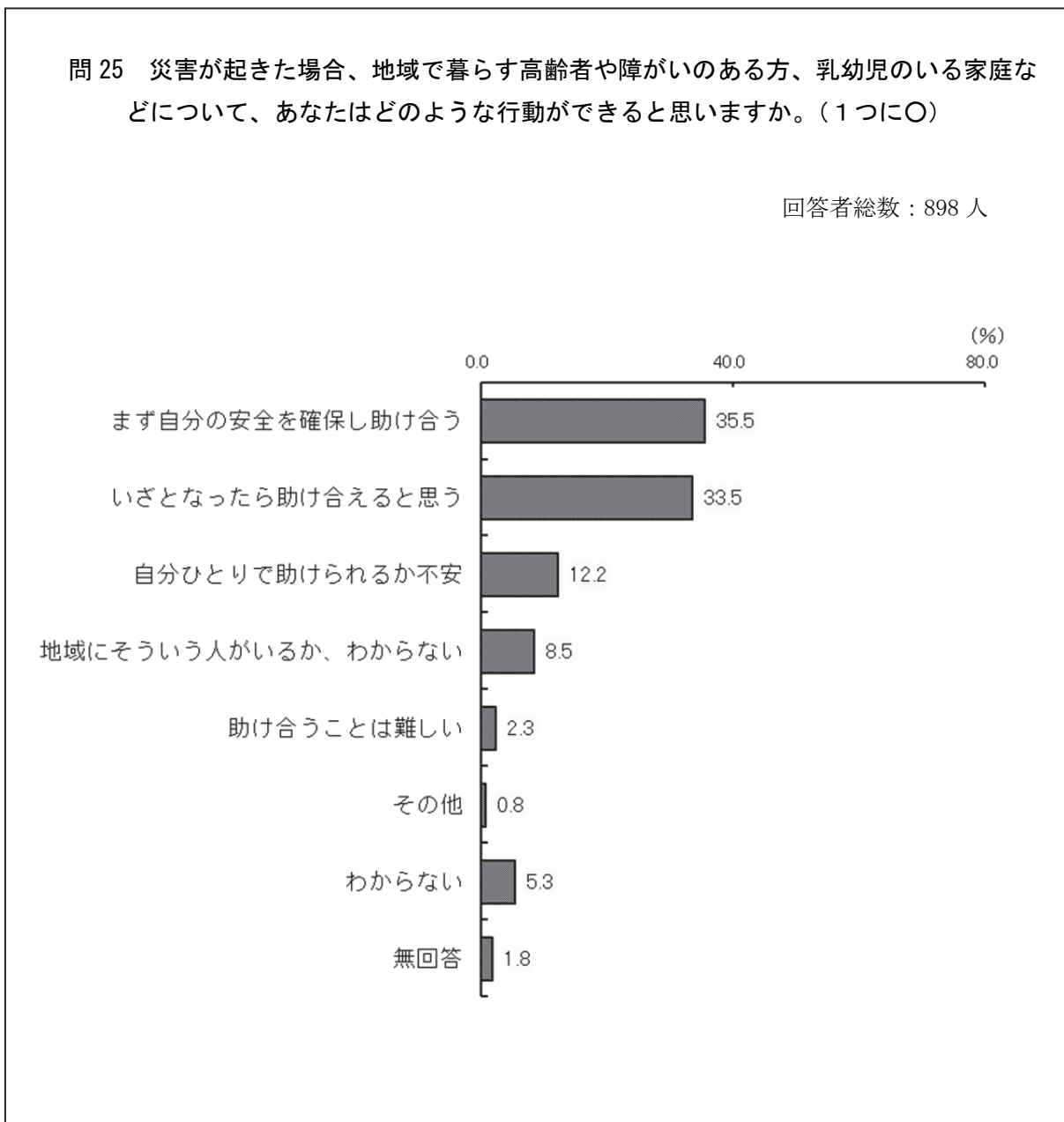
1-4-2 災害時の行動

「まず自分の安全を確保し助け合う」が高く、次に「いざとなったら助け合えると思う」。

災害が起きた場合、地域で暮らす高齢者や障がいのある方、乳幼児のいる家庭などについて、どのような行動ができるかたずねたところ、「まず自分の安全を確保し助け合う」が35.5%で高く、次に「いざとなったら助け合えると思う」が33.5%である。

また、「地域にそういう人がいるか、わからない」が8.5%である。

図 災害時の行動

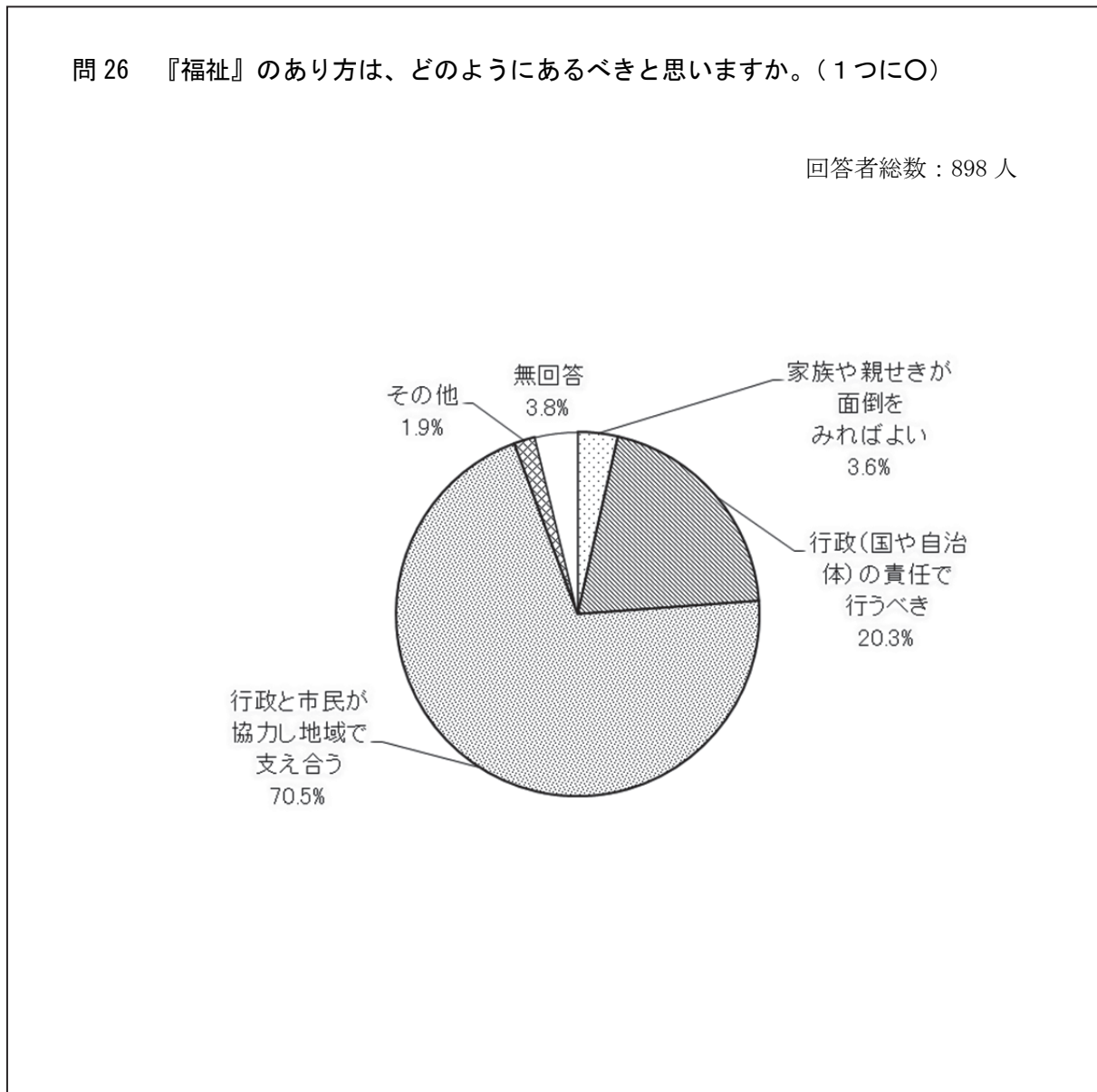


1-4-3 『福祉』の考え方

「行政と市民が協力し地域で支え合う」が7割で最も高い。

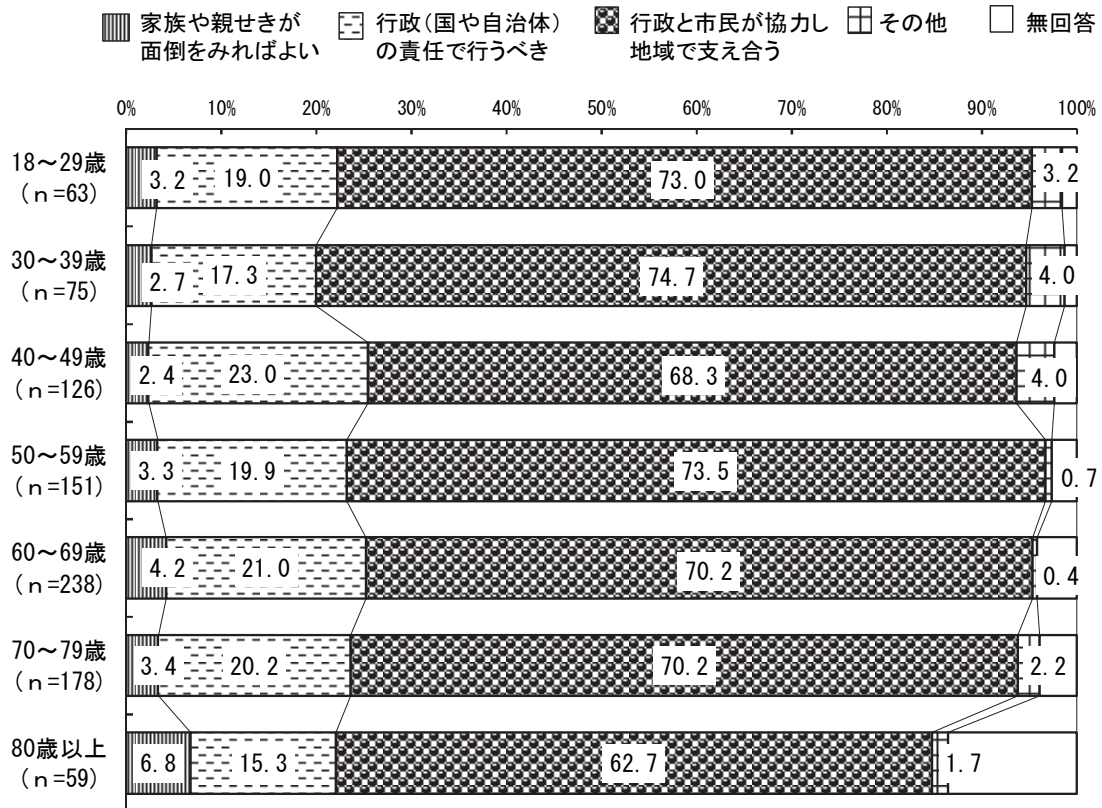
『福祉』についての考え方は、「行政と市民が協力し地域で支え合う」が70.5%で最も高い。また、「行政（国や自治体）の責任で行うべき」は20.3%である。

図 『福祉』の考え方



【年齢別】

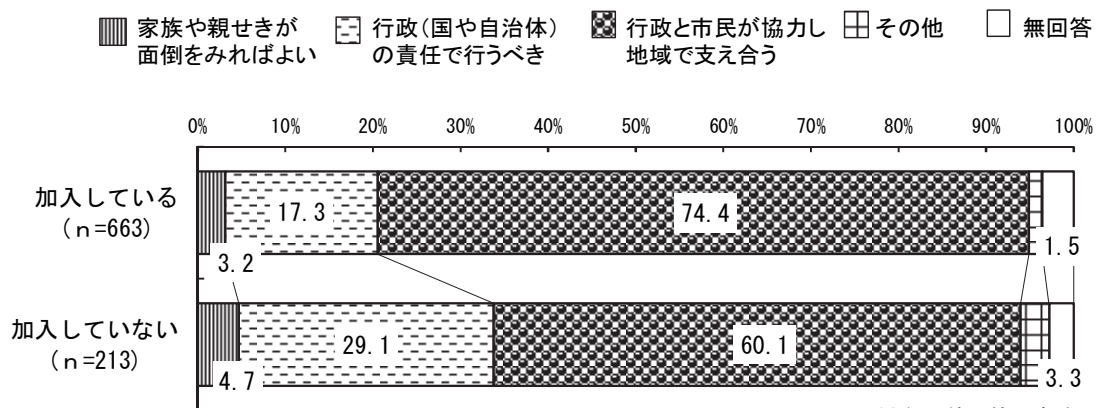
『福祉』についての考え方を年齢別にみると、年齢によって大きな違いは見られない。



注) 無回答の値は省略

【自治会加入者別】

『福祉』についての考え方を自治会加入者別にみると、「行政と市民が協力し地域で支え合う」は、「加入している」人は74.4%で高い。その一方で、「行政（国や自治体）の責任で行うべき」は、「加入していない」人が29.1%で高い。



注) 無回答の値は省略

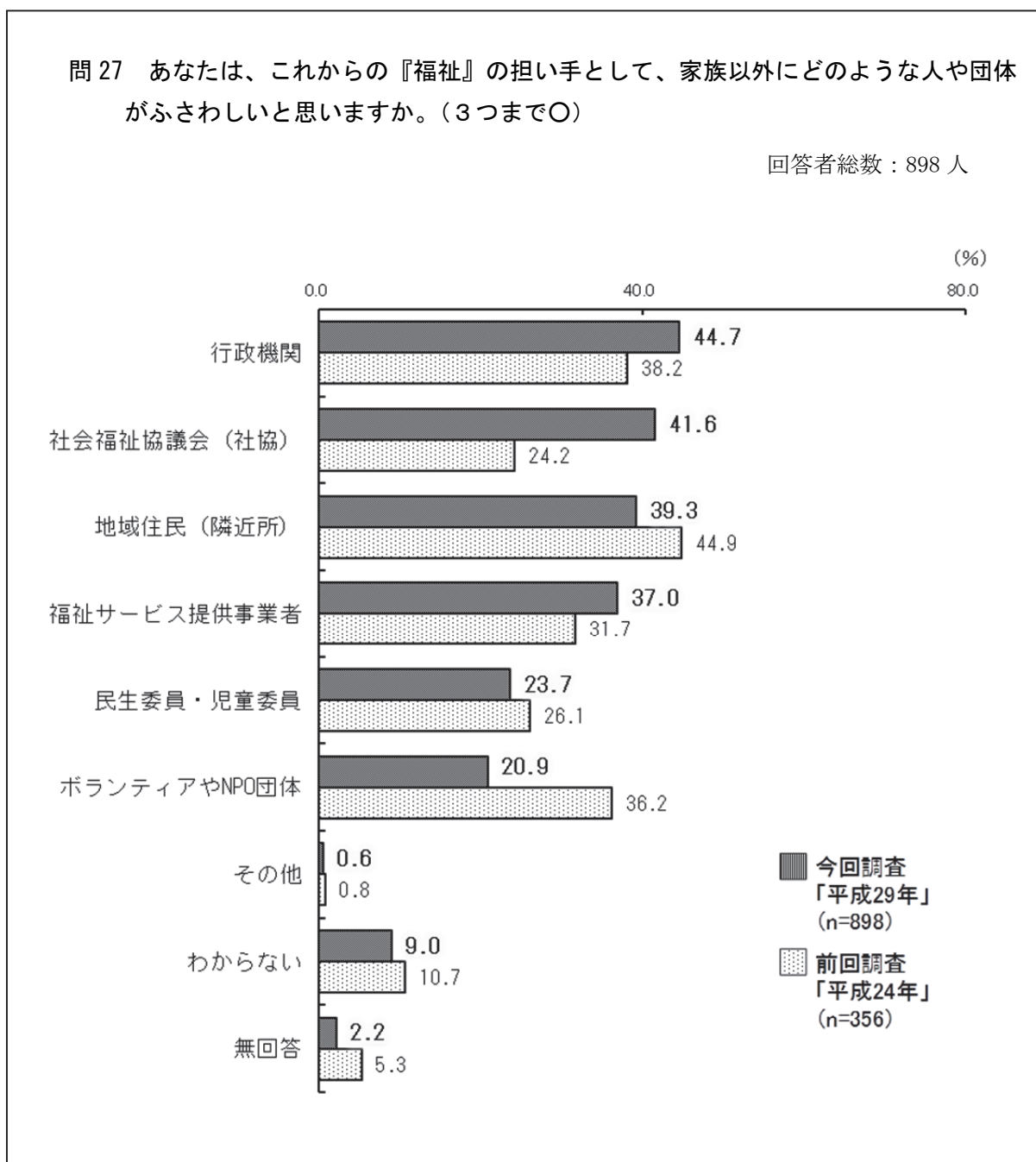
1-4-4 『福祉』の担い手

「行政機関」が最も高く、次に「社会福祉協議会（社協）」、「地域住民（隣近所）」。

これからの『福祉』の担い手として、家族以外にどのような人や団体がふさわしいと思うかは、「行政機関」が44.7%で最も高い。次に「社会福祉協議会（社協）」が41.6%、「地域住民（隣近所）」が39.3%で続く。

なお、前回調査と比べると、特に「社会福祉協議会（社協）」が17.4ポイント増加した。

図 『福祉』の担い手

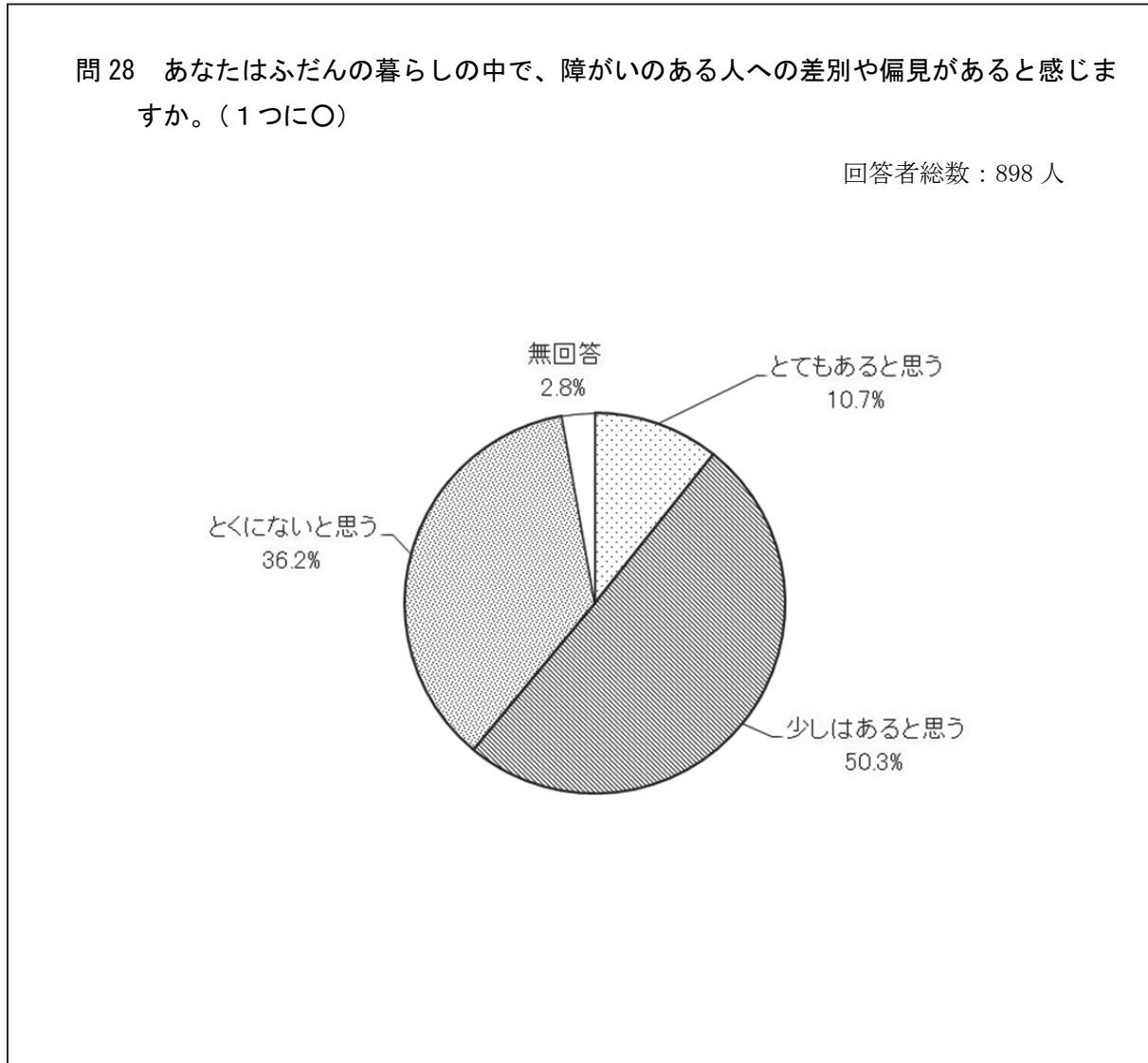


1-4-5 障がいのある人への差別や偏見

差別や偏見が「とてもあると思う」と「少しはあると思う」を合わせると6割。

障がいのある人への差別や偏見については、「少しはあると思う」が50.3%で最も高く、「とてもあると思う」の10.7%を合わせると、“差別や偏見があると思う”が61.0%を占める。

図 障がいのある人への差別や偏見



1-4-6 障害者差別解消法の周知度

「知らなかった」が45.9%を占める。

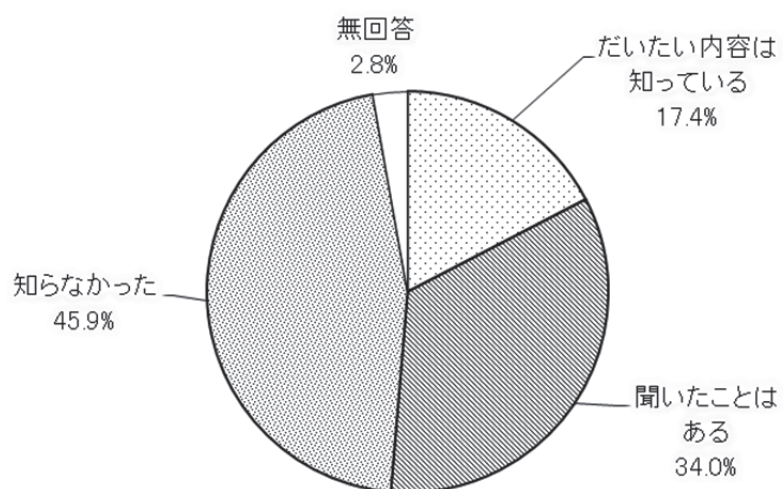
障害者差別解消法について知っているかたずねたところ、「だいたい内容は知っている」が17.4%である。また、「聞いたことはある」が34.0%である。

その一方で、「知らなかった」が45.9%を占める。

図 障害者差別解消法の周知度

問 29 障害者差別解消法は、障がいのある人への「不当な差別的取扱い」を禁止し、障がいのある人が困らないように役所や会社・お店などに「合理的配慮の提供」を求めています。あなたは、この法律を知っていますか。(1つに○)

回答者総数：898人



◆障害者手帳所持者との比較

今回の調査結果を、「障がい福祉に関するアンケート結果報告書（平成29年）」の障害者手帳所持者と比較した。

その結果、障がいのある人への差別や偏見は、「とてもあると思う」と「少しはあると思う」を合わせた“あると思う”が一般市民は61.0%に対して、障害者手帳所持者は33.1%で大きな違いが見られる。

また、障害者差別解消法の周知度については、「だいたい内容は知っている」と「聞いたことはある」とを合わせると51.4%に対して、障害者手帳所持者は38.4%であった。

図 障がいのある人への差別や偏見

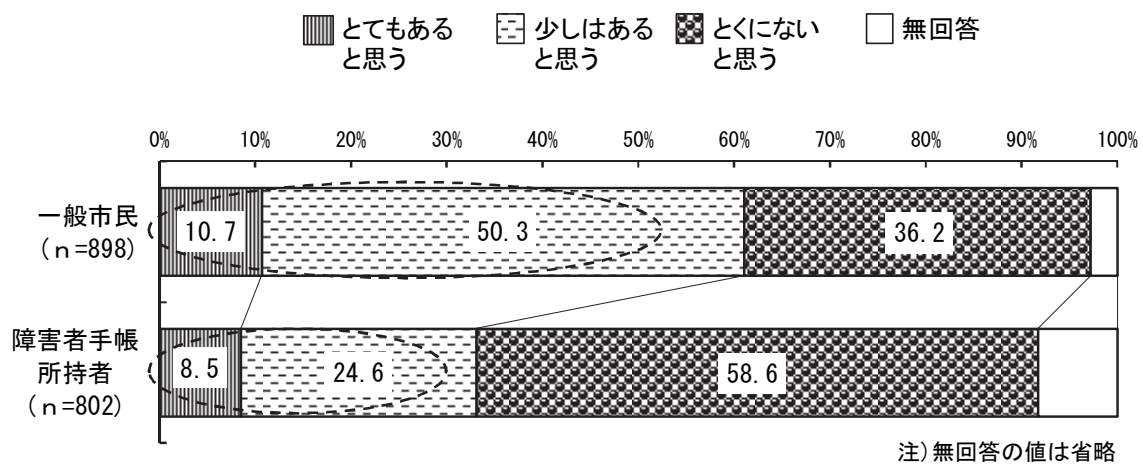
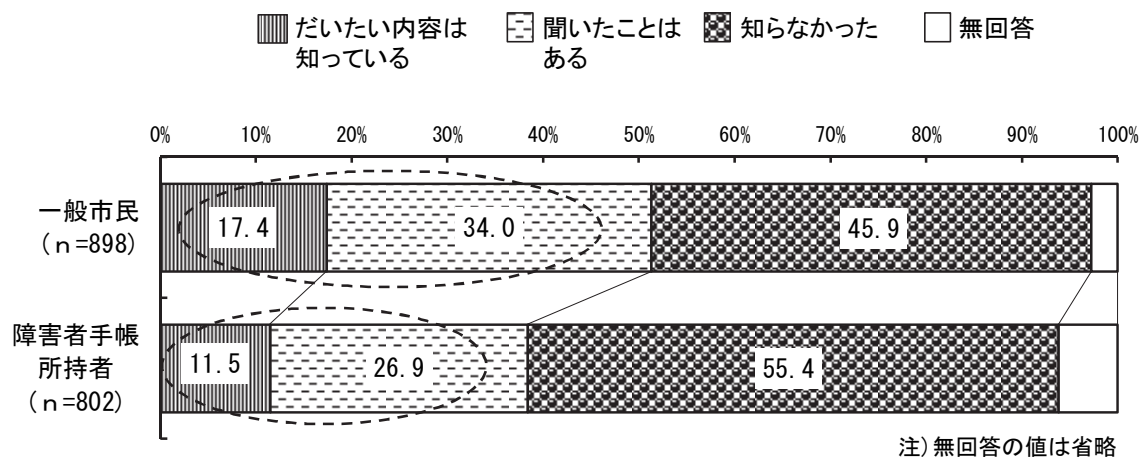


図 障害者差別解消法の周知度



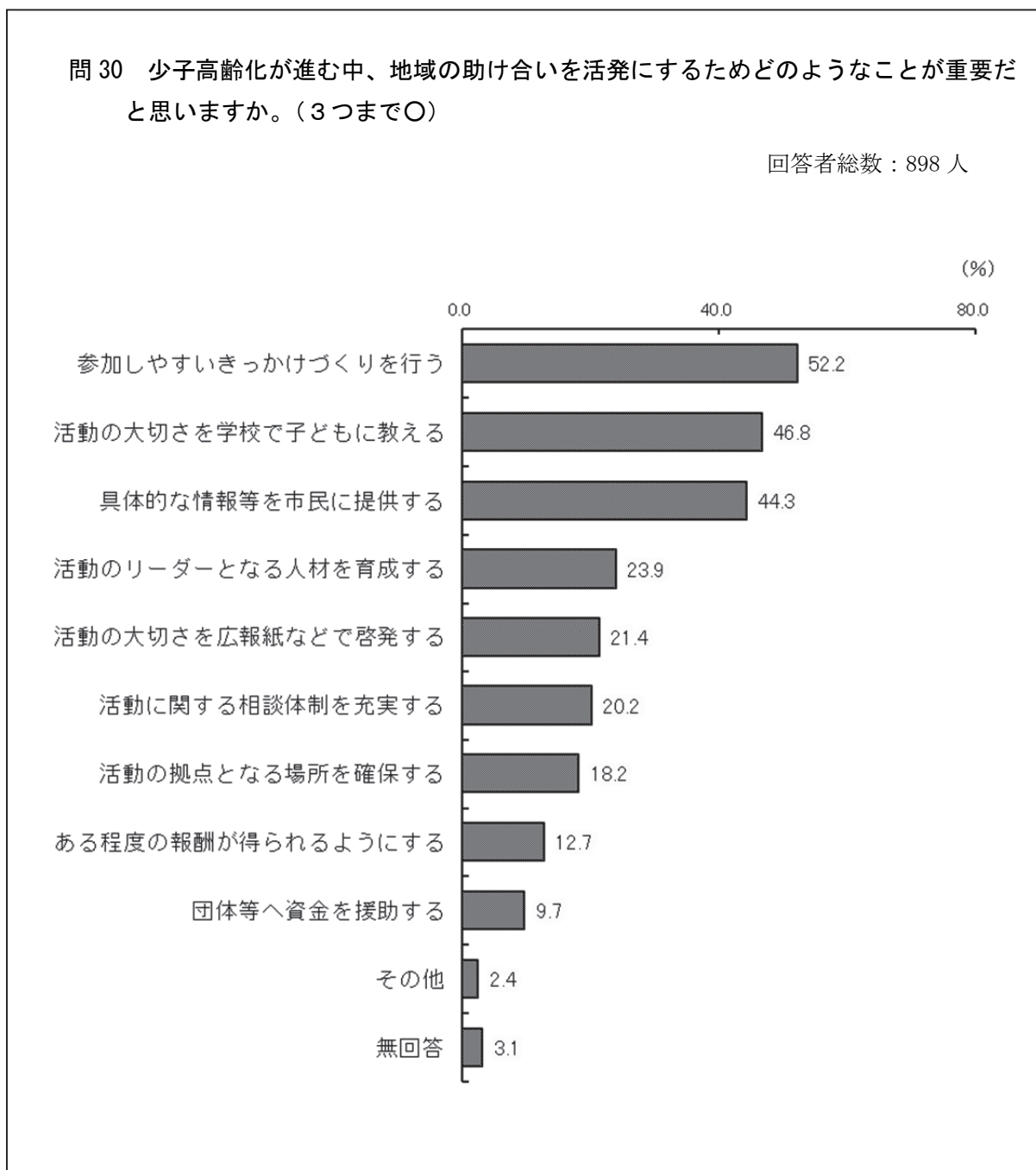
1-4-7 助け合い活動を活発にするための取り組み

「参加しやすいきっかけづくりを行う」が最も高い。

少子高齢化が進む中で地域の助け合い活動を活発にするために重要なことは、「参加しやすいきっかけづくりを行う」が52.2%で最も高い。

次に「活動の大切さを学校で子どもに教える」が46.8%、「具体的な情報等を市民に提供する」が44.3%で続く。

図 助け合い活動を活発にするための取り組み

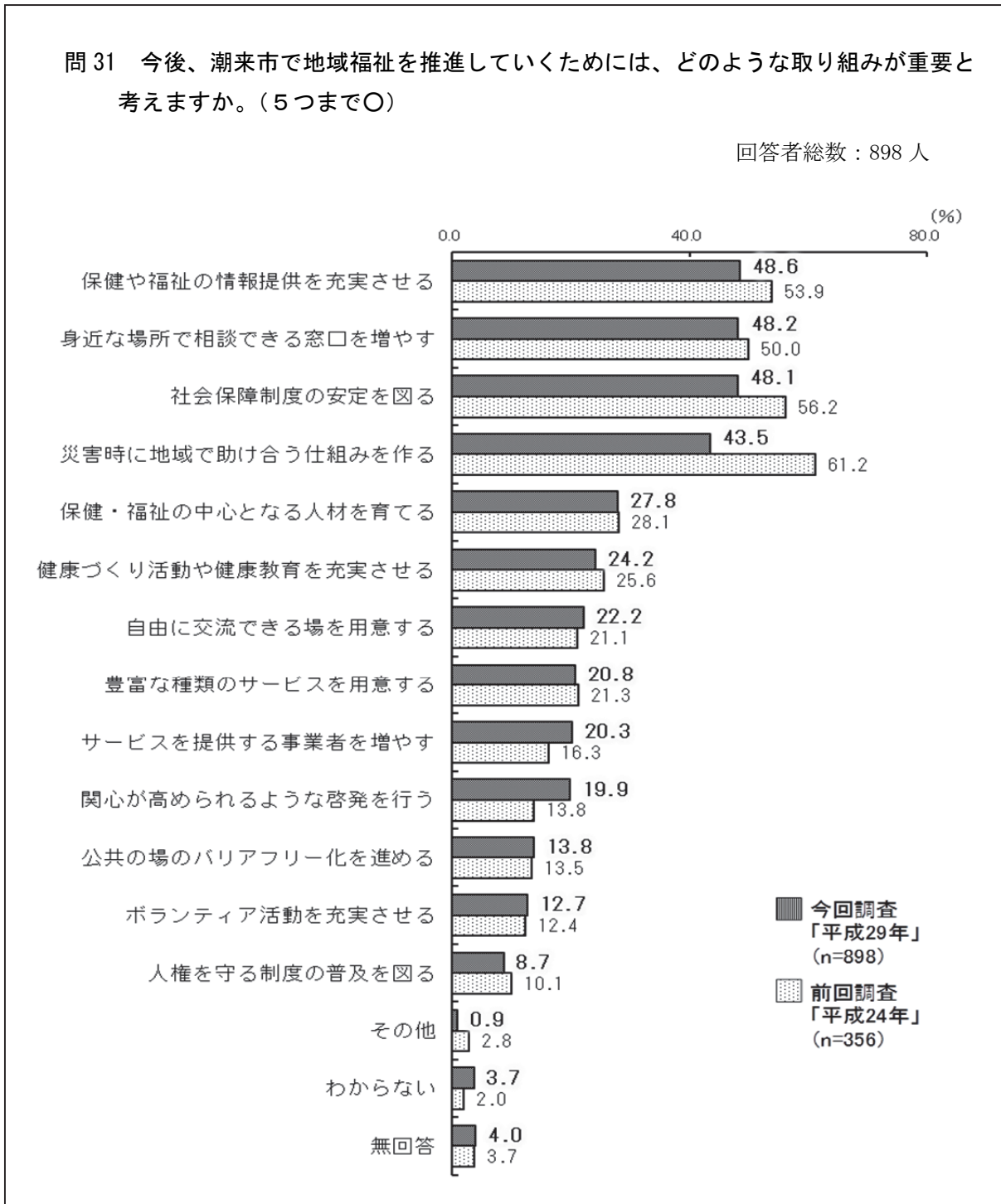


1-4-8 地域福祉の重点施策

「保健や福祉の情報提供」や「身近な場所で相談できる窓口を増やす」が高い。

潮来市において、地域福祉を推進していくために重要な取り組みは、「保健や福祉の情報提供を充実させる」が48.6%で高く、次に「身近な場所で相談できる窓口を増やす」が48.2%、「社会保障制度の安定を図る」が48.1%で続く。

図 地域福祉の重点施策



【年齢別】（上位5位まで）

地域福祉を推進していくために重要なことを年齢別に比べてみると、「保健や福祉の情報提供を充実させる」は“50～59歳”や“60～69歳”が比較的高い。年齢によって、回答に若干のばらつきが見られる。

表 地域福祉の重点施策

	回答者総数	年齢別			
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳
回答者総数	898 (100.0)	63 (100.0)	75 (100.0)	126 (100.0)	151 (100.0)
保健や福祉の情報提供を充実させる	436 (48.6)	28 (44.4)	28 (37.3)	54 (42.9)	82 (54.3)
身近な場所で相談できる窓口を増やす	433 (48.2)	26 (41.3)	32 (42.7)	65 (51.6)	79 (52.3)
社会保障制度の安定を図る	432 (48.1)	26 (41.3)	30 (40.0)	63 (50.0)	88 (58.3)
災害時に地域で助け合う仕組みを作る	391 (43.5)	26 (41.3)	20 (26.7)	45 (35.7)	69 (45.7)
保健・福祉の中心となる人材を育てる	250 (27.8)	12 (19.0)	11 (14.7)	28 (22.2)	46 (30.5)
		60～69歳	70～79歳	80歳以上	
回答者総数		238 (100.0)	178 (100.0)	59 (100.0)	
保健や福祉の情報提供を充実させる		131 (55.0)	87 (48.9)	22 (37.3)	
身近な場所で相談できる窓口を増やす		105 (44.1)	91 (51.1)	31 (52.5)	
社会保障制度の安定を図る		118 (49.6)	77 (43.3)	28 (47.5)	
災害時に地域で助け合う仕組みを作る		112 (47.1)	89 (50.0)	25 (42.4)	
保健・福祉の中心となる人材を育てる		72 (30.3)	60 (33.7)	18 (30.5)	

注) 年齢別「無回答」の8人を除く。

第2章 民生委員アンケート

(裏白)

第1節 民生委員活動について

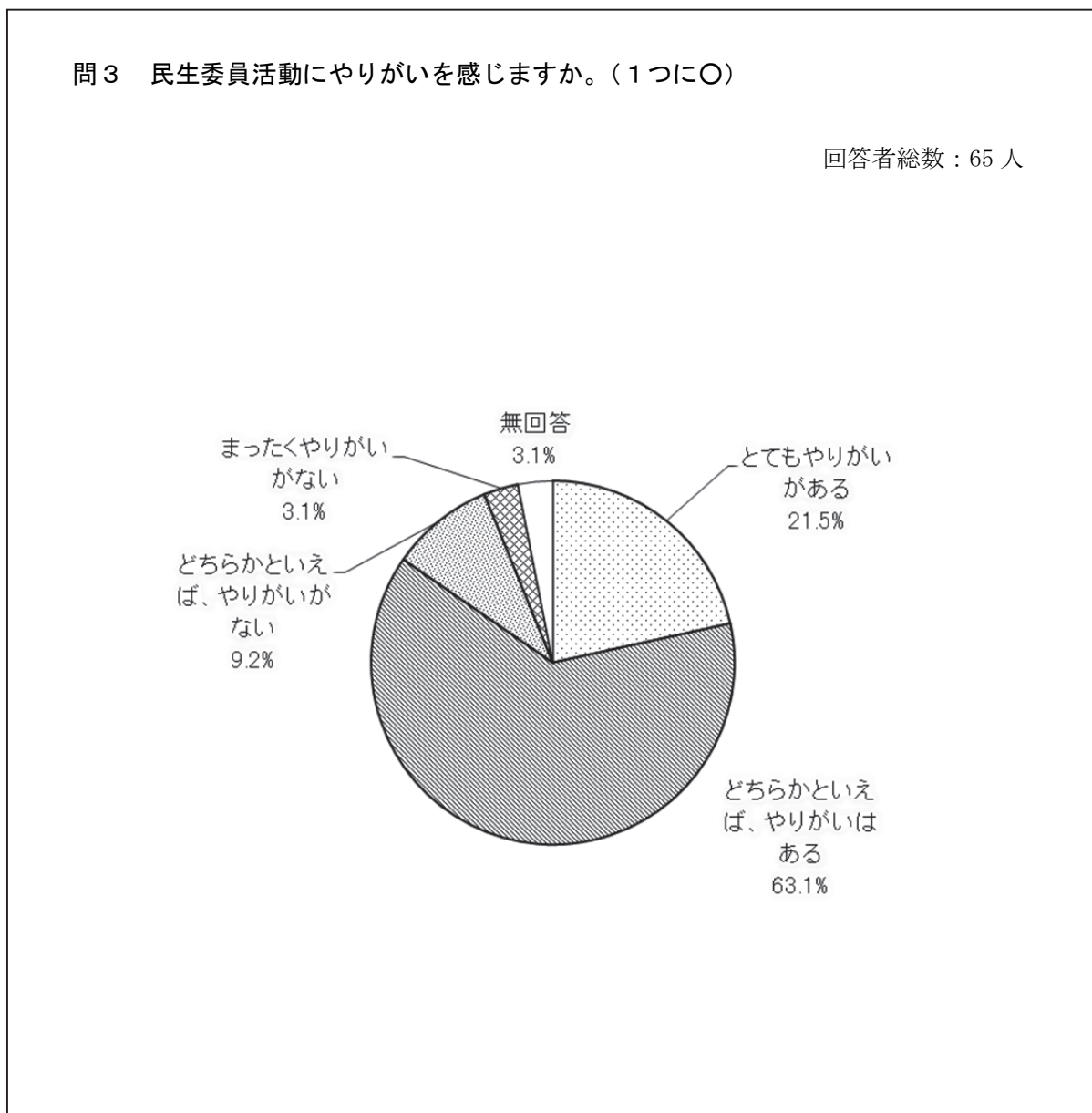
2-1-1 民生委員活動のやりがい

“やりがいがある”が84.6%。

民生委員活動のやりがいは、「とてもやりがいがある」が21.5%、「どちらかといえば、やりがいはある」が63.1%で合わせると“やりがいがある”が84.6%である。

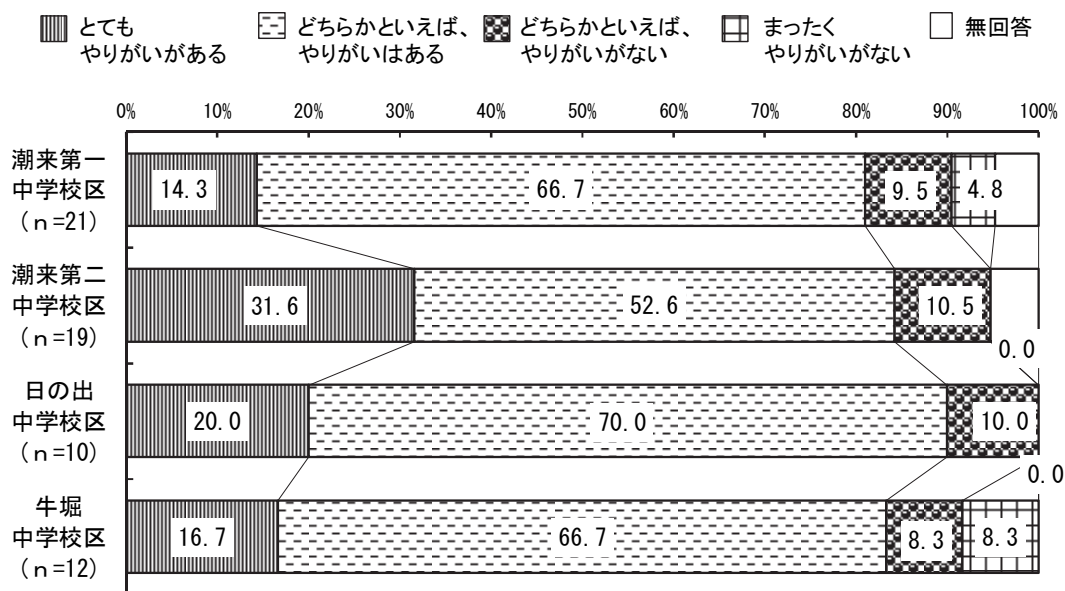
一方、「どちらかといえば、やりがいがない」が9.2%、「まったくやりがいがない」が3.1%で合わせると“やりがいがない”が12.3%である。

図 民生委員活動のやりがい



【担当地区別】

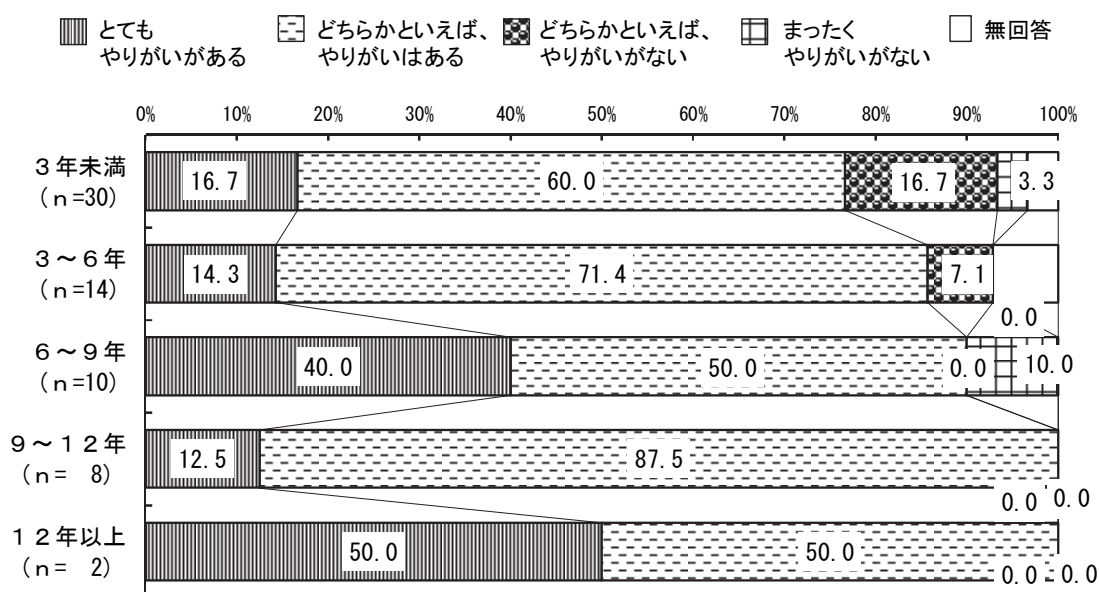
民生委員活動のやりがいを担当地区別にみると、“潮来第二中学校区”は「とてもやりがいがある」との回答が31.6%でやや高い。また、「とてもやりがいがある」と「どちらかといえば、やりがいがある」を合わせると、各担当地区とも8割以上である。



注) 無回答の値は省略

【経験年数別】

経験年数別にみると、「とてもやりがいがある」が“6～9年目”の方は40.0%、“12年以上”の方も50.0%で高い。なお、“3年未満”の方は「どちらかといえば、やりがいがない」が16.7%でやや高い。



注) 無回答の値は省略

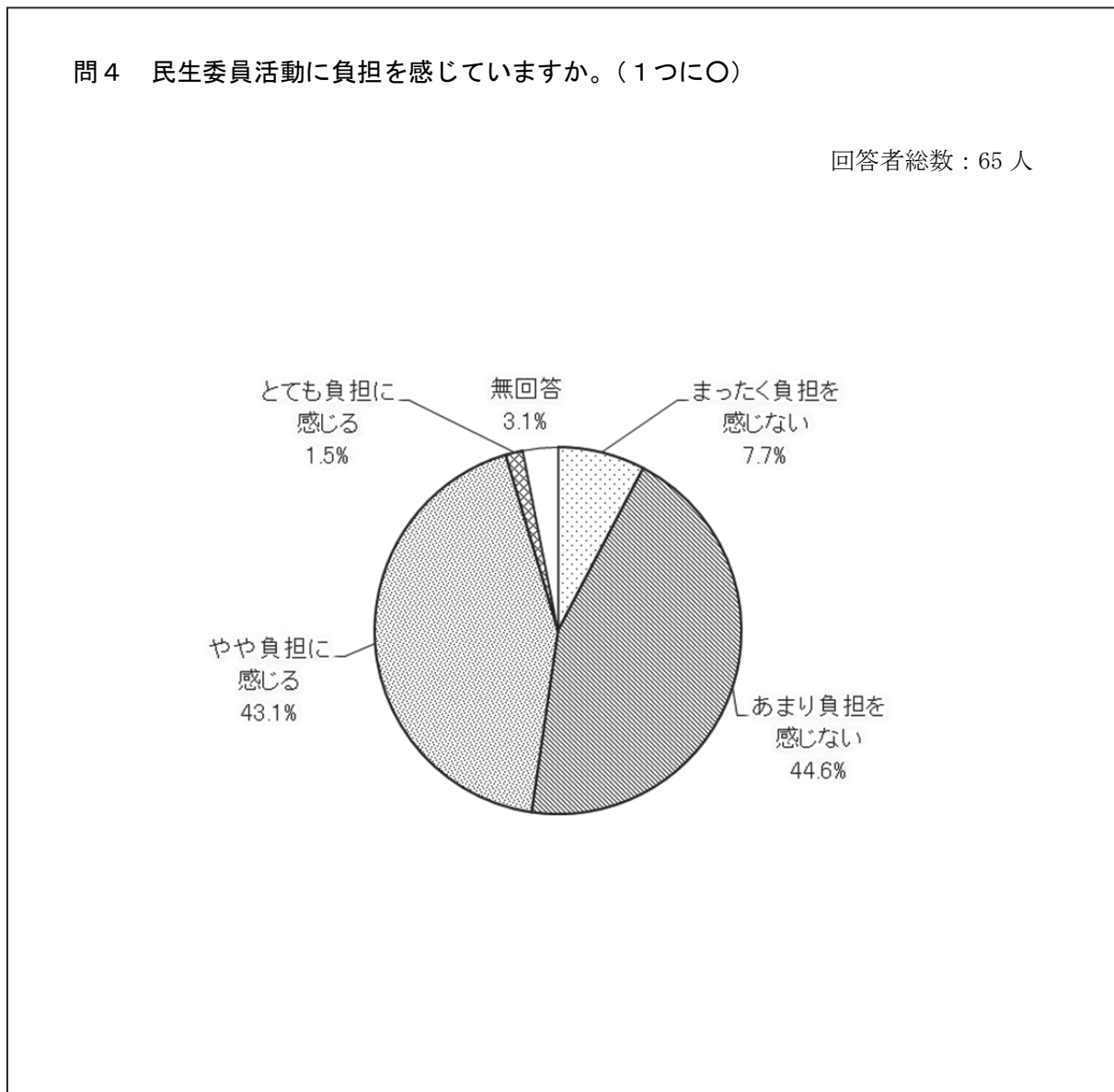
2-1-2 民生委員活動の負担感

“負担を感じない”が52.3%。その一方で“負担を感じる”が44.6%。

民生委員活動の負担感は、「まったく負担を感じない」が7.7%、「あまり負担を感じない」が44.6%で合わせると“負担を感じない”が52.3%である。

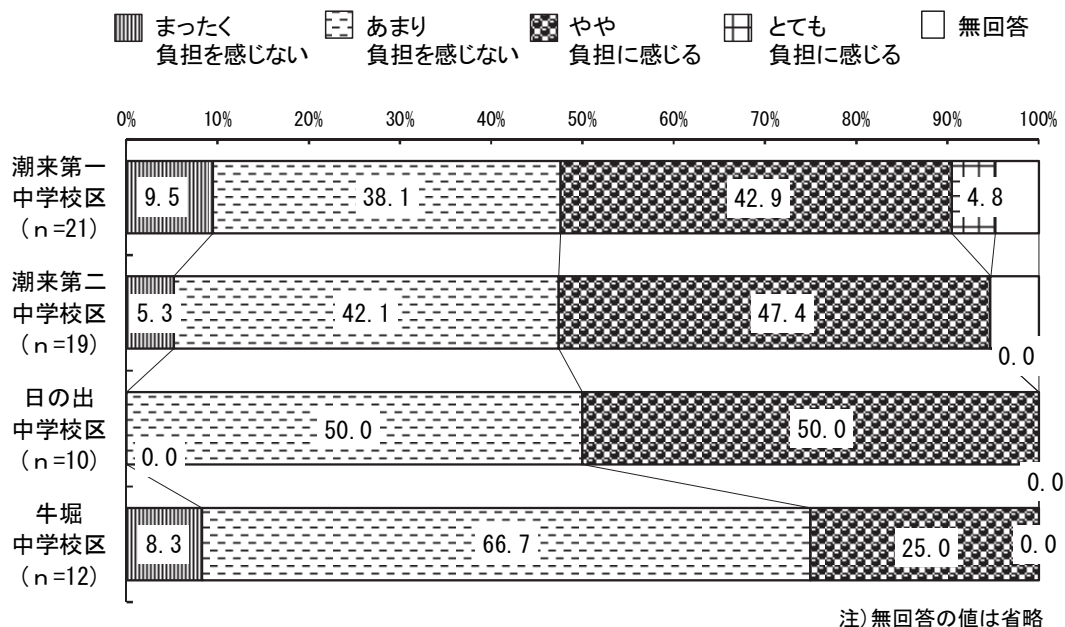
一方、「やや負担を感じる」が43.1%、「とても負担を感じる」が1.5%で合わせると“負担を感じる”が44.6%である。

図 民生委員活動の負担感



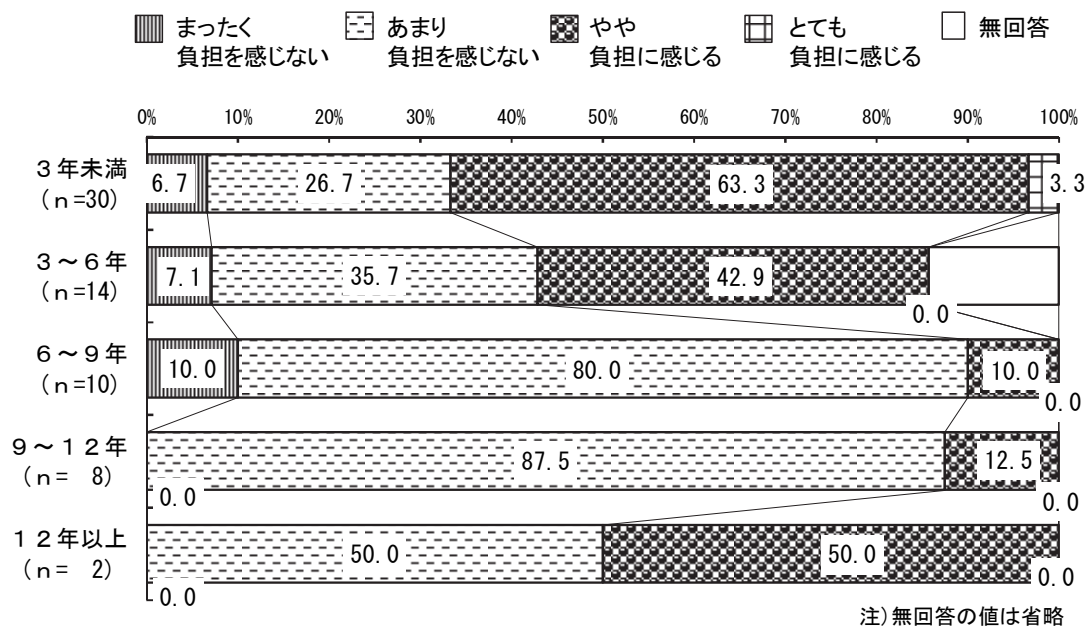
【担当地区別】

民生委員活動の負担感を担当地区別にみると、「牛堀中学校区」は「まったく負担を感じない」と「あまり負担を感じない」を合わせると75.0%で比較的高い。また、その他の地区は、約半数の方が負担に感じている。



【経験年数別】

経験年数別にみると、「3年未満」の方は「やや負担に感じる」が63.3%でやや高い。

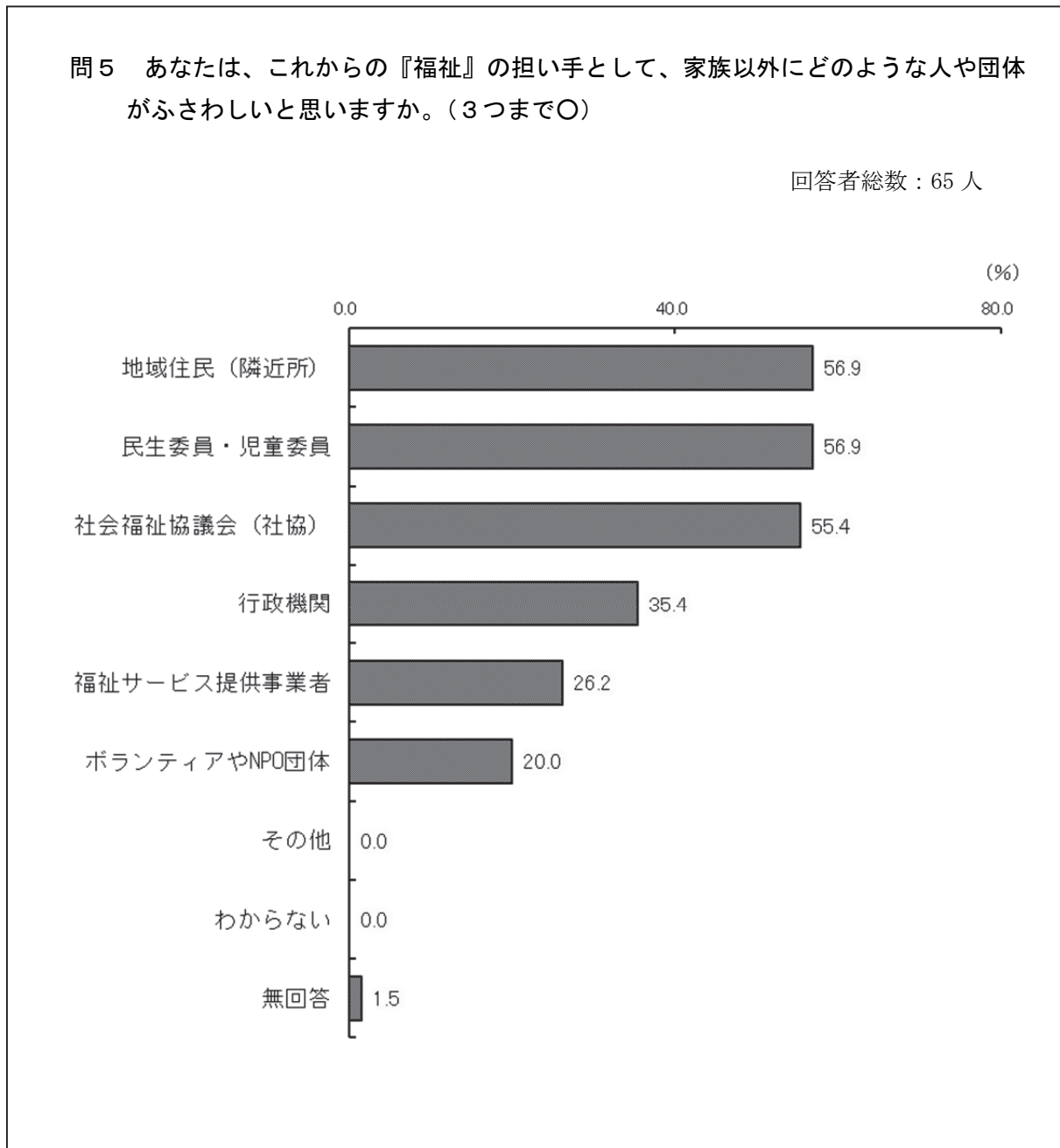


2-1-3 『福祉』の担い手

「地域住民（隣近所）」と「民生委員・児童委員」が高い。

これからの『福祉』の担い手として、ふさわしいと思う人や団体は、「地域住民（隣近所）」と「民生委員・児童委員」が56.9%ずつで最も高い。次に、「社会福祉協議会（社協）」が55.4%で続く。

図 『福祉の担い手』

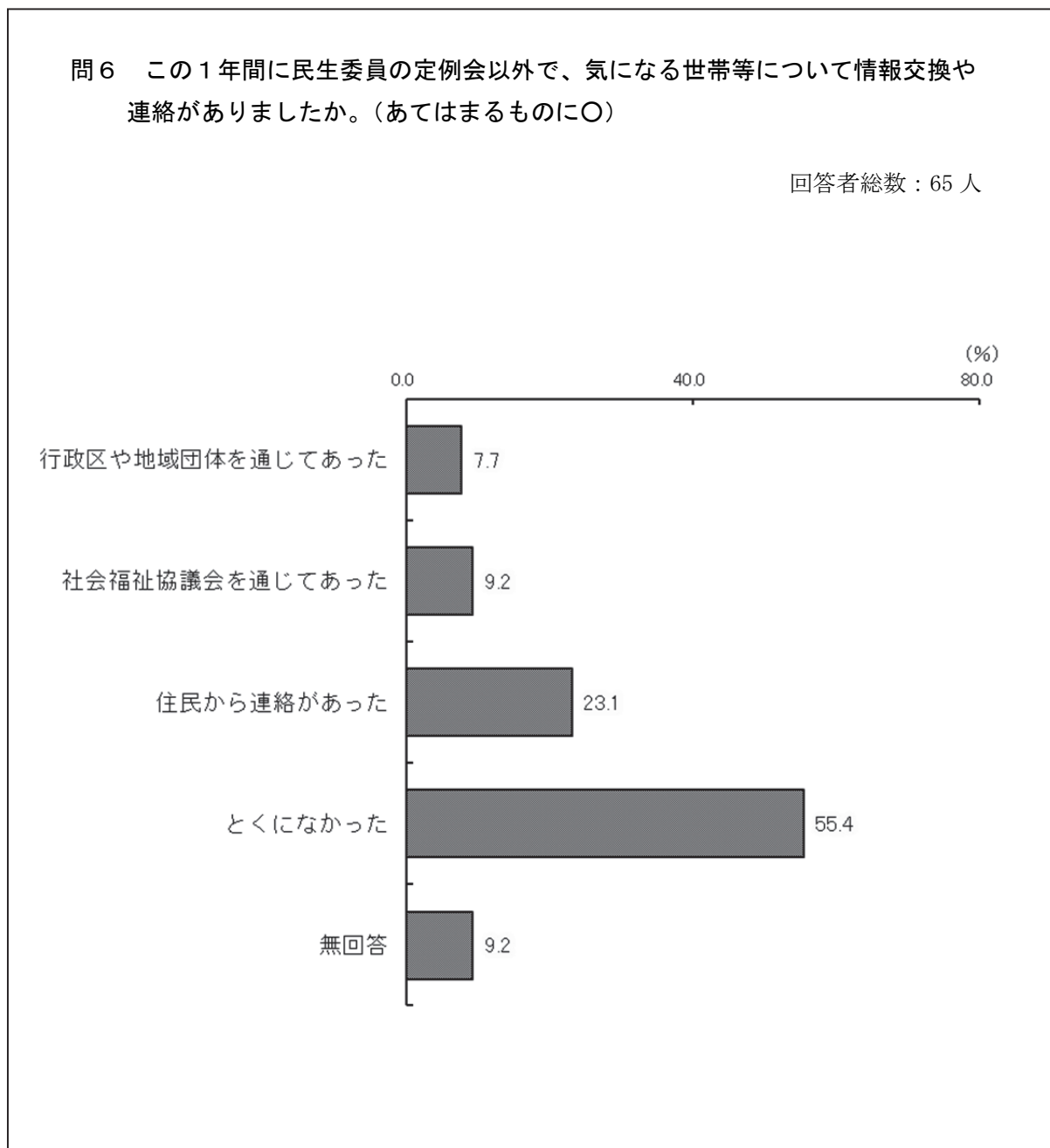


2-1-4 気になる世帯等の情報交換や連絡

この1年間に「住民から連絡があった」が23.1%。

気になる世帯等についての情報交換や連絡は、「とくになかった」が55.4%で高い。また、「住民から連絡があった」が23.1%である。

図 気になる世帯等の情報交換や連絡



※気になる世帯の具体的な記述内容は、資料編を参照。

第2節 地域福祉に対する考え方について

2-2-1 障がいのある人への差別や偏見

少しはあると思うを合わせて、“あると思う”が約6割。

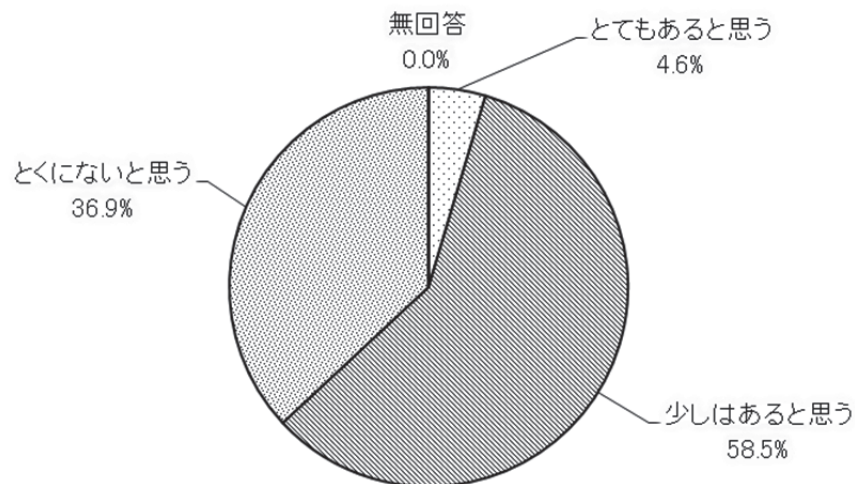
ふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じるかは、「とてもあると思う」が4.6%、「少しはあると思う」が58.5%で合わせると、“あると思う”が63.1%である。

その一方で、「とくにないと思う」は36.9%である。

図 障がいのある人への差別や偏見

問7 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○)

回答者総数：65人

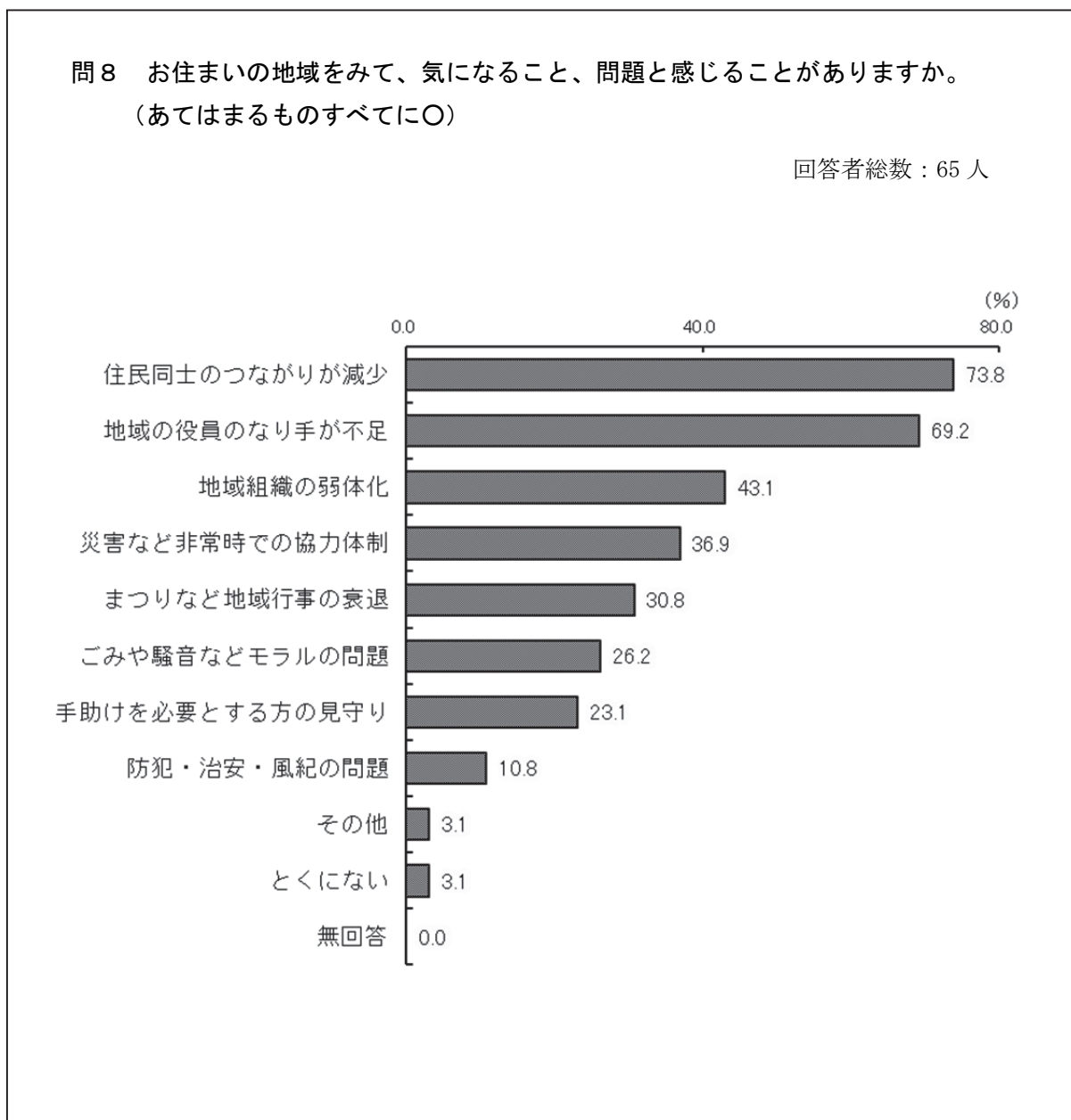


2-2-2 気になる地域の課題

「住民同士のつながりが減少」が最も高く、次に「地域の役員のなり手が不足」。

身近な地域で気になること、問題と感ずることは、「住民同士のつながりが減少」が73.8%で最も高い。次に、「地域の役員のなり手が不足」が69.2%、「地域組織の弱体化」が43.1%で続く。

図 気になる地域の課題



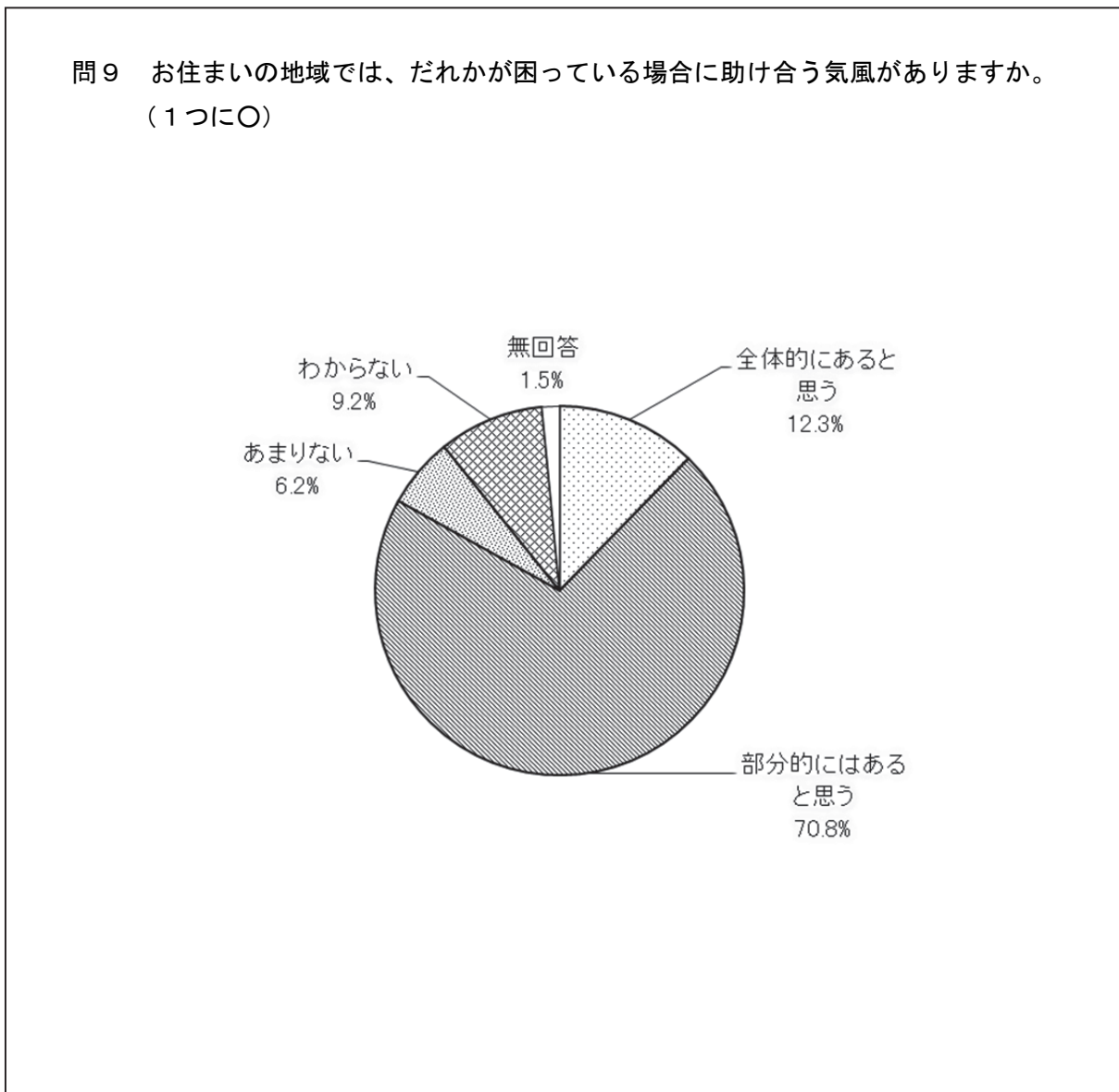
2-2-3 地域の助け合う気風

「全体的にあると思う」が12.3%、「部分的にはあると思う」が70.8%。

だれかが困っている場合に助け合う気風があるかは、「全体的にあると思う」が12.3%、「部分的にはあると思う」が70.8%である。

その一方で、「あまりない」が6.2%である。

図 地域の助け合う気風



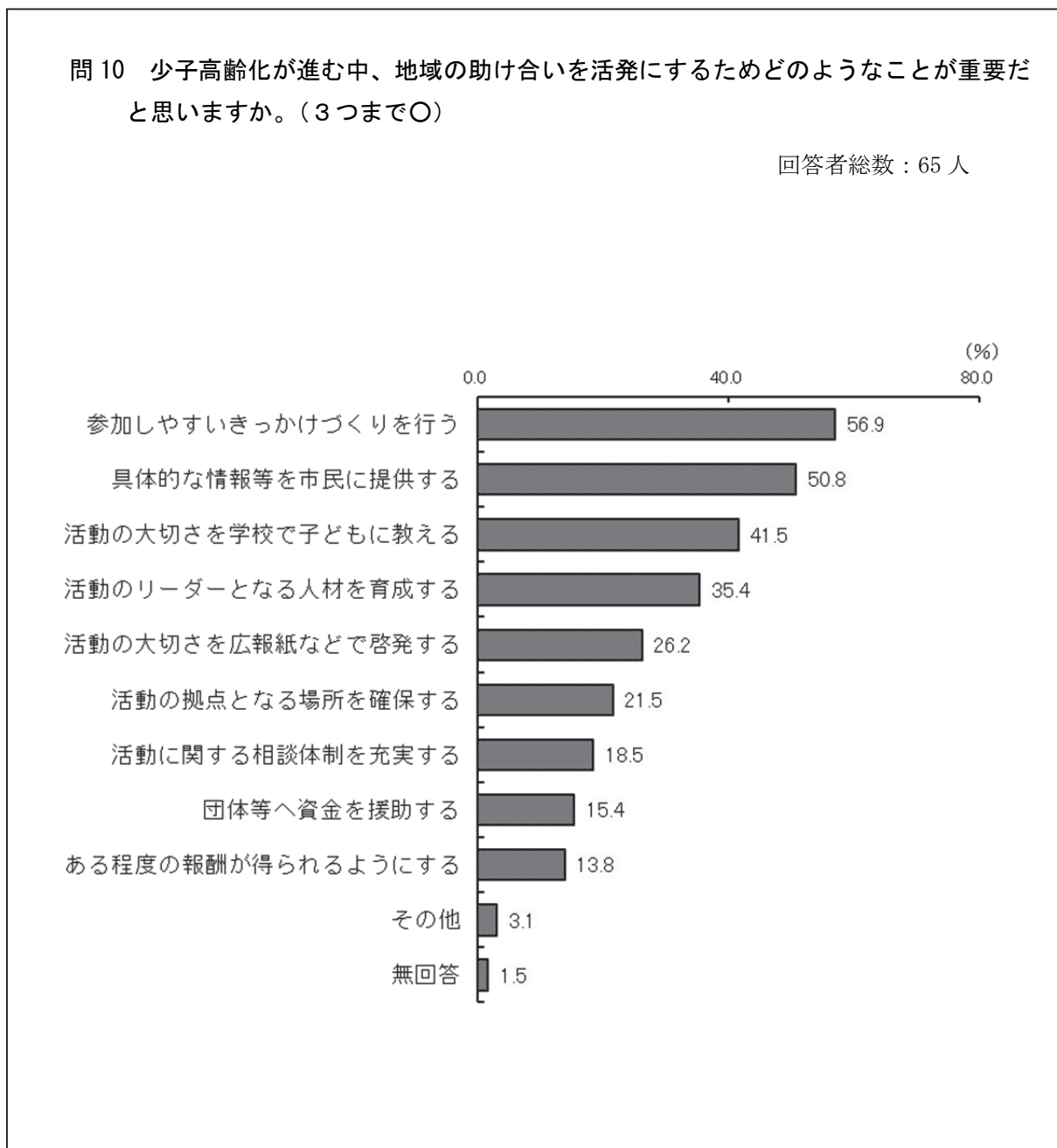
2-2-4 助け合い活動を活発にするための取り組み

「参加しやすいきっかけづくりを行う」が最も高い。

潮来市において、地域の支え合いを活発にするために重要なことは、「参加しやすいきっかけづくりを行う」が56.9%で最も高い。

次に、「具体的な情報等を市民に提供する」が50.8%、「活動の大切さを学校で子どもに教える」が41.5%で続く。

図 助けあい活動を活発にするための取り組み

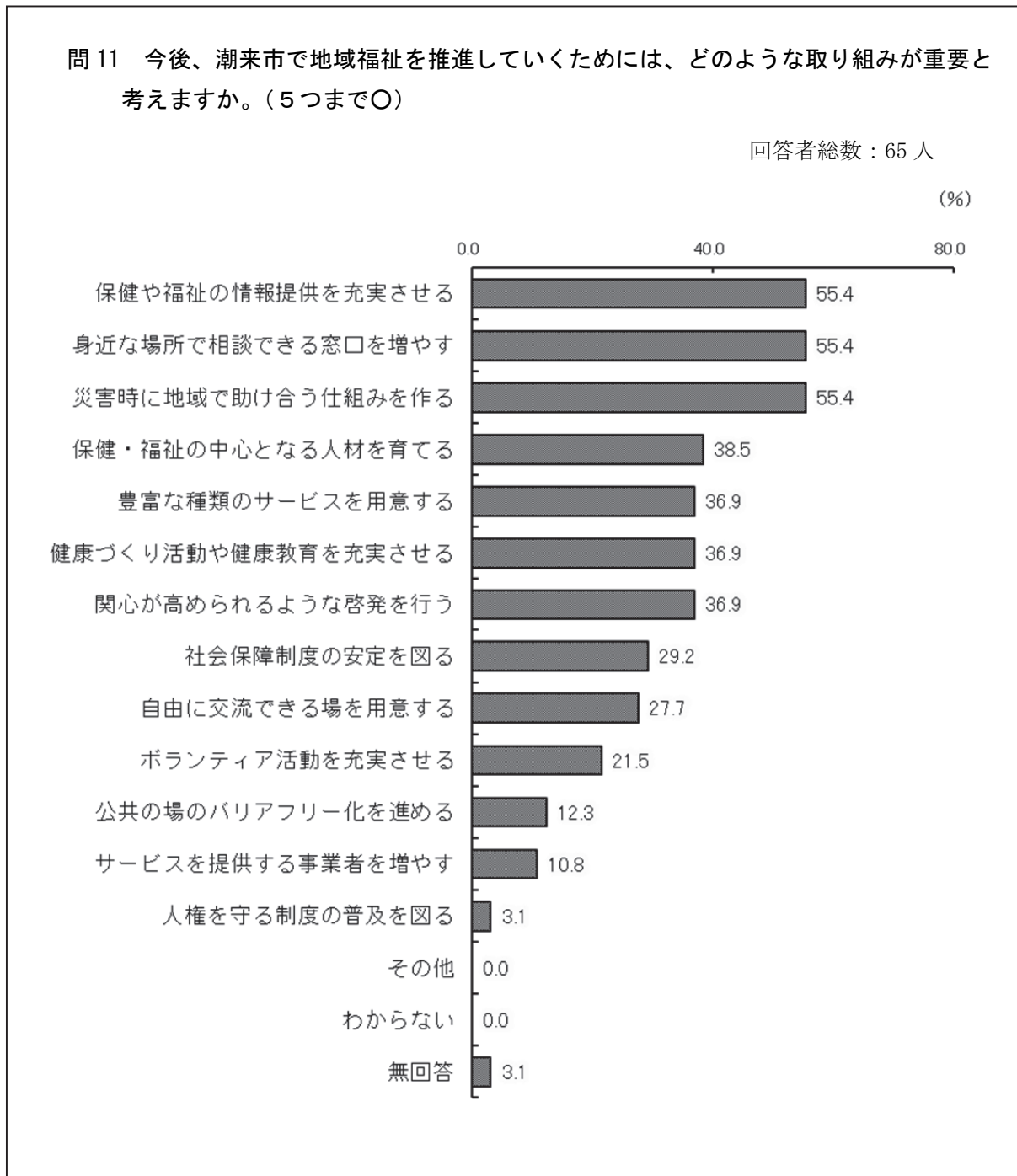


2-2-5 地域福祉の重点施策

「保健や福祉の情報提供」、「身近に相談できる窓口」、「災害時の助け合い」が高い。

潮来市において、地域福祉を推進していくために重要なことは、「保健や福祉の情報提供を充実させる」と「身近な場所で相談できる窓口を増やす」、「災害時に地域で助け合う仕組みを作る」がそれぞれ 55.4% ずつで最も高い。

図 地域福祉の重点施策



(裏白)

第3章 区長アンケート

(裏白)

第1節 自治会（区長）活動について

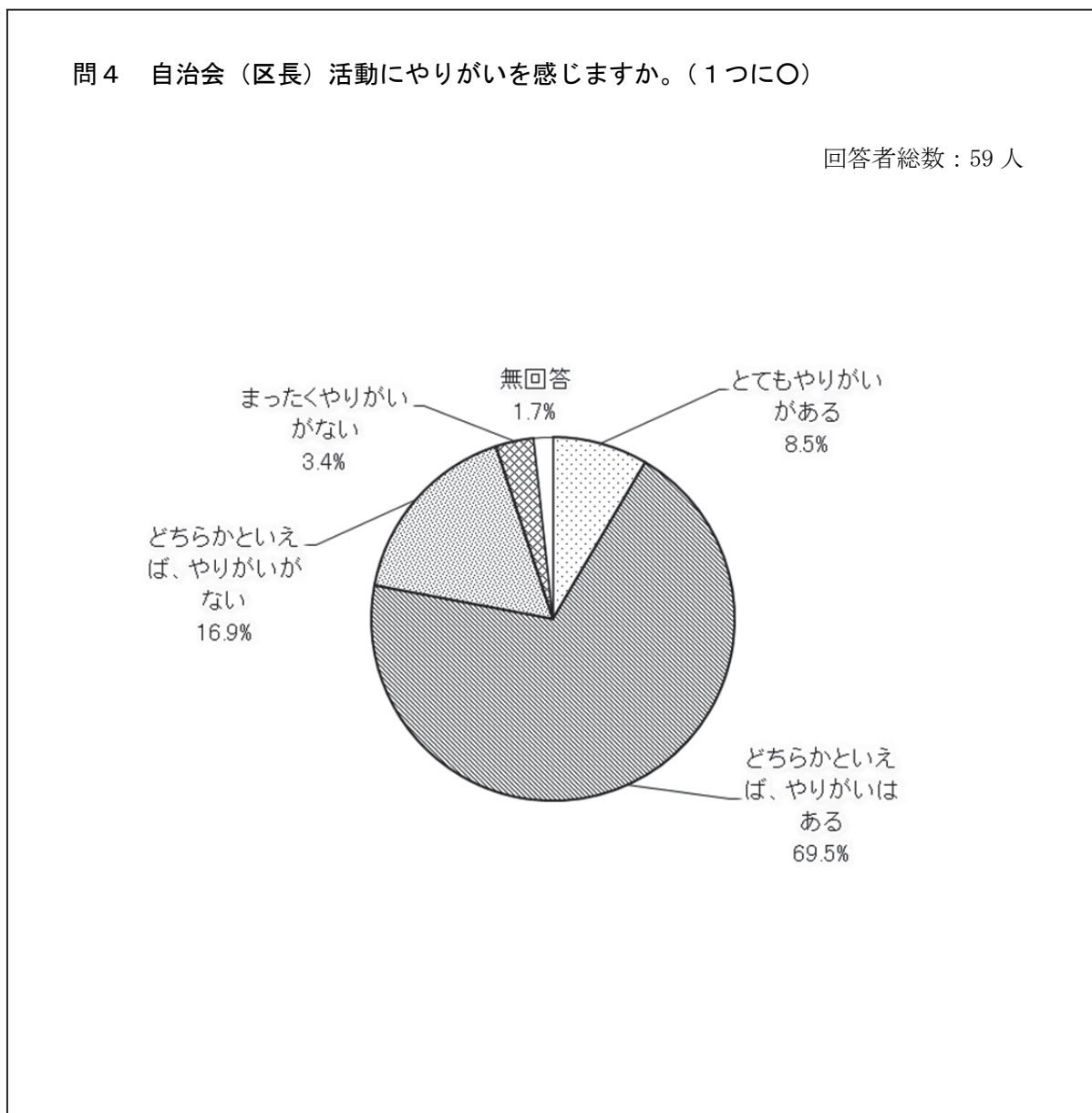
3-1-1 自治会（区長）活動のやりがい

“やりがいがある”が78.0%。

自治会（区長）活動のやりがいは、「とてもやりがいがある」が8.5%、「どちらかといえば、やりがいはある」が69.5%で合わせると“やりがいがある”が78.0%である。

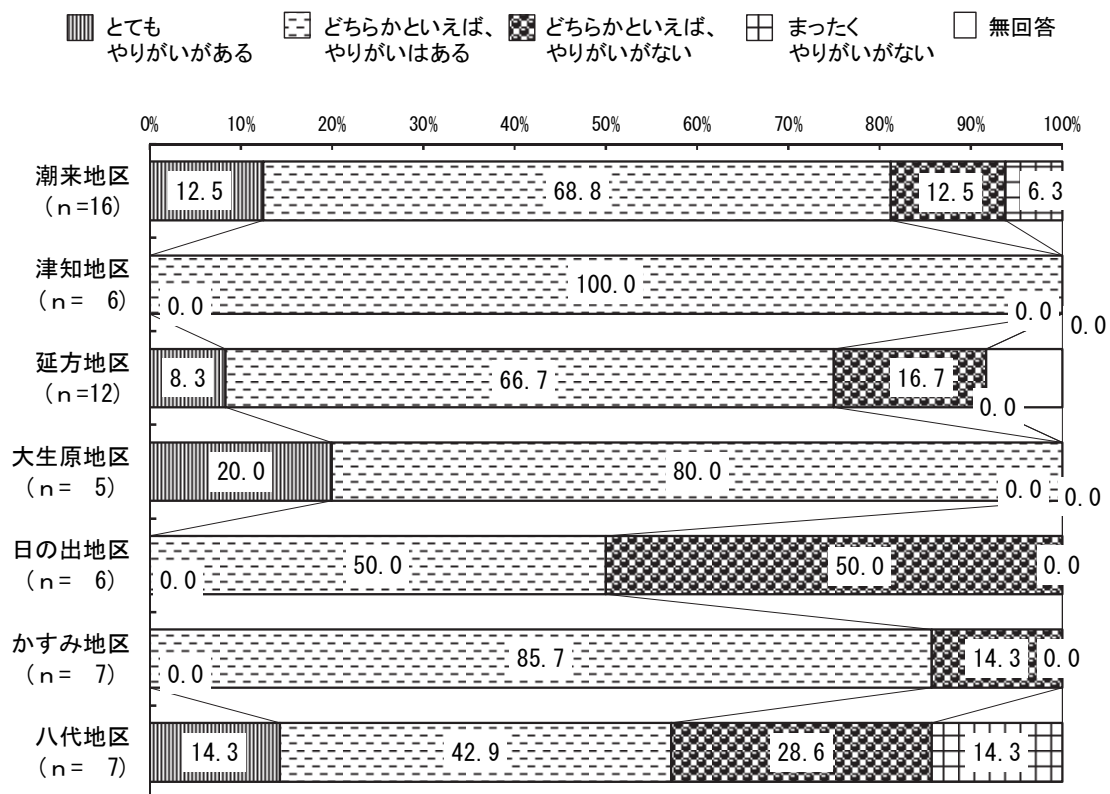
その一方で、「どちらかといえば、やりがいがない」が16.9%、「まったくやりがいがない」が3.4%で合わせると“やりがいがない”が20.3%である。

図 自治会（区長）活動のやりがい



【担当地区別】

自治会（区長）活動のやりがいを担当地区別にみると、“大生原地区”は「とてもやりがいがある」が20.0%でやや高い。その一方で、“日の出地区”は「どちらかといえば、やりがいがない」が50.0%で高い。



注) 無回答の値は省略

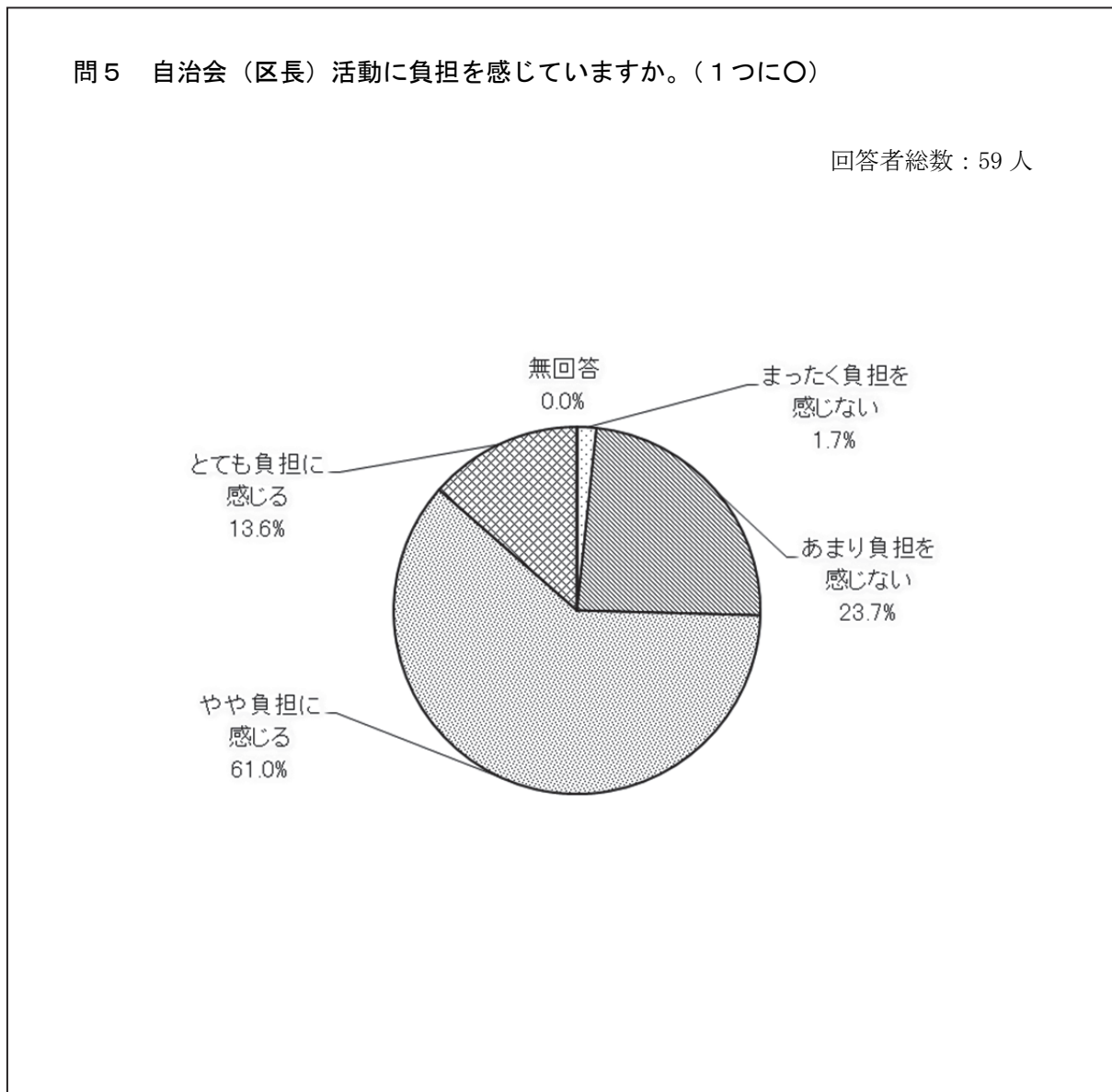
3-1-2 自治会（区長）活動の負担感

“負担を感じない”が25.4%。その一方で“負担を感じる”が74.6%。

自治会（区長）活動の負担感は、「まったく負担を感じない」が1.7%、「あまり負担を感じない」が23.7%で合わせると、“負担を感じない”が25.4%である。

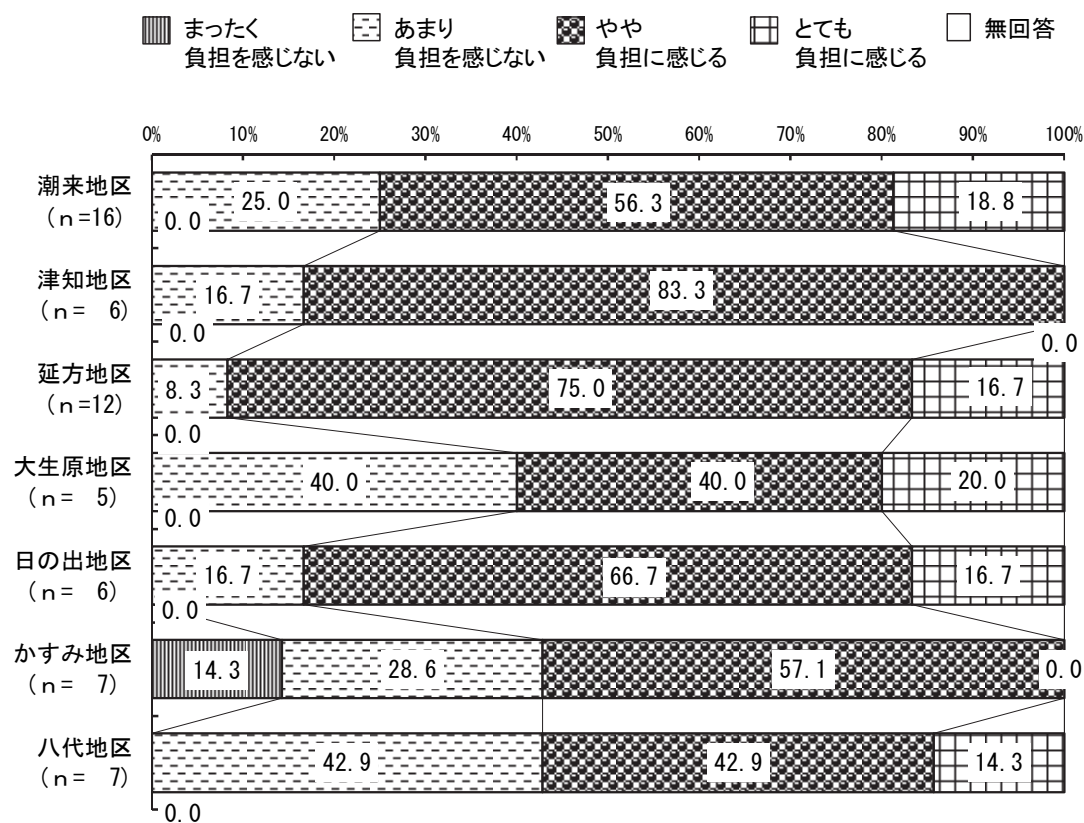
その一方で、「やや負担を感じる」が61.0%、「とても負担を感じる」が13.6%で合わせると、“負担を感じる”が74.6%である。

図 自治会（区長）活動の負担感



【担当地区別】

自治会（区長）活動の負担感を担当地区別にみると、各地区とも「やや負担を感じる」割合が比較的高い。



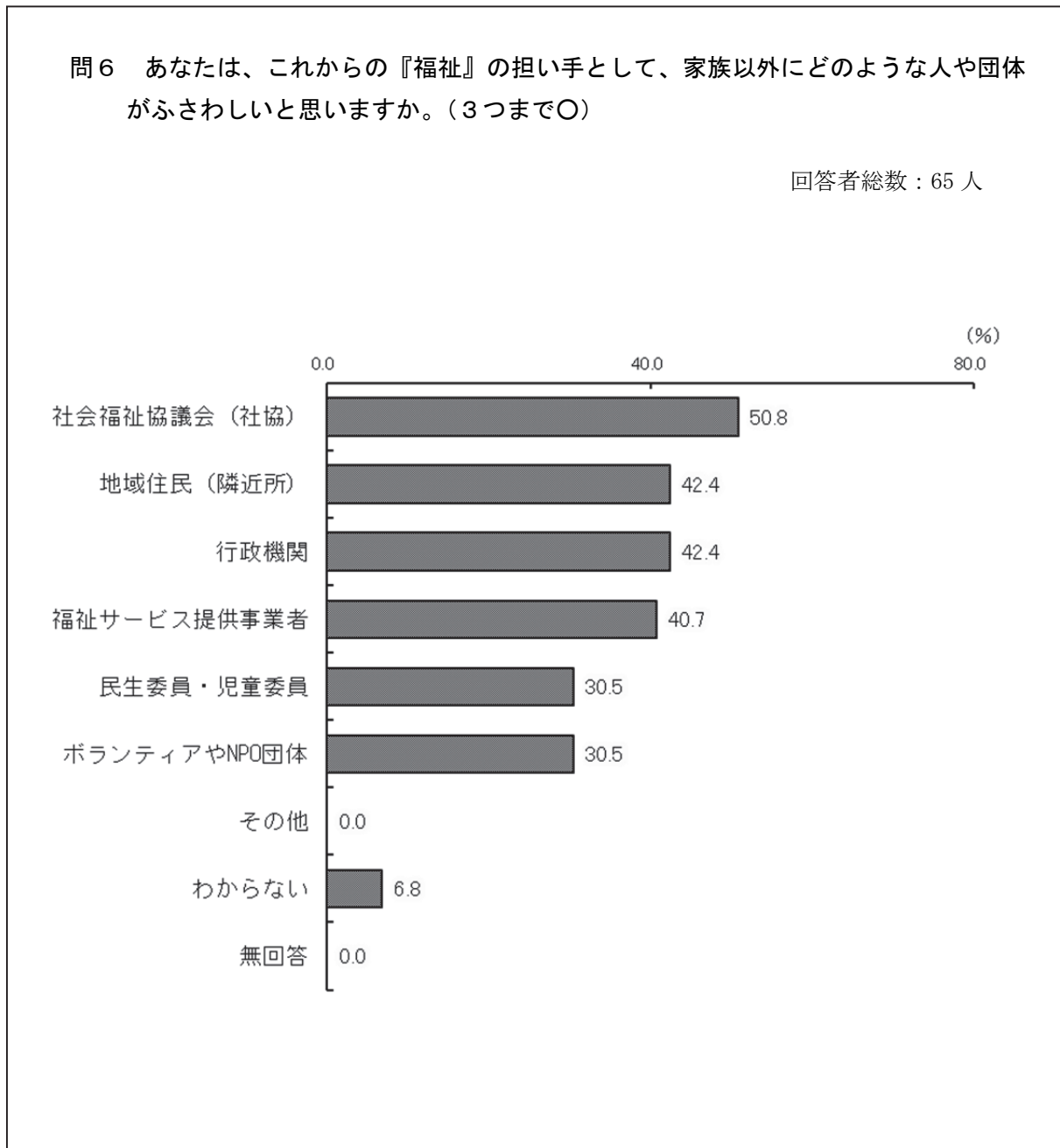
注)無回答の値は省略

3-1-3 『福祉』の担い手

「社会福祉協議会（社協）」が50.8%で最も高い。

これからの『福祉』の担い手として、ふさわしいと思う人や団体は、「社会福祉協議会（社協）」が50.8%で最も高い。次に「地域住民（隣近所）」と「行政機関」がともに42.4%ずつで続く。

図 『福祉の担い手』

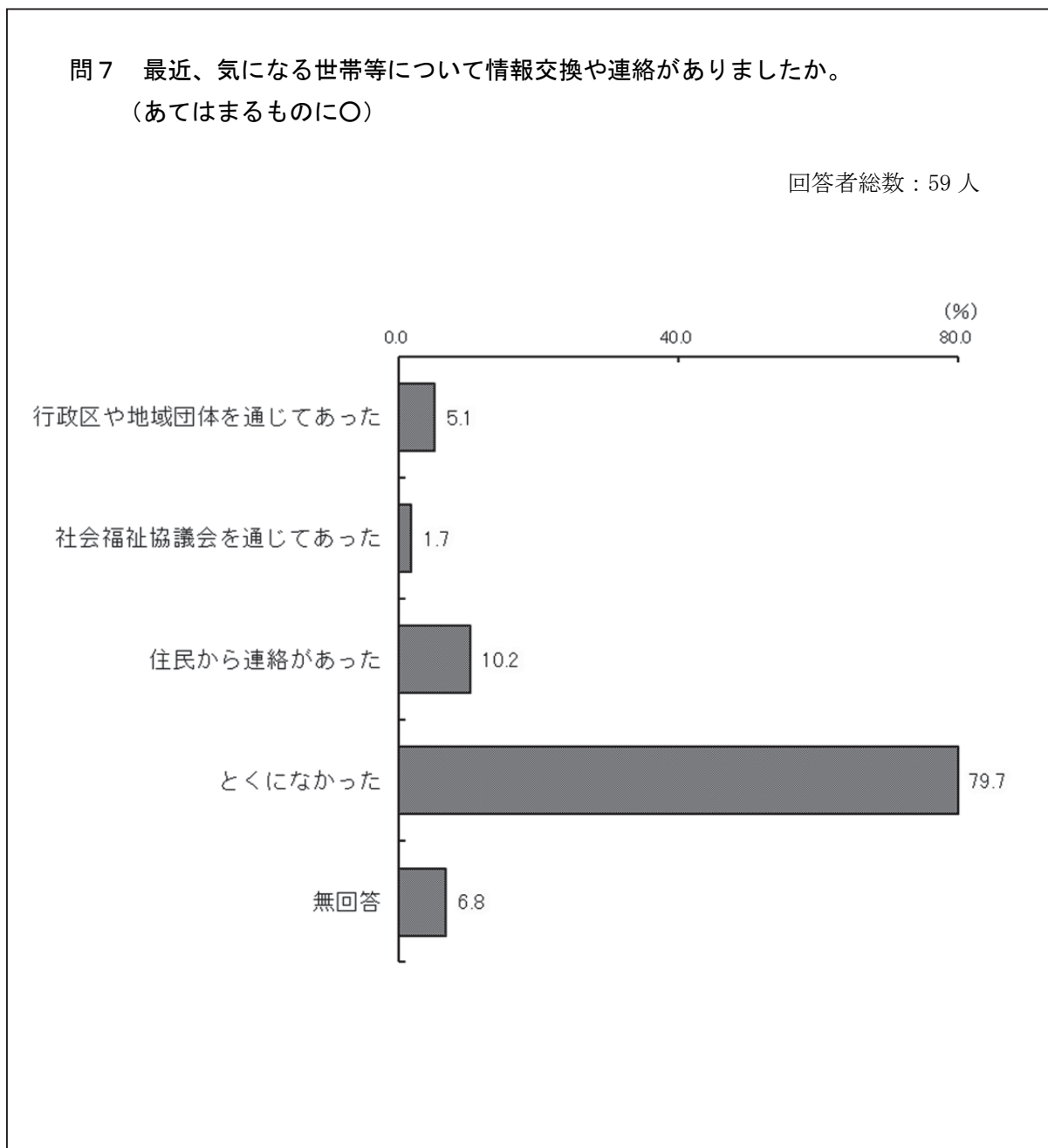


3-1-4 気になる世帯等の情報交換や連絡

「住民から連絡があった」が10.2%。

気になる世帯等についての情報交換や連絡は、「とくになかった」が79.7%で最も高い。また、「住民から連絡があった」が10.2%である。

図 気になる世帯等の情報交換や連絡



※気になる世帯の具体的な記述内容は、資料編を参照。

第2節 地域福祉に対する考え方について

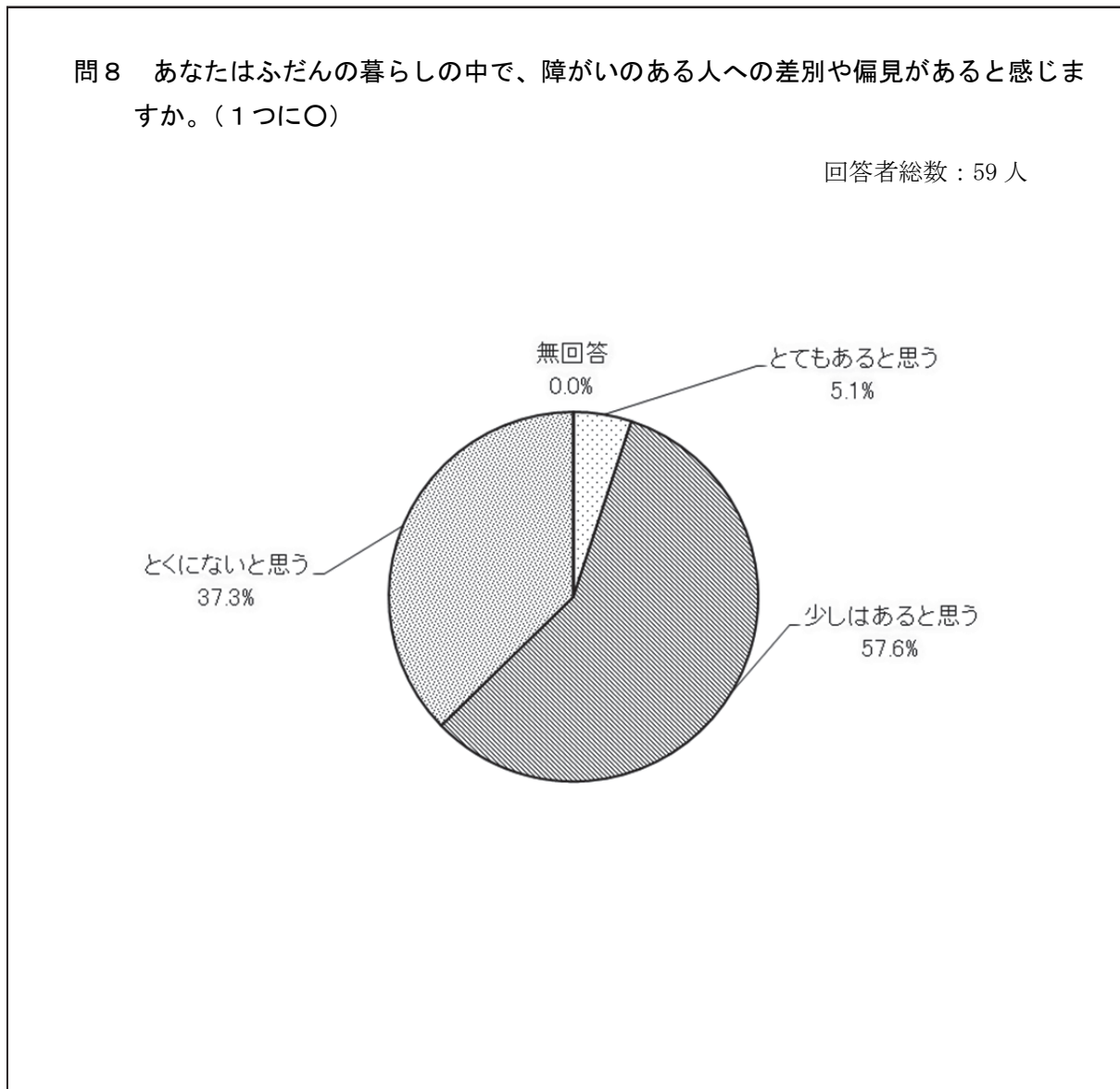
3-2-1 障がいのある人への差別や偏見

少しはあると思うを合わせて、“あると思う”が約6割。

ふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じるかは、「とてもあると思う」が5.1%、「少しはあると思う」が57.6%で合わせると、“あると思う”が62.7%である。

その一方で、「とくにないと思う」は37.3%である。

図 障がいのある人への差別や偏見

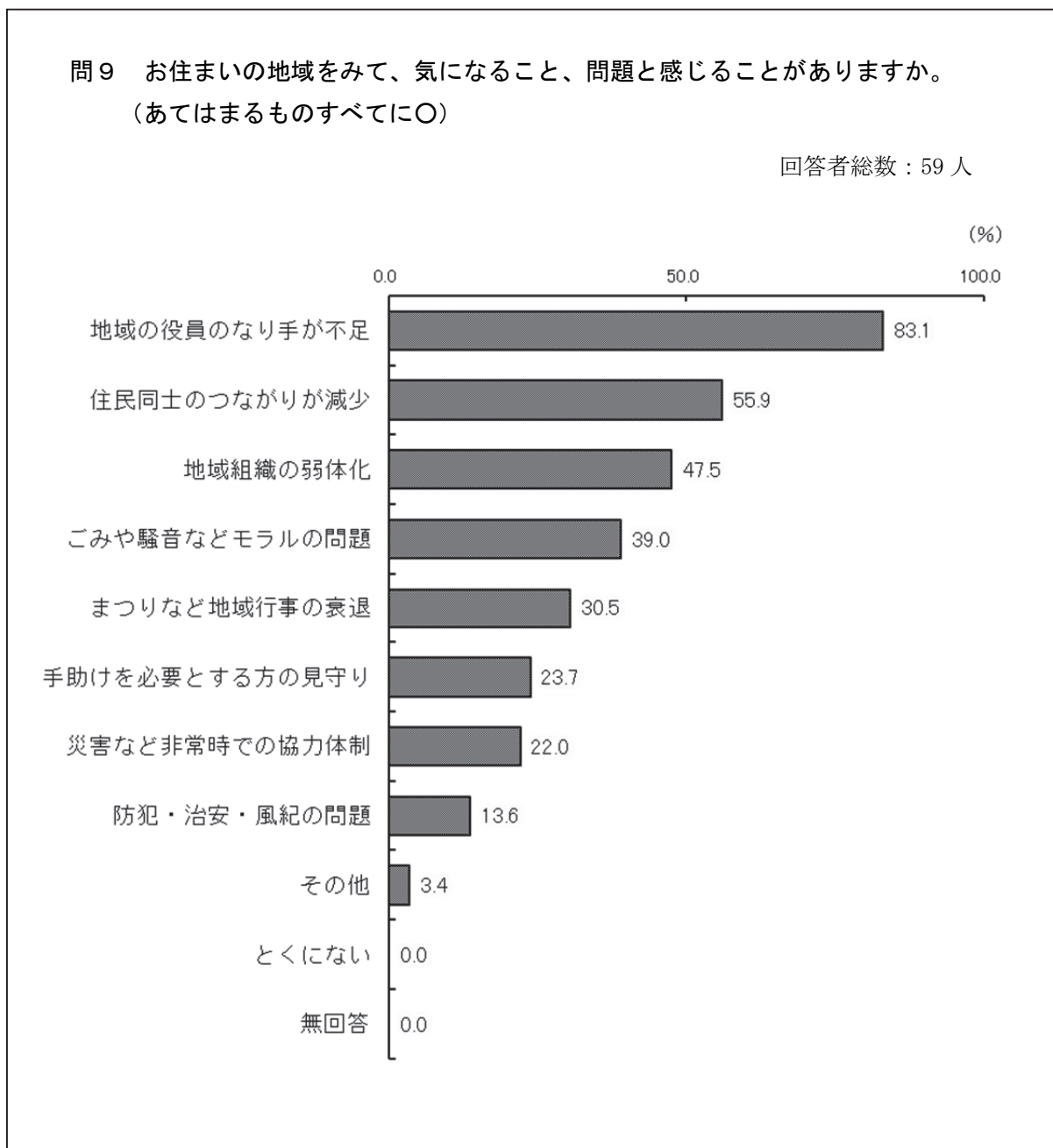


3-2-2 気になる地域の課題

「地域の役員のなり手が不足」が最も高く、次に「住民同士のつながりが減少」。

身近な地域で気になること、問題と感ずることは、「地域の役員のなり手が不足」が83.1%で最も高い。次に、「住民同士のつながりが減少」が55.9%、「地域組織の弱体化」が47.5%で続く。

図 気になる地域の課題



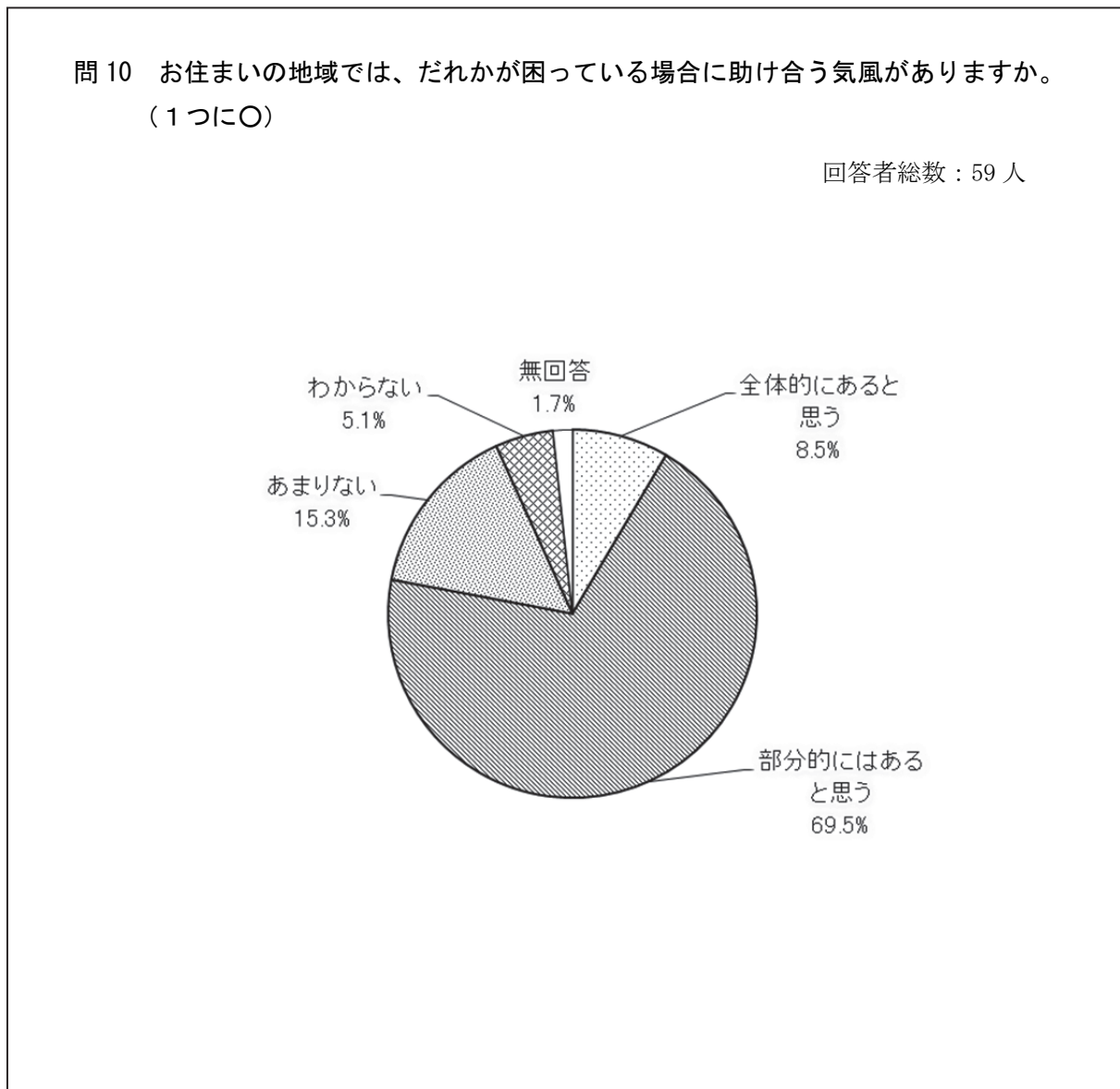
3-2-3 地域の助け合う気風

「全体的にあると思う」が8.5%、「部分的にはあると思う」が69.5%。

だれかが困っている場合に助け合う気風があるかは、「全体的にあると思う」が8.5%、「部分的にはあると思う」が69.5%である。

その一方で、「あまりない」が15.3%である。

図 地域の助け合う気風



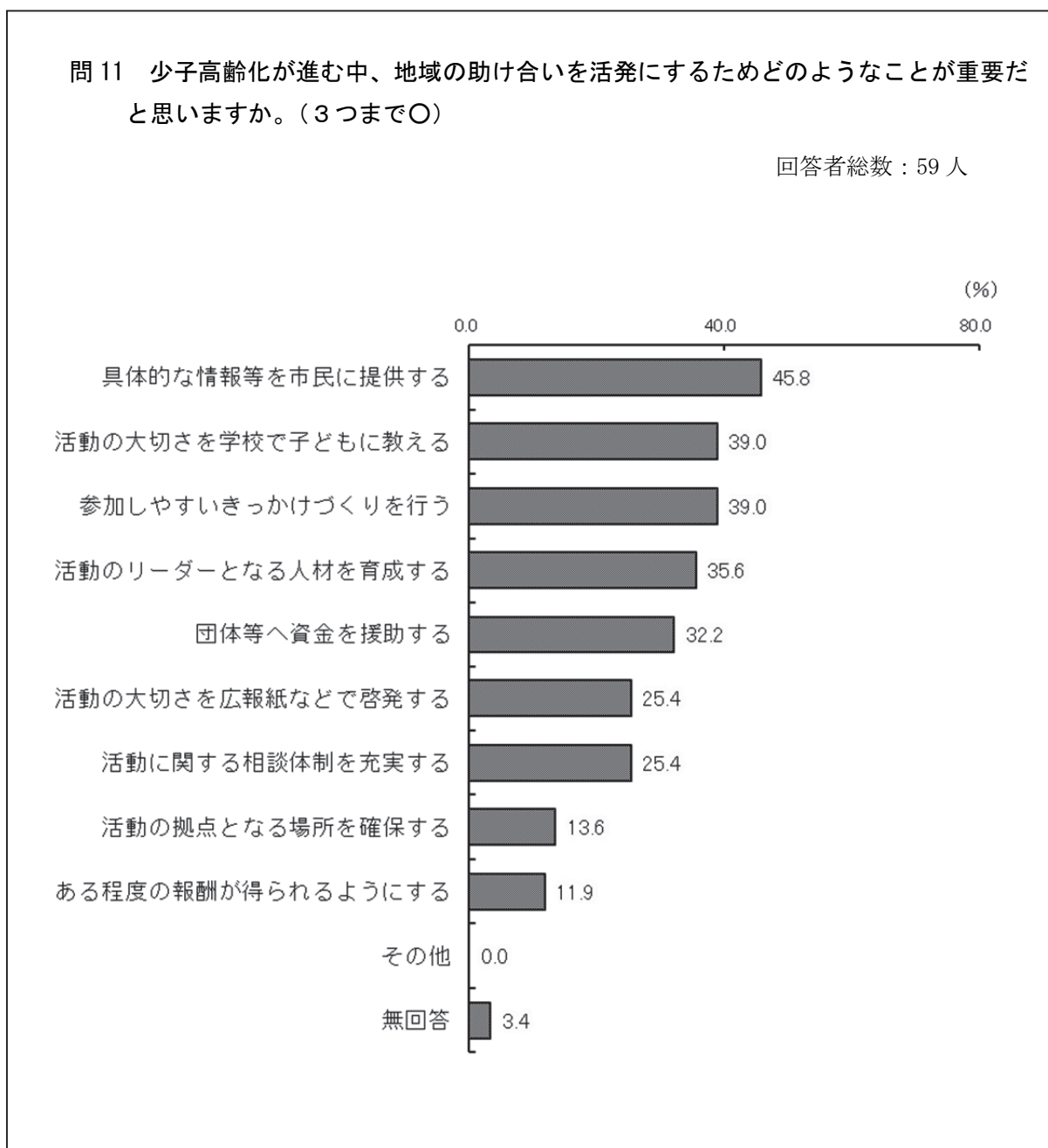
3-2-4 助け合い活動を活発にするための取り組み

「具体的な情報等を市民に提供する」が最も高い。

潮来市において、地域の支え合いを活発にするために重要なことは、「具体的な情報等を市民に提供する」が45.8%で最も高い。

次に、「活動の大切さを学校で子どもに教える」と「参加しやすいきっかけづくりを行う」がともに39.0%ずつで続く。

図 助けあい活動を活発にするための取り組み

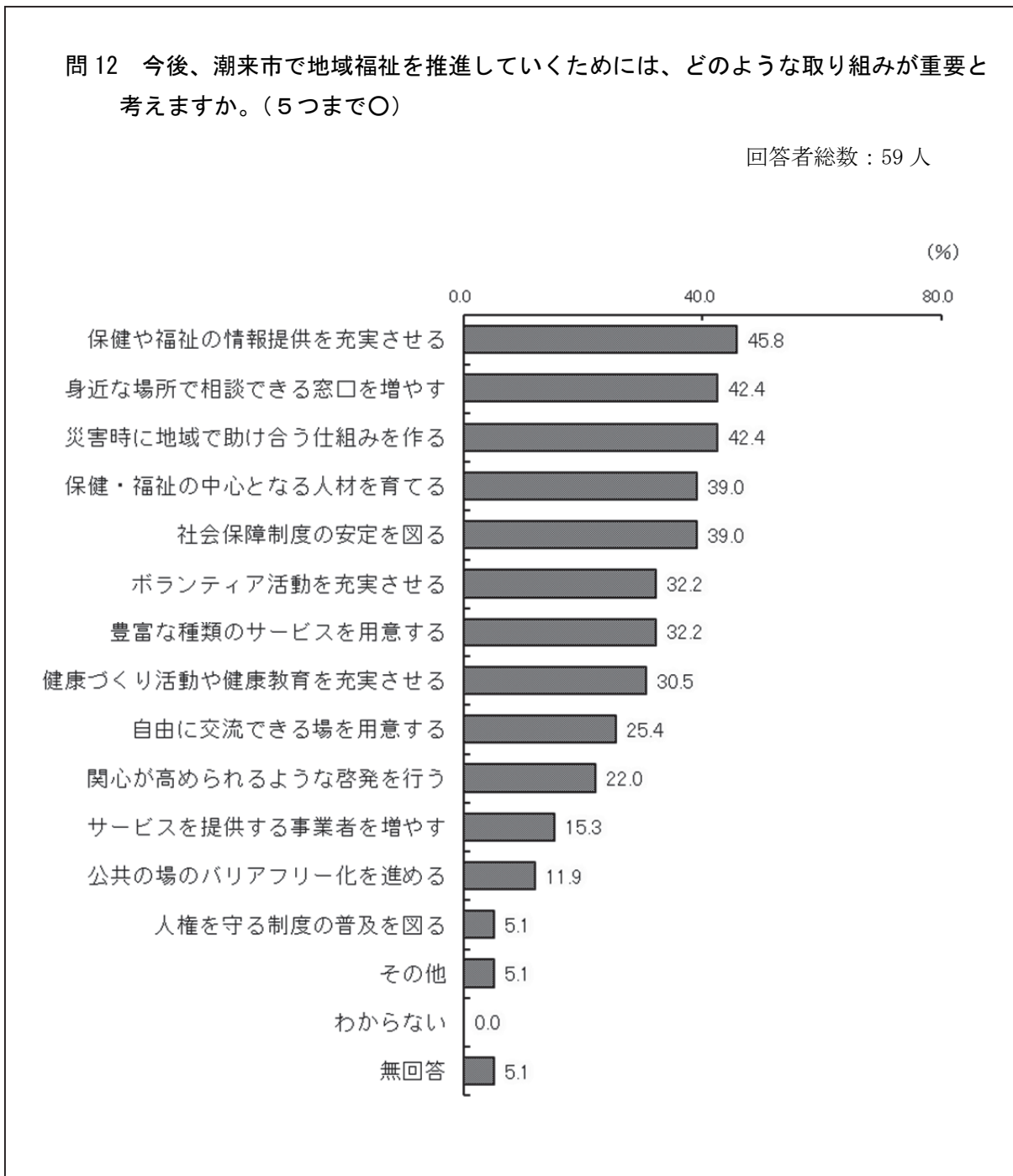


3-2-5 地域福祉の重点施策

「保健や福祉の情報提供」が高く、次に「身近に相談できる窓口」と「災害時の助け合い」が続く。

潮来市において、地域福祉を推進していくために重要なことは、「保健や福祉の情報提供を充実させる」が45.8%で最も高い。次に、「身近な場所で相談できる窓口を増やす」と「災害時に地域で助け合う仕組みを作る」がともに42.4%ずつ続く。

図 地域福祉の重点施策



(裏白)

第4章 ボランティア団体アンケート

(裏白)

第1節 ボランティア活動について

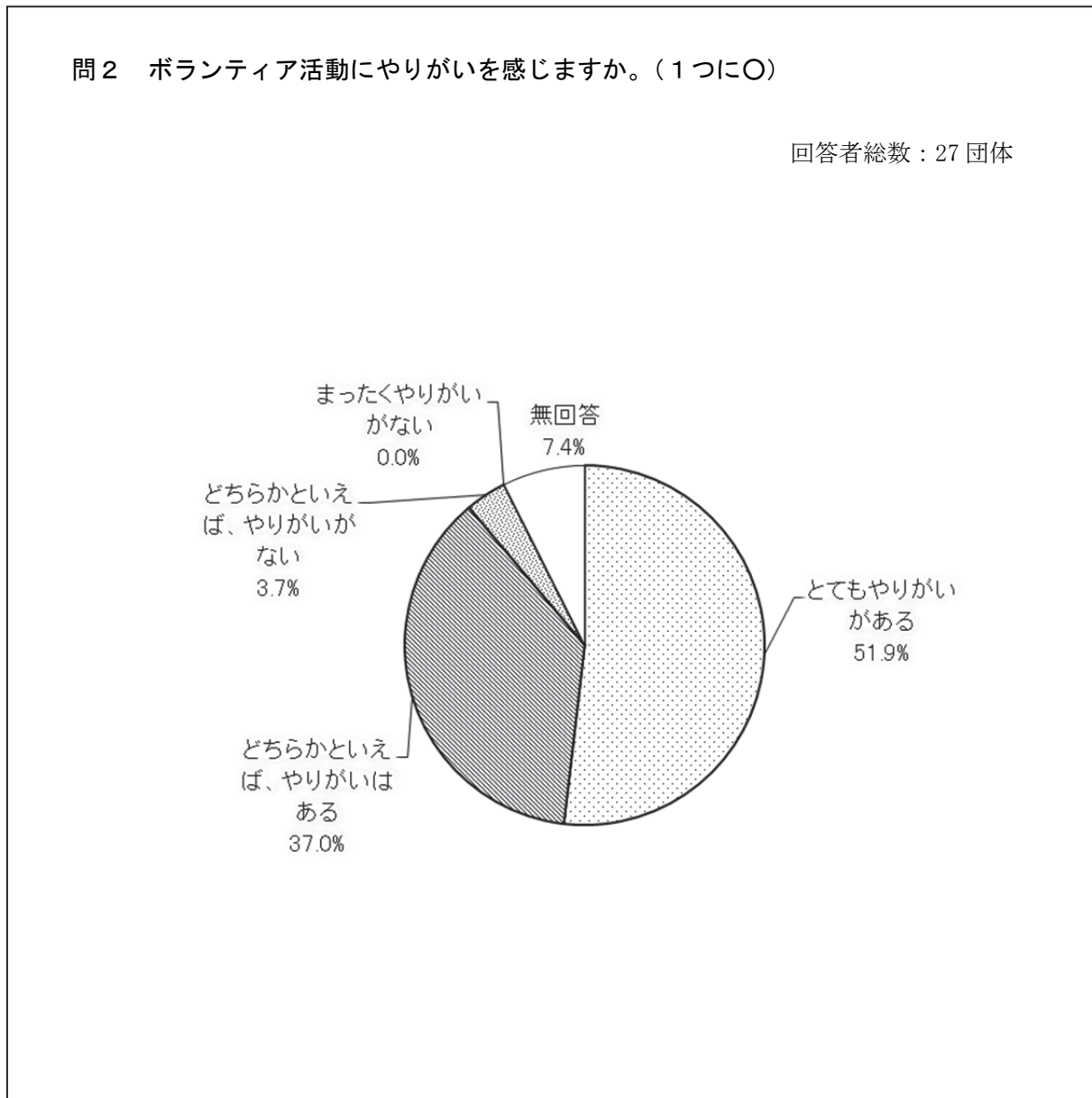
4-1-1 ボランティア活動のやりがい

“やりがいがある”が88.9%。

ボランティア活動のやりがいは、「とてもやりがいがある」が51.9%、「どちらかといえば、やりがいはある」が37.0%で合わせると“やりがいがある”が88.9%である。

その一方で、「どちらかといえば、やりがいがない」が3.7%、「まったくやりがいがない」は0.0%である。

図 ボランティア活動のやりがい

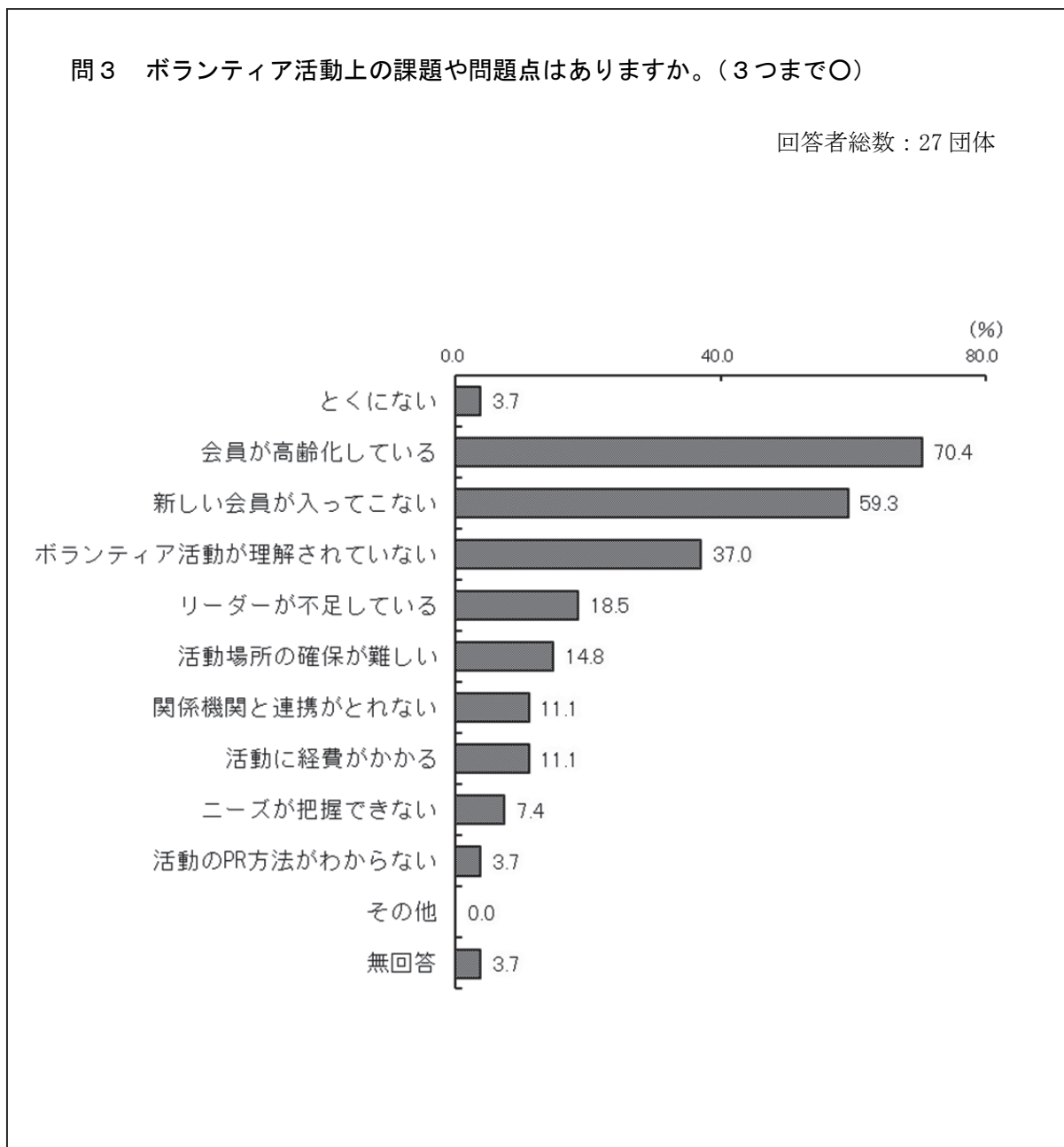


4-1-2 ボランティア活動の課題や問題点

「会員が高齢化している」と「新しい会員が入ってこない」が高い。

ボランティア活動上の課題や問題点は、「会員が高齢化している」が 70.4%で最も高い。次に、「新しい会員が入ってこない」が 59.3%、「ボランティア活動が理解されていない」が 37.0%で続く。

図 ボランティア活動の課題や問題点

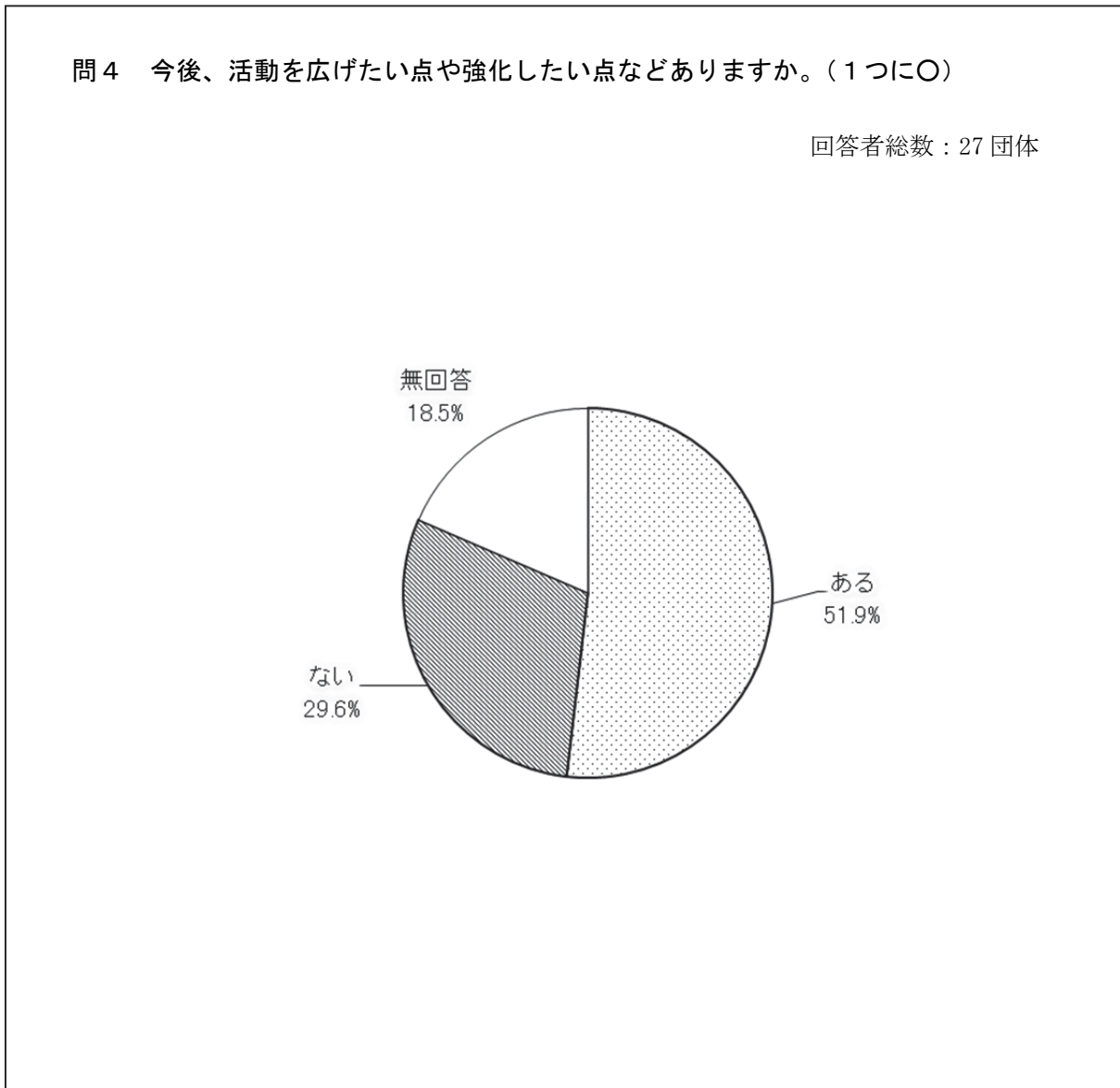


4-1-3 活動内容を広げたいこと

「ある」が51.9%、「ない」が29.6%。

今後、活動を広げたい点や強化したい点は、「ある」が51.9%、「ない」が29.6%である。

図 活動内容を広げたいこと



※今後、活動を広げたい点や強化した点の具体的な記述内容は、資料編を参照。

第2節 地域福祉に対する考え方について

4-2-1 障がいのある人への差別や偏見

少しはあると思うを合わせて、“あると思う”が66.7%。

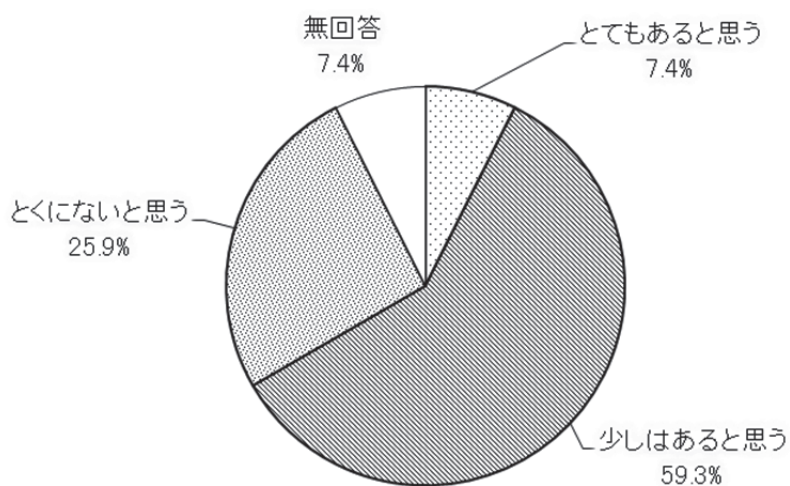
ふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じるかは、「とてもあると思う」が7.4%、「少しはあると思う」が59.3%で合わせると、“あると思う”が66.7%である。

その一方で、「とくにないと思う」は25.9%である。

図 障がいのある人への差別や偏見

問5 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○)

回答者総数：27 団体



4-2-2 気になる地域の課題

「住民同士のつながりが減少」が最も高い。

身近な地域で気になること、問題と感ずることは、「住民同士のつながりが減少」が77.8%で最も高い。次に、「地域組織の弱体化」が44.4%、「地域の役員のなり手が不足」と「手助けを必要とする方の見守り」がともに37.0%ずつで続く。

図 気になる地域の課題



4-2-3 地域の助け合う気風

「全体的にあると思う」が18.5%、「部分的にはあると思う」が55.6%。

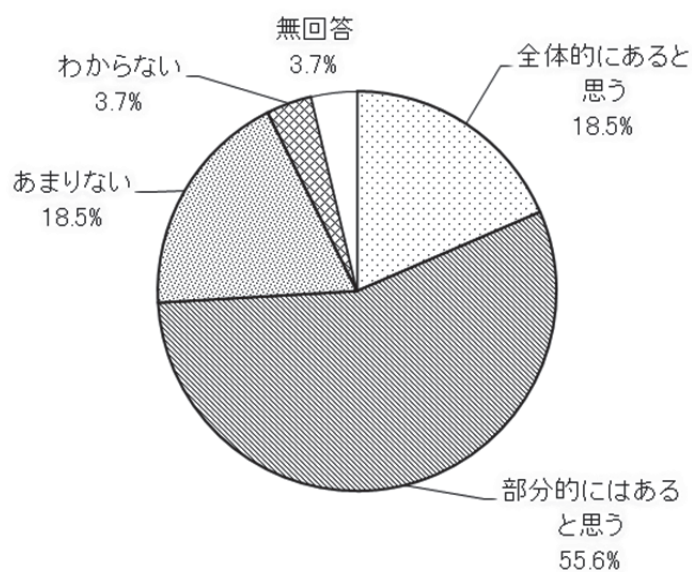
だれかが困っている場合に助け合う気風があるかは、「全体的にあると思う」が18.5%、「部分的にはあると思う」が55.6%である。

その一方で、「あまりない」が18.5%である。

図 地域の助け合う気風

問7 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。
(1つに○)

回答者総数：27 団体



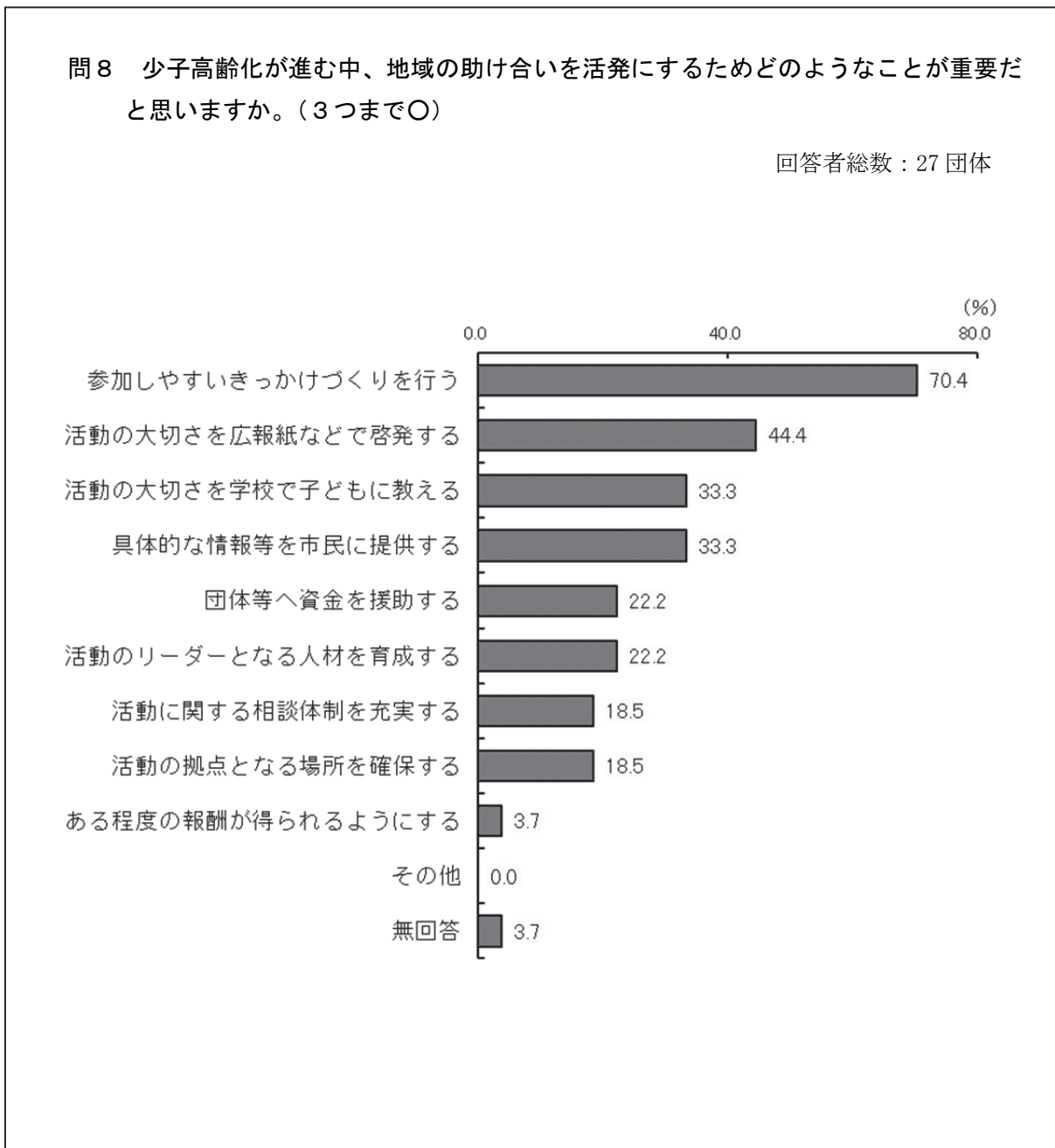
4-2-4 助け合い活動を活発にするための取り組み

「参加しやすいきっかけづくりを行う」が最も高い。

潮来市において、地域の支え合いを活発にするために重要なことは、「参加しやすいきっかけづくりを行う」が70.4%で最も高い。

次に、「活動の大切さを広報紙などで啓発する」が44.4%、「活動の大切さを学校で子どもに教える」と「具体的な情報等を市民に提供する」がともに33.3%ずつで続く。

図 助け合い活動を活発にするための取り組み



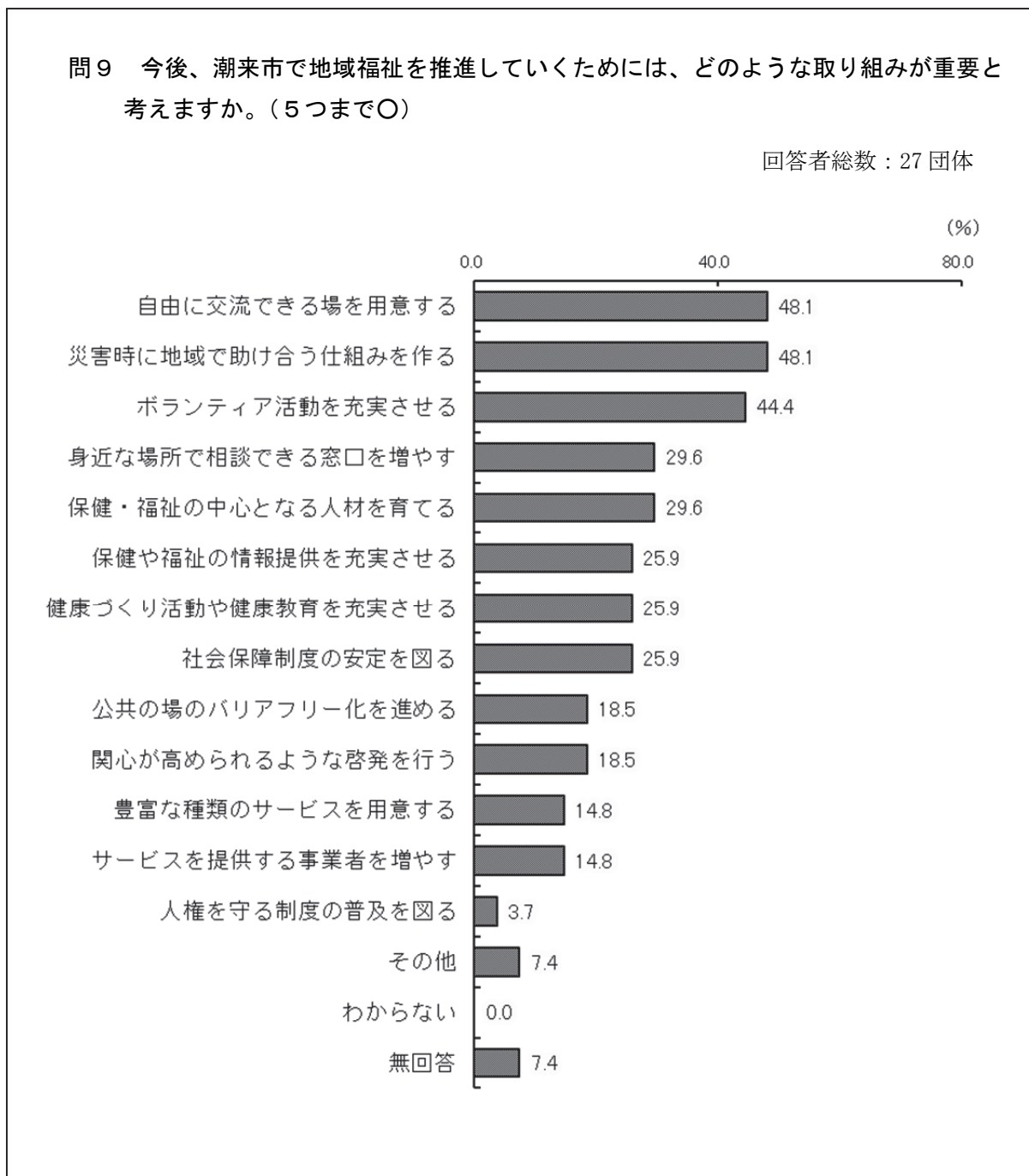
4-2-5 地域福祉の重点施策

「自由に交流できる場」と「災害時の助け合い」、次に「ボランティア活動の充実」。

潮来市において、地域福祉を推進していくために重要なことは、「自由に交流できる場を用意する」と「災害時に地域で助け合う仕組みを作る」がともに48.1%ずつで最も高い。

次に、「ボランティア活動を充実させる」が44.4%で続く。

図 地域福祉の重点施策



第5章 中学生・高校生アンケート

(裏白)

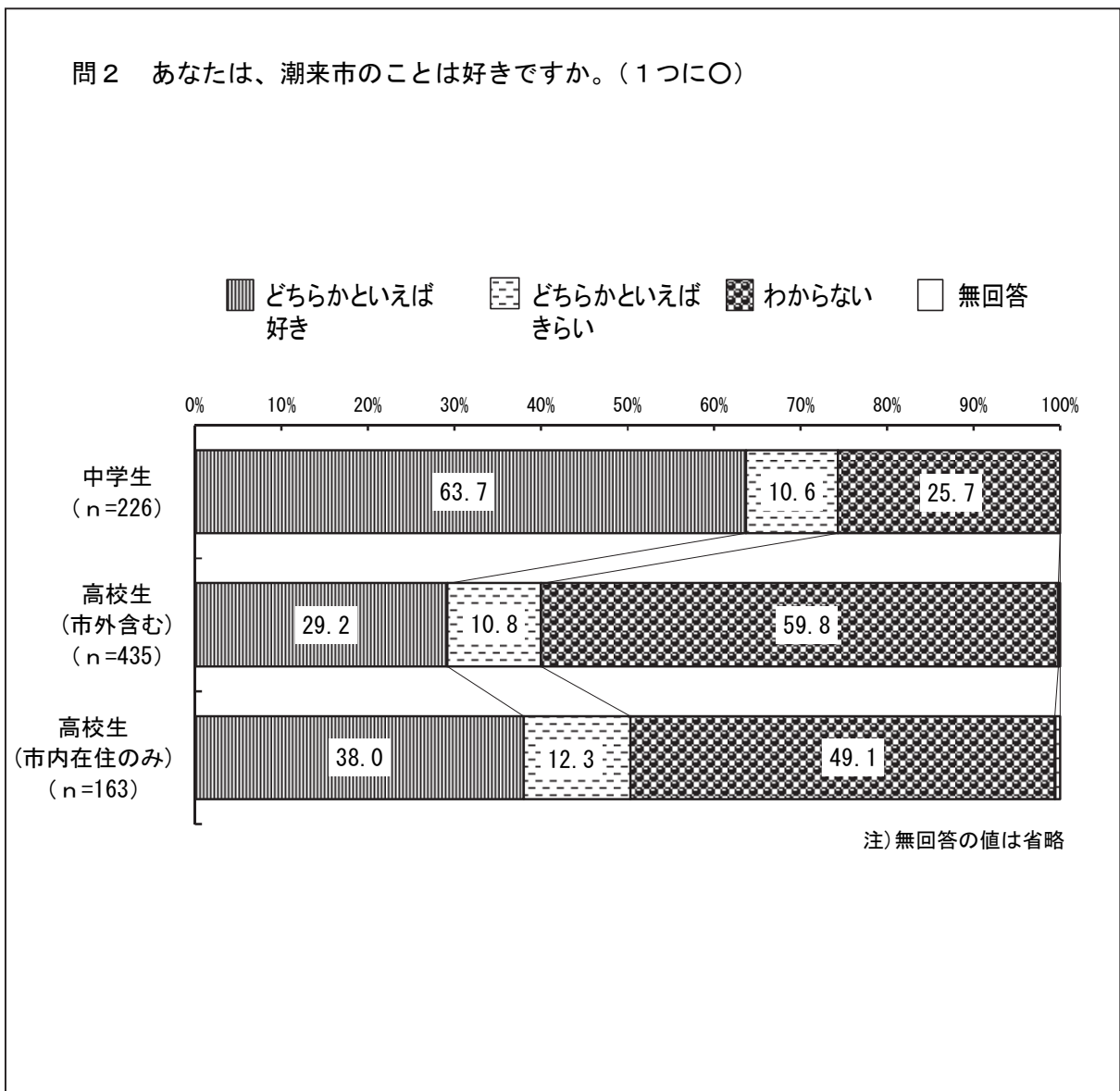
第1節 地域のつながりやボランティア活動について

5-1-1 潮来市への愛着

「どちらかといえば好き」は、中学生が63.7%、高校生（市内在住のみ）が38.0%。

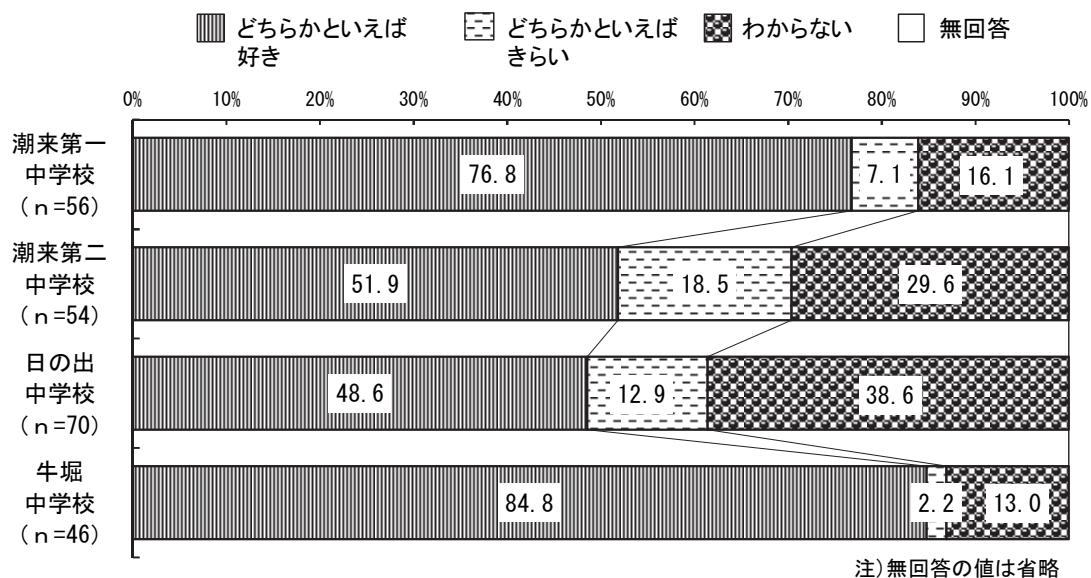
潮来市への愛着は、中学生は「どちらかといえば好き」が63.7%、「どちらかといえば嫌い」が10.6%である。また、高校生（市外含む）は「どちらかといえば好き」が29.2%で
ある。さらに、高校生（市内在住のみ）は「どちらかといえば好き」が38.0%である。

図 潮来市への愛着



【中学校区別】

潮来市への愛着を中学校区別にみると、「どちらかといえば好き」は“潮来第一中学校”が76.8%、“牛堀中学校”が84.8%で特に高い。



5-1-2 お祭りやイベントの参加

「よく参加する」が 37.2%、「たまに参加する」が 50.4%。

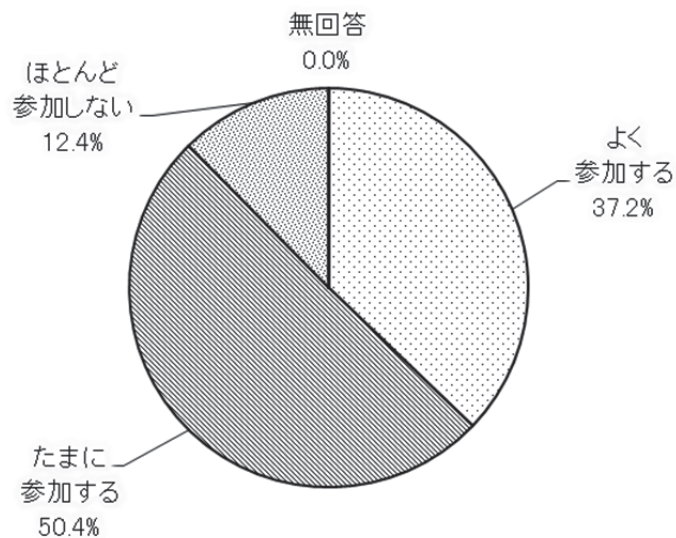
中学生にたずねた、潮来市のお祭りやイベントに参加したり、見に行くことは、「よく参加する」が 37.2%、「たまに参加する」が 50.4%である。

その一方で、「ほとんど参加しない」が 12.4%である。

図 お祭りやイベントの参加《中学生のみ》

問3 あなたは、潮来市のお祭りやイベントに参加したり、見に行きますか。
(1つに〇)

回答者総数：226人



5-1-3 住みよさ意識

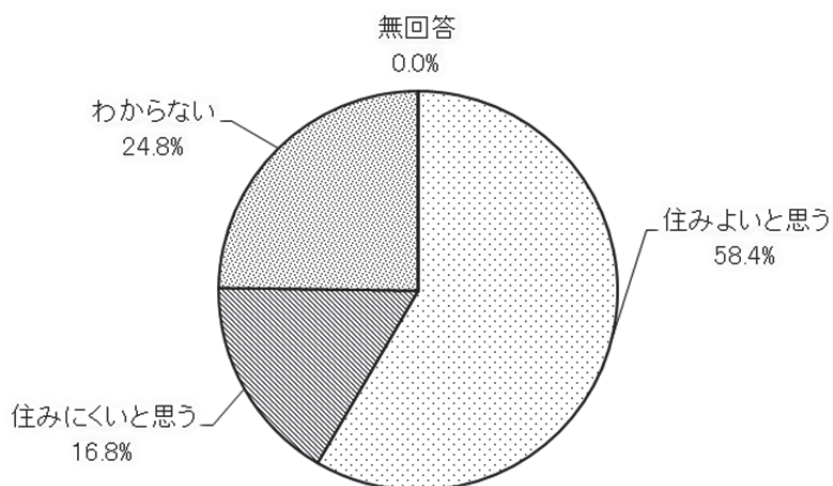
「住みよいと思う」が約6割。

中学生にたずねた、潮来市の住みよさは「住みよいと思う」が58.4%である。その一方で、「住みにくいと思う」が16.8%である。

図 住みよさ意識《中学生のみ》

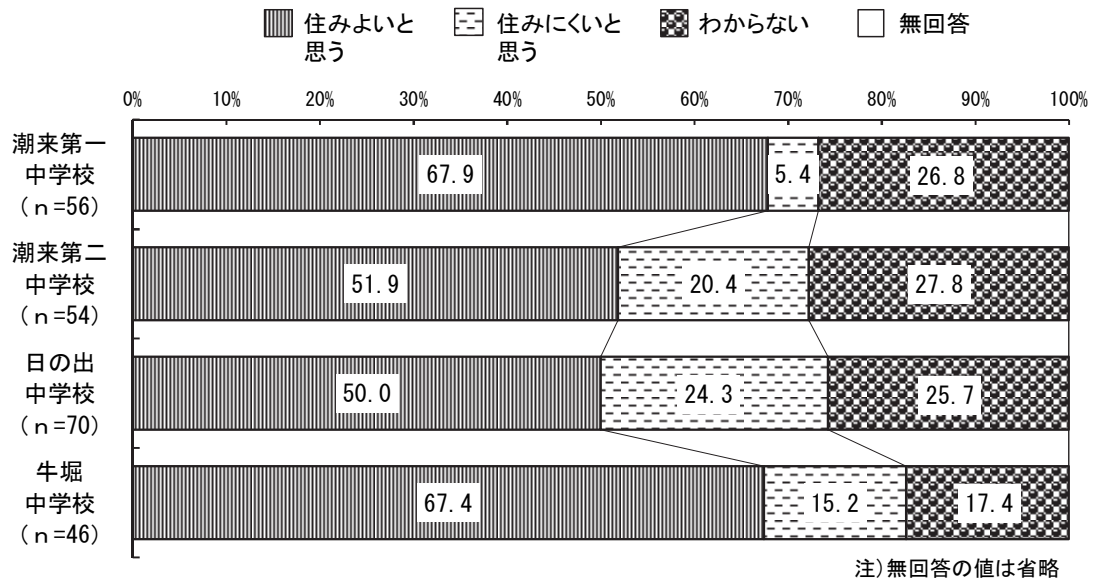
問4 あなたは、潮来市は住みよいまちだと感じますか。(1つに○)

回答者総数：226人



【中学校区別】

潮来市の住みよさを中学校区別にみると、「住みよいと思う」は“潮来第一中学校”が67.9%、
“牛堀中学校”が67.4%で比較的高い。



5-1-4 「福祉」への関心

“関心がある”が41.3%。その一方で、関心がない”が58.4%

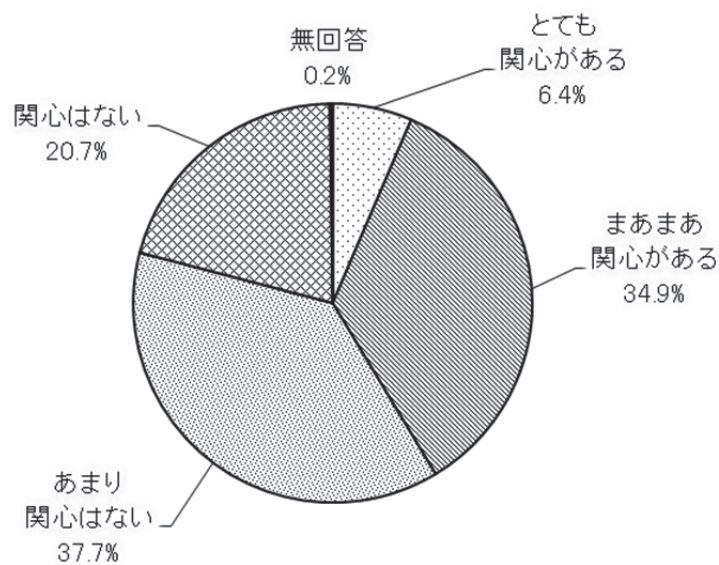
高校生にたずねた、「福祉」への関心は、「とても関心がある」が6.4%、「まあまあ関心がある」が34.9%で合わせると、“関心がある”が41.3%である。

その一方で、「あまり関心はない」が37.7%、「関心はない」が20.7%で合わせると、“関心がない”が58.4%である。

図 「福祉」への関心《高校生のみ》

問4 あなたは、「福祉」への関心はいかがですか。(1つに○)

回答者総数：435人



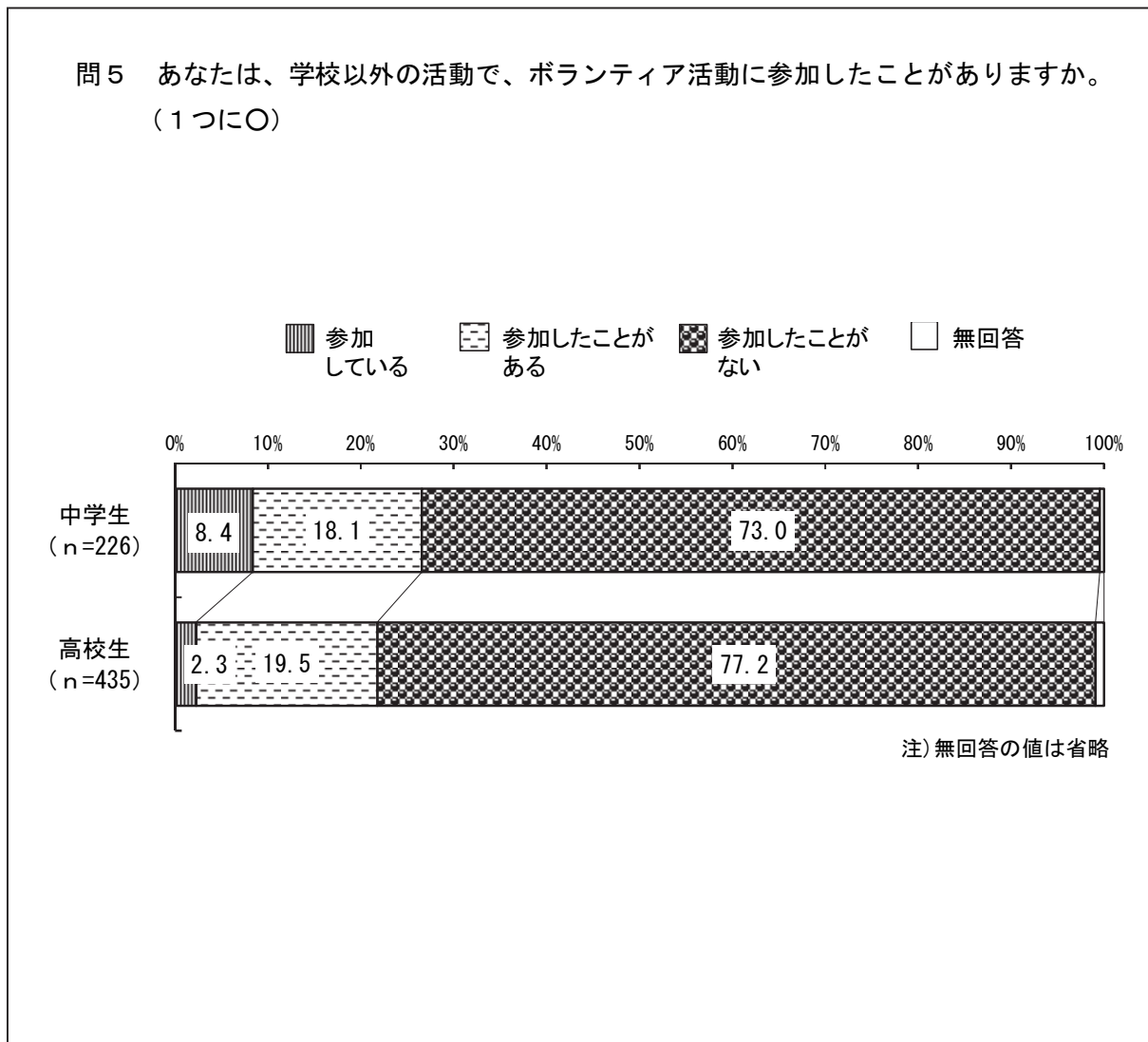
5-1-5 学校以外のボランティア活動への参加

「参加している」と「参加したことがある」を合わせて、中学生は26.5%、高校生は21.8%。

学校以外のボランティア活動への参加は、中学生は「参加している」が8.4%、「参加したことがある」が18.1%で合わせると26.5%である。

高校生は「参加している」が2.3%、「参加したことがある」が19.5%で合わせると21.8%である。

図 学校以外のボランティア活動への参加



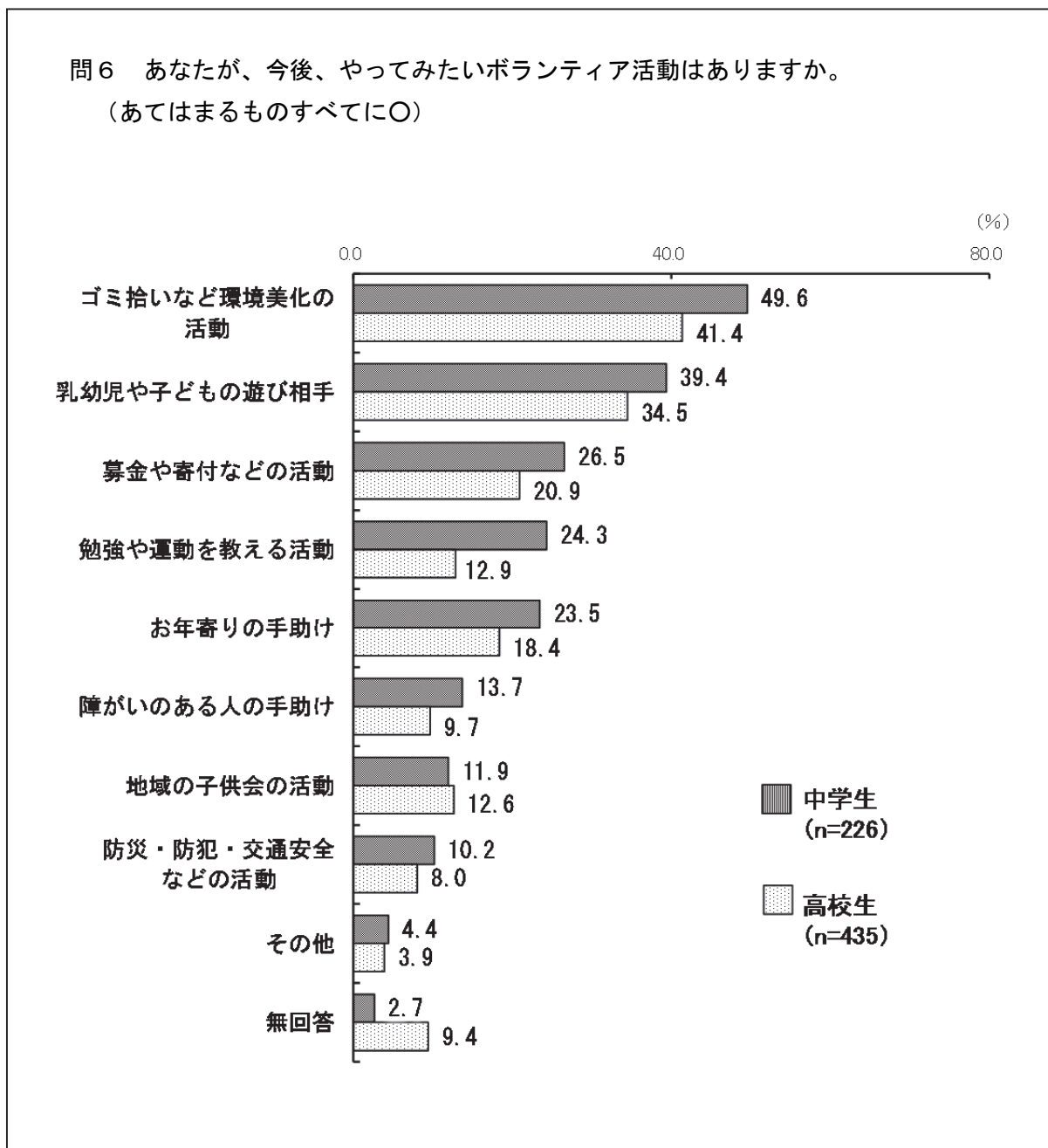
5-1-6 今後、やってみたいボランティア活動

「ゴミ拾いなど環境美化の活動」が最も高く、次に「乳幼児や子どもの遊び相手」。

今後、やってみたいボランティア活動は、中学生は「ゴミ拾いなど環境美化の活動」が49.6%で最も高く、次に「乳幼児や子どもの遊び相手」が39.4%で続く。

また、高校生についても「ゴミ拾いなど環境美化の活動」が41.4%で最も高く、次に「乳幼児や子どもの遊び相手」が34.5%で続く。

図 今後、やってみたいボランティア活動



第2節 地域福祉活動の推進について

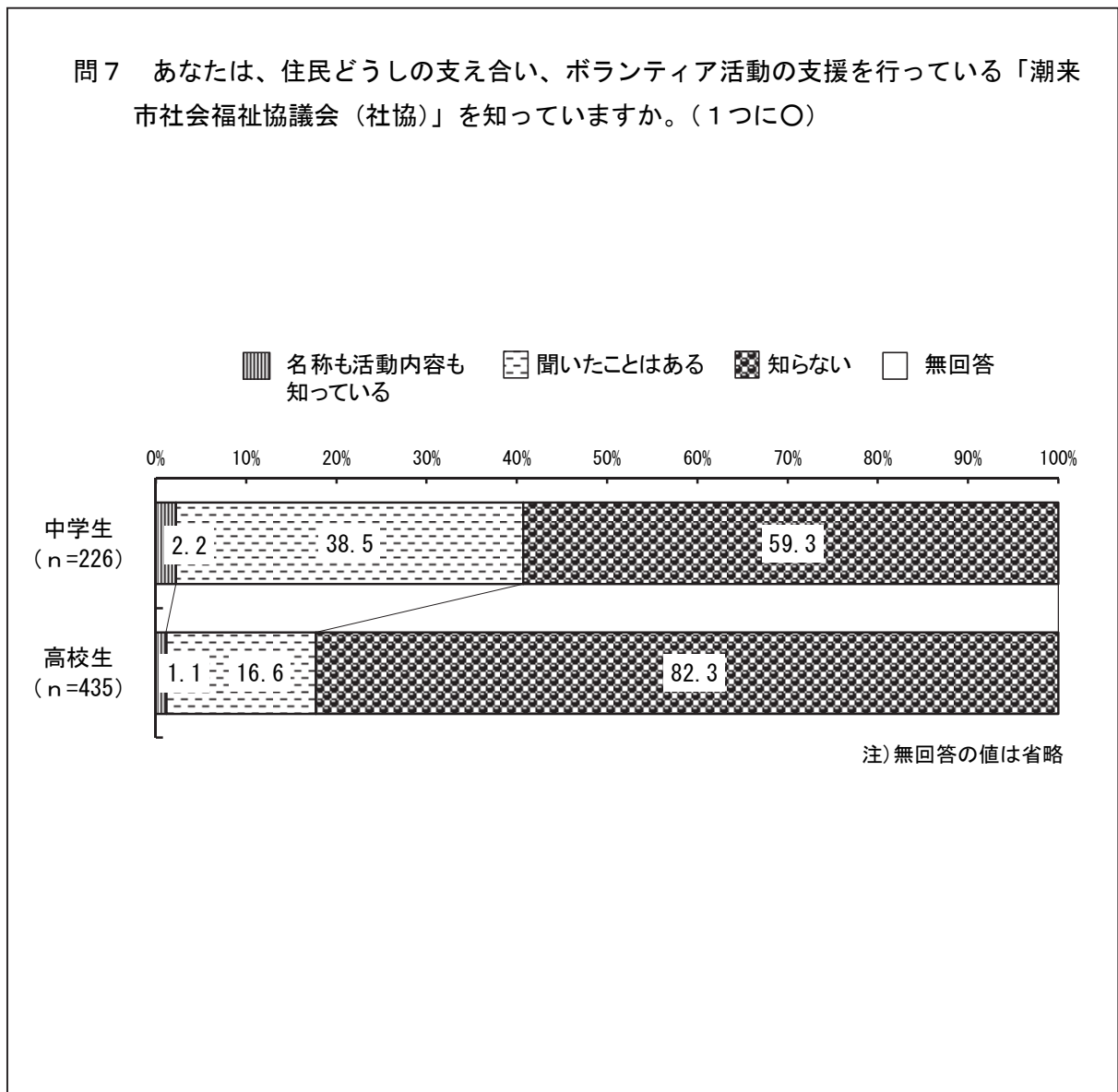
5-2-1 「潮来市社会福祉協議会（社協）」の認知度

「名称も活動内容も知っている」と「聞いたことはある」を合わせて、中学生は40.7%、高校生は17.7%。

「潮来市社会福祉協議会（社協）」の認知度は、中学生は「名称も活動内容も知っている」が2.2%、「聞いたことはある」が38.5%で合わせると40.7%である。

また、高校生は「名称も活動内容も知っている」が1.1%、「聞いたことはある」が16.6%で合わせると17.7%である。

図 「潮来市社会福祉協議会（社協）」の認知度



5-2-2 「民生委員・児童委員」の認知度

「名称も活動内容も知っている」と「聞いたことはある」を合わせて約2割。

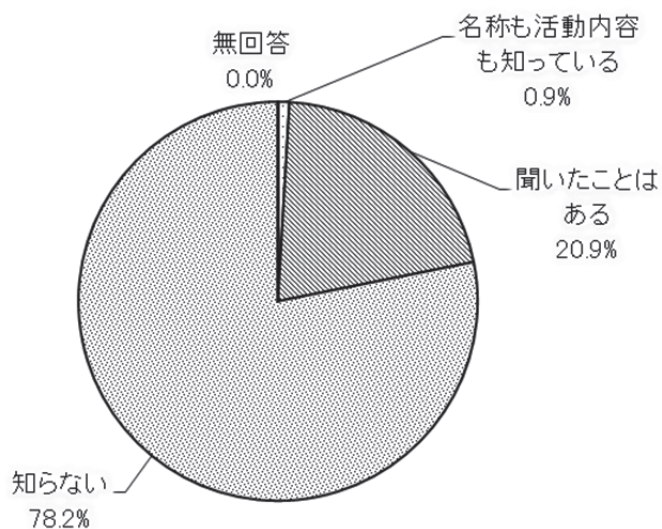
高校生にたずねた、「民生委員・児童委員」の認知度は、「名称も活動内容も知っている」が0.9%、「聞いたことはある」が20.9%で合わせると21.8%である。

その一方で、「知らない」が78.2%である。

図 「民生委員・児童委員」の認知度《高校生のみ》

問8 あなたは、地域の「民生委員・児童委員」の活動を知っていますか。
(1つに○)

回答者総数：435人

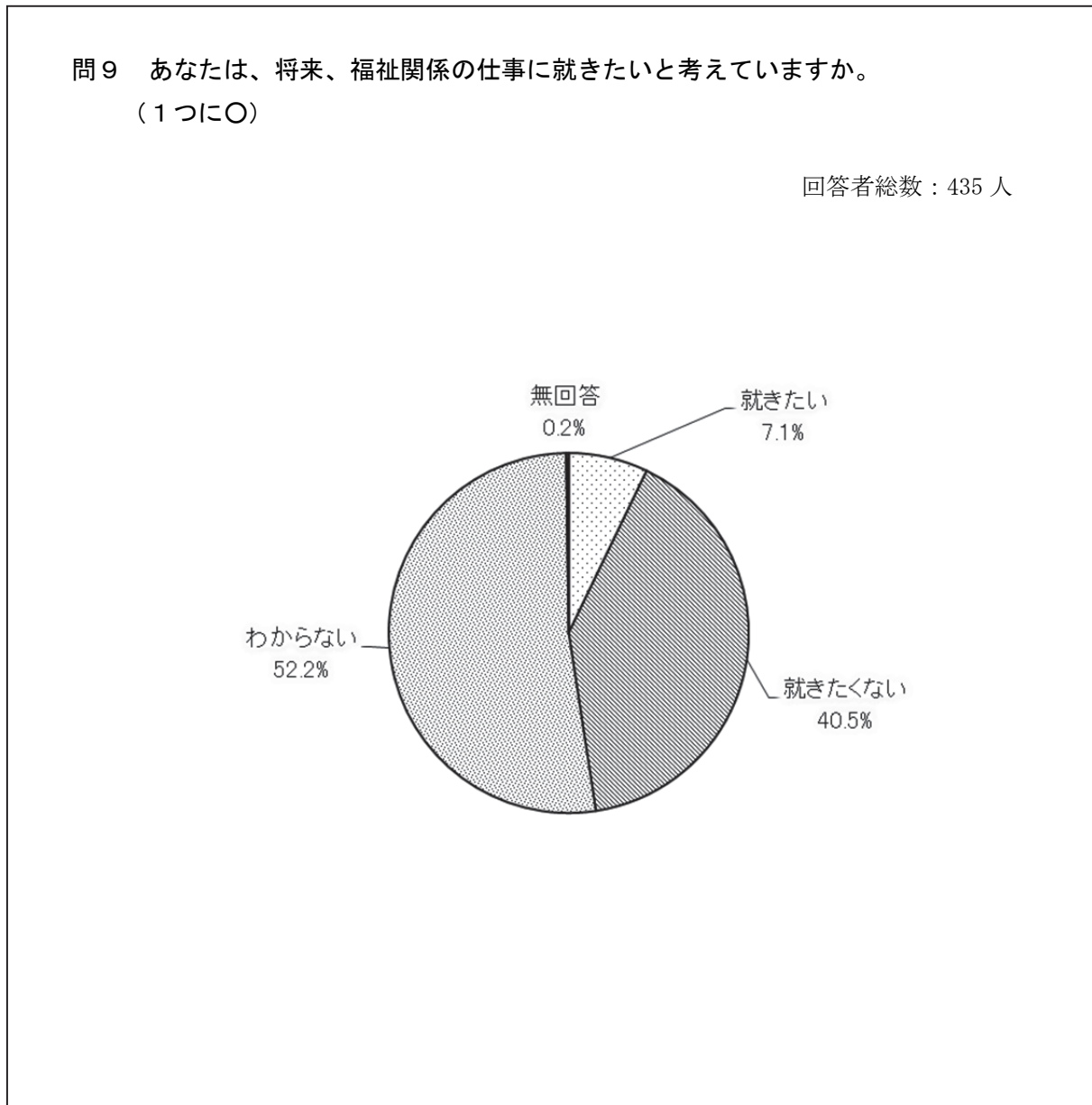


5-2-3 福祉関係への就労希望

「就きたい」が7.1%。「就きたくない」が40.5%。

高校生にたずねた、福祉関係への就職希望は、「就きたい」が7.1%である。また、「就きたくない」が40.5%である。

図 福祉関係への就労希望《高校生のみ》



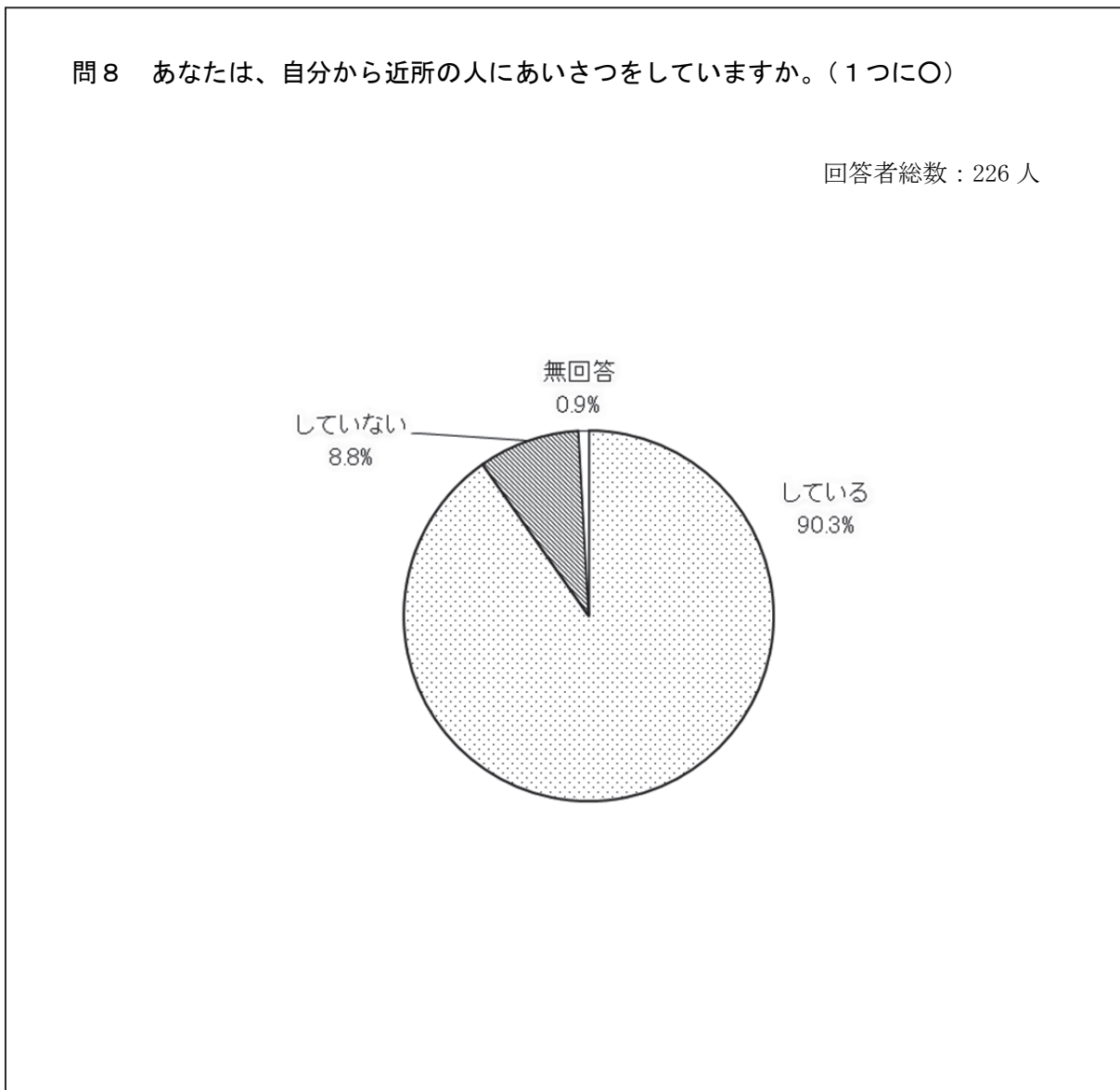
第3節 地域の支え合い、助け合いについて

5-3-1 近所の人へのあいさつ

あいさつを「している」が9割。

中学生にたずねた、近所の人へのあいさつは、「している」が90.3%である。また、「していない」が8.8%である。

図 近所の人へのあいさつ《中学生のみ》



5-3-2 困っている人への手助け

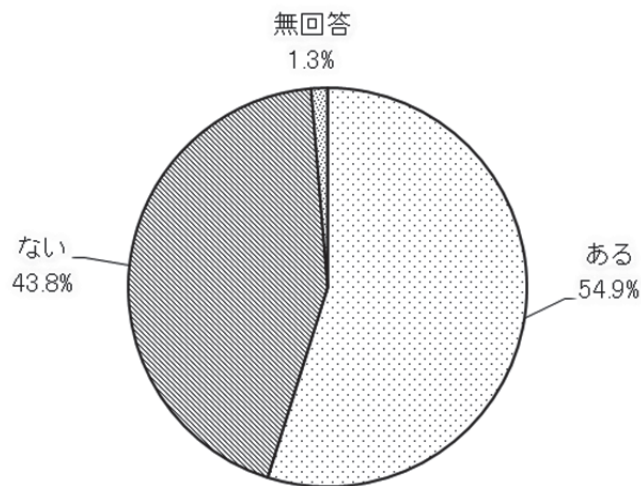
手助けをしたことが「ある」は54.9%。

中学生にたずねた、お年寄りや身体が不自由な人など困っている人への手助けしたことは、「ある」が54.9%である。また、「ない」が43.8%である。

図 困っている人への手助け《中学生のみ》

問9 あなたは、お年寄りや身体が不自由な人などが困っている時に手助けをしたことがありますか。(1つに○)

回答者総数：226人



5-3-3 困った時に助けてくれる友だち

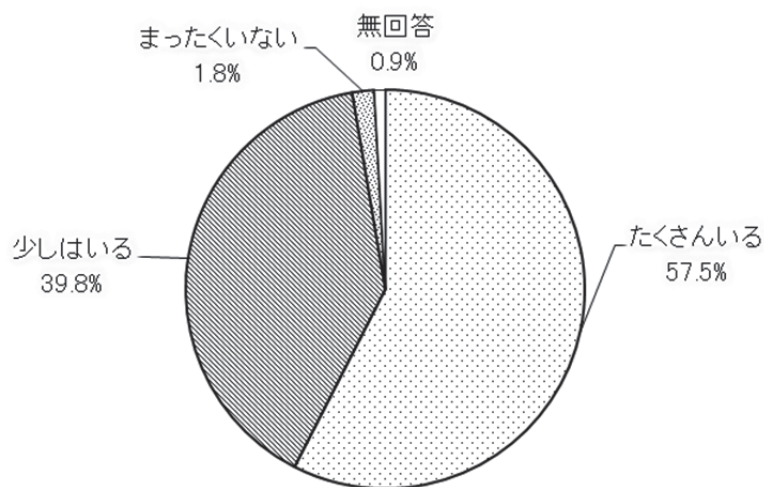
「たくさんいる」が57.5%。その一方で「まったくいない」が1.8%。

中学生にたずねた、話を聞いてくれたり、困った時に助けてくれたりする友だちがいるかは、「たくさんいる」が57.5%である。また、「少しはいる」が39.8%、「まったくいない」が1.8%である。

図 困った時に助けてくれる友だち《中学生のみ》

問10 あなたには、話を聞いてくれたり、困った時に助けてくれたりする友だちがいますか。(1つに○)

回答者総数：226人

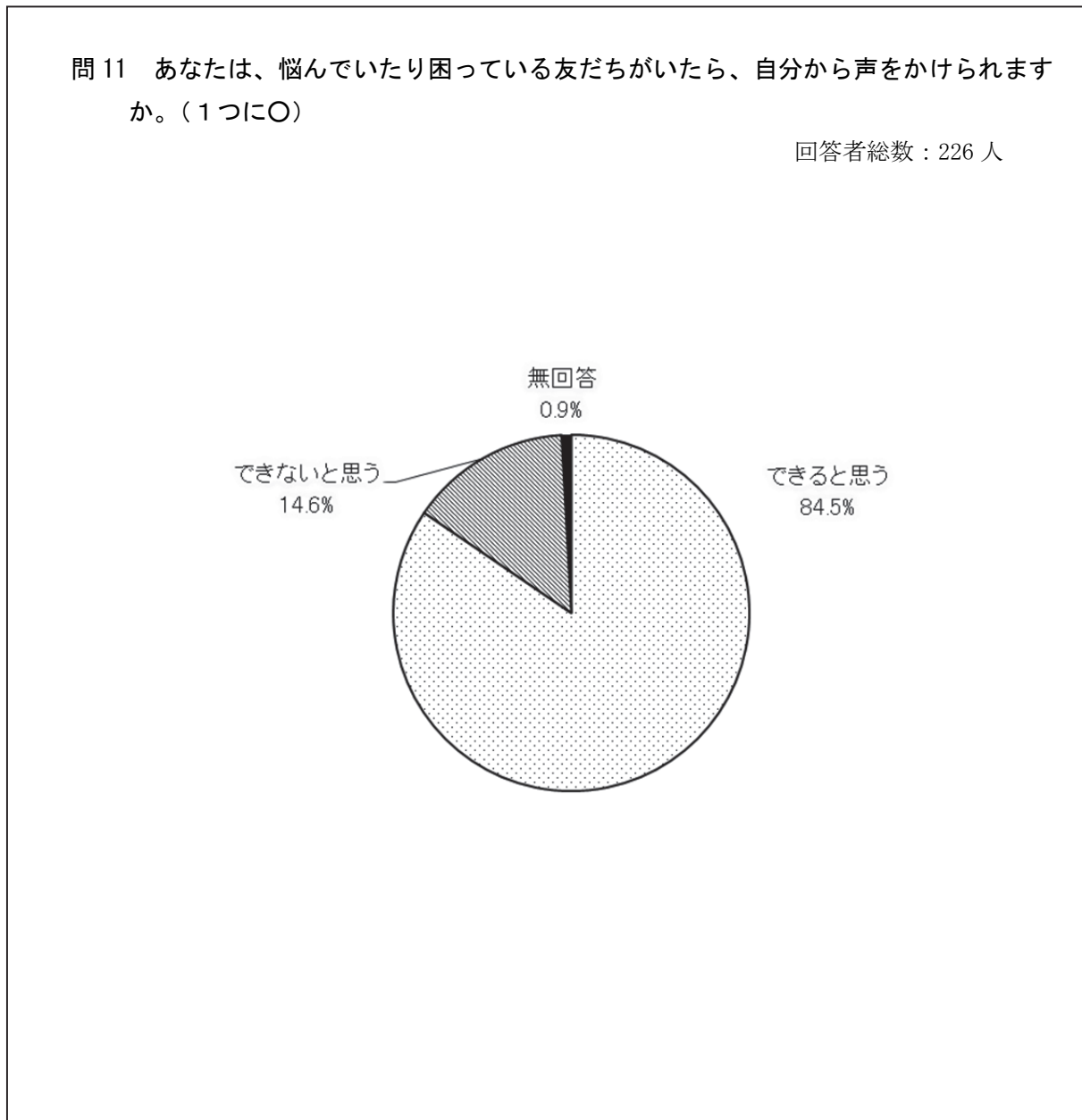


5-3-4 自分からの声かけ

「できると思う」が 84.5%。その一方で「できないと思う」が 14.6%。

中学生にたずねた、悩んでいたり困っている友だちがいたら、自分から声をかけられるかは、「できると思う」が 84.5%である。その一方で、「できないと思う」が 14.6%である。

図 自分からの声かけ《中学生のみ》



5-3-5 ご近所による支え合い、助け合い

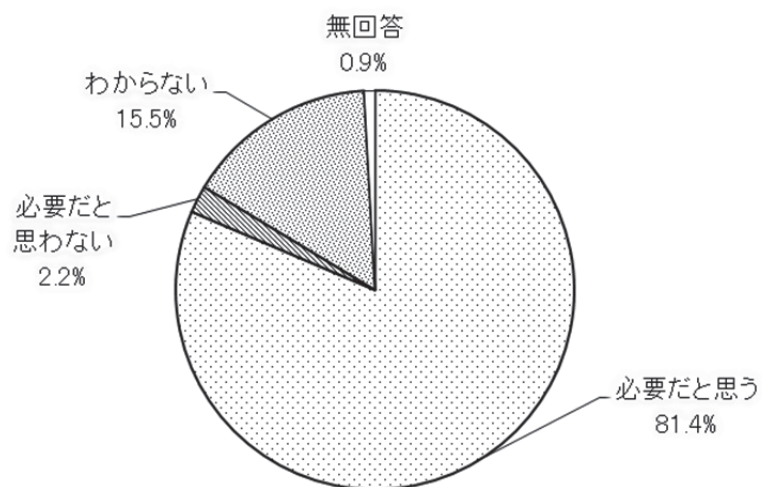
「必要だと思う」が81.4%。

中学生にたずねた、ご近所による支え合い、助け合いの必要性は、「必要だと思う」が81.4%である。その一方で、「必要だと思わない」が2.2%である。

図 ご近所による支え合い、助け合い《中学生のみ》

問12 あなたは、ふだんの暮らしの中で、ご近所による支え合い、助け合いは必要だと思いますか。(1つに○)

回答者総数：226人



第4節 地域福祉に対する考え方について

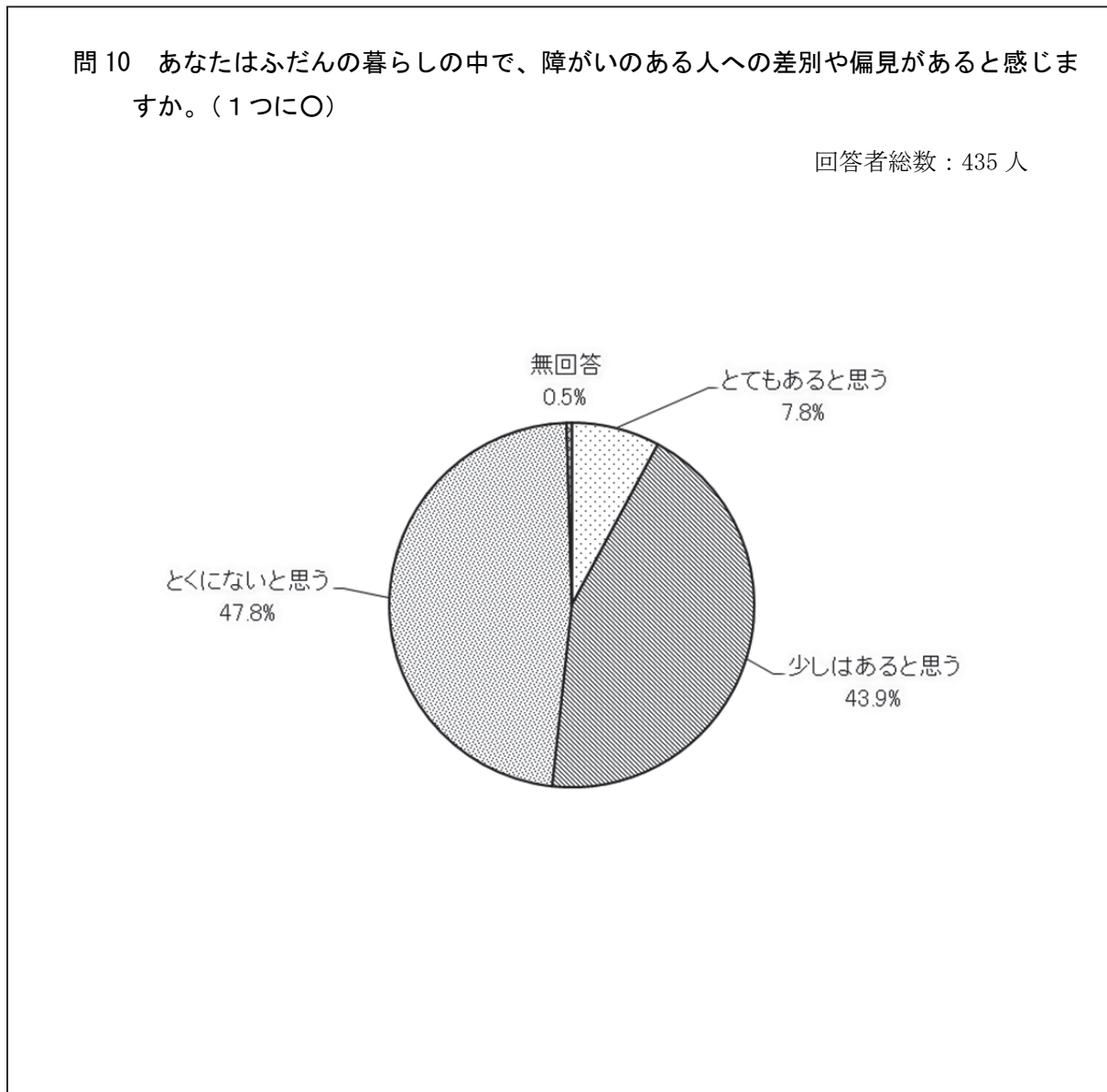
5-4-1 障がいのある人への差別や偏見

少しはあると思うを合わせて、“あると思う”が51.7%。

高校生にたずねた、ふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じるかは、「とてもあると思う」が7.8%、「少しはあると思う」が43.9%で合わせると、“あると思う”が51.7%である。

その一方で、「とくにないと思う」は47.8%である。

図 障がいのある人への差別や偏見《高校生のみ》



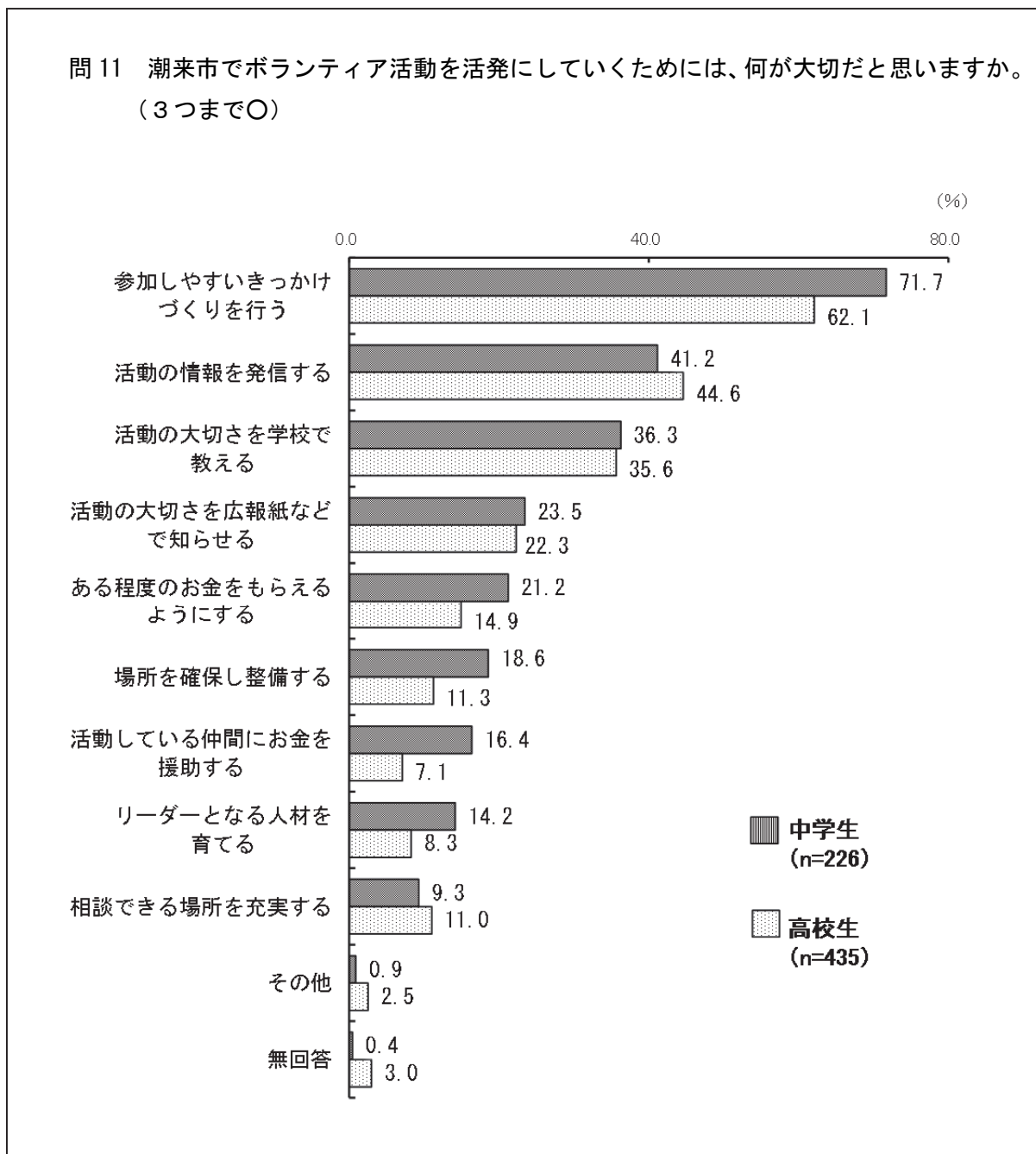
5-4-2 ボランティア活動を活発にするための取り組み

「参加しやすいきっかけづくりを行う」が最も高い。

潮来市において、ボランティア活動を活発にするために重要なことは、「参加しやすいきっかけづくりを行う」が、中学生は71.7%、高校生は62.1%で最も高い。

次に、「活動の情報を発信する」が、中学生は41.2%、高校生は44.6%で続く。

図 ボランティア活動を活発にするための取り組み



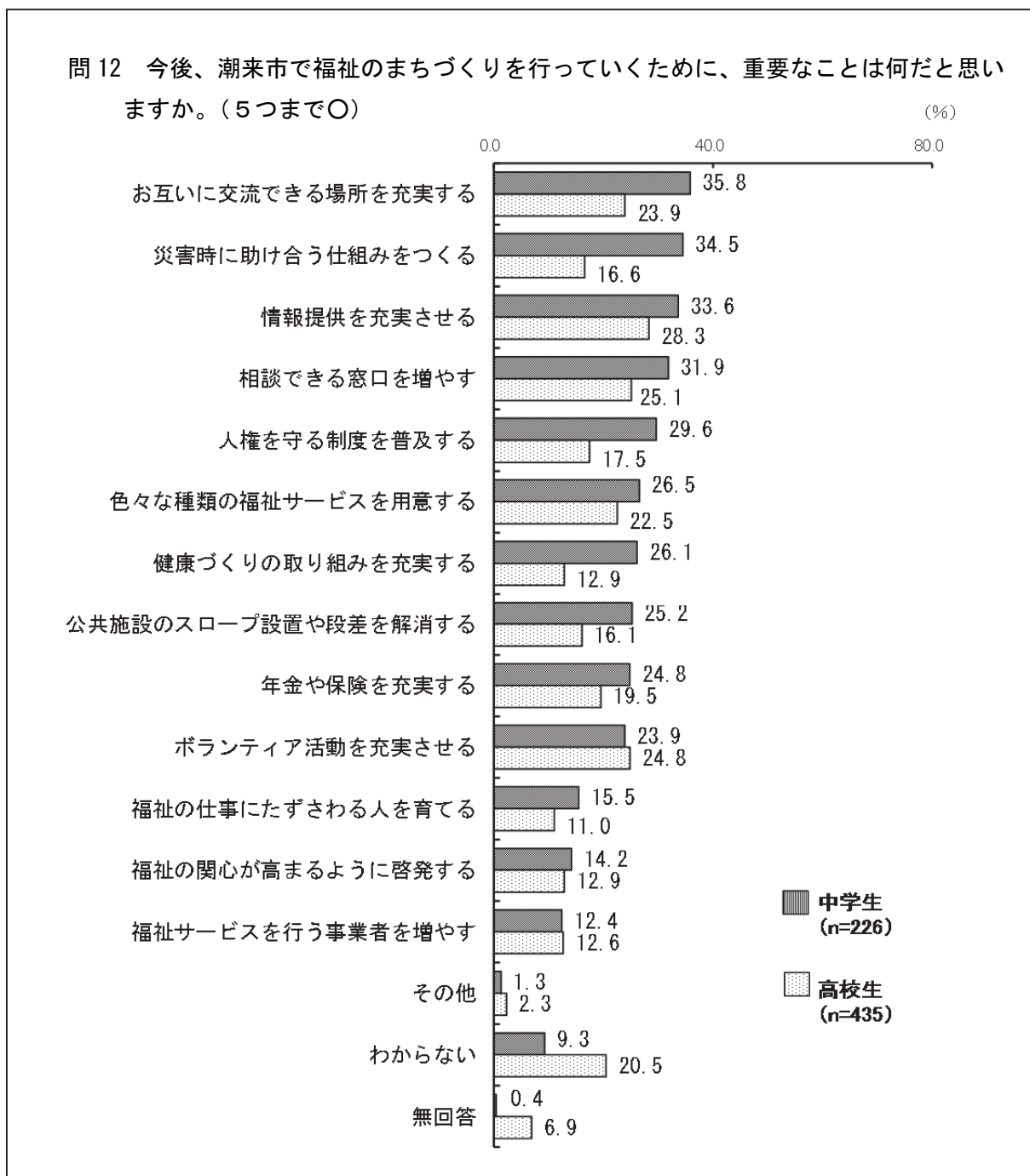
5-4-3 福祉のまちづくりの重点施策

中学生は「お互いに交流できる場所を充実する」。また、高校生は「情報提供を充実させる」が高い。

潮来市において、福祉のまちづくりを行っていくために重要なことは、中学生は「お互いに交流できる場所を充実する」が35.8%で最も高く、次に「災害時に助け合う仕組みをつくる」が34.5%で続く。

また、高校生は「情報提供を充実させる」が28.3%で最も高く、次に「相談できる窓口を増やす」が25.1%で続く。

図 福祉のまちづくりの重点施策



資 料 編

(裏白)

1 集計表

(1) 一般市民アンケート

I あなた自身のことについて

問1 性別は。(1つに○)

回答者総数=898人

1. 男性	426 (47.4)	2. 女性	462 (51.4)
		無回答	10 (1.1)

問2 年齢は。(1つに○) (平成29年8月1日現在(基準日))

回答者総数=898人

1. 18~29歳	63 (7.0)	5. 60~69歳	238 (26.5)
2. 30~39歳	75 (8.4)	6. 70~79歳	178 (19.8)
3. 40~49歳	126 (14.0)	7. 80歳以上	59 (6.6)
4. 50~59歳	151 (16.8)		
		無回答	8 (0.9)

問3 お住まいの地区は。(1つに○)

回答者総数=898人

1. 潮来地区	172 (19.2)	5. 日の出地区	187 (20.8)
2. 津知地区	120 (13.4)	6. 大洲区、十番区	22 (2.4)
3. 延方地区	193 (21.5)	7. かすみ地区	71 (7.9)
4. 大生原地区	48 (5.3)	8. 八代地区	71 (7.9)
		無回答	14 (1.6)

問4 潮来市の居住年数は。(1つに○)

回答者総数=898人

1. 転入してきて5年未満	40 (4.5)	3. 転入してきて10年以上	433 (48.2)
2. 転入してきて5~10年	31 (3.5)	4. 生まれたときから住んでいる	378 (42.1)
		無回答	16 (1.8)

問5 あなたの家族構成は。(1つに○)

回答者総数=898人

1. ひとり暮らし	62 (6.9)	4. 三世帯世帯(親、子、孫で暮らしている)	154 (17.1)
2. 一世帯世帯(夫婦のみ又は兄弟姉妹のみ)	272 (30.3)	5. その他()	25 (2.8)
3. 二世帯世帯(親、子で暮らしている)	374 (41.6)		
		無回答	11 (1.2)

問6 お住まいの居住形態は。(1つに○)

回答者総数=898人

1. 一戸建て(自己・家族所有)	801 (89.2)	3. 集合住宅(自己・家族所有)	11 (1.2)
2. 一戸建て(賃貸)	26 (2.9)	4. 集合住宅(賃貸)	42 (4.7)
		5. その他()	10 (1.1)
		無回答	8 (0.9)

問7 あなたの職業は。(1つに○)

回答者総数=898人

1. 農業	36 (4.0)	5. 自由業(医師・弁護士など)	4 (0.4)
2. 自営業(商店などを経営)	86 (9.6)	6. パート・アルバイト	117 (13.0)
3. 勤め人(会社などに勤務)	268 (29.8)	7. 専業主婦・主夫	167 (18.6)
4. 公務員	27 (3.0)	8. その他()	176 (19.6)
		無回答	17 (1.9)

II 地域とのつながりについて

問8 あなたにとって、身近に感じる「地域」として最も近い範囲は。

(1つに○)

回答者総数=898人

1. ご近所の範囲	364 (40.5)	4. 中学校区の範囲	62 (6.9)
2. 自治会(区)の範囲	216 (24.1)	5. 市全体の範囲	103 (11.5)
3. 小学校区の範囲	92 (10.2)	6. その他()	27 (3.0)
		無回答	34 (3.8)

問9 あなたは、どの程度、ご近所付き合いをしていますか。(1つに○)

回答者総数=898人

1. とても親しく付き合っている	106 (11.8)	3. 付き合いはあるが、それほど親しくない	270 (30.1)
2. ある程度親しく付き合っている	346 (38.5)	4. 付き合いは、ほとんどない	162 (18.0)
		無回答	14 (1.6)

問10 あなたは、ご近所による支え合い、助け合いの必要性をどう感じますか。

(1つに○)

回答者総数=898人

1. とても必要だと思う	212 (23.6)	3. あまり必要だと思わない	87 (9.7)
2. ある程度必要だと思う	567 (63.1)	4. まったく必要だと思わない	14 (1.6)
		無回答	18 (2.0)



問10 - ① 主な理由を教えてください。(1つに○)

回答者総数=101人

1. とくに困ることがないと思うから	38 (37.6)	4. ほとんど家にいないから	13 (12.9)
2. 近所付き合いがわずらわしいから	24 (23.8)	5. その他 ()	5 (5.0)
3. 人との関わりが苦手だから	20 (19.8)		
		無回答	1 (1.0)

問11 お住まいの地域をみて、気になること、問題と感ずることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=898人

1. まつりなど地域行事の衰退	173 (19.3)	6. 災害など非常時での協力体制	237 (26.4)
2. 地域の役員のなり手が不足	282 (31.4)	7. 手助けを必要とする方の見守り	135 (15.0)
3. 地域組織の弱体化	172 (19.2)	8. ごみや騒音などモラルの問題	186 (20.7)
4. 住民同士のつながりが減少	307 (34.2)	9. その他 ()	37 (4.1)
5. 防犯・治安・風紀の問題	144 (16.0)	10. とくにない	151 (16.8)
		無回答	33 (3.7)

問12 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。

(1つに○)

回答者総数=898人

1. 全体的にあると思う	113 (12.6)	3. あまりない	119 (13.3)
2. 部分的にはあると思う	461 (51.3)	4. わからない	184 (20.5)
		無回答	21 (2.3)

問13 あなたは、自治会(区)に入っていますか。(1つに○)

回答者総数=898人

1. 入っている	663 (73.8)	2. 今は入っていない	111 (12.4)
		3. 以前から今も入っていない	102 (11.4)
		無回答	22 (2.4)

問13 - ① 主な理由を教えてください。(3つまで○)

回答者総数=213人

1. 必要性を感じない	71 (33.3)	5. 活動の内容が不透明	49 (23.0)
2. 加入方法がわからない	28 (13.1)	6. 役員の業務が負担	73 (34.3)
3. 会費の支払いが負担	46 (21.6)	7. その他 ()	35 (16.4)
4. 活動がわずらわしい	59 (27.7)		
		無回答	6 (2.8)

問14 潮来市では、地域のコミュニティ活動を担う自治会（区）の加入率が減少するなど停滞が見られます。あなたはこのことについてどのように思いますか。

（1つに○）

回答者総数=898人

1. 課題であり対策を強化すべき	226 (25.2)	4. その他 ()	31 (3.5)
2. 課題であるが時代の流れで仕方ない	466 (51.9)	5. わからない	124 (13.8)
3. 将来的にもまったく問題はない	25 (2.8)		
		無回答	26 (2.9)

Ⅲ 地域活動やボランティア活動について

問15 あなたは、これまでに地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。

（1つに○）

回答者総数=898人

1. 現在、活動している	197 (21.9)	3. 活動したことがない	366 (40.8)
2. 以前、活動していたことがある	299 (33.3)	→ (問15 - ③へ)	
		無回答	36 (4.0)

問15で、「1. 現在、活動している」、「2. 以前、活動していたことがある」と答えた方。

問15 - ① どのような活動をしていますか。（していましたか）

（あてはまるものすべてに○）

回答者総数=496人

1. 環境整備（清掃・美化活動など）	284 (57.3)	6. 子育て支援などに関する活動	33 (6.7)
2. 募金・寄付などの活動	101 (20.4)	7. 地域（自治会(区)・子供会）などの活動	276 (55.6)
3. 防災・防犯・交通安全などの活動	136 (27.4)	8. 教育・文化・スポーツ振興に関する活動	73 (14.7)
4. 高齢者支援に関する活動	60 (12.1)	9. その他 ()	15 (3.0)
5. 障がい者支援に関する活動	26 (5.2)		
		無回答	10 (2.0)

問15 - ② 活動のきっかけはどのような理由ですか。(3つまで○)

回答者総数=496人

1. 地域をより住みやすいものにしたいから	191 (38.5)	5. 持ち回りの当番制となっていたから	250 (50.4)
2. 社会や他人のためになる活動をしたいから	132 (26.6)	6. 友人に誘われたから	86 (17.3)
3. 知識や技術を身につけたいから	38 (7.7)	7. その他 ()	31 (6.3)
4. 新たに友人・知人を得たいから	41 (8.3)		
		無回答	12 (2.4)

問15で、「3. 活動したことがない」と答えた方。

問15 - ③ 地域活動やボランティア活動が難しい主な理由は(3つまで○) 回答者総数=366人

1. 仕事や家事で忙しい	186 (50.8)	7. 知り合いが少ない	98 (26.8)
2. 介護や育児で忙しい	27 (7.4)	8. 行事・活動の情報がない	90 (24.6)
3. 家族の理解がない	2 (0.5)	9. 地域の人と関わりたくない	20 (5.5)
4. 興味がない	64 (17.5)	10. 地域活動は必要ないと思う	6 (1.6)
5. 健康や体力に不安がある	107 (29.2)	11. その他 ()	17 (4.6)
6. 経済的負担が大きい	24 (6.6)		
		無回答	12 (3.3)

《ここからは、全員の方にうかがいます。》

問16 ご近所に介護や病気、子育てなどで困っているご家庭があったら、あなたにできそうなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=898人

1. 安否確認の声かけ	540 (60.1)	8. 食事・入浴・排泄の介助	13 (1.4)
2. 話し相手	329 (36.6)	9. 散歩の付き添い	92 (10.2)
3. 生活必需品等の買い物の手伝い	172 (19.2)	10. 病院や学校などの送迎	97 (10.8)
4. ごみ出しの手伝い	205 (22.8)	11. 短時間の子どもの預かり	77 (8.6)
5. 掃除や洗濯などの家事	45 (5.0)	12. その他 ()	23 (2.6)
6. 草むしりや庭の掃除	152 (16.9)	13. とくにない	140 (15.6)
7. 食事のしたく	21 (2.3)		
		無回答	44 (4.9)

問17 あなたは、地域活動やボランティア活動に関する情報をどこから得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=898人

1. 市の広報紙	525 (58.5)	7. 民生委員・児童委員	25 (2.8)
2. きずな(社協の広報紙)	217 (24.2)	8. テレビ・ラジオ	73 (8.1)
3. 市役所の窓口や掲示物	32 (3.6)	9. 新聞・雑誌	78 (8.7)
4. 社会福祉協議会の窓口や掲示物	33 (3.7)	10. インターネット	36 (4.0)
5. 回覧板	433 (48.2)	11. その他()	16 (1.8)
6. 友人・知人	168 (18.7)	12. とくにない	132 (14.7)
		無回答	32 (3.6)

問18 あなたは、どのような条件が整えば地域活動やボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(3つまで○)

回答者総数=898人

1. 自分にあった時間や活動内容であること	544 (60.6)
2. 自分の仕事や特技を生かせること	178 (19.8)
3. 友人や家族と一緒に活動ができること	158 (17.6)
4. 家族や職場の理解があること	93 (10.4)
5. ボランティアの選択肢が充実すること	76 (8.5)
6. 団体の活動に関する情報が充実すること	58 (6.5)
7. 活動への参加の仕方が分かりやすいこと	202 (22.5)
8. 活動資金の補助や援助が充実していること	47 (5.2)
9. 進学や就職活動の評価につながる事	8 (0.9)
10. わずかでも報酬があること	42 (4.7)
11. その他()	23 (2.6)
12. わからない	82 (9.1)
13. 参加したいとは思わない	94 (10.5)
	無回答 45 (5.0)

IV 地域福祉活動の推進について

問19 あなたは、担当地区の「民生委員・児童委員」をご存じですか。

(1つに○)

回答者総数=898人

1. 担当している人の名前や顔も知っている	342 (38.1)	3. 担当している人は誰か知らない	358 (39.9)
2. 担当している人の名前は知っている	84 (9.4)	4. はじめて聞いた(知らなかった)	88 (9.8)
		無回答	26 (2.9)

問20 「民生委員・児童委員」の活動についてご存知ですか。

(項目ごと1つずつ○)

回答者総数=898人

	1. 知っていた	2. 知らなかった	無回答
ア) 高齢者・障がい者・子育て世帯の訪問や見守り	625 (69.6)	232 (25.8)	41 (4.6)
イ) 国から委嘱された非常勤の地方公務員であること	275 (30.6)	576 (64.1)	47 (5.2)
ウ) 住民の生活上の様々な相談に応じていること	585 (65.1)	272 (30.3)	41 (4.6)
エ) 民生委員は、児童委員も兼ねていること	250 (27.8)	602 (67.0)	46 (5.1)
オ) 給与の支給なく(無報酬)活動していること	394 (43.9)	452 (50.3)	52 (5.8)

問21 あなたは、「潮来市社会福祉協議会(社協)」をご存じですか。

(1つに○)

回答者総数=898人

1. 名称も活動内容も知っている	240 (26.7)	3. 名称も活動内容も知らない	135 (15.0)
2. 名称は聞いたことがあるが、活動内容は良く知らない	493 (54.9)		
		無回答	30 (3.3)

問22 「社会福祉協議会」の活動についてご存知ですか。

(項目ごと1つずつ○)

回答者総数=898人

	1. 知っていた	2. 知らなかった	無回答
ア) 地域福祉活動を担う中心的な組織であること	449 (50.0)	401 (44.7)	48 (5.3)
イ) 市民の会費等によって運営されていること	209 (23.3)	637 (70.9)	52 (5.8)
ウ) 福祉に関する様々な相談事業を行っていること	475 (52.9)	378 (42.1)	45 (5.0)
エ) 成年後見制度など権利擁護事業を行っていること	159 (17.7)	681 (75.8)	58 (6.5)
オ) 市と連携・協力しながら活動していること	523 (58.2)	328 (36.5)	47 (5.2)

問23 地域福祉を推進するうえで、「社会福祉協議会」は重要な役割を担っています。あなたは、潮来市社会福祉協議会にどのようなことを期待しますか。

(5つまで○)

回答者総数=898人

1. 福祉意識を高める啓発活動	365 (40.6)
2. 福祉体験学習・講座、福祉教育の充実	270 (30.1)
3. ボランティア講座やコーディネートなど活動支援	192 (21.4)
4. 市民主体の「ふれあい・いきいきサロン※」などの支援	218 (24.3)
5. 専門的で継続的な相談支援	373 (41.5)
6. 身近な生活支援サービスの充実 (買い物支援、外出支援など)	375 (41.8)
7. 介護保険や障害福祉などの公的サービス	508 (56.6)
8. 成年後見制度など権利擁護事業の充実	103 (11.5)
9. その他()	25 (2.8)
10. とくに期待していない	67 (7.5)
無回答	53 (5.9)

※ふれあい・いきいきサロンとは…集会所や公民館などに集まって気軽におしゃべりしたり、健康づくりに取り組む住民の自主的活動。

V 安心して暮らせる福祉のまちづくりについて

問24 あなたが住んでいる地域の治安について、どのように感じていますか。

(1つに○)

回答者総数=898人

1. 以前と比べて良くなったと思う	95 (10.6)	3. 以前と比べて悪くなったと思う	102 (11.4)
2. あまり変わらないと思う	662 (73.7)	4. その他()	21 (2.3)
		無回答	18 (2.0)

問25 災害が起きた場合、地域で暮らす高齢者や障がいのある方、乳幼児のいる家庭などについて、あなたはどのような行動ができると思いますか。(1つに○) 回答者総数=898人

1. いざとなったら、声を掛け合って助け合えると思う	301 (33.5)
2. まず自分の安全を確保し、その上で助けられるようであれば助け合う	319 (35.5)
3. 自分ひとりで助けられるかどうかは不安	110 (12.2)
4. 助け合うことは難しい	21 (2.3)
5. 地域にそういう人がいるか、わからない	76 (8.5)
6. その他()	7 (0.8)
7. わからない	48 (5.3)
無回答	16 (1.8)

問26 『福祉』のあり方は、どのようにあるべきと思いますか。(1つに○) 回答者総数=898人

1. 福祉を必要とする人は、家族や親せきが面倒をみればよい	32 (3.6)
2. 福祉は、行政(国や地方自治体)の責任で行うべき	182 (20.3)
3. 福祉は、行政と市民が協力しながら、地域で支え合うのがよい	633 (70.5)
4. その他()	17 (1.9)
無回答	34 (3.8)

問27 あなたは、これからの『福祉』の担い手として、家族以外にどのような人や団体がふさわしいと思いますか。(3つまで○) 回答者総数=898人

1. 地域住民(隣近所)	353 (39.3)	5. 福祉サービス提供事業者	332 (37.0)
2. 民生委員・児童委員	213 (23.7)	6. ボランティアやNPO団体	188 (20.9)
3. 行政機関	401 (44.7)	7. その他()	5 (0.6)
4. 社会福祉協議会(社協)	374 (41.6)	8. わからない	81 (9.0)
		無回答	20 (2.2)

問28 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○) 回答者総数=898人

1. とてもあると思う	96 (10.7)	3. とくにないと思う	325 (36.2)
2. 少しはあると思う	452 (50.3)		
		無回答	25 (2.8)

問29 障害者差別解消法は、障がいのある人への「不当な差別的取扱い」を禁止し、障がいのある人が困らないように役所や会社・お店などに「合理的配慮の提供」を求めています。あなたは、この法律を知っていますか。(1つに○) 回答者総数=898人

1. だいたい内容は知っている	156 (17.4)	3. 知らなかった	412 (45.9)
2. 聞いたことはある	305 (34.0)		
無回答		25 (2.8)	

問30 少子高齢化が進む中、地域の助け合いを活発にするためどのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○) 回答者総数=898人

1. 活動の大切さを学校で子どもたちに教える	420 (46.8)	
2. 活動の大切さを広報紙などで啓発する	192 (21.4)	
3. 具体的な情報等を市民に提供する	398 (44.3)	
4. 活動に関する相談体制を充実する	181 (20.2)	
5. 初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行う	469 (52.2)	
6. 活動の拠点となる場所を確保する	163 (18.2)	
7. 積極的に活動している団体等へ資金を援助する	87 (9.7)	
8. ある程度の報酬が得られるようにする	114 (12.7)	
9. 活動のリーダーとなる人材を育成する	215 (23.9)	
10. その他 ()	22 (2.4)	
無回答		28 (3.1)

問31 今後、潮来市で地域福祉を推進していくためには、どのような取り組みが重要と考えますか。(5つまで○) 回答者総数=898人

1. 保健や福祉に関する情報提供を充実させる	436 (48.6)	
2. 身近な場所で相談できる窓口を増やす	433 (48.2)	
3. 自由に交流できる場を用意する	199 (22.2)	
4. 公共の場のバリアフリー化を進める	124 (13.8)	
5. 緊急時や災害時に身近な地域で助け合う仕組みを作る	391 (43.5)	
6. 人権を守る制度の普及を図る	78 (8.7)	
7. ボランティア活動を充実させる	114 (12.7)	
8. 地域での保健・福祉活動の中心となる人材を育てる	250 (27.8)	
9. 多様な要望に応えられるよう豊富な種類のサービスを用意する	187 (20.8)	
10. サービスを提供する事業者を増やす	182 (20.3)	
11. 健康づくり活動や健康教育を充実させる	217 (24.2)	
12. 保健や福祉に関する関心が高められるような啓発を行う	179 (19.9)	
13. 社会保障制度(年金・保険など)の安定を図る	432 (48.1)	
14. その他 ()	8 (0.9)	
15. わからない	33 (3.7)	
無回答		36 (4.0)

最後に、市や社会福祉協議会へのご意見、ご要望、ご提案などがございましたら、お知らせください。

《一般市民の自由回答》

記述のあった内容は、以下のとおりである。（注）記述内容の一部を修正または削除している。

【潮来第一中学校区】

内 容	性別	年齢
○ かたよりなく、市内を巡る巡回バスを各地区まわって欲しいです。	女性	18～29 歳
○ 少子高齢化に伴い、市内の高齢化率は今後も上昇していくと思うので、高齢者にとっても住み良い街づくりだけでなく、この時代だからこそ減少してきた子供も含め、すべての世代が安心安全に暮らせる街づくりをこれからも行ってください。	男性	18～29 歳
○ 私たち若い世代が気軽に参加できるようなボランティアがあれば情報発信していただくと参加しやすくなります。もっと身近に考えることが出来たらと思います。	男性	18～29 歳
○ 何かあったときに助け合いたいという気持ちがあっても、どうしたらいいのかわからない。ボランティアもきっかけがない。もっと身近なものになったらいいと思う。	女性	18～29 歳
○ 市役所の職員の態度が悪い。仕事の出来ない奴が多すぎと皆言っている。税金が高い。水道が高い。	女性	30～39 歳
○ 潮来市の学童クラブの長期休みの時、朝 8：00 からを 7：30 からにして欲しいです。8：00 からでは仕事に間に合いません。結局、誰かに頼んだり負担が出来てしまいます。鹿嶋や神栖、行方に比べて、料金がとても高いとも思います。1ヶ月 5 千円くらいにさせていただけるととても助かります。	女性	30～39 歳
○ 自治会など大変だというイメージが強く、入ってしまったら人数が少ないため、引き受けた人が大きな負担を担い、何も得をしないという印象しかない。子どもたちの為にやれることはやろうと思っているが、情報誌や掲示物なども見ないし、回覧板も来ないので、入り方もわからない。皆平等でないと、誰も進んでやりたいとは思わなくなると思う。会話や簡単な頼み事程度ならあっても、お世話をしてあげたりは福祉サービスの充実しかないのではないかと思う。	女性	30～39 歳
○ 最近路上駐車が多く、道路に出る際、見えづらく困る。家では駐車スペースを確保し、きちんと駐車している。	男性	40～49 歳
○ 潮来駅の近くに、駅を利用する人のための駐車場を作ってほしい。鉄道の利用者が少なくなる。駐車場がなく、東京方面に行こうとすれば、高速バスを使ってしまいます。鉄道が衰退すれば、市も同様の状態になると思います。	男性	40～49 歳
○ 元々いる住民と新住民との間に大きな溝があるように感じます。時々拒否されているのではないかとさえ感じます。そのような感情の隔たりがあるなかで、困っている高齢者、困っている子育て家庭と言われてもピンときません。子育て中の身ではありますが、手助けして欲しいと思わないのが新住民の私の正直な感想です。	女性	40～49 歳
○ 潮来市にはスポーツジムがないので、若いころからウエイトトレーニングやマシンでのトレーニングが出来る環境を作ってほしいです。1 時間あたり 100 円の使用料が望ましいです。	男性	40～49 歳
○ 子どもの頃から潮来市に住んでいます。通った学校に我が子が入学し卒業し、時代の流れを感じます。自分が年老いていくまでに、地域のまとまり、温かさを強化していくお手伝いができる機会があればと思っております。私はこの町が大好きです。	女性	40～49 歳
○ 犬や猫の殺処分を完全になくすように！早急に。	女性	40～49 歳
○ 社会福祉協議会の必要性がわからない。	女性	40～49 歳
○ 公共交通機関を充実させて欲しい。（路線バスなど）	男性	50～59 歳
○ 今回のアンケートがデータ取りに終わることなく、市の社会福祉の向上につながりますようお願いしたいと思います。大震災の時、私の住む地域では思っていた以上に自然に助け合いの輪が出来ておりました。本当に困った時は助け合えると思いますので、市や社会福祉協議会の皆様には、その音頭取りをして頂けたらと思います。私もその時は協力したいと思います。	女性	50～59 歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 必要性を感じていても、身内の病気や子育てのサポートで時間が取れないのが現状です。少しでも出来るようになった時は、情報や窓口を広く開けてあげれば始めやすいと思います。また一度始めたら中断してしまった時、迷惑をかけるのでは…という心配もあります。皆が出来ることを少しずつ持ち寄ってあたたかい福祉の街になるといいと思います。	女性	50～59 歳
○ ボランティア活動に参加している皆様はとても素晴らしいと思います。ただその中で、多数の団体に所属している人に疑問を持ちます。特に副会長を多数兼任している方がいらっしゃる様ですが、市としてはどう考えているのか？制限を設ける必要はないのでしょうか。	女性	50～59 歳
○ 安全確保の為、歩道と中央分離帯の草刈りをもっとやってほしい。私有地であっても、危険な道路等にせり出している草、竹等、刈り込めるよう指導して欲しい。牛堀地区に一部サイクリングロードを通れるようにしてほしい。	男性	50～59 歳
○ 高速道路、鉄道、バスと交通面は充実されており、又、歌にも潮来の地名が出てくるくらい有名なはずなのに、なぜか神栖市や鹿島と比べると活気がないと感じるのはどうしてなのか？恵まれていると思いながらも…提案がある訳ではなくすみません。	女性	50～59 歳
○ やはり障害者への偏見がどうしても気になります。仕方のないことですが、親族は辛い日々を送っています。明るい日々を送っていききたいのですが…。	女性	50～59 歳
○ ボランティアの本当の意味を理解していない方が多いと思われる。社協の詳細の事業内容のインフォメーションが少なすぎる。このアンケートを見てそのような状況に感じる。	男性	50～59 歳
○ 潮来市は、障がいのある人達の行ける場所がない。理解がない。福祉に関して、近隣の市町村で一番遅れていると思います。	女性	60～69 歳
○ 民生委員などの名のもとに、個人（一人暮らし）の人の家などに、入り込んでくるのは？	女性	60～69 歳
○ 潮来のプール料金の件、高齢者にはもう少し料金を下げて欲しい。他市町村の多くは 60 才や 65 才以上では半額位です。あとロッカーもリターン式にして欲しい。そうすれば利用者も増えて活気あるプールになると思いますが。本気で考えて欲しいと思います。	女性	60～69 歳
○ 福祉車両の予約が取れない時があるので、台数を増やして欲しい。福祉車両の予約が取れても遠い病院は利用できないので、茨城県内だったら利用出来るようにして欲しい。過剰分は自己負担でもいいから。例えば筑波大付属病院とか。	男性	60～69 歳
○ それぞれの年齢に合わせて段階的にして健康づくりを活性化し、体力向上、又豊富な種類のサービスを一本化。色々多すぎる。介護を簡略する為、市でセンターを建設。潮来市全体を安心できる社会に。	男性	60～69 歳
○ 市が障がい者をリストアップして市民に情報公開しないと活動出来ないと思う。	男性	60～69 歳
○ 公助、共助、社協の自主性、貧困に対する支援（特に子供）	男性	60～69 歳
○ お金がないのにボランティアなんか行きません。	男性	60～69 歳
○ 相談するのが恥ずかしいようなちょっとした事柄等を誰に相談して良いか解らない独居高齢者の方は沢山いると思いますので、地域福祉活動の充実をお願いします。	女性	60～69 歳
○ 高齢化が進む中で、世話をする人材、看護師、介助士を増加して、その場所を設置して安定した暮らしが出来るようにする。	男性	60～69 歳
○ 福祉活動は地域にとって必要であることは誰でもわかっていると思いますが、高齢者になり、交通の便も悪く、出来ない方もいると思います。	女性	60～69 歳
○ 市の文化水準や教育水準を高め、若者が地元で働き、地元を豊かにし、高齢者も子どもも安心して生活出来る魅力ある町づくりを考えないと、本当の意味で活力のある地域、福祉が豊かな地域にはならないのではないのでしょうか。価値観、モラルの意識に温度差があると、心のバリアフリーは築けない。文化、教育施設の充実を。	女性	60～69 歳
○ 一人暮らしの人々の手厚い対応をお願いしたい。介護保険の適用範囲を詳しく知りたい。医療機関への交通手段が欲しい。市、社会福祉協議会への問い合わせで住民の相談、質問等によく適応出来るようにして頂きたい。	女性	60～69 歳
○ 神栖市と同じ様に福祉タクシーがあり、送ってくれたりすると助かると思う。	女性	60～69 歳
○ 何事も気楽に話し合い、相談出来るような機関になることが大事なので、組織作りや人材育成が必要だと思います。福祉ということで年金額が減り、医療費の自己負担が増え、生活が苦しくなっている。働く事によって年金がもらえず、年金が上がることによって生活が苦しい。	女性	70～79 歳

(続き)

内容	性別	年齢
○ 潮来市では色々なイベントを行っているが参加者が少ないように思う。高齢者のグランドゴルフ大会が一番多い参加者で他は少ないように感じる。これは何故だろう。市のイベント、社会福祉のイベント等もっと多くの人が様々なイベントに参加するよう今後検討してもらいたい。	男性	70～79歳
○ 私の住まいは、人的そして自然環境もとても素晴らしい所です。高齢者ですが終末はやはりこの地で迎えたいです。人も自然も温かいところです。	女性	70～79歳
○ あまり積極的に活動しているようには思えない。催しも参加者はだいたい同じ人ばかりの様にも思える。まずは区、町内で催しをやり、他の区町内との会話を始めてだんだんと広くしてゆく。	男性	70～79歳
○ 少子高齢化時代になり、よりきめこまかい支援が必要となり、市と社会福祉協議会の活動を期待しています。	女性	70～79歳
○ 国民年金だけの生活は苦しいです。医療費の軽減等考えて欲しいです。	女性	70～79歳
○ 以前より社会福祉協議会の職員が一生懸命取り組んでいる姿に感謝しています。	男性	70～79歳
○ 前に体を悪くして働けなく、収入がなく市より援助金を貰って生活していましたが、今は健康になって普通の人よりも働けるようになった人の見直し。大きな問題だと近くの方は言っています。	男性	70～79歳
○ 市の役員や団体の構成員には、いつも同じ人がかかわっていて前進が望めない。市の広報についても一考を期待する。ある程度の知識とやる気をもったポジティブな人材の確保をお願いしたい。人材を無駄にしないよう考えて行かなければならないと思っています。	女性	70～79歳
○ バスの便が出来たことはとても良いことですが、バス停までが遠く歩くのに足が悪くなった人は大変です。潮来市内迄行く車がもう少し安いといいのですが。時間はあってもボランティア、文化交流も交通が不便では外に出かけられず、家で過ごすのみの生活。私自身の先が思いやられます。	女性	70～79歳
○ 年齢はボランティアの出来る立場でないので解答は少々曖昧です。今後、老後充実した生活をする為に、家族の負担、地域の世話にならないで公共の施設に入所したい。(不足していると聞きます)	女性	70～79歳
○ 娘が出産したのだが、ダウン症の子供が生まれてしまった。障がい者は他人事と思っていたが、身近に起こるとは。娘本人は泣いていましたが、今は吹っ切れた様で、育児に専念しています。市や社会福祉協議会も広報や教育機関と通じ一般の人々、子ども達に広く教育、広報してもらいたく思います。	男性	70～79歳
○ 市の方針、潮来市に合った方針を決めてもらいたい。間違った道でも進んでいるうち修正すれば良いと思う。少子高齢化、我慢の時間がいつまで続くか？	男性	80歳以上

【潮来第二中学校区】

内容	性別	年齢
○ 出産手当金を増やしてもらえると助かるし、少子化対策にもつながると思う。それを目的に居住する人も増えるのでは。	女性	18～29歳
○ 潮来市に住んでいて、初めて地域のアンケートを見ました。他市で社会福祉士として働いている為、これを機に自分が住んでいる潮来市の為に何か小さいことでも地域貢献したいと思いました。資格も生かしたいと強く思っています。	女性	18～29歳
○ もっと民生委員の人や近くの人に色々な家の家庭状況を見てもらった方がいいと思う。住民票などでは2世代3世代が同じ屋根の下で幸せそうに見えていても、実際は家庭内がボロボロになっている家族もいます。職員の方も大変かと思いますが、もっといろんな家をまわって、市民の皆が苦しむことなく過ごせる町づくりにして欲しいです。	女性	18～29歳
○ 潮来市は近隣の市町村と比べ、店が少なかったり、補助が少なかったりと、子育て環境が恵まれていないように感じる。若い人が住みたいと思う地域作りも、今後の為にも必要だと思う。	女性	30～39歳
○ 少し大きな公園があるといい。道の駅あたりがあるといいと思います。	女性	30～39歳
○ 若い方が集まれるような町づくりが出来たらいいのではないかと思います。大きなショッピングモールのようなものがあると、病院を充実してほしいです。	男性	30～39歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 小さな子供が安心して育てられる市を期待しています。レジャー施設が充実している公園があったら嬉しいです。	女性	30～39 歳
○ 地域の問題点です。福祉とは全く関係ありませんが、近所で、ゴミを燃やすときの煙がひどくて迷惑しています。小さい子どももいるので、窓を開けられなくて困っています。喘息もちなので、煙でひどくなったり…。お布団を干せなかったり。家庭ごみを庭で燃やすのは禁止して欲しいです。不快な気持ちを我慢するしかなくて…。ご近所さんが嫌いになりそうです。お願いします。	女性	30～39 歳
○ 下水道の料金と住民税が他市町村に比べて高いと思います。	女性	30～39 歳
○ 私は神栖市にて仕事をしているが、神栖は福利厚生がしっかりしているのでとても住みやすいと評判である。人口も増えている。潮来市も子ども、年寄りが住みやすいまちづくりを目指し、地域の過疎化、税収悪化を防いでいくことがまず不可欠だと思います。	女性	30～39 歳
○ 税金を弱者から取るな。金を持っている者から取ればいだろう。貧富の差がありすぎる。	男性	40～49 歳
○ 個々に余裕がなければ互助の心は生まれにくい。まずは社会保障を充実させ、周囲に目を向けさせるゆとりを持たせる政策が必要と思われる。	男性	40～49 歳
○ このアンケートを通して福祉のことを考えることが出来ました。今は個人主義ですが、やはり地域の繋がりは大切だと思います。今行っている祭りや行事は継続していくことが重要だと思います。	男性	40～49 歳
○ 神栖市や鹿嶋市に比べて、子どもに対する補助制度が少ない。仕事の関係で近くに引っ越しを考える若い人はまず、住もうと思わないと思う。どんどん高齢化していく。老後も不安。	男性	40～49 歳
○ 区の活動について、活動回数が多いと思う。草刈り、掃除など力仕事が多く、男性の参加がほとんどなので、女性が参加しづらい。活動内容を少なくし、誰でも参加出来るようにして欲しい。	女性	50～59 歳
○ 在宅で高齢者（看護、介護）、認知症、障害者を見る家族への支援、助言対応窓口を考えて頂きたい。悲しい結末にならない為に。	男性	50～59 歳
○ 市役所でうちの母の入所先変更の相談時、受けた女性が男性上司にまわりました。その時、老健だったので、グループホームを認定調査時、担当者（認定調査員）に勧められたからです。その男性は「4か月しか経っていないからわからない」としか言いませんでした。職場のケアマネ数人に相談した上、市役所の担当課に行ったのに無駄足でした。今後は知識を持つ人を担当課に置いて下さい。	女性	50～59 歳
○ 大生原地区にも市営バスを運行して頂きたい。	女性	50～59 歳
○ 潮来市の外で仕事しています。自治会にも入っていないので、市の情報はあまり得られません。	女性	50～59 歳
○ 防災訓練で安否確認に伺っても、居住しているかもわからぬこともあり、敬老会の案内に伺っても、資料は返却しなさいとのことで、地域でどのような方がいるのかもわかりにくくなっています。よって交流のある方々とは時折伺ったりしています。個人情報保護法やオレオレ詐欺が地域コミュニティーを崩しているのでは？外国人が多くなっていることもあると思います。	女性	50～59 歳
○ ボランティア活動について自分の思っていることを述べさせてもらいます。参加したいのですが、今の生活に支障が出てしまうのではないかと、最後までやり通せるかと不安が先になってしまいしり込みしています。これから定年を迎え、負担が少ないのであれば地域のために参加したいと思っている方のために小さな行動から体験して、ボランティアが身近なこととなるような講演など、開いてもらえたらと思います。皆さんもやりがいを見つけていると思います。	女性	50～59 歳
○ 潮来市が活気づく行事を年1回、取り入れ、うるおう潮来市になると良いですね。	女性	60～69 歳
○ 民生委員が平等の立場でなく片方聞きで、市の世話になるように持って行く。(姑の件) 個人情報に人に喋る。電話をしたら、市の職員が10年前の車だし弁護士でも何でも頼めと話にならない。仕事も忙しいし、泣き寝入りしようかと思ったが、この機会に出来れば良く話を聞いてほしい。	女性	60～69 歳
○ 地域の回覧板を楽しみにしています。色々と廻して下さい。	女性	60～69 歳
○ ご苦労様です。自分自身が協力できる事があれば協力したいと思います。アンケートの内容も勉強しないとわからないこともありますね。	女性	60～69 歳
○ このアンケートを行なって知ったこともあり、自分の関心の低いことに気がついた。60才、そして退職を迎え、自分の時間が増え、人の為に来ることがあればと思う。	男性	60～69 歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 以前、防災訓練の訪問者名簿を閲覧したら、まだ若い元気な夫婦の名が掲載されていました。防災訓練の打ち合わせの時、自宅訪問者は年齢、障がい者とか制限をつけるべきとの意見が出ました。翌年、全く同じ名簿が出てきました。防災訓練はただ実行すればそれで良いとの考えでやっているのだなあと思いました。	男性	60～69 歳
○ 特に、民生委員さんはより多くの方に担当してもらおう。人選の難しさや地域の事情はあるでしょうが、ひとりで 10 期も担当するよりも、1 期ずつ 10 人で担当する方が地域内に経験者（理解者）が同時期に何人もいることになる。それは現民生委員さんの協力や情報提供がいち早くスムーズになり、よりタイムリーに対応できる事に繋がると思う。抜けることも減ると考えられる。何期も担当してもらおうことは色々な面で楽でしょうが、違うと思います。	男性	60～69 歳
○ 日頃よりお世話になっています。福祉活動はなかなか表に出てこないの、若い人にはあまり関心がないようです。身近に感じられるような活動があると理解しやすいかもしれないですね。福祉と言うだけで助けてあげなくては…自分は困ってないからと思うのではないのでしょうか。うまく言えませんが、ボランティアをしたいと思う気持ちが大事ですね。	女性	60～69 歳
○ 気軽に高齢者などが不安な時に何でも相談できる場所とか、電話相談など出来る所があればと思う。	女性	60～69 歳
○ 社会福祉協議会の事は、よく解りません。	女性	70～79 歳
○ 鹿嶋沖で大地震が起きた時津波が発生し、避難勧告、指示が出た場合、徳島、米島、福島 3 地区の住民は国道を越えて避難しなければなりません。その時は 3 地区の住民が一斉に車で避難することになり、途中の渋滞が予想され緊急避難に間に合わないかと心配です。行政の対策は？有線放送のスピーカーの設置が少なく声は聞こえるが内容が聞き取れません。増設は？	男性	70～79 歳
○ 協議会の活動を分かりやすくするため資料作りだけでなく、説明会等をこまめに開き、地道に啓蒙活動していくこと。	男性	70～79 歳
○ 1.住宅街でゴミ焼却している。徹底的に取りしめる。2.水郷潮来バス停の駐車場の拡張と市民利用者の無償化または割引。	男性	70～79 歳
○ 自治会への入会活動を市の方で指導願いたい。	男性	70～79 歳
○ アイモアを元気にして欲しい（とても心配しています）。サロン、シルバーリハビリ体操、カラオケ、簡単な料理づくり、高齢者が気軽に集まれる場所として利用できる居場所作り。市の交通機関を充実させてほしい。アイモアの衰退は市の衰退につながるように感じています。	女性	70～79 歳
○ 独居老人の月 1 回のお弁当作り、お手伝いのかた大変ご苦労様です。お手伝いの方々の分まで作ると聞いたことがあります。本当でしょうか？本当であればボランティアではないと思いますが。	女性	70～79 歳
○ 社会福祉協議会とは何をどの様にするのか、しようとしている会なのか、不明である。名称から考えては？	男性	70～79 歳
○ 社会保障制度をよく知らないこともあり、やたら老人から税金を取りすぎるのではと思います。若いころから、老後のことを考え貯金をしておいたのに。皆が楽しい老後を送れるようになればと考えます。	男性	70～79 歳
○ あやめまつり、大盛況でした。あやめまつりが終わってから道路沿いの草刈りをしたが、期間中もっと道路沿いを綺麗にしてもらいたいです。	女性	70～79 歳
○ 介護施設（入居可）を行政が支援し、もっと負担の少ない額で入居できるようにして欲しい。	女性	80 歳以上
○ 高齢者の運転の出来なくなった方、買い物医者に行くのに出来ない方、確保して頂きたいと思います。バス停までは歩けません。家に迎えに来て頂きたい。	男性	80 歳以上

【日の出中学校区】

内 容	性別	年齢
○ 本人は知的障がいのある、発達障がい者です。母が記入しました。この子達が普通に暮らして（仕事をして、地元の学校に行って）いける市作りをお願いします。	男性	18～29 歳
○ 良い市だと思っています。安全で犯罪などの心配もしていないので、今後とも続けられるようお願いします。	男性	18～29 歳
○ 新婚世帯家賃補助制度など若い人への補助制度を増やしてほしい。このままだと若い人は制度がしっかりしているところへどんどんいってしまう。潮来市に住んで良かったと思える市になってほしい。私の知る限り、正直に言って、若い世代に優しくない市ではないと思います。	女性	18～29 歳
○ 操法大会を持ち回りにしてほしい。	男性	30～39 歳
○ 潮来市役所の一部職員の仕事に対するサービス精神の質の向上。地域の活性化、過疎化対策。主要施設の改善、アイモアなど観光地としての誇りを持つての活性化を市長が大々的に率先して取り組んでもらいたい。公務員としての自覚を持つて腰を低くして仕事に取り組むことも重要な要素だと思います。	男性	30～39 歳
○ 古さを感じさせない市の美化を希望する。	男性	40～49 歳
○ 社会福祉協議会の活動内容がわからないので意見はありませんが、このアンケートが形だけで終わらないことを祈ります。	男性	40～49 歳
○ 想像力を豊かにしてください。住んでいる人は高級な事は望んでいないと思う。普通に住めることが大事。	男性	40～49 歳
○ 神栖市など他市町村の取り組みで良い所を取り入れる。バルーンや色々な活動も豊富にあり、活動報告もされているので成果が読み取れる。	男性	40～49 歳
○ 潮来市の祭をもっとPRしてほしいです。	男性	40～49 歳
○ 公共施設のバリアフリー化を進めて欲しい。エレベーターやトイレの改善。商業施設のバリアフリー化の啓発に、障がい者用駐車スペースをもっと増やして欲しいのと、一般の人が停めてしまうのでモラルの向上を図って欲しい。	男性	50～59 歳
○ 市、社協職員が率先してボランティア活動を行い、自ら模範を示すこと。ボランティア活動に参加していると、職員は「仕事」として参加している。	男性	50～59 歳
○ 隣近所のふれあいが福祉のきっかけになると思うが、時代の流れで難しくなっている。行政がきっかけづくりの機会を作っていけば、解決できることも大きいのではないか。他人への口出しがトラブルの元になるのか、地域福祉のきっかけになるか、その部分に介入して頂く必要があると思う。	女性	50～59 歳
○ 潮来市では、夜間の救急当番医がなく、出来れば夜間の救急担当医を作してほしい。また、潮来市では交通弱者がとても多く、有料のバス路線を充実させてほしい。特に日の出地区ではスーパーが一軒もなく、生活弱者や交通弱者がとて不便なので、地元のスーパーを作してほしい。	男性	50～59 歳
○ 福祉や介護について知らないことが多すぎと思っています。分かりやすいフロー図等あったら良いのではないのでしょうか。行政の補助制度等も記載して、市役所に行かなくてはわからない、難しすぎて理解できないことのないようにないと良いと思います。	女性	50～59 歳
○ 年配の方で、車の運転をやめた方々がバスの停留所で長い時間待っている様子の時に、乗せていってあげたいと思うことがしばしばあります。でも、こっちも不審者に見られないか。お金の無心を要求されるのではないかと思われるのが嫌です。何か気軽に乗せていってあげることができればよいのですが…。	女性	50～59 歳
○ 日の出も震災から6年目になり、安定してきたかなと思いますが、店舗等を増やして人口の多い日の出を活発にしてほしいと思います。	女性	50～59 歳
○ ボランティア活動について、この活動は個人のできる範囲で良いと思っています。団体でのボランティアは苦手です。ボランティアに熱心な人に「どうしてしないの？」と聞かれた事あり。ボランティアをしている事に優位性を感じる人がいますが、少々違っていると思います。	女性	60～69 歳
○ 日の出にセレモニー事業が多すぎたのはどうなっているのか？スーパーを誘致して欲しいです。	女性	60～69 歳
○ 交番の増設をして下さい。	男性	60～69 歳
○ 高齢化社会のその一人に入っていく身としては重要なことだと考えさせられます。少子のなか、限られた財源の中でどれだけ助け合えるのか？それぞれが健康で自立した生活をするための備えや心構えは必要です。情報のある人は啓蒙されますが、ない人にこそ、埋もれないように気をつけたいです。	男性	60～69 歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ アンケート調査の活用がどのように活かされるのか、市が積極的に方向性を示し、市民に対して協力を求める様にするべき。	男性	60～69 歳
○ 税金が年々増えて、一人暮らしは死ぬまで働くしかないです。これから生きて行くのが不安でたまりません。	女性	60～69 歳
○ パトロールカードがたまに入っていますが、警察署が欲しい。地域に交番も駐在所も見つけない。広報が聞き取れません。外に出ても聞こえません。お巡りさん見たことはありません。巡回していますか？	女性	60～69 歳
○ 生活保護者の見直しをして欲しいと思う。生活レベルがアップしている（国民年金を頂いているかたより）。	女性	60～69 歳
○ 市の福祉への取り組みのひとつに準要保護家庭への支援などがあるが、準要保護を受けている母親が2000cc以上の高級な車に乗っていたり、小中学校の子供にスマートフォンを持たせていたりするケースが多く見受けられる。市民の税金から作られた補助を、そのような大人に分け与えないように、調査をしっかりやって頂きたい。	男性	60～69 歳
○ 社協は良いことをしているが、集金のやり方は法に反する。寄付の強制、自治会の会費より無条件に募金させられる。	男性	70～79 歳
○ 通学路に木が植えてあり、秋の刈り入れに入ります。農機具、トラック、登下校時に多く、困ります。市当局、議員さん2名、PTAに先日請願をしました。よく現地を多くの方で見て下さい。御多忙な事は存じております。	男性	70～79 歳
○ 暮らしやすい町なので住み続けたいと考えておりましたが、老いは日々の暮らしが難しくなっていきます。今一番困っていることがゴミ出しです。集積所が遠いこと。他県では自宅の前に出してよいことになってきています。他人の手を借りなくても歩けるうちは出来そうです。なるべく自立してギリギリまで自分の事をやりたいものです。	女性	70～79 歳
○ このような立派な企画をされ、市民の皆様にお聞きになられたことは大変立派だと存じます。今後一層住み良い市に発展されますことを望みます。	女性	70～79 歳
○ 若い人達が忙しい時代になり、ボランティア活動は難しい。それなら年寄りが無理なく協力出来るようにしてはどうか。近所で助け合いをと言われますが、本音では近いほど難しいものです。そのことも考えて頂ければありがたいです。地震で市には大変お世話になりました。ありがとうございました。	女性	70～79 歳
○ 私は受ける立場に近いので、やはり民生委員の義務をしっかりさせ、他言のないように基本をしっかりわからせてもらいたい。1人が何年も何年も続けて自分を見誤ることのないようにしてほしいと思います。町会役員の上の方のかたと夫婦で重複しているとおごりが出て何も言わせない態度がたまりません。	女性	70～79 歳
○ いろいろ書きましたが、年齢体力的なものがあ、私自身は出来ないと思います。	女性	70～79 歳
○ 高齢化社会で子どもがいても親の面倒をみないので、その点いろいろ老人ホームに入る前の対策をいろいろ勉強したり教えてもらおう場が欲しい。	女性	70～79 歳
○ 高齢者にやさしい町づくりを。	女性	70～79 歳
○ 弱者救済は当然のことですが、実社会では建前と本音では行為の面でかなりの差が生じます。日頃から親交のある人と面識すらない人が同様の困窮者となった場合、救済行為に誠意の点で雲泥の差があって当然です。福祉の面では人の本質を重視して当たらねばならないと感じています。身近な弱者を誠意をもって救済するには、日頃の付き合いが大切です。そのため、潮来市居住者全員が区に入り、日頃から付きあうことが肝心です。「区への加入は条例で強制出来ないことになっています。」と逃げずに、市は強制的に全居住者を区に加入させるべきだと考えます。	男性	70～79 歳
○ 子ども、老人が安心して楽しく暮らせる市にして下さい。	女性	80 歳以上
○ 区加入者<未加入者の現状を踏まえ問題解決の努力が必要。不加入者への区別意識を排除し、両者の連携を深めるために、身近な区教育を継続。意識改革を図り、区加入への動機づけに努力させる。	男性	80 歳以上
○ 皆が困った時、助け合って暮らしたく望んでいます。私たち高齢になって手助けも出来なくなり、思っても現実に無理とと思っています。	男性	80 歳以上

【牛堀中学校区】

内 容	性別	年齢
○ 社会福祉協議会の駐車場が狭い。環境が暗い感じがするので、もう少し明るい雰囲気づくりが必要なのは。	女性	18～29 歳
○ 潮来ターミナルの駐車場は、いつ無料化になるのですか。街灯がなく真っ暗なので街灯を建ててほしい（永山西）	女性	18～29 歳
○ 人口減少の中、仕事（活動）は大変だと思いますが、がんばって住みよい市にしてください。	男性	18～29 歳
○ 金銭ではなく物資等の寄付は出来るのでしょうか？	女性	40～49 歳
○ 活動など（講座など）があり、参加をしたいと思ってもエレベーターのない2階の部屋などの利用が多くて、車椅子や本人を運ぶことが大変になり、結局断念をして申し込みが出来ないことが多いので、バリアフリーになってくれて更に1階の部屋を利用いただけたら参加できる人も多くなり、福祉でも充実していくのではないかと思います。	男性	40～49 歳
○ 地域の福祉はやっている人、やれる人に負担が大きくなっていると思う。やらない人は全然やらない。ボランティアのポイント制を導入するとか思い切った施策が必要かと思う。	男性	40～49 歳
○ 他の公務員の方もそうですが、職員の方々は一般の市民、弱い人の目線になって考え仕事をして欲しいと思います。この様な職にある方は生活等が安定していますが、弱者貧困者は生活の安定している人の常識が通用しません。ですから、ぜひとも弱者の立場になって考え行動して下さい。	男性	50～59 歳
○ 潮来市の在宅福祉サービスの件で問い合わせしたが、回答できる人がおらず、窓口担当者に3回もまわされ、結局は再度問い合わせ要請があった。時間がかかり電話代も使用。もっと親切なパンフレットの作成と、問い合わせ部署の明記と回答担当者の増員を検討願いたい。問い合わせはフリーダイヤルに出来ないか？市の対応に対し、大変不満です。	女性	50～59 歳
○ 自分も含めて今の人達はとても依頼心が強くなっているように感じます。いつも誰かに頼り、誰かのせいにして自分の事しか考えない。人との関わりなど見て見ぬふりをすることも多々あると思います。もっと危機感を持って仕事や生活をして欲しい。	女性	50～59 歳
○ 少子高齢化がどこの市も進んでいると思いますが、若い人が住みやすい市になる為にはどうするかが課題です。	女性	50～59 歳
○ 社会福祉協議会にがんばってほしいと願います。	女性	50～59 歳
○ 不安なこと、車に乗れなくなった時の足です。先日、波崎の方と病院で一緒になり、会話したとき、神栖には福祉タクシーのカードがあると見せてくれました。潮来市でもあると便利です。道の駅バスはルートが限られています。利用できない方の方が多いです。	女性	50～59 歳
○ 認知症の父は、時々家に帰る道を忘れてしまうため、地域の方が声をかけて下さり、家に連絡をしてくれたり、家まで送って来てくれたりしてくれるので助かっています。身近に出来ることとして、地域の方の見守り、また声がけなどが必要だと思います。日中高齢者だけで留守番をしている家庭にも目を向けてほしいと思います。	女性	50～59 歳
○ 市長が変わると市職員の人事異動があるらしいが、なぜだろうか？本当に潮来市のことを考えて欲しい。近い未来ではなく、その先を見据えて市政を動かして欲しい。	男性	50～59 歳
○ 現在の潮来市では要介護3以上でなければ紙オムツが支給されません。要介護1でもリハビリパンツや尿取りパッドなどを使用している年寄りもいます。自分でトイレに行けても、おしっこが間に合わない、いつ出るかわからないなどの理由です。支援していただけたらと思います。	女性	60～69 歳
○ 色々な意見を聞き取り、社会福祉の充実を図ろうと努力されているように、このアンケートでは見えるが、実際その地域に足を運び、どの様な要望や問題があるのか、肉声を聞き実態をみて把握してほしい。大変な労力を必要とするが、元気に生活し、リタイアした市民はその役割ができないかと思っている。	女性	60～69 歳
○ 一人暮らしの高齢者への配慮。	男性	60～69 歳
○ 一人暮らしの人との迅速な連絡網を作ってほしい。	女性	60～69 歳
○ 人を思いやる心、笑顔で会話できるように。	女性	60～69 歳

(続き)

内 容	性別	年齢
○ 老人ホームに入るにあたって、早く申し込みしていても又、軽い人、知り合いか？縁故か？あとから申し込んで軽い人が早く入れるとの話をよく聞く。おかしいと思うし何かうらがあるんじゃないかと思っている。なのであまり期待はしていない。	女性	70～79 歳
○ 他県から来た人にもう少し優しく願いたい。何かやりたくても声もかけてくれない。	女性	70～79 歳
○ 介護が長くなると、介護をしている人が心身共におかしくなって共倒れになる。1年に1回でも2回でも、そういう人の為に話し合う場があったら「こういうように接するんだ」と言うことが少しは分かってくると思う。今までもあったのかもしれないが、全く知らなくて、今回の座談会の知らせを福楽園のケアマネジャーさんが持ってきてくれて、是非参加してみようと思っています。	女性	70～79 歳
○ 交流の場を多く作ってもらいたい。例えばプール。健康になり保険を使わないようになるよう。	女性	70～79 歳
○ 人生の悩み事などの相談をしている先生方、お話のわかる人をお願い致します。2回～3回位お話を聞いてもらいましたが、話のまとめが出来ない先生方で、こんな方に経費をかけてまで無駄な先生でした。	女性	70～79 歳
○ 福祉や年金を良くする。	男性	70～79 歳
○ 職員の増員が必要と思う。ただし、人員については適材適所を考える必要があると思う。増やせばよいということではない。	男性	70～79 歳
○ 現在、自分自身が困っている状況なので私のこともよろしくお願いします。	女性	70～79 歳
○ 民生委員、大変よく面倒見て下さる方もいます。有難く思っていますが、名ばかりの人もいる様子です。	女性	80 歳以上
○ もっとよい市にして下さい。	男性	80 歳以上

(2) 民生委員アンケート

I あなた自身のことについて

問1 担当している地区は。(1つに○)

回答者総数=65人

1. 潮来第一中学校区	21 (32.3)	3. 日の出中学校区	10 (15.4)
2. 潮来第二中学校区	19 (29.2)	4. 牛堀中学校区	12 (18.5)
		無回答	3 (4.6)

問2 民生委員の経験年数は。(1つに○)

回答者総数=65人

1. 3年未満	30 (46.2)	4. 9～12年	8 (12.3)
2. 3～6年	14 (21.5)	5. 12年以上	2 (3.1)
3. 6～9年	10 (15.4)		
		無回答	1 (1.5)

II 民生委員活動について

問3 民生委員活動にやりがいを感じますか。(1つに○)

回答者総数=65人

1. とてもやりがいがある	14 (21.5)	3. どちらかといえば、やりがいがない	6 (9.2)
2. どちらかといえば、やりがいはある	41 (63.1)	4. まったくやりがいがない	2 (3.1)
		無回答	2 (3.1)

問4 民生委員活動に負担を感じていますか。(1つに○)

回答者総数=65人

1. まったく負担を感じない	5 (7.7)	3. やや負担を感じる	28 (43.1)
2. あまり負担を感じない	29 (44.6)	4. とても負担を感じる	1 (1.5)
		無回答	2 (3.1)

問5 あなたは、これからの『福祉』の担い手として、家族以外にどのような人や団体がふさわしいと思いますか。(3つまで○)

回答者総数=65人

1. 地域住民(隣近所)	37 (56.9)	5. 福祉サービス提供事業者	17 (26.2)
2. 民生委員・児童委員	37 (56.9)	6. ボランティアやNPO団体	13 (20.0)
3. 行政機関	23 (35.4)	7. その他()	0 (0.0)
4. 社会福祉協議会(社協)	36 (55.4)	8. わからない	0 (0.0)
		無回答	1 (1.5)

問6 この1年間に民生委員の定例会以外で、気になる世帯等について情報交換や連絡がありましたか。(あてはまるものに○)

回答者総数=65人

1. 行政区や地域団体を通じて連絡があった	5 (7.7)
2. 社会福祉協議会を通じて連絡があった	6 (9.2)
3. 住民から連絡があった	15 (23.1)
4. とくになかった	36 (55.4)
無回答	6 (9.2)

【その内容をご記入ください。】

- ・高齢者の健康のこと。子どもの地域における行動のこと。日常生活の様子と細部にわたる情報を得ることができ、さあどうしようという自信の無い努力をしました。
- ・準要保護手続きの件で中学校より連絡あり。
- ・社協より電話有。おむつ券の請求をした。さらに家族より通院の際の援助請求あり。生活保護の請求あり。
- ・地域住民より独居高齢者の難聴問題について話を聞いてやってくださいと連絡を受けた。難聴問題は多いです(相談の中で1番)。
- ・家の外へ子どものカバンが放出されている。前から児童ネグレクトがある家である。・父母35歳くらいの息子との3人暮らし。お母さんが認知症気味。仕事をしていない息子がつねに大声で母親を怒鳴っている様子である。
- ・老いた母親と仕事をしていない息子(70歳くらい)の世帯で、母親はデイサービスも拒否しているので全く外に出ないがどうしているのかね?と話題になった。
- ・一人暮らしの高齢の男の様子が認知症ではないかという連絡をもらい、その人の子どもたち(行方市など)に連絡。社協に相談して、社協から月1、2回の訪問をしてもらうことになった。
- ・おむつ券支給の対応について。配偶者(夫)より、自分が先に逝ってしまった場合に一人残されてしまい、先々の不安についての相談あり。
- ・救急車を自己判断で呼んだ。再々発生したため、社協より連絡あり。
- ・隣近所の方から孫とおばあさんが一緒に住んでいるが、孫がおばあさんの面倒を見ないので、おばあさんが「死にたい」などと近所の方に話している。など
- ・児童虐待、医療機関への交通費について
- ・老夫婦二人暮らし。夫は介護認定を受けており、ショートステイなどホームを利用。奥さん耳がとおく、ヘルパーさんを頼んではいますが心配です。奥さんと話は通じた。
- ・夫を介護していた妻が入院し(長期化の様子)独居老人となる。夫婦に子ども無し。今後の生活・衛生面について担当ケアマネジャーと情報交換した。
- ・2歳くらいの子供がいる夫婦の家の1階の雨戸がいつも閉じているので心配とのこと。
- ・生活が困窮し、体調不良の独居男性2名の連絡があり、市への連絡調整を行い、市からも迅速な対応をしていただいた。
- ・一人で暮らしているようですが、色々な人の(複数)出入りがある。様子を見てほしい。

Ⅲ 地域福祉に対する考え方について

問7 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○) 回答者総数=65人

1. とてもあると思う	3 (4.6)	3. とくにないと思う	24 (36.9)
2. 少しはあると思う	38 (58.5)		
無回答			0 (0.0)

問8 お住まいの地域をみて、気になること、問題と覚えることがありますか。(あてはまるものすべてに○) 回答者総数=65人

1. まつりなど地域行事の衰退	20 (30.8)	6. 災害など非常時での協力体制	24 (36.9)
2. 地域の役員のなり手が不足	45 (69.2)	7. 手助けを必要とする方の見守り	15 (23.1)
3. 地域組織の弱体化	28 (43.1)	8. ごみや騒音などモラルの問題	17 (26.2)
4. 住民同士のつながりが減少	48 (73.8)	9. その他 ()	2 (3.1)
5. 防犯・治安・風紀の問題	7 (10.8)	10. とくにない	2 (3.1)
無回答			0 (0.0)

問9 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。(1つに○) 回答者総数=65人

1. 全体的にあると思う	8 (12.3)	3. あまりない	4 (6.2)
2. 部分的にはあると思う	46 (70.8)	4. わからない	6 (9.2)
無回答			1 (1.5)

問10 少子高齢化が進む中、地域の助け合いを活発にするためどのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○) 回答者総数=65人

1. 活動の大切さを学校で子どもたちに教える	27 (41.5)	
2. 活動の大切さを広報紙などで啓発する	17 (26.2)	
3. 具体的な情報等を市民に提供する	33 (50.8)	
4. 活動に関する相談体制を充実する	12 (18.5)	
5. 初めての人も参加しやすいきっかけづくりを行う	37 (56.9)	
6. 活動の拠点となる場所を確保する	14 (21.5)	
7. 積極的に活動している団体等へ資金を援助する	10 (15.4)	
8. ある程度の報酬が得られるようにする	9 (13.8)	
9. 活動のリーダーとなる人材を育成する	23 (35.4)	
10. その他 ()	2 (3.1)	
無回答		1 (1.5)

IV 福祉のまちづくりについて

問11 今後、潮来市で地域福祉を推進していくためには、どのような取り組みが重要と考えますか。（5つまで○）

回答者総数=65人

1. 保健や福祉に関する情報提供を充実させる	36 (55.4)
2. 身近な場所で相談できる窓口を増やす	36 (55.4)
3. 自由に交流できる場を用意する	18 (27.7)
4. 公共の場のバリアフリー化を進める	8 (12.3)
5. 緊急時や災害時に身近な地域で助け合う仕組みを作る	36 (55.4)
6. 人権を守る制度の普及を図る	2 (3.1)
7. ボランティア活動を充実させる	14 (21.5)
8. 地域での保健・福祉活動の中心となる人材を育てる	25 (38.5)
9. 多様な要望に応えられるよう豊富な種類のサービスを用意する	24 (36.9)
10. サービスを提供する事業者を増やす	7 (10.8)
11. 健康づくり活動や健康教育を充実させる	24 (36.9)
12. 保健や福祉に関する関心が高められるような啓発を行う	24 (36.9)
13. 社会保障制度（年金・保険など）の安定を図る	19 (29.2)
14. その他（)	0 (0.0)
15. わからない	0 (0.0)

無回答 2 (3.1)

最後に、民生委員児童委員の活動や潮来市民生委員児童委員協議会の活動を行ううえで、課題と感じていることやご意見、ご提言等がありましたら教えてください。

《民生委員の自由回答》

「民生委員」のなり手不足のほか、活動と個人情報の折り合いの難しさがあげられる。

民生委員活動において、特に苦勞していることは、次期、民生委員のなり手不足が多くあげられているほか、民生委員活動のやりがいと「プライバシー保護」「個人情報」の折り合いの難しさがあげられている。

また、定例会や研修会等で、他地区の委員の活動を知ることが有効との意見があげられている。

【潮来第一中学校区】

内 容	経験年数
○ 民生委員は、行政とのパイプ役である事と知りながら、行政関係へ連絡する、又、立ち会ったりもしてきましたが、1つ1つの件で、こうなりましたという連絡がないのが非常に残念です。こちらから問い合わせれば、個人情報の問題になるので、お答えできませんという答えが何件もあったことが非常に残念です。もっと信頼関係を持ち、連絡すべきではないですか。お互いに密に連絡して1つ1つの案件を解決する喜びを得て、充実した活動をしたいので一言記しました。	6～9年
○ それぞれにプライバシーもありますので、どこまで立ち入ってよいものか考えてしまいます。諸先輩方に教わりながら少しずつ民生委員としての任務を果たしていきたいと思えます。	3年未満
○ 年間の行動案件をこなしますが、反省もなく、次々に進もうとするには、ついていけない方が多いと思う。年間に1件～2件の案を中心にした問題をやっていけたらよいと思う。	3～6年
○ 地域で見守りましようと言っている割には、守秘義務が妨げになっている。	3年未満
○ 市民福祉と社協の情報交換や連絡がいまいち出来ていないように思われる。	3年未満
○ 毎月のお弁当の件、もう少し考え、もう一度見直しをした方がよい時期ではないでしょうか？	3～6年
○ 高齢者の健康に関する相談等を受ける事が多々あるが、自分自身に知識が少ない為、満足に受け答えが出来ないので、簡単な初級クラスの勉強会（高齢者の健康）を行ってほしい。	6～9年
○ 書類が多すぎる。読みきれない。特にPR紙、広報紙。	3年未満
○ 委員の活動に支障のない年齢の方がなれば一番だと思いますが、仕事を持っていると無理なのでなるべく退職したら、すぐ活動できる年齢層の方を希望します。	6～9年
○ 定例会のあり方に気になることがありました。7月定例会はグループごとに自己紹介、現在、困っている人の事例発表、意見交換、とても勉強になりました。今後も少人数で意見の出し合えるグループ分けは大賛成という声が多かったように思います。	9～12年
○ それは親身になって色々とお世話して上げられればよいのですが、対1ではないので、自分の身が持たなくなる。自分もひとり身で家のことを何もしなくてもいいのなら時間はたくさんあるが、家族がいれば諸々の用事はあるわけで、人の家のことにどれほど時間を割くのかのバランスが難しい。あまり熱心になって、押しつけがましいこともあるかもしれない。調整するには、色々な人と何回も連絡を取り合わないとならないのが負担。	3～6年

(続き)

内 容	経験年数
○ 民生委員のなり手不足がある。仕方なく受けても3年間の活動からなあって良かったと思える活動にしたいと思う。定例会の見直し、全体会は研修で各地区ごとの情報交換、高齢施設訪問や学校訪問は部会を作り、各々研修し、全体会で発表。各種研修参加者も発表し、各々が他地区の委員を知ることができる。今回の7月定例会のやり方はもったいない気がした。運営委員会は2か月に1回にする。運営委員に負担をかけすぎると思う。事務局は少し手を引いて、主体的に民協が動くように。民主的にみんなで考え、言い合える落ち着いた運営委員会にしたいものです。	6～9年
○ ふれあい給食を見守りのためと重ねることは少しおかしい。社協の窓口対応はいかななものか？用事があって行っても誰も知らんぷりしていることが多い。市役所の対応を見習ってほしい。	3～6年

【潮来第二中学校区】

内 容	経験年数
○ 民生委員の活動がよくわからないまま引き受けてしまったため、何らかの形でもう少し、活動内容がわかるようなシステムがあると良かった。また、なかなか委員を引き受けてくださる方がいないようお願いに来る区長さんもお気の毒である。また、知っている方(区長さん)なので「いないから…」と言われると断りづらいところがある。また、委員の任期が3年であるが、この期間が短いのか、長いのか疑問を持っているというのが正直な気持ちである。	3年未満
○ 各地区に1名の民生委員児童委員を置くようにする(多いところは2名)。重複地区にすると担当者が大変のように感じます。	3年未満
○ 民生委員活動の中に相談のはたらき(地域における世話役的役割)があり、とりわけ介護保険制度は重要にして複雑であり、住民から今後、その需要と相談は増加していくものと思われます。よって、相談に乗りたくても自主学習には知識の習得に限界があり、民生委員への研修を実施していただきたい。できれば事前に質問をとりまとめるくらいの体制をとり、実施していただくと幸いです。	3年未満
○ 協議会に理事会・役員会が無いので、一部の委員だけで物事が決定される傾向にある。又、本来の民生委員活動以外の行事が多い。	3～6年
○ 暮らしている地域の方々との交流による情報収集が大切。	3～6年
○ 地域の中に民生委員としての仕事の情報等が十分伝わっていないように思う。区長さんたちの認識の問題だと思っています。	3～6年
○ 地域福祉の重要なテーマ(テーマを絞り)を定期的に民生委員の集まりを行い、グループ討議等を実施し、各委員の意識向上を図る。	3年未満

【日の出中学校区】

内 容	経験年数
○ 民生委員を一期でやめてしまうのは協議会として得策ではないと考えます。定例会や活動で負担感を軽減するような取組みや個々の意見をより反映できる体制が必要だと思います。	12年以上
○ 住民の中には、権利を主張することには抜け目なく、責任や義務は関係ないという態度の方が見受けられる一方で、遠慮がちな方もあり、規則や制度だけでは福祉を享受できるとは思われない。住民の区に参加する意識を高め、すべての家が区に加入して全体で福祉を進めていくことができればよいと感じている。	6～9年

【牛堀中学校区】

内 容	経 験 年 数
○ 昔と違い、近所隣を良く知る時代ではなくなった。各家庭への関わりにも限度があると感じる。よって、時代的に行政中心の活動にならざるを得ないと思う。	3年未満
○ 次に民生委員の引き受け手が見つかりづらい。	9～12年
○ 高齢者支援が拡大する中、高齢者の年齢引き上げ、例えば、ふれあい給食サービス等です。	3年未満
○ 一人暮らし高齢者や老々世帯が増え、隣近所助け合うことが難しくなっている。	12年以上
○ 今まで活動の中で感じたのは、自分の意見は必要なく（多少勘違いしているかも）すべて言われたことに対する活動で、自分の考えでの活動が必要無いこと。求めるのが先か、与えるのが先か…。	3年未満

【地区不明】

内 容	経 験 年 数
○ 1、新民生委員が目、耳にした、それぞれの福祉関係（例：市民福祉、高齢福祉、社協）等、仕事の違いの困惑。 2、ベテラン民生委員と新民生委員が任命を受けたその日から同時スタート。頭の中は混乱でいっぱい。婦人会館で新人の研修会が1日ありましたが、新人たちには（私）スタート前の勉強会であったらなと思いました。	3年未満

(3) 区長アンケート

I あなた自身のことについて

問1 担当している地区は。(1つに○)

回答者総数=59人

1. 潮来地区	16 (27.1)	5. 日の出地区	6 (10.2)
2. 津知地区	6 (10.2)	6. かすみ地区	7 (11.9)
3. 延方地区	12 (20.3)	7. 八代地区	7 (11.9)
4. 大生原地区	5 (8.5)		

無回答 0 (0.0)

問2 あなたの職業は。(1つに○)

回答者総数=59人

1. 会社員	21 (35.6)	4. 無職	22 (37.3)
2. 公務員	2 (3.4)	5. その他 ()	6 (10.2)
3. 自営業	8 (13.6)		

無回答 0 (0.0)

問3 あなたは、区長としての活動を1か月に何日ぐらい従事されますか。

(1つに○)

回答者総数=59人

1. 1～4日	11 (18.6)	4. 15～19日	1 (1.7)
2. 5～9日	31 (52.5)	5. 20日以上	0 (0.0)
3. 10～14日	16 (27.1)		

無回答 0 (0.0)

II 自治会(区長)活動について

問4 自治会(区長)活動にやりがいを感じますか。(1つに○)

回答者総数=59人

1. とてもやりがいがある	5 (8.5)	3. どちらかといえば、やりがいがない	10 (16.9)
2. どちらかといえば、やりがいはある	41 (69.5)	4. まったくやりがいがない	2 (3.4)

無回答 1 (1.7)

問5 自治会(区長)活動に負担を感じていますか。(1つに○)

回答者総数=59人

1. まったく負担を感じない	1 (1.7)	3. やや負担を感じる	36 (61.0)
2. あまり負担を感じない	14 (23.7)	4. とても負担を感じる	8 (13.6)

無回答 0 (0.0)

問6 あなたは、これからの『福祉』の担い手として、家族以外にどのような人や団体がふさわしいと思いますか。(3つまで○)

回答者総数=59人

1. 地域住民(隣近所)	25 (42.4)	5. 福祉サービス提供事業者	24 (40.7)
2. 民生委員・児童委員	18 (30.5)	6. ボランティアやNPO団体	18 (30.5)
3. 行政機関	25 (42.4)	7. その他()	0 (0.0)
4. 社会福祉協議会(社協)	30 (50.8)	8. わからない	4 (6.8)
		無回答	0 (0.0)

問7 最近、気になる世帯等について情報交換や連絡がありましたか。

(あてはまるものに○)

回答者総数=59人

1. 行政区や地域団体を通じて連絡があった	3 (5.1)
2. 社会福祉協議会を通じて連絡があった	1 (1.7)
3. 住民から連絡があった	6 (10.2)
4. とくになかった	47 (79.7)
無回答	4 (6.8)

【その内容をご記入ください。】

- ・不法投棄、市に申し入れ撤去済。
- ・潮来市敬老会においての資料(75歳以上)のみ名簿。
- ・夜間、道路が暗いので明るくしてほしい。公園の整備、子供が楽しく遊べるように遊具が少ない。
- ・区会の加入について。
- ・内容は民生委員へ連絡済(家事労働困難者からの連絡)。
- ・個人情報保護法により、災害時の要手助け者が事前にわからない。実際に災害発生時には手助けは難しい。
- ・ここしばらく姿を見ないひとり暮らしの男との連絡有。自宅を確認。新聞受けに新聞等が溜まっていた。職場等へ電話し所在を確認。直接本人と話し、無事を確認。連絡者にその旨を伝えた。

Ⅲ 地域福祉に対する考え方について

問8 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○) 回答者総数=59人

1. とてもあると思う	3 (5.1)	3. とくにないと思う	22 (37.3)
2. 少しはあると思う	34 (57.6)		
無回答			0 (0.0)

問9 お住まいの地域をみて、気になること、問題と覚えることがありますか。(あてはまるものすべてに○) 回答者総数=59人

1. まつりなど地域行事の衰退	18 (30.5)	6. 災害など非常時での協力体制	13 (22.0)
2. 地域の役員のなり手が不足	49 (83.1)	7. 手助けを必要とする方の見守り	14 (23.7)
3. 地域組織の弱体化	28 (47.5)	8. ごみや騒音などモラルの問題	23 (39.0)
4. 住民同士のつながりが減少	33 (55.9)	9. その他 ()	2 (3.4)
5. 防犯・治安・風紀の問題	8 (13.6)	10. とくにない	0 (0.0)
無回答			0 (0.0)

問10 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。(1つに○) 回答者総数=59人

1. 全体的にあると思う	5 (8.5)	3. あまりない	9 (15.3)
2. 部分的にはあると思う	41 (69.5)	4. わからない	3 (5.1)
無回答			1 (1.7)

問11 少子高齢化が進む中、地域の助け合いを活発にするためどのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○) 回答者総数=59人

1. 活動の大切さを学校で子どもたちに教える	23 (39.0)	
2. 活動の大切さを広報紙などで啓発する	15 (25.4)	
3. 具体的な情報等を市民に提供する	27 (45.8)	
4. 活動に関する相談体制を充実する	15 (25.4)	
5. 初めての人も参加しやすいきっかけづくりを行う	23 (39.0)	
6. 活動の拠点となる場所を確保する	8 (13.6)	
7. 積極的に活動している団体等へ資金を援助する	19 (32.2)	
8. ある程度の報酬が得られるようにする	7 (11.9)	
9. 活動のリーダーとなる人材を育成する	21 (35.6)	
10. その他 ()	0 (0.0)	
無回答		2 (3.4)

IV 福祉のまちづくりについて

問12 今後、潮来市で地域福祉を推進していくためには、どのような取り組みが重要と考えますか。（5つまで○）

回答者総数=59人

1. 保健や福祉に関する情報提供を充実させる	27 (45.8)
2. 身近な場所で相談できる窓口を増やす	25 (42.4)
3. 自由に交流できる場を用意する	15 (25.4)
4. 公共の場のバリアフリー化を進める	7 (11.9)
5. 緊急時や災害時に身近な地域で助け合う仕組みを作る	25 (42.4)
6. 人権を守る制度の普及を図る	3 (5.1)
7. ボランティア活動を充実させる	19 (32.2)
8. 地域での保健・福祉活動の中心となる人材を育てる	23 (39.0)
9. 多様な要望に応えられるよう豊富な種類のサービスを用意する	19 (32.2)
10. サービスを提供する事業者を増やす	9 (15.3)
11. 健康づくり活動や健康教育を充実させる	18 (30.5)
12. 保健や福祉に関する関心が高められるような啓発を行う	13 (22.0)
13. 社会保障制度（年金・保険など）の安定を図る	23 (39.0)
14. その他（)	3 (5.1)
15. わからない	0 (0.0)
無回答	3 (5.1)

最後に、区長の活動を行う上で、課題と感じていることがありましたら教えてください。

《区長の自由回答》

未加入者の増大や役員の負担増のほか、市の対応についての意見があげられる。

区長として特に苦勞していることは、地域の未加入者の増大や役員の負担増があげられている。また、市への要望に対して返答がない、対応に時間がかかる、連絡事項が多いといった意見があげられている。

【潮来地区（十番区、十四番区含む）】

内 容	職業
○ 仕事しながら活動することは大変で、なるべく土曜、日曜に又は夜の時間に集まりをしてほしいと思います。	会社員
○ 1. 区民の高齢化。2. 役員の引き受け手の減少。3. 未加入者（区会）の増大。	無職
○ 各部署から連絡、通知等がありますが、一本化できないものか？	会社員
○ 区民からの要望事項を市役所の方へお願いした件数が7件程ありますが、ほとんど工事の予定や完了予定日の連絡がありません。こちらから確認すると業者に依頼してあるからとの返答です。区民に聞かれても返事に困ってしまいます。段取りがつかいたら連絡をいただきたいと思います。	その他
○ 自治会の人員不足により、現役で仕事をしながら区長活動を行うのは、多少の無理が生じる。	会社員
○ 介護施設、介護サービスを利用している状況が不明である。	無職
○ 少子高齢化による人不足。特に青年層の減少が甚だしい。	会社員
○ 北朝鮮によるミサイル発射での避難場所が丈夫な建物か地下と指示がありましたが、素早く非難するには無理があると感じましたし、今後の地域での避難訓練に課題が残りました。	無職

【津知地区】

内 容	職業
○ 行政側よりの各種団体等への伝達が多すぎる。	会社員
○ 区長名で市への要望書を提出しても、返事（連絡）がない。難しいものは「課で検討する」と言ってくれるが、検討が長引いているのだろうか。自治会のメンバーからどうなったか質問されるが答えようがない。	会社員
○ 住民の減少、高齢化、空き家の急増等の問題があります。その中で住民の減少が特に課題と思います。新規の住民の増がゼロ。住居の販売をしても見学者がなかなか来ない状況です。	無職

【延方地区】

内 容	職業
○ 活動内容が多すぎる。色々な招待状がくる。	会社員
○ 1. 地区の少子高齢化による人材不足。2. 都会に出た後継ぎが戻らず空き家が増える。	自営業
○ 照明等の玉切れは区が行いますが、LED照明は申し入れないと取り替えてもらえません。順次、取り換えできませんか。	会社員
○ ①7班の中で輪番制で区長を選出しているが、担い手がなかなか見つからない。②区長としての支出が多い。多少の交際費があるが足りない感じ（年間5万円）。③地域によって活動に差がある感じがする。祭りがあるところとないところ。公園の草刈りが大変。市が主体となって、区が手助け応援するかたちが良いと思う。	無職
○ 地域のために何をなすことが出来るかを考え、地域のために行動してくれる人を増やしていくこと。	公務員
○ 特に、災害時の対応に不安を感じます。自分自身が大変な時に地域住民に対し、十分な対応ができないように思います。また、最近、近隣にアパートや新築一戸建ての方が増加し、どんな方が住んでいるのか分からない。防犯、治安、風紀の面でとても心配です。すでにゴミ捨ての問題が発生し、戸別に訪問し、ゴミ選別や指定曜日を間違えないようお願いしました。	その他
○ 福祉行政に大変でしょうが、みんなで考え協力して頑張っていきましょう。制度の狭間でいる方の支援を考えていましょう。社会福祉課のみなさん頑張ってください。	その他
○ 地域住民との触れあい及び把握。	会社員
○ 区民全人口の約7割が70歳超にて、高齢化に伴い従来の各種活動を縮小しつつも、さらなる区民全般の融和、親睦が得られるよう、新たな取り組みを模索している。	無職

【大生原地区】

内 容	職業
○ 現役で仕事をしているので、日程調整をうまくやっていくこと。	自営業
○ 区民の苦情等について、市に申請書を提出しても対応が遅く、いちいち区民に説明に行かねばならない。行政側の機能不全よりも区長の能力不備と思われるので、極めて遺憾に思う次第である。	無職

【日の出地区（大洲区含む）】

内 容	職業
○ ・区加入者と未加入者との温度差（区に加入のメリットが無い）。 ・区加入者の役割負担増（高齢化に伴い負担と感じている）。 ・区加入者の世帯主住所 TEL のみで、同居・連れの方（妻）の把握ができない。	無職
○ 区未加入者を減少させたい。	会社員
○ 福祉とか色々良いことを並べても原点は区民にある。区離れを防止することが一番である。区の事情は各区によって特徴がある。一律にヒアリングするのではなく、区ごとに事情を聞いて廻る努力が市には必要と思う。	会社員
○ ・若い方が区に入らない。メリットがない。身近な地域で助け合う仕組みを作る→区と行政。 ・自治会の役員になり手が不足（いない）。	無職
○ 区加入者の減少は深刻な問題である。市行政が先頭に加入拡大の施策をとる必要性を痛感する。	無職

【かすみ地区】

内 容	職業
○ 地域のクレーム処理が多く、市役所への連絡が多くなった。	その他
○ 市の財政について、もっと詳しく市民に情報開示してほしい。要望があっても市にはお金がないんですの一言で終わってしまう。収入は市民からいくら、国・県からいくら、その他と併せて合計いくら、支出は同様に詳しくいくらで実態はこうだと民間で言えば、細かな損益計画書みたいなものを。また、市は住民一人当たりいくら（合計）お金がかかっているかを知らせることが大事だと思う。市民は何でも頼めば良いと思っている→これが問題。	会社員

【八代地区】

内 容	職業
○ 後継者の育成にある。	自営業
○ 区長さんの活動が多すぎる。	その他
○ 区長まかせで、全体的に協力的でない。各班の長になった時だけ協力すれば良いと思っている人が多い？	会社員

(4) ボランティア団体アンケート

I 貴団体のことについて

問1 貴団体の活動について教えてください。

団 体 名	
主な活動内容	[簡単で結構です]

活動の対象

回答者総数=27団体

1. 高齢者等	19 (70.4)	3. 児童	4 (14.8)
2. 障がい者 (児)	3 (11.1)	4. その他 ()	1 (3.7)
		無回答	0 (0.0)

II ボランティア活動について

問2 ボランティア活動にやりがいを感じますか。(1つに○)

回答者総数=27団体

1. とてもやりがいがある	14 (51.9)	3. どちらかといえば、やりがいがない	1 (3.7)
2. どちらかといえば、やりがいはある	10 (37.0)	4. まったくやりがいがない	0 (0.0)
		無回答	2 (7.4)

問3 ボランティア活動上の課題や問題点はありますか。(3つまで○)

回答者総数=27団体

1. とくにない	1 (3.7)
2. ボランティア活動の大切さが理解されていない	10 (37.0)
3. 活動のPR方法がわからない	1 (3.7)
4. ニーズが把握できない	2 (7.4)
5. 活動場所の確保が難しい	4 (14.8)
6. 活動に経費がかかる	3 (11.1)
7. 他の団体や関係機関と連携がとれない	3 (11.1)
8. 新しい会員が入ってこない	16 (59.3)
9. 会員が高齢化している	19 (70.4)
10. リーダーが不足している	5 (18.5)
11. その他 ()	0 (0.0)
無回答	1 (3.7)

問4 今後、活動内容を広げたい点や強化したい点などがありますか。

(1つに○)

回答者総数=27団体

1. ある	14 (51.9)	2. ない	8 (29.6)
		無回答	5 (18.5)

【その内容をご記入ください。】

- ・県の方に登録をと言われておりますが、人数が多くなるとお車がないのが欠点ですので、県の方の手続きは躊躇しております。市内行動が先でございますが…。
- ・せめて50～60代の人入会を願う。現在、70～80代。会発足当時は、50～60代だったが。体力的なことがあり、施設の人に荷物の運搬などお願いして助けられている。
- ・高齢になると腰痛、ひざ痛などが多くなります。そんな方がプールにきて週1～2回、水の中をゆっくり歩くだけでも「痛みがない、軽くなった」とおっしゃいます。市民の皆さまがおおいにプールを利用して健康になってほしいと思います。広報やいろんな面でPRしてほしいです。
- ・自分にあったボランティアに市民一人一人が登録し、自発的に行動していただきたい。ボランティアセンター等のPR強化。
- ・地域内の高齢者世帯の見守り訪問や地域サロン活動への参加の促進(特に、男性高齢者の参加向上)。
- ・年に1～2回くらい、高齢者の方と一緒に会食を楽しみたいです(人数には制限がありますが)。
- ・環境美化運動…延方駅、ロータリーに花を育てて35年になります。会員も高齢化し、私たち団体(単体)だけでは管理が大変です。食品ロスの取り組み…もったいない運動を広めていきたいので。
- ・公民館の充実。体操教室未開設地域の開設。市の健康づくりの指針の取り組みに地域ボランティア組織と協力し推進。
- ・お互いに学びあうようにしていきたい。
- ・老健施設や保育園等へ訪問。
- ・盆踊りなどを通しての交流の場を広げていきたい。
- ・現在実施している弁当宅配は非常に喜ばれ、届けたときの皆さんの笑顔を見て、月1回の回数をもう少し増やせたらと思う。市、社協の予算がきびしい中難しいと思いますが。
- ・ボランティア活動を充実させるために、専任アドバイザーや研修会等を実施し、活動内容に対応できるスキルある職員がいたらと思います。他に大学等と提携し、学習会を定期的に行いリーダーを育成してほしい。

Ⅲ 地域福祉に対する考え方について

問5 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。(1つに○) 回答者総数=27団体

1. とてもあると思う	2 (7.4)	3. とくにないと思う	7 (25.9)
2. 少しはあると思う	16 (59.3)		
無回答			2 (7.4)

問6 お住まいの地域をみて、気になること、問題と覚えることがありますか。(あてはまるものすべてに○) 回答者総数=27団体

1. まつりなど地域行事の衰退	7 (25.9)	6. 災害など非常時での協力体制	5 (18.5)
2. 地域の役員のなり手が不足	10 (37.0)	7. 手助けを必要とする方の見守り	10 (37.0)
3. 地域組織の弱体化	12 (44.4)	8. ごみや騒音などモラルの問題	6 (22.2)
4. 住民同士のつながりが減少	21 (77.8)	9. その他 ()	0 (0.0)
5. 防犯・治安・風紀の問題	2 (7.4)	10. とくにない	0 (0.0)
無回答			1 (3.7)

問7 お住まいの地域では、だれかが困っている場合に助け合う気風がありますか。(1つに○) 回答者総数=27団体

1. 全体的にあると思う	5 (18.5)	3. あまりない	5 (18.5)
2. 部分的にはあると思う	15 (55.6)	4. わからない	1 (3.7)
無回答			1 (3.7)

問8 少子高齢化が進む中、地域の助け合いを活発にするためどのようなことが重要だと思いますか。(3つまで○) 回答者総数=27団体

1. 活動の大切さを学校で子どもたちに教える	9 (33.3)	
2. 活動の大切さを広報紙などで啓発する	12 (44.4)	
3. 具体的な情報等を市民に提供する	9 (33.3)	
4. 活動に関する相談体制を充実する	5 (18.5)	
5. 初めての人も参加しやすいきっかけづくりを行う	19 (70.4)	
6. 活動の拠点となる場所を確保する	5 (18.5)	
7. 積極的に活動している団体等へ資金を援助する	6 (22.2)	
8. ある程度の報酬が得られるようにする	1 (3.7)	
9. 活動のリーダーとなる人材を育成する	6 (22.2)	
10. その他 ()	0 (0.0)	
無回答		1 (3.7)

IV 福祉のまちづくりについて

問9 今後、潮来市で地域福祉を推進していくためには、どのような取り組みが重要と考えますか。(5つまで○)

回答者総数=27団体

1. 保健や福祉に関する情報提供を充実させる	7 (25.9)
2. 身近な場所で相談できる窓口を増やす	8 (29.6)
3. 自由に交流できる場を用意する	13 (48.1)
4. 公共の場のバリアフリー化を進める	5 (18.5)
5. 緊急時や災害時に身近な地域で助け合う仕組みを作る	13 (48.1)
6. 人権を守る制度の普及を図る	1 (3.7)
7. ボランティア活動を充実させる	12 (44.4)
8. 地域での保健・福祉活動の中心となる人材を育てる	8 (29.6)
9. 多様な要望に応えられるよう豊富な種類のサービスを用意する	4 (14.8)
10. サービスを提供する事業者を増やす	4 (14.8)
11. 健康づくり活動や健康教育を充実させる	7 (25.9)
12. 保健や福祉に関する関心が高められるような啓発を行う	5 (18.5)
13. 社会保障制度(年金・保険など)の安定を図る	7 (25.9)
14. その他()	2 (7.4)
15. わからない	0 (0.0)

無回答 2 (7.4)

最後に、ボランティア活動を行う上で、課題と感じていることがありましたら教えてください。

《ボランティア団体の自由回答》

会員の高齢化が進んでいる。新たな会員やリーダーの育成、行政との連携があげられる。

ボランティア活動を行う上で課題と感じていることは、会員の高齢化が進み、新たな会員が増えないことがあげられている。また、市民ボランティアと行政との連携や新たなリーダーの育成といった意見があげられている。

内 容	主な活動
○ 会員の高齢化が進み、新しい会員の確保がなく維持できないので何らかの最善の方法があったらと思います。	高齢者等
○ 一人で何役も活動している方々をみると全体的に、手、目が働いているのか疑問に思います。ボランティアの方々も高齢化し、どれもこれもパーフェクトにできないと思います。また、活動する足（車等）交通機関の充実を願っています。	高齢者等
○ ボランティア活動を続けている人の高齢化があり、若い人の協力が必要ですが、勤めている人が多く両立が難しいと話されます。	高齢者等
○ 相談業務 16 年、体操 13 年を日々コツコツと実践だけをしてまいりました。その方の中より誕生した会でございます。一人一人が前向きの方が多くとても喜ばしいことで、皆さまには頭が下がります。潮来市の方が健康でいてほしいとの願いでございます。笑顔で参加してくださる方たちには感謝です。	高齢者等
○ 給食サービス等該当者は 70 歳でなく、75 歳からが良いと思います。70 歳では、まだ色々活躍していると思う。市に予算があればボランティアとして活動した時、他県でやっているような点数で自分が動けなくなった時、その点数を使えるような体制をとっていただくと、もっとボランティアとしてやっていただけたらと思います。	高齢者等
○ ①ボランティアはしてみたいがリーダーになるのはちょっとと思う人が多い。②学生、子ども、退職して時間に余裕ができた人。月に一度くらい他人にサービスする気持ちを持ってほしい。③市でもおたがい助け合いの心で何年か後に自分も何かしてもらえる券とか。金でないご褒美制度など作ったらどうか。④自分の出来ることを登録してマッチングしてもらおう制度づくり。	高齢者等
○ 高齢の方も障がいのある方もプールは大好きです。ボランティアの方も「楽しい、やりがいがある、良かった」と言ってくれます。本当に頭が下がる思いです。ただ、コーチもボランティアも高齢となり、若い後継者が育ってほしいと思っています。皆さまもうすぐ 70 歳に突入です。切に願っています。	高齢者等
○ 団体が要請を受け、会員に参加協力を依頼するもシフトによる勤務者が多いので協力者に難航する。	高齢者等
○ ボランティア活動の拠点となる交流室の確保や会員の確保と活動の充実を図りたい。	障がい者 (児)
○ ボランティア活動についての情報提供や場の提供。	児童
○ 相談にいても食い違いがある。	高齢者等
○ ボランティア活動している方が高齢になってきています。	高齢者等
○ 時代の流れが早く、また、高齢者が増えている今、市民の意識の高揚とボランティア精神をもって身近な人たちとの交流を密にしていくことが大事だと思います。思いやりの気持ちを大切にできる人たちの育成かと思います。	児童
○ ボランティア活動へ参加等で移動時の交通面に対して、足の確保ができない、また、遠いと意見も聞かれます。	高齢者等

(続き)

内 容	主な活動
○ 各ボランティア組織は、その道のエキスパートと思う。その力を利用活用すれば、大きな力に潜在能力は大きい。小さな投資で大きな効果。それを引き出す方を期待。当会もボランティアの壁を乗り越え、意識、意欲をどうしたら出来るか苦しんでいるので、ご教示いただければ幸いです。	高齢者等
○ 社協の役割とは？ボランティアを上手に動かして福祉を充実させることと私は思いますが、現在はボランティアグループも社協離れしているように感じます。 活動に楽しく参加して充実感が残るような福祉の心を持つ職員を社協にお願いいたします。	障がい者 (児)
○ 会員の高齢化と新しい方が入ってこない。	高齢者等
○ 活動資金が無いので苦勞、工夫しています。時間的余裕の少ない人が多いので、無理をしないで楽しみながら活動するよう、心がけています。	児童
○ ①高齢者向けのボランティアになっているのはなぜか？ ②行政職員の皆さんには日ごろ感謝していますが、その家族の皆さんのボランティアへの参加はあるか？ ③社会福祉大会の表彰者は続けてほしいが、選考基準にかたよりはないか？ ④私の父母が一人住まいの高齢者の見守りを続けてきましたが、福祉のこれからを考えると、さいたま新都心のスーパーアリーナで開催される夏の盆踊り大会に福祉の参加、情報提供、住民の交流があります。潮来市でも市をあげての楽しいイベント開催は課題克服になると思いますが、いかがでしょうか？	高齢者等
○ 市民ボランティアと行政との連携が必要だと思う。	児童
○ 老々介護の現状と同様にボランティア活動に協力している人達も高齢化し、身体的に活動が無理とのことで、年々人数が減少傾向にある。人的資源の獲得をいかにしていくのか。	高齢者等
○ リーダー育成が大切であると感じます。また、市ボランティア連絡協議会に参加していますが、私も決して若くありませんが、全体的にすごい高齢化で価値観等のジェネレーションギャップを感じざるを得ません。若い世代はボランティア活動という大げさなうたい文句でなく、構えないで気軽に参加してみたいと思えるよう、若いリーダーの育成が必要に思います。	その他
○ 津知給食はうまく運営出来ていると思いますが、他のボランティアは高齢化が進み、若い年代の人が入ってこなくなってしまうのではないかと心配している方もいるようです。どうしたら若い人が参加できるようになるかが課題と思います。	高齢者等

(5) -① 中学生アンケート

問1 性別は。(1つに○)

回答者総数=226人

1. 男性	118 (52.2)	2. 女性	108 (47.8)
		無回答	0 (0.0)

I 地域のつながりやボランティア活動について

問2 あなたは、潮来市のことは好きですか。(1つに○)

回答者総数=226人

1. どちらかといえば好き	144 (63.7)	3. わからない	58 (25.7)
2. どちらかといえばきらい	24 (10.6)		
		無回答	0 (0.0)

問3 あなたは、潮来市のお祭りやイベントに参加したり、見に行きますか。

(1つに○)

回答者総数=226人

1. よく参加する	84 (37.2)	3. ほとんど参加しない	28 (12.4)
2. たまに参加する	114 (50.4)		
		無回答	0 (0.0)

問4 あなたは、潮来市は住みよいまちだと感じますか。(1つに○)

回答者総数=226人

1. 住みよいと思う	132 (58.4)	3. わからない	56 (24.8)
2. 住みにくいと思う	38 (16.8)		
		無回答	0 (0.0)

〔なぜ、問4のように思いましたか？ その理由を教えてください〕

「住みよいと思う理由」

- ・交番が近くにあり、家がたくさんある。・自然が豊か。・住み慣れているから。・セイミヤがある。・あやめ園とかきれい。お祭りがある。・住みやすそう。・小さい時から住んでいる。・交通に便利。・不便に感じたことがない。・高速道路など交通手段がある。・みんな親切だから。・近所の人が声をかけてくれる。
- ・大きな祭りやイベントがある。・近所のみんなが助け合っている。・海が近い。・悪い事件が起こっていない。・人が優しい。・ほどよく飲食店がある。・穏やかである。・やさしい人が多いから。・自然豊かで環境にやさしい。・住みよいと感じる。・スーパーがある。・空気が良いから。・静かでのんびりできる。・何となく。
- ・交通が便利だから。・緑が多い。・みんな親切だから。・田舎しか感じられないものがある。など。

「住みにくいと思う理由」

- ・あまりいいところがない。・お店があまりない。・田んぼや畑ばかり。・電車をもっと増やしてほしい。
- ・友達と遊べる場所がない。・ゲーセンがない。・大型の店がない。・通りが暗い。・店がなく不便。・道路にヒビが入りガタガタしている。・地震が起きたあと家などが斜めになった。・便利な建物が少ない。・葬儀場とコインランドリーばかり。・電車の本数が少ない。・草や溝などにゴミが落ちている。・ショッピングモールがない。・路線バスが少ない。・大きな病院がない。・通学路が整備されていない。・コンビニが少ない。
- ・街灯が無かったりする。など。

問5 あなたは、学校以外の活動で、ボランティア活動に参加したことがありますか。(1つに○) 回答者総数=226人

1. 参加している	19 (8.4)	3. 参加したことがない	165 (73.0)
2. 参加したことがある	41 (18.1)		
		無回答	1 (0.4)

具体的な内容は？

- ・ゴミ拾い。・子供会活動。・あやめ園の清掃。・あやめ園のボランティア。・バレーなど。・あいさつ運動。
- ・募金活動。・クリーン作戦。・川のごみ拾い。・鹿嶋で海のごみ拾い。・お年寄りのボランティア。など。

問6 あなたが、今後、やってみたいボランティア活動はありますか。(あてはまるものすべてに○) 回答者総数=226人

1. ゴミ拾いなど環境美化の活動	112 (49.6)	6. 乳幼児や子どもの遊び相手	89 (39.4)
2. 募金や寄付などの活動	60 (26.5)	7. 地域の子供会の活動	27 (11.9)
3. 防災・防犯・交通安全などの活動	23 (10.2)	8. 勉強や運動を教える活動	55 (24.3)
4. お年寄りの手助け	53 (23.5)	9. その他()	10 (4.4)
5. 障がいのある人の手助け	31 (13.7)		
		無回答	6 (2.7)

問7 あなたは、住民どうしの支え合い、ボランティア活動の支援を行っている「潮来市社会福祉協議会(社協)」を知っていますか。(1つに○) 回答者総数=226人

1. 名称も活動内容も知っている	5 (2.2)	3. 知らない	134 (59.3)
2. 聞いたことはある	87 (38.5)		
		無回答	0 (0.0)

II 地域の支え合い、助け合いについて

問8 あなたは、自分から近所の人にあいさつをしていますか。(1つに○) 回答者総数=226人

1. している	204 (90.3)	2. していない	20 (8.8)
		無回答	2 (0.9)

問9 あなたは、お年寄りや身体が不自由な人などが困っている時に手助けをしたことがありますか。(1つに○) 回答者総数=226人

1. ある	124 (54.9)	2. ない	99 (43.8)
		無回答	3 (1.3)

問 10 あなたには、話を聞いてくれたり、困った時に助けてくれたりする友だちがいますか。(1つに○) 回答者総数=226人

1. たくさんいる	130 (57.5)	3. まったくない	4 (1.8)
2. 少しはいる	90 (39.8)		
無回答		2 (0.9)	

問 11 あなたは、悩んでいたり困っている友だちがいたら、自分から声をかけられますか。(1つに○) 回答者総数=226人

1. できると思う	191 (84.5)	2. できないと思う	33 (14.6)
無回答		2 (0.9)	

問 12 あなたは、ふだんの暮らしの中で、ご近所による支え合い、助け合いは必要だと思いますか。(1つに○) 回答者総数=226人

1. 必要だと思う	184 (81.4)	3. わからない	35 (15.5)
2. 必要だと思わない	5 (2.2)		
無回答		2 (0.9)	

Ⅲ 福祉のまちづくりについて

問 13 潮来市でボランティア活動を活発にしていくためには、何が大切だと思いますか。(3つまで○) 回答者総数=226人

1. ボランティア活動の大切さを学校で教える	82 (36.3)
2. ボランティア活動の大切さを広報紙などで知らせる	53 (23.5)
3. どのようなボランティア活動があるか情報を発信する	93 (41.2)
4. ボランティア活動について相談できる場所を充実する	21 (9.3)
5. 初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行う	162 (71.7)
6. ボランティア活動をする場所を確保し整備する	42 (18.6)
7. がんばって活動している仲間にお金を援助する	37 (16.4)
8. ボランティア活動でも、ある程度のお金をもらえるようにする	48 (21.2)
9. リーダーとなる人材を育てる	32 (14.2)
10. その他 ()	2 (0.9)
無回答	1 (0.4)

問 14 福祉のまちづくりを行っていくために、重要なことは何だと思いますか。

(5つまで○)

回答者総数=226人

1. 情報提供を充実させる	76 (33.6)
2. 相談できる窓口を増やす	72 (31.9)
3. お互いに交流できる場所を充実する	81 (35.8)
4. 公共施設のスロープ設置や段差を解消する	57 (25.2)
5. 災害時にみんなで助け合う仕組みをつくる	78 (34.5)
6. 一人一人の人権を守る制度を普及する	67 (29.6)
7. ボランティア活動を充実させる	54 (23.9)
8. 福祉の仕事にたずさわる人を育てる	35 (15.5)
9. 色々な種類の福祉サービスを用意する	60 (26.5)
10. 福祉サービスを行う事業者を増やす	28 (12.4)
11. 健康づくりの取り組みを充実する	59 (26.1)
12. 福祉の関心が高まるように啓発する	32 (14.2)
13. 年金や保険を充実する	56 (24.8)
14. その他	3 (1.3)
15. わからない	21 (9.3)
無回答	1 (0.4)

◆あなたは『福祉』とは、どのようなことだと思いますか。

【潮来第一中学校】

内 容	性別
○ 障がいのある人もない人も安心して暮らせること。	女性
○ 相談できる。ないといけないこと。	女性
○ 大事なこと。	男性
○ 大切なこと。	男性
○ 人を助けて、より良い社会をつくること。	女性
○ お年寄りでも障害のある人でも平等にして。	女性
○ お年寄りや障害を持っている人達のお手伝いをする事。	女性
○ 自分たちの生活をよりよく活発にしてくれるサービスだと思う。	男性
○ 福祉は一人一人の人権を守るところ。働くなかった人にお金を援助したりするところ。	女性
○ 人通しの助け合い。	女性
○ みんなで助け合うこと。	女性
○ 暮らしやすい世の中になるために大切なおところ。	女性
○ 人のために支え合うことだと思う。	女性
○ 助け合いだと思います。	男性
○ 人が生きていくときに大切なこと。	女性
○ とても大切でなくてはならないもの。	女性
○ 町をより良くするために、ボランティア活動などの援助や呼びかけなどをサポートすること。	女性
○ 色々な人が暮らしやすくなるために何かを作ったり、ルールを決めたりすること。	男性

(続き)

内 容	性別
○ 地域の人たちで助け合ったりすること。	女性
○ 市でボランティアの活動をする。	男性
○ ボランティア。助け合いの場	男性
○ 困っている人を助ける。	男性
○ 困っている人を助け合うことだと思います。	男性
○ 人が助け合うこと。	男性

【潮来第二中学校】

内 容	性別
○ 人々は幸福になれるようにお互いを助け合うこと。	男性
○ 人との関わり合い。	女性
○ 募金をしたり、ボランティア活動をしたりすること。	男性
○ 地震や自然災害が起こった時に募金活動をする。	男性
○ 困っている人を助けること。	男性
○ 町や地域の人たちのことをよく考えている。	女性
○ 助け合い。	女性
○ ボランティアをする。	女性
○ 災害の時などで誰かが困っていたら助ける。	女性
○ 人の手助けだと思います。(交流)	女性
○ 困っている人がいたら助ける。	女性
○ 市民を助ける。	女性
○ 大切なもの。	男性
○ 一人一人が助け合いの心を持つことだと思う。	女性
○ 困った人を助けたり互いに支え合いながらの生活。	男性
○ 人助けやボランティア。	女性
○ まちづくりを行うための意見を発言させて行動する。	男性
○ お年寄りや体が不自由な人を守っていく。	男性
○ 貧しい人々のためにお金を募金したり、自主的にボランティア活動をする。	女性
○ 人々が満足する生活の環境。	男性
○ 人々が満足するような生活上の工夫。	男性
○ 困っている人を助ける。	男性
○ 人と人が助け合うこと。	男性
○ 困っているなどを支える。	男性
○ 自ら進んでボランティアに貢献すること。	女性
○ ボランティアみたいなもの。	男性
○ ボランティアでちいきに貢献すること。	女性
○ 安心して生活できること。	男性
○ 地域の人たちが健康でいられるようにする。	男性

(続き)

内 容	性別
○ 助け合い。交流。	女性
○ たくさんの人を助け合うこと。	女性
○ 誰もが住みやすくするための活動。	男性
○ お年寄りの人や障害者を助ける。	女性
○ 協力したり、助けること。	女性
○ 人につくすこと。	男性
○ 人を手伝い、助けること。	男性
○ 人間を助けること。	女性

【日の出中学校】

内 容	性別
○ 町や人のためにすること。	男性
○ ボランティア活動だと思う。	男性
○ 助け合いをすること。	男性
○ 困っている人をみんなで助けること。相手を思いやり、その思いを行動に移す。	女性
○ 福祉とは、大切なことだと思います。	男性
○ 生活していくうえで大切なことだと思います。	女性
○ 困っている人をたすけること。	男性
○ 困っている高齢者がいたら助けること。	男性
○ 地域の人たちが安心して暮らせるようなことをする団体。	男性
○ ボランティア活動をし、みんなで助け合ったり、住みやすいまちづくりをすることだと思う。	男性
○ お年寄りを助けたりする活動。	女性
○ 人と助け合う活動。	男性
○ ボランティアをすること。	女性
○ お互いが助け合う、一人一人の人権を尊重するものだと思う。	女性
○ 人を手助けするもの。(みんなで協力して)	女性
○ 困っている人などをサポートしたりする。	女性
○ まちづくりにたくさんのボランティアをし、良いまちづくりのことだと思います。	女性
○ 子どもには難しいものだと思う。	男性
○ 体の不自由な人とも暮らすことのできる一人一人が助け合うこと。	男性
○ 不自由な人を介護すること。	男性
○ よりよいまちをつくるのに大切なこと。	男性
○ 福祉とは、一人一人のことを考え、助け合うことだと思う。	男性
○ 色々な地域で行う、明るい社会をつくるためのボランティア活動だと思う。	女性
○ 高齢者などを手助けする。	男性
○ 人や地域の人たちの役にたつこと。	男性
○ 障害者の手助けをすること。	女性
○ 誰かのために自分から行動すること。	女性

(続き)

内 容	性別
<input type="radio"/> 人と人との支え合いだと思います。	男性
<input type="radio"/> 私は人を助けることだと思います。	女性
<input type="radio"/> 一人一人が助け合い、よりよいものにする。	男性
<input type="radio"/> どんな人でも良く暮らせるように、色々な活動をする。	女性
<input type="radio"/> 社会へ貢献することだと思います。	男性
<input type="radio"/> 人と人が協力しあう。ボランティア。	女性
<input type="radio"/> とても大事なことだと思います。	男性
<input type="radio"/> 困っている人を助ける活動。	男性
<input type="radio"/> 人を援助する。	女性
<input type="radio"/> 人を助けること。	女性
<input type="radio"/> ボランティアなどで助け合いをすること。	女性
<input type="radio"/> 人と人が助け合ったり、相談したりすることだと思います。	男性
<input type="radio"/> 何かをより良くするために活動する機関。	男性
<input type="radio"/> まちをきれいにしたり、人のために何かをすること。	男性
<input type="radio"/> 人権を尊重し合うこと。	女性
<input type="radio"/> 大事なもの。	男性
<input type="radio"/> ボランティアをしたりお年寄りの人のために行動する仕事。	女性
<input type="radio"/> 一人一人がより良い生活を送るために、地域の人がまちづくりをすること。	女性
<input type="radio"/> 人と人が支え合うこと。	男性
<input type="radio"/> 大切なものだと思う。	男性
<input type="radio"/> 困っている人を助け、サポートするものだと思います。	女性
<input type="radio"/> 街を明るくする活動。	男性
<input type="radio"/> 生活に困っている人や障がいを持っている人を助けること。	女性
<input type="radio"/> 人間どうしが助け合うこと。	男性
<input type="radio"/> 誰もが普通に暮らせること。	男性
<input type="radio"/> 人を助けること。	男性
<input type="radio"/> 人と人が支え合うこと。	男性

【牛堀中学校】

内 容	性別
<input type="radio"/> みんなが暮らしやすくする。	男性
<input type="radio"/> 障害のある人や困っているを助けること。	男性
<input type="radio"/> 他人を助けること。	男性
<input type="radio"/> 福祉とはこの世に大切なこと。	男性
<input type="radio"/> 人を手助けすること。	男性
<input type="radio"/> 不便なところがないようにする。入院施設のある病院をつくる。段差をなくす。	男性
<input type="radio"/> 大切なものだと思う。	男性
<input type="radio"/> 人や環境を大切にすること。	男性

(続き)

内 容	性別
○ 困っている人を助けたり、みんなで協力して助け合うこと。	男性
○ いろいろなことをたすけたりすることあと思う。	女性
○ 人々を助けること。支え合うこと。	女性
○ 一人一人が助け合っていくことだともう。	女性
○ 障がいのある人やお年寄りなど関係なく、充実した社会生活を送ることが出来る制度。	女性
○ 障がい者やお年寄りが住みやすいところ。	女性
○ 一人一人が住みやすいところをつくり、大変な人のために陰で頑張ること。	女性
○ 障がいがあるとか、体が年をとって弱ってきたとか、まだまだ元気な人とかそんなこと関係なくみんなが支え合っていくために必要なこと。	女性
○ 障がい者や高齢者などが安心して暮らせるための施設や手助け。	女性
○ 人と人が支え合ってできるもの。	女性
○ 子どもも大人もお年寄りもみんなが住みやすい環境を作る工夫。	女性
○ 環境のこと。	女性
○ 一人一人が住みやすい町を作っていくことだと思います。	男性
○ 障がいがある人やお年寄りなど、さまざまな人がいるが、その人たちも楽しく暮らせるようにすること。	男性
○ 助け合ったり、暮らしやすいこと。	男性
○ どんな人でも、住みやすいところをつくること。	男性
○ 障害者などのためのスロープや点字などを設けたりして、一般人や障害者関係なく不自由なく暮らすこと。	男性
○ 人と人が助け合って住みやすいようにすること。	女性
○ 福祉はいいなと思いました。	女性
○ お互いのことを助け合う。	女性
○ お年寄りなどを助けたりする。	女性
○ すべての人が平等にらせるようにする。	女性
○ だれもが安心して暮らせる住みやすい町。	女性
○ 人のためになること。	女性
○ 一人一人が支え合い、お互いに助け合うことだと思う。	女性
○ 助けあいなど。	男性
○ 一人一人が支え合っていくこと。	男性
○ みんなが生活しやすい環境をつくること。	男性
○ 地域の人で協力し、物事を進める。	男性
○ 人々がたすけあうこと。	女性
○ 人と人が支え合って生活できること。	男性
○ 福祉はボランティア活動などをして、住みやすいまちづくりをすることだと思います。	女性
○ お互いに助け合いながら生活すること。お年寄りや子ども、障害を持っている方々の援助をすること。	女性

(5) -② 高校生アンケート

問1 あなたの性別は。(1つに○)

回答者総数=435人

1. 男性	206 (47.4)	2. 女性	229 (52.6)
		無回答	0 (0.0)

問2 あなたの居住地は。(1つに○)

回答者総数=435人

1. 潮来市内	163 (37.5)	2. 潮来市外(市・町・村)	272 (62.5)
		無回答	0 (0.0)

問3 あなたは、潮来市のことは好きですか。(1つに○)

回答者総数=435人

1. どちらかといえば好き	127 (29.2)	3. わからない	260 (59.8)
2. どちらかといえばきらい	47 (10.8)		
		無回答	1 (0.2)

問4 あなたは、「福祉」への関心はいかがですか。(1つに○)

回答者総数=435人

1. とても関心がある	28 (6.4)	3. あまり関心はない	164 (37.7)
2. まあまあ関心がある	152 (34.9)	4. 関心はない	90 (20.7)
		無回答	1 (0.2)

問5 あなたは、学校以外の活動で、ボランティア活動に参加したことがありますか。(1つに○)

回答者総数=435人

1. 参加している	10 (2.3)	3. 参加したことがない	336 (77.2)
2. 参加したことがある	85 (19.5)		
		無回答	4 (0.9)

具体的な内容は？

- ・地区の掃除。・霞ヶ浦の掃除。ゴミ拾い。あやめ園の整備事業。・自分の地域のゴミ拾い。・地域の祭り等。
- ・草むしり。・ものづくり教育フェア。・あやめ園の清掃活動。・ボランティア。地域の運動会の手伝い。など。

問6 あなたが、今後、やってみたいボランティア活動はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

回答者総数=435人

1. ゴミ拾いなど環境美化の活動	180 (41.4)	6. 乳幼児や子どもの遊び相手	150 (34.5)
2. 募金や寄付などの活動	91 (20.9)	7. 地域の子供会の活動	55 (12.6)
3. 防災・防犯・交通安全などの活動	35 (8.0)	8. 勉強や運動を教える活動	56 (12.9)
4. お年寄りの手助け	80 (18.4)	9. その他()	17 (3.9)
5. 障がいのある人の手助け	42 (9.7)		
		無回答	41 (9.4)

問7 あなたは、住民どうしの支え合い、ボランティア活動の支援を行っている「潮来市社会福祉協議会（社協）」を知っていますか。（1つに○） 回答者総数=435人

1. 名称も活動内容も知っている	5 (1.1)	3. 知らない	358 (82.3)
2. 聞いたことはある	72 (16.6)		

無回答 0 (0.0)

問8 あなたは、地域の「民生委員・児童委員」の活動を知っていますか。

(1つに○)

回答者総数=435人

1. 名称も活動内容も知っている	4 (0.9)	3. 知らない(初めて聞いた)	340 (78.2)
2. 聞いたことはある	91 (20.9)		

無回答 0 (0.0)

問9 あなたは、将来、福祉関係の仕事に就きたいと考えていますか。

(1つに○)

回答者総数=435人

1. 就きたい	31 (7.1)	3. わからない	227 (52.2)
2. 就きたくない	176 (40.5)		

無回答 1 (0.2)

[なぜ、問9のように思いましたか？ その理由を教えてください]

「就きたいと思う理由」

- ・お年寄りや障害のある人の役に立ちたい。・役に立ちたいから。・人のために役立ちたい。・介護の仕事体験させてもらって。・一人暮らしをしたい。・小さい頃からあこがれていた。・インターンシップをやって凄く楽しく思えたから。人の役に立ちたいから。・看護を目指して福祉に興味がある。・いろいろな活動をともにする。・保育士になりたい。・稼ぐため。・少子高齢化なので福祉関係の職が増えたらよい。・自分がやったことでたくさんの笑顔が見られるから。・保育士になりたいと思っているから。・昔から思っているから。
- ・お年寄りのお世話をしたいから。・老人の方が元気に楽しく過ごしてほしい。・人のことを笑顔にしたい。
- ・子どもやお年寄りと関わるのが好きだから。・困っている人たちの手助けをしたい。・今まで社会を支えてくれていた方があまりにもふびんに思える。なのでできることを少しずつやりたい。・家族の影響を受けた。・人の出助けをしたい、笑顔にしたい。など。

「就きたくないと思う理由」

- ・あまり好きではない。・面倒なことが多いと思う。・福祉体験で大変だった。・自分には向いていないと思う。
- ・別の仕事に就きたい。・高齢者が増えているから。めちゃくちゃ大変な仕事なのに給料が安いし休みも少ない。・他につきたい仕事がある。助けることはしたいが仕事に就くまでやりたくない。・そこまでやろうと思わない。・保育がいい。・めんどろ。・行きたいところがある。・興味がない。・福祉をあまり知らないから。
- ・福祉に興味がないから。・他の夢があるから。・福祉、介護の仕事は給料と仕事の内容がわりに合わない。
- ・将来の夢が決まっている。・将来やりたいことがある。・興味がないから。・よくわからないから。・人が嫌いだから。・辛そう。・福祉関係がよくわからない。・やりたいことではない。・福祉関係など正直何をしているのかわからない。・なりたい気持ちもあるが。・むいていないから。・他につきたい仕事がある。・大変そう。・自信がない。・福祉関係に興味がなく何も知らない。・大変そうなので給料が低そうだから。・お年寄りに文句を言われるとむかつく。・活動内容がわからない。・自分のことで精一杯。など。

問 10 あなたはふだんの暮らしの中で、障がいのある人への差別や偏見があると感じますか。（1つに○）

回答者総数=435人

1. とてもあると思う	34 (7.8)	3. とくにないと思う	208 (47.8)
2. 少しはあると思う	191 (43.9)		

無回答 2 (0.5)

問 11 潮来市でボランティア活動を活発にしていくためには、何が大切だと思いますか。（3つまで○）

回答者総数=435人

1. ボランティア活動の大切さを学校で教える	155 (35.6)
2. ボランティア活動の大切さを広報紙などで知らせる	97 (22.3)
3. どのようなボランティア活動があるか情報を発信する	194 (44.6)
4. ボランティア活動について相談できる場所を充実する	48 (11.0)
5. 初めての人でも参加しやすいきっかけづくりを行う	270 (62.1)
6. ボランティア活動をする場所を確保し整備する	49 (11.3)
7. がんばって活動している仲間にお金を援助する	31 (7.1)
8. ボランティア活動でも、ある程度のお金をもらえるようにする	65 (14.9)
9. リーダーとなる人材を育てる	36 (8.3)
10. その他 ()	11 (2.5)

無回答 13 (3.0)

問 12 今後、潮来市で福祉のまちづくりを行っていくために、重要なことは何だと思えますか。（5つまで○）

回答者総数=435人

1. 情報提供を充実させる	123 (28.3)
2. 相談できる窓口を増やす	109 (25.1)
3. お互いに交流できる場所を充実する	104 (23.9)
4. 公共施設のスロープ設置や段差を解消する	70 (16.1)
5. 災害時にみんなで助け合う仕組みをつくる	72 (16.6)
6. 一人一人の人権を守る制度を普及する	76 (17.5)
7. ボランティア活動を充実させる	108 (24.8)
8. 福祉の仕事にたずさわる人を育てる	48 (11.0)
9. 色々な種類の福祉サービスを用意する	98 (22.5)
10. 福祉サービスを行う事業者を増やす	55 (12.6)
11. 健康づくりの取り組みを充実する	56 (12.9)
12. 福祉の関心が高まるように啓発する	56 (12.9)
13. 年金や保険を充実する	85 (19.5)
14. その他	10 (2.3)
15. わからない	89 (20.5)

無回答 30 (6.9)

◆あなたは『福祉』とは、どのようなことだと思いますか。

【高校1年生】

内 容	性別
○ 人を助ける。	男性
○ 人が人を助けることだと思う。	男性
○ 私たちの生活をより良いものにするための活動。子どもから高齢者などを支える活動。	女性
○ 皆が安心安全で生活をする手助けのようなもの。	女性
○ だれかが一人でやれないことをそれに気づいた人が力を合わせること。	男性
○ 高齢者や障害者を助けるもの、取り組みだと思った。	男性
○ 若い人が高齢者を助けて生活がより良くなることをめざすこと。	男性
○ お年寄りや障がい者にとってはとても大切でとてもいいと思います。	男性
○ 一人一人みんなで支え合っているのだと思う。	男性
○ 障がいの人や高齢者などへの助け。	男性
○ 皆が助け合って高齢者などに優しいまちづくりをする。一部の地区だけでなく、他のところもしっかりみて、安全なまちづくりをしてほしい。自分の地元が誇れるような人がたくさん来るような潮来市になってほしい。	女性
○ おじいちゃん、おばあちゃんの介護、ボランティア活動など。	女性
○ 障害者などを助ける。	男性
○ 思いやりをもつこと。	女性
○ 人と関わって助け合いながら交流している。	女性
○ 自分一人だけでなく、周りの人への助け合いがあっこそ福祉だと思う。	男性
○ 高齢者を介護する。	女性
○ 介護だけではなく老若男女関係なくみなで支え合ってより良いまちづくりをしていくこと。	女性
○ 人と人との助け合って生きていくこと。	女性
○ 年代関係なく、他人の力を借りないといけない人たちを助けること。	女性
○ とても大切だと思います。	男性
○ お年寄りの人などを助けたり、一緒に交流すること。	女性
○ 障害者への手助けや高齢者の介護など。	女性
○ 介護とかだと思う。	女性
○ 介護などの支援をすること。年寄りと関わること。	女性
○ 高齢者介護関係。	男性
○ 障がい者や高齢者を介助すること。	女性
○ 高齢者を助けたり、今後のことを話し合うことだと思います。	女性
○ 守る、助ける。	女性
○ お年よりの介護をすること。	女性
○ 助けを必要とする人を皆で助け合うこと。	女性
○ 高齢者を助ける大事な仕事だと思う。	女性
○ 社会が行う老人に対する行動。	男性
○ 人と人の助け合い、困っている方がいたら助けたり環境が汚れていると、それを綺麗にする働き。	男性
○ 介護をすること。	男性
○ 人助けかな。	男性

(続き)

内 容	性別
<input type="radio"/> 支援すること。助けあうこと。	女性
<input type="radio"/> 健常者と障がい者の差別がないこと。	女性
<input type="radio"/> わからないけど、ボランティア系？	男性
<input type="radio"/> 障がいのある人たちの援助を行うこと。	女性
<input type="radio"/> 老人を助ける。	女性
<input type="radio"/> ボランティア。人の役に立つ。	女性
<input type="radio"/> ばあば、じいじが暮らす家？	女性
<input type="radio"/> 福祉は社会で大切だと思う。	男性
<input type="radio"/> 世の中がよくなるもの。	男性
<input type="radio"/> 誰もが幸せな生活をおくること。	女性
<input type="radio"/> お年寄りや障がい者の生活を手助けすること。	女性
<input type="radio"/> みんながわらって過ごせるようにすることだと思う。	女性
<input type="radio"/> 災害の時とかに一人一人が助け合うこと。	女性

【高校2年生】

内 容	性別
<input type="radio"/> 障がいを持っている人やお年寄りの人から若者がみんな助け合って、それぞれが住みやすい環境にすること。差別がないこと。	男性
<input type="radio"/> 生活が不自由な人のためにすること。	男性
<input type="radio"/> 老人や障がいをもって生まれた人の手助け。	男性
<input type="radio"/> 人のためになんかをする事。	男性
<input type="radio"/> 人がよりよい生活をするための活動。	男性
<input type="radio"/> 誰もが平等に生活できる心意気。	女性
<input type="radio"/> まちづくりに大きく関わるから大切。	男性
<input type="radio"/> 人と人とが手を取り合い、助けること。	女性
<input type="radio"/> 子どもやお年寄り、障がいのある人でも同じ生活ができるように助けること。	女性
<input type="radio"/> 障がいを持っている人、手足の不自由なお年寄りの人々でも暮らしやすい環境にする。	女性
<input type="radio"/> 生きていくなかで大切なこと。	女性
<input type="radio"/> 助け合いや協力をすること。	女性
<input type="radio"/> 誰もが暮らしやすくなるためのサービス。	女性
<input type="radio"/> 老若男女、障がいあるなし関係なく生活できること。	女性
<input type="radio"/> 困っている人を助ける。	女性
<input type="radio"/> おじいちゃん、おばあちゃんを守ること。	女性
<input type="radio"/> お年寄りや障がいのある人が暮らしやすい社会にすること。	女性
<input type="radio"/> おじいちゃん、おばあちゃんを介護する。	女性
<input type="radio"/> 福祉とは、高齢者など子どものことだと思う、	女性
<input type="radio"/> お年寄りの介護。	女性
<input type="radio"/> 障がいのある人の手助けのようなことだと思う。	女性
<input type="radio"/> 住みやすいまちづくりにするため。	女性

(続き)

内 容	性別
○ お年寄りを支え、お年寄りや障がい者が充実した生活を送れること。	女性
○ 介護したり、おばあちゃん、おじいちゃんの手助けをすること。	女性
○ お年寄りの援助をすること。	女性
○ ふだんの生活より過ごしやすく、みんな平等に楽しくできるように市町村づくりをすること。	女性
○ お年寄りとかが住みやすい環境、まちづくりをすること。	女性
○ すみやすいまちづくり。	女性
○ 生活困難な人の手助けをすること。	女性
○ 高齢者に携わり、生きがいをもってもらえるような仕事だと思う。	女性
○ 人の生活を助ける。	女性
○ 老人や障害者などの体の不自由な人の手助けをすること。	女性
○ お互いに満足、安心できる、交流を築くこと。	女性
○ お年寄りの人とふれあうということだと思います。	男性
○ 手助けをすること。	男性
○ お年寄りをサポートすること。	男性
○ 人を助けること、手伝うこと。	女性
○ 助け合いだとも思います。	男性
○ 一人で生きていくには、少しつらい人を助けること。	女性
○ 人助け、協力など。	女性
○ 不自由な人を助けること。	女性
○ 人のために行うこと。	女性
○ 障がいのある人も普通の人と平等に暮らすことができるようにすること。	男性
○ 人と人との助け合い。	男性
○ 一人一人の人権を守ること。	女性
○ できるだけ平等に確立するもの。	男性
○ 大切な活動だと思う。	男性
○ バリアフリーなどは大切なことだと思う。	男性
○ 福祉とは何かわかりません。	女性
○ 困っている人を助けること。お互いがお互いを助けあう。	女性
○ 大切な活動だと思います。	男性
○ 困っている人がいたら、その人をみんなで助け合うこと。	男性
○ みんなが助け合い、より良い生活を送れるようにすること。みんなで情報を共有し合うこと。	男性
○ 人々に助け出来るのは「福祉」。	女性
○ 生きていくうえでかせかないようなこと。	女性
○ 毎日の生活の中で不便に思う人と助け合いながら生きていくこと。	女性
○ 人を幸せにすること。	女性

【高校3年生】

内 容	性別
○ 助け合いだと思います。	女性
○ お年寄りの介護。	女性
○ 人と人が互いに支え合うこと。	男性
○ 不自由のない暮らし。	男性
○ 人を支える年寄り、不自由な人たちを持っていく。	男性
○ 今後の日本では福祉の仕事をする人は減少していき、なくてはならないものだとおもいます。	男性
○ 今後の日本になくてはならない存在になるから。	男性
○ 生きていくために必要なこと。	男性
○ 私は、互いに助け合っていくことだと思っています。	女性
○ お年寄りなどを看護したりすること。	女性
○ 大切なことだと思います。	女性
○ 人を助けること。	女性
○ どんな人でもふつうに暮らしていけるようにへだたりをなくすためのもの。	女性
○ 人と人が住みやすい世界をつくること。	男性
○ 人のためになること。	男性
○ 障がいや病気があっても一人一人が平等に扱われるようにするため、困らないようにするため。	女性
○ 病気の人や障がいのある方、お年寄りを援助すること。また、他の人たちと変わらない生活ができるようにすること。	女性
○ お年寄りや障がいのある人たちのため、安心して暮らせるように手助けをして、より住みやすい場所をつくるために工夫をしていくこと。	女性
○ 人にはできること、できないことがあるから、それを出来る人が出来ない人のために動くことだと思う。	女性
○ いろんな年齢の人が生活しやすい生活を目指して、たくさんの活動をするものだと思う。	女性
○ だれもが将来、経験することだと思う。	女性
○ これから、必ず必要になってくるもの。	女性
○ とくに興味はないが、大変そうだと思う。	女性
○ お年寄りの世話。	女性
○ 老人などの手助けをする職。	男性
○ みんな必要となってくる。老後とかをサポートし、支えること。	女性
○ 介護をし、残りの人生を楽しんでもらいたい。	女性
○ 私の家庭でもおばあちゃんと一緒に暮らしていて、まだまだ元気に働いていますが、これから何があるかわからないので、自分でもっと学び対応の仕方について見つめ直したいです。	女性
○ 助けあうこと。平等にすること。	女性
○ 福祉というと差別や偏見がなく、気軽に相談できるところがあり、福祉サービスや健康づくりに貢献をして、知らない人と交流できたりすることだと思います。	男性
○ ボランティア活動など。	男性
○ 大切なこと。	男性
○ 人と人とのつながり。	女性
○ 地域の方々に対してのボランティア。	男性

(続き)

内 容	性別
○ いろいろな人の手助け。	男性
○ 障がいのある人も普通の人と平等に暮らせるために関わりの機会をもらえること。	女性
○ 福祉とは、老人への介護だと思っております。公共の福祉などのゴミ拾いも福祉だと思っております。	男性
○ 市のみんなが住みやすい場所をつくるために大切なことだと思います。	男性
○ みんなで助け合うことだと思います。	男性
○ お年寄りなど介護を必要とする人を援助したりすること。	女性
○ 老人や障がいのある人を支えていき、よりよい生活が叶うもの。	男性
○ 老人の介護や子どもの面倒を見ること。	男性
○ 不自由な人や障がいや老人を保護などするという活動や周りのゴミや環境をよくすることだと思います。	男性
○ 子どもやお年寄りが生活しやすい環境をつくるための活動。	男性
○ 福祉とは、老人や障がいのある人のためにあるから、とても大切だと思う。老人が多い時代だから一人一人が手を差し出せばいいと思う。	女性
○ じいちゃん、ばあちゃんを助けたり、介護したり、子どものお世話をする。	女性
○ 老人たちなどが平和に暮らせることだと思います。	男性
○ 老人や障がい者を支え合っていく活動だと思う。	男性
○ 高齢化社会だから福祉は日本にとって大きな問題だと思うので、社会一人一人が社会に貢献していくことが大切だと思う。	女性
○ みんなで助け合うこと。	男性
○ 人々を思いやって活動をしていくこと。	男性
○ どのような社会でも必要なこと。	男性
○ 福祉については、よくわかりませんが、大切なことだと思います。	女性
○ 福祉とは介護サービスだと思います。	男性
○ わかりませんが、とても大切だと思います。	男性
○ 高齢者の手助けやお互いに交流できる場所を充実させることだと思う。	女性
○ 人と人が助け合い、よりよい町や市をつくることだと思います。	男性
○ おじいさん、おばあさんの助けをしたりすること。	女性
○ 人々が互いに理解し合い、助け合っていくこと。	女性
○ 身近なものであり、自分たちで積極的に関わっていくべきことだと思う。	女性
○ 人助けをする団体の行動だと思います。例えば、ゴミ拾いとかお年寄りとかをバリアフリーとかで助けたりする。	女性
○ 障がいのある人、お年寄りの生活に不便を感じさせずに健常者と差別なく生活できること。	男性
○ お年寄りの介護などをすることだと思います。	男性
○ ボランティア活動など幅を広げること。	男性
○ 障がい者が不自由や不安なく生活できること。	女性
○ すべての人が身体面、精神面で心配にならない安心できる環境を作っていくこと。	男性
○ 日本にはたくさんいる体などに障害がある人を手助けすることも福祉であり、お年寄りなどが生活しやすいように環境を作っていくことも大切だと思いました。	男性
○ 人と人のつながりがあっての助け合い。	男性
○ 全ての人が極力、不自由なく生活することを目標とする活動。	男性

(続き)

内 容	性別
○ 高齢者の命みたいなもの。	男性
○ 高齢者や障がい者、子どもたちのできないことを手助けしたりすること。	男性
○ みんなで協力し、どんな人でも暮らしやすくなるようにするために必要なこと。	男性
○ 人を手助けする仕事。	男性
○ 人の役に立つことは、相手にも自分にもメリットがあり、笑顔になってくれる。喜んでくれるとともに自分はやりがいを感じることができます。福祉は人の役に立ち、喜ばれる素晴らしいことだと思います。	女性
○ 今もこれからも少子高齢化が続くと思うので、とても福祉は重要だと思います。	女性
○ 平等で差別のない世界にすること。障がいのある人でも安心して安全に生活できる環境をつくること。	女性
○ とても欠かせないもの。	女性
○ 一人一人と向き合う必要があると思う。	女性
○ 人々が協力し合い、より良い環境をつくるために必要であり、大切なことだと思います。	女性
○ お年寄りなどの人を助けること。	女性
○ 全員の人々が平等であること。	女性
○ 人と人との関わり。	女性
○ 人は皆が同じ立場で同じ目線で社会を見ていかなければいけないので、自分たちが助けてあげるところが福祉と言うことだと思います。	女性

潮来市
地域福祉に関するアンケート
結果報告書

平成 29 年 10 月発行

〔発行〕 潮来市
〔編集〕 潮来市 市民福祉部 社会福祉課
Tel 0299 (63) 1111 (代) / Fax 0299 (80) 1410
〔調査・分析〕 株まち研
